

A. 文
書

1、 翻訳原稿類

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
1		バッジホット氏英国憲法 第1冊(第五章ノ一 下院)		河上謹一訳		冊	1	45	虫損
2		バッジホット氏英国憲法 前冊ノ続キ(五章ノ 一)	明治12年1月17日	河上謹一		冊	1	40	虫損 年号朱筆
3		バチホット氏英国憲法史要 第三	明治12年5月14日	西川鍊次郎		冊	1	#	虫損
4		バッジホット氏英国憲法原論(六章ノ二)	明治12年3月12日	河上謹一訳		冊	1	23	虫損大
5		米版ノ序(バッジホット「英国憲法」)、「サア、ロバ ルト、ピール」ノ性質ヲ論ス(約稿)外合冊				冊	1	50	虫損
6		英国憲法附録(政論ノ一「ロルドフローハム」氏 性質)	明治12年3月～			冊	1	86	虫損 3月始ヨリ終ニ達 ス
7		(英国憲法訳稿外訳稿一括)	(明治12年か)	(高橋健三訳)		綴	1		1点とする 虫損
8	1	英国憲法訳稿 叙言(其一)				冊	4	17	虫損
	2	英国憲法訳稿				冊	1	11	虫損
	3	英国憲法訳稿				冊	1	10	虫損
	4	英国憲法 叙言(其一) (清書)				冊	1	17	虫損 用箋「高橋蔵」
9		英国憲法(第7章 諸權相制以得平説ノ弁)		高橋健三訳		冊	1	15	虫損 破損大
10		英国憲法訳稿 仮第十一(七章ノ二)	明治12年2月7日	高橋健三		冊	1	26	虫損
11		英国憲法訳稿 第十七	明治12年3月10日	高橋健三		冊	1	24	虫損
12		英国憲法訳稿 第十九	明治12年3月14日	高橋健三		冊	1	32	虫損
13		英国憲法訳稿 廿綴	明治12年3月22日	高橋健三		冊	1	14	虫損
14		英国憲法訳稿 第廿二		高橋健三		冊	1	24	虫損
15		英国憲法訳稿 第貳十五綴	明治12年4月19日	高橋健三訳		冊	1	14	虫損
16	1	英国憲法 貴顕院之部	明治12年1月10～19日	(高橋健三訳)		冊	1	55	虫損 10日起業19日 脱稿
	2	英国ノ上院論		高橋健三訳		冊	1	45	虫損大 中欠
17		英国憲法 第三篇君主政治ノ二(2分冊)				冊	2	20 ・ 26	虫損
18		英国憲法内閣論		高橋健三抄訳		冊	1	9	
19		英国政典 未校正訳稿				冊	1	#	一部下部破損
20		英国憲法史略 第九章	明治11年12月25日脱			冊	1	32	虫損
21		情供証拠誤判録 訳稿(総論、第1～4判例)	明治10年10月1日起業			冊	1	49	虫損 穴あき
22		情供証拠誤判録(第1～4判例、訳稿)				冊	1	32	虫損
23		情供証拠誤判録 訳稿之一 第一冊	明治12年12月5日	内記課 高橋健三訳		冊	1	45	司法省図書館印あり
24		情供証拠誤判録 第二稿 第二冊	明治13年1月10日	内記課 高橋健三		冊	1	41	司法省図書館印あり
25		情供証拠誤判録 フィリップ氏編纂 第三冊	(明治13年)2月27日	内記課 高橋健三訳		冊	1	25	司法省図書館印あり
26		情供証拠誤判録 緒論ノ続キ、第十判例 其四	明治13年3月6日	内記課 高橋健三訳		冊	1	26	司法省図書館印あり 表紙傷みあり 虫損
27		情供証拠誤判録 フィリップ氏編纂 第五	(明治13年)3月17日	内記課 高橋健三筆		冊	1	18	司法省図書館印あり 虫損
28		情供証拠誤判録 第六冊	明治13年4月6日	反訳課 高橋健三訳		冊	1	21	司法省図書館印あり 用箋「高橋蔵」
29		情供証拠誤判録 フキリップ氏編纂 第七冊・ 第八冊	明治13年4月30日	編纂課 高橋健三訳		冊	1	13	司法省図書館印あり 用箋「高橋蔵」

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
30		情供証拠誤判録 第八冊	明治13年5月20日	編纂課 高橋健三訳		冊	1	18	司法省図書館印あり 用箋「高橋蔵」
31		情供証拠誤判録 大尾 第九冊	明治13年8月31日	高橋健三訳		冊	1	48	司法省図書館印あり 朱書「10月22日・23日」
32		第八判例(情供証拠誤判録 大尾一部)	(明治13年)			冊	1	4	虫損
33	1	第二十三判例 判例大尾	明治13年8月23日			冊	1	23	虫損
	2	第二十三判例 情供証拠誤判録 大尾	(明治13年)			冊	1	38	虫損
	3	第二十三判例(～第二十六判例)	(明治13年)			冊	1	29	虫損
34		(情供証拠誤判録 訳稿)				冊	1	30	虫損 後半白紙・計算式・蛇の絵あり
35		第三篇 証ノ提出及効果(情供証拠誤判録力)				冊	1	20	虫損 農商務省草稿用罫紙使用(クラバン紙タイプ) 白紙あり
36		情供証拠誤判録(訳稿錯簡一括)				状	9		虫損
37		外報(官報掲載文訳稿原稿)	(明治21年1～4月)			状	7		破損・シミあり 青マス目原稿用紙
38		仏国大統領ノ教書	(明治25年)			冊	1	5	虫損 内閣罫紙
39		日清和約批准交換の活劇	明治28年5月13日	支那ガゼット社		冊	1	4	
40		(新エブリデース及サンタクループ諸島地理訳)				状	1		
41		伊太利亜商船法律				冊	1	44	虫損 農商務省罫紙
42		仏国参議院沿革				冊	1	51	虫損 青マス目原稿用紙
43		仏国地方公債				冊	1	5	虫損 太政官罫紙
44		和蘭水政職制		熱海貞爾訳輯		冊	1	23	土木局図書印あり 虫損 内務省罫紙 表紙
45		日耳曼海商律 第二章船主之部	明治13年10月14日			冊	1	10	日耳曼はゲルマン 虫損 紙質わら半紙タイプ
46		(日耳曼海商律) 第三章船長				冊	1	7	虫損 紙質わら半紙タイプ
47	1	日耳曼国商律会典抜抄 分損之部(第5編第8巻)				冊	1	15	虫損 農商務省罫紙 清書
	2	日耳曼国商律会典抜抄 分損之部(第5編第8巻)				冊	1	12	虫損 内務省罫紙
48		日耳曼聯邦普通商法抜抄				冊	1	31	虫損 紙質わら半紙タイプ 白紙多い
49	1	斯丁伝 第一巻第一(清書)				冊	1	81	斯丁はスタイン 虫損 罫紙名前切り取り、下部破損
	2	(斯丁伝 草稿)				冊	1	40	虫損
50		独帝国及普王国公報新誌 第五十二号		編輯者リーデル 訳者関 澄蔵		冊	1	70	記事内容は1882年 太政官罫紙「高橋書記官殿小松原真太郎」
51		[]グニナイ、メッセンジャー」新聞抄訳([]社員高橋健三氏を訪う)		川田口訳、斎藤筆記		冊	1	4	破損大
52		PRIMITIVE NOTIONS IN MOIRDERN LAW.	1877年7月	O. W. HOLMES		冊	1	10	虫損 表紙あり
53		REGARD TO JURISDICTION OVER F OREIGNERS.				冊	1	21	Strictly Confidential No.6 表紙あり

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
54		TO BE INSERTED AS AN ARTICLE IN THE TRADE REGULATION.				冊	1	1	Strictly Confidential No.6 表紙あり
55		REGULATIONS FOR CARRYING INTO EFFECT THE JURISDICTIONAL OF THE CONVENTION OF				冊	1	3	秘Strictly Confidential No.6 表紙あり
56		DRAFT REVISED CONVENTION.				冊	1	5	秘Strictly Confidential No.6 表
57		DRAFT PASSPORT REGULATION.				冊	1	2	秘Strictly Confidential No.6 表
58		REGURATIONS FOR THE CHARTER OF FOREIGN VESSELS.				冊	1	3	秘Strictly Confidential No.6 表
59		EXPLANATORY NOTE WITH REGARD TO THE PROPOSED TONNAGE AND LIGHT DUES.				冊	1	4	Strictly Confidential No.7 表紙あり
60		EXPLANATORY NOTE WITH REGARD TO TONNAGE AND LIGHT DUES LEVIABLE ON JAPANESE AND FOREIGN CHARTERED VESSELS ENGAGED IN THE COASTING TRADE.				冊	1	2	Strictly Confidential No.7 表紙あり
61		EXPLANATORY NOTE WITH REGARD TO THE REPORT OF THE SPECIAL COMMITTEE ON TARIFF REVISION.				冊	1	2	Strictly Confidential No.7 表紙あり
62		EXPLANATORY NOTE IN REGARD TO THE HARBOUR REGULATIONS.				冊	1	2	Strictly Confidential No.7 表紙あり
63		EXPLANATORY NOTES WITH REGARD TO DRAWBACKS , WITH REGARD TO BONDED WAREHOUSES.				冊	1	5	Strictly Confidential No.7 表紙あり
64		DRAFT REGULATIONS FOR THE PAYMENT OF TONNAGE AND LIGHT DUES.				冊	2	2	Strictly Confidential No.9・14 表紙あり 内容同一のため
65		DRAFT REVISED TRADE REGULATIONS.				冊	1	8	Strictly Confidential No.9 表紙あり
66		DRAFT HARBOUR REGULATIONS.				冊	1	5	Strictly Confidential No.9 表紙あり
67		DRAFT OF THE REVISED BONDED WAREHOUSE REGULATIONS.				冊	1	3	Strictly Confidential No.9 表紙あり
68		DRAFT AMENDED TRADE REGULATIONS.				冊	1	8	Strictly Confidential No.50 表紙あり
69		MEMORANDUM				冊	1	2	Strictly Confidential No.7 表紙あり
70		[]		[河上]謹一訳		冊	1		上部欠、判読不能 開けず
71	1	性法論鋼訳稿(未定稿) 上款 権利総論		高橋健三訳述		冊	1	5	虫損
	2	第二編 証拠				冊	1	13	虫損
72		(訳稿、錯簡一括)				状	14		コンニャク版4枚 辞典草稿含む

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
73		SYORTHAND(速記)vol.1 no.40 A SCIENTIFIC AND LITERARY MAGAZINE, WITH ILLUSTRATION	1981年1月			冊	1		虫損 61頁～80頁

2、原稿草稿類

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
1		帝号大日本国政典(草案)	明治8年7月15日全騰	高橋健三		冊	1	18	表紙あり、明治8年5月上浣
2		議会ノ予算議定権ヲ論ス		成田與作		冊	1	20	表紙あり
3		ロエスレル氏へ質問(法律実施ノ期限ニ付)		花房直三		冊	1	6	虫損 太政官罫紙
4	1	租税				冊	1	6	虫損
	2	内閣				冊	1	6	虫損
5		翻訳地理誌草稿	2月8日・11月14日	英下等第一級 高橋健		冊	1	4	虫損
6		代言人規則草稿				状	2		錯簡 周囲破損 文部省罫紙 付箋多い
7		借家取締準則				冊	1	10	左下部欠損・汚れあり
8	1	米商会所改良意見				冊	1	17	コンニャク版 表紙あり
	2	(米商会所改良意見)				冊	1	18	コンニャク版 裏表紙あり 本文中朱書修正
9		第三章二(相場会所の組織ハ如何にすへき乎)				冊	1	24	表紙あり 虫損
10		(フランスにおける財政運営法)	(明治21年)			冊	1	20	右側虫損・虫糞
11		(所有権について)				冊	1	27	虫損 1枚目破れあり 後半11丁白紙
12		商船法類集 (写第千二百七十二号)	明治16年5月上浣	牟田 豊編		冊	1	#	# 表紙あり 虫損 右下 # 汚れ 太政官・農商務 # 省罫紙 北海道転籍 # 移住者手続挟み込み
13		(商船法目次、前欠)				冊	1	31	裏表紙あり 虫損(上部大) 太政官・農商務省罫紙
14		商船法(稿本)		高橋健三講義、綱島兵作編輯		冊	1	#	# 虫損 最終頁傷み 英吉利法律学校用箋
15		船舶法要略				冊	1	5	表紙あり 虫損
16		海上法第二編第二章(草稿)				冊	1	19	表紙あり(救助料の配分朱書き) 虫損 農商務省罫紙 後半9丁
17		海商編(草稿)				冊	1	10	虫損 農商務省罫紙
18		(海上保険契約法、草稿、前後欠)				冊	1	10	虫損
19		改正借庫規則(明治2年3月1日改正)				冊	1	8	虫損 外務省罫紙
20		保安料の配賦				冊	1	21	虫損 最終頁に浜尾新のこと書き入れあり
21		第四号 噸税説明				冊	1	21	虫損 表・裏表紙あり コンニャク版 秘・条約 改正掛鳥居朱印あり
22		日本港噸税規則草案				冊	1	7	コンニャク版 大判別
23		噸税及燈税規則(草案)				冊	1	5	虫損 外務省罫紙

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
24		旅券規則				冊	1	3	表紙あり コンニャク版 栗野真一郎から高橋 宛伝言朱書き
25		外国船雇入規則				冊	1	4	表・裏表紙あり 虫損 太政官原稿用紙
26		第二号 外国船雇入規則案				冊	1	4	表・裏表紙あり 虫損 コンニャク版 栗野信 一郎印あり
27		貿易規則草案				冊	1	16	虫損 外務省罫紙
28	1	(東京日日新聞 文部卿の指令草稿)	明治15年5月			冊	1	20	表紙あり 虫損
	2	(東京日日新聞 文部卿の指令草稿)	明治15年5月			冊	1	19	表・裏表紙あり 虫損 文部省罫紙
	3	(東京日日新聞 文部卿の指令草稿)	明治15年5月			冊	1	14	表紙あり 虫損 高橋 氏蔵用紙
	4	(駁議附言(駁東京横浜毎日新聞 草稿)	明治15年5月			冊	1	8	虫損
	5	(第三千四百号~参禅四百二号)	明治15年5月			冊	1	4	虫損 文部省罫紙
29		(東京日日新聞 文部卿ノ指令・再駁毎日新聞 草稿)							
	1	第一稿 第二稿	明治15年6月			冊	1	15	表紙あり 虫損
	2	第三稿	明治15年6月9日			冊	1	13	表紙あり 虫損 文部 省罫紙あり
	3	第三稿				冊	1	5	虫損
	4	第四稿	明治15年6月12日			冊	1	14	表紙あり 虫損
	5	第四稿				冊	1	10	虫損
	6	第五稿 上項下項	明治15年6月14日上 項・6月16日下項			冊	1	19	表紙あり 虫損
	7	(第五稿 前後欠)				冊	1	4	虫損
	8	第六稿	明治15年6月18日19日 20日			冊	1	13	表紙あり 虫損
	9	第三				冊	1	4	虫損
	10	第四				冊	1	4	虫損
	11	(吾曹ハ記者ノ…謬妄ヲ匡正セシニ…)				状	1		虫損
12	(原稿錯簡)				状	3		虫損	
30	1	(東京日日新聞 明治15年7月18日付草稿)	明治15年7月			冊	1	7	表紙あり 虫損
	2	(東京日日新聞 三駁京浜毎日新聞)	(明治15年7月)			冊	1	8	表紙あり 虫損
	3	(東京日日新聞 三駁京浜毎日新聞)	(明治15年7月)			冊	1	9	表紙あり 虫損
31		速記法記念会ニ於ケル演述	明治17年8月25日	高橋健三君		冊	1	10	右上破損 虫損 表紙 あり
32	1	公証人規則				冊	1	8	虫損 よごれ 太政官 罫紙
	2	公証人規則				冊	1	8	虫損 太政官罫紙
33		(公証人規則考案篇章)				冊	1		虫損 司法省罫紙 水 濡れ後半部分開封不 裏表紙あり 虫損 司 法省罫紙 訳稿か
34		(公証人規則か、前欠)				冊	1	24	
35		(日英条約の条項に関する質疑応答文案)	(明治27年)			冊	1	55	表紙あり

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
36	1	条約修正案				冊	1	29	コンニャク版 太政官 原稿用紙1枚差込 原 稿一式の付箋あり
	2	条約草案修正案				冊	1	15	外務省罫紙
37		頼母子講積金申合規則				冊	1	5	虫損
38		(東京府の市区改正費に充当するため入府税 の導入に付、前欠)				冊	1	20	破損 中央部切り取り あり よごれ・シミあり
39		(一番債主・二番債主の先取権から指令案を検 証する)				冊	1	5	虫損大 参事院罫紙
40		審美上の理想主義				状	11		原稿用紙 海雲堂製 錯簡
41		色彩論				状	9		原稿用紙 海雲堂製 錯簡 加筆インクやけ
42		囲碁原稿 (小目高懸・小目小斜走懸・大斜走 ほか)				一括	1		1点とする原稿用紙 錯簡 しみあり
43		(第四回米商共同会議開催に際し商品取引所 設立議案説明)				冊	1	3	コンニャク版
44		(原稿下書き一括)				状	13		虫損 「商船法目次」 東京法学院・[]法律 学校・文部省原稿用紙
45		(原稿類雑一括)				一括	1		1点とする カバーの背 「官報 明治18年1月」 の金文字あり カバー に「岡倉さんあまりす ますと…」墨書あり
46		代理法講義 代管法論				冊	1	68	インク書き 裏扉に「英 国代理法講義」とあり
47		政語濫用説				冊	1	2	左上破損 よごれあり

3、写本

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
1		享保七年質屋仲間連判帳 写	(享保7年7月)	老禱菴 蔵		状	3		原稿用紙 破損大
2		振濯録題言(前後欠)	安政2年冬	栖霞館主人		状	11		錯簡 上部水濡れもろ
3		北游日録	明治11年	富谷光孚(嘉平)		冊	1	63	表紙あり
4		支那理学私評 第一(六合雑誌に載す)	明治19年6月	聴秋庵主人述		冊	1	12	表紙あり 虫損
5		明法志林改良 付法律書批評会創立之卑見	明治20年5月4日	大原鎌三郎	明法志林学兄諸君	冊	1	3	上部欠 渋谷用紙使
6		馬のはなむけ	明治28年12月			状	1		折本
7		興昌寺由来大略記	文政4年9月8日	住奥昌十七代原恭誌 檀頭中ノ又村口藤宇右 衛門写之		冊	1	3	虫損大
8		上島弥四郎惟盛法師女子宇治氏代惟久舎兄 諸四郎惟季法師相論肥後国六ヶ庄中村内得 惟名田畠事				冊	1	6	虫損
9		戸田忠至国事尽力始末				冊	1	24	虫損 水濡れにじみ・ もろけ 表紙あり

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
10		和州旧跡幽考 第二卷				冊	1	4	虫損 裏表紙あり
11		(社殿見取図・正面図、藤原・足利・徳川の各時代別)				状	4		印刷物 水濡れ変色 封筒あり
12		神機營編制一斑(清国の常備軍)				冊	1	9	
13		各国史第一章		上等五級 高橋健三		冊	1	10	虫損 水濡れ変色
14		(北浦定政著書・事蹟、元明天皇陵延喜式奈保山東陵)				綴	1	10・5	「元明天皇…」上部破損 奈良県罫紙
15		訴訟判例 巻の上(後欠)				冊	1	21	虫損 とじをはずしてある
16		露国石油				状	1		虫損 水濡れ変色・もろけ とじはがれ
17		(ハングル辞書)				冊	1	7	虫損 変色 内閣原稿用紙
18		(中国語辞典)				状	3		虫損 辞典原稿「侍巳齋蔵」
19		(漢字表)				冊	1	93	虫損 表紙あり 和綴製本 高橋氏蔵罫紙 22丁白紙
20		尾張国丹羽郡の二大陵墓	明治29年	新愛知新聞主筆 田島象二		冊	1	8	

4、官報局関係

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
1		十二月一日ヨリ十五日迄官報書抜キ	(明治16年)	瓶誠		冊	1	15	表紙あり 虫損 背破れ 観楽堂版原稿用
2		(明治16から18年発刊の官報号数と単価調)				冊	1	2	虫損 太政官罫紙
3		駅通総官へ回答按(官報遞送料の件)	明治17年8月27日	庶務課	局長・書記官	綴	1	2	虫損 太政官罫紙
4		(布告布達全集印刷代見積請求書)	明治17年9月26日	印刷局活版部	文書局	状	1		虫損 大蔵省罫紙
5	1	(各新聞への官報原稿掲載件数一覧)明治17年9月分	明治17年9月			冊	1	2	虫損 文部省罫紙
	2	(各新聞への官報原稿掲載件数一覧)明治17年11月分	明治17年11月			冊	1	2	虫損 文部省罫紙
6		第十二号総会議議案 獣医開業規則ノ件	明治18年2月20日	農商務卿 伯爵 西郷従道	太政大臣 公爵 三条実美	冊	1	8	虫損 印刷物 1~15頁
7		(翻訳局設置 達、写し)	明治18年4月14日	太政大臣 公爵 三条実美	外務省	状	1		虫損 外務省罫紙
8		第十四号総会議議案 海底電信線保護聯合条約ノ件	明治18年4月17日	工部卿 伯爵 佐々木高行外1名	太政大臣 公爵 三条実美	冊	1	15	虫損 印刷物 1~29頁
9		(官報 第842号 校正)	明治18年4月26日			状	3		印刷物
10	1	上申書(内務・司法両省伺代人の件に付)	明治18年5月27日	第二局 主任御用掛	内閣書記官長	綴	1	14	虫損 太政官・参事院・司法省罫紙
	2	(代人ノ契約ニツイテ)				冊	1	3	虫損 参事院罫紙
	3	新聞紙条例第三十条中追加ノ儀	明治18年7月7日	元老院議長 佐野常民	内閣委員 参事院議官 補 高橋健三	状	2		虫損 元老院罫紙
11		(貿易規則草案凡例掲載方御取計の件)	明治18年7月29日	外務省官報報告掛	文書局	冊	1	2	虫損 外務省罫紙

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
12		十八年七月より局員俸給支払高	(明治18年7月～)			状	1		虫損 太政官罫紙
13		(清水峠開道式に係る報告の儀に付申達)	明治18年8月29日	内務権少書記官 木間 瀬柔三	文書局幹事 高橋健三	状	1		虫損 内務省罫紙
14		第四十九号総会議議按(軍用電信隊の電機上に係る妨害処分の件外)	明治18年8月	陸軍卿 伯爵 大山巖		冊	1	3	虫損 変色 印刷物 1～5頁
15		第三十四号総会議議案追加案(興業銀行条例案中改正の件)	明治18年9月10日	大蔵卿 伯爵 松方正義	太政大臣 公爵 三条 実美	冊	1	2	虫損 コンニャク版「秘」印あり
16	1	布告布達自今官報ニ登載スルヲ以テ公式トスルノ件上申案	明治18年9月	庶務課・官報課	局長・幹事	冊	1	3	虫損 太政官罫紙
	2	布告案(布告布達ハ官報ニ搭載スルヲ以テ公式トス)	明治17年6月			冊		5	虫損 太政官罫紙
	3	布告案(訂正済)	明治17年6月			冊	1	4	虫損 太政官罫紙
17		官報登載ノ資料及報告取調ニ関スルノ件上申	明治18年9月	庶務課・官報課	局長・幹事	綴	1	8	虫損 太政官罫紙
18		(御用候条礼服用参官可有之)	明治18年10月7日	内閣書記官	参事院議官補 高橋健	状	1		封筒あり 虫損大
19		(聯合郵便条約細目規則御回付に付回答)	明治18年10月22日	駅運局	参事院議官補 高橋健	状	1		虫損 駅運局罫紙
20		(官報目次記載方案文供覧の件)	明治18年10月29日	調査委員長[]	局長・幹事	冊	1	3	虫損 太政官罫紙
21	1	日本官報ノ評(濱田訳、ジャパン・デイリー・メール 原稿)	1885年10月31日	東京 エチ・ストーン	林 薫	冊	1	3	虫損 太政官原稿用紙
	2	日本官報ノ評(本年11月2日ジャパン・デイリー・メール 清書)	1885年10月31日	東京 エチ・ストーン	林 薫	冊	1	5	虫損 太政官罫紙
22		(公証人規則制定に付調査委員被命候)	[明治18年]11月13日	参事院書記官	高橋議官補	状	1		虫損 封筒あり
23		茨城県へ通牒案(長岡小学校訓導願出の件返却に付)	明治18年12月12日	官報課	局長・幹事・課長	冊	1	3	虫損 太政官罫紙
24		官報 号外	明治18年12月29日	内閣官報局		状	1		虫損 印刷物
25		第拾六号総会議議按・第三十五号総会議議按外	明治18年			冊	3		破損大 開き不可 印刷物 第35議案2冊
26	1	(新聞紙上に広告した銀行諸会社の報告類を官報に掲載申請に関する達案)	明治18年	文書局		綴	1	6	太政官・内閣罫紙
	2	(銀行会社広告料案)				冊	1	2	虫損 内閣罫紙
27		(明治19年官報局予算)	(明治18年)			冊	1	14	虫損 内閣罫紙
28	1	(官報購読義務者に関する上申案、草案共)	明治18年10月2日	庶務課・官報課	局長・幹事	状	2		虫損 太政官罫紙
	2	百円未満及八拾円未満奏任官准奏任官御用掛並郡区長人員統計表	明治18年8月31日調			状	1		太政官罫紙
29		(明治18～20年官報購読部数調)	(明治18～20年)			状	1		虫損 内閣罫紙
30		地方報告(主)任ト気脈ヲ通スルノ手續要略	明治19年2月5日	編輯課	局長・次長	冊	1	2	虫損 太政官罫紙
31		明治19年3月18日勅令 参謀本部条例抄録	明治19年3月			状	1		虫損 内閣罫紙
32		北海道庁・府県へ照会案(公報印刷費嵩みに)	明治19年4月6日	編輯課	局長・次長	冊	1	3	虫損 内閣・太政官罫
33		海軍省令第四十号(購買事務規定)	明治19年6月2日	海軍大臣 伯爵 西郷 従道		冊	1	4	内閣罫紙
34		(官報印刷場物品購入方に付上申)	明治19年6月4日	印刷局会計主務 二等 技師 三浦十郎	内閣会計主務 田口乾三	状	1		虫損 内閣罫紙
35		官報印刷場々員ノ儀上申	明治19年7月5日	印刷監督	局次長	冊	1	4	虫損 内閣罫紙
36		外務省へ答案(無給交際官試補の官報購読の件)	明治19年7月6日	配送掛	次長	冊	1	4	虫損 太政官・外務省・内閣罫紙
37		回章(官報売捌事務引継慰勞納涼会開催通知・局員住所録)	明治19年7月23日	高橋健三・小原沢重雄	河野瀬之外24名	状	2		包紙共 変色・もろけ 内閣罫紙
38		官報局分課調	明治19年8月3日			冊	1	4	虫損 太政官罫紙

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
39		河上領事へ遺す書翰案(活版石版印刷事業の報道依頼の件)	明治19年9月29日	印刷監督	局次長	冊	1	3	虫損 内閣罫紙
40		(花瓶御恵贈鳴謝の件、ドイツ語原文と訳)	1886年10月2日	キーレル		状	2		虫損 内閣罫紙 書簡はインク書き
41		各官庁へ照会案(官報掲載のため官庁刊行物回送に関する件)	明治19年11月26日	編輯課	局次長	状	1		虫損 内閣罫紙
42		外務省へ回答案(外国新聞記事の掲載について)	明治19年12月2日	編輯課	局次長	冊	1	2	虫損 内閣罫紙
43		各官庁へ照会案(近時公式文書中誤謬多きに付)	明治19年12月11日	次長		冊	1	2	虫損 内閣罫紙 付表 コンニャク版
44		官報(発兌仕様書)	(明治19年)			冊	1	2	虫損 変色 上部破損 大 内閣罫紙
45		日本帝国官報(第1051号校正)	明治20年1月4日	内閣官報局		冊・状	2	6	虫損 印刷物
46		(昨年中官報原稿件数及正誤一覧表省庁府県へ回送の件)	明治20年1月26日	編輯課	局次長	冊	1	3	虫損 インクにじみ 内閣罫紙
47		宮内省へ回答案(京都市行幸啓の官報掲載に)	明治20年2月1日	編輯課		状	1		虫損 内閣罫紙
48		(還幸に付奏任官奉迎の件通達)	明治20年2月22日	内閣書記官長 田中光	官報局次長 高橋健三	冊	1	3	虫損 内閣罫紙
49		(新聞紙雑誌開廢調べに付回答の件)	明治20年4月22日	内務省総務局報告課	内閣官報局編輯課	状	1		虫損 内務省罫紙
50	1	官報事業ノ景況ニ付上申	明治20年7月21日	官報局次長 高橋健三	内閣総理大臣 伯爵 伊藤博文	冊	1	4	虫損 内閣罫紙 上 部・左側破損大 もろ
	2	官報発送部数ノ増加ノ儀上申案	明治20年6月	官報局次長 高橋健三		冊	1	2	虫損 内閣罫紙
51		電気点灯数増減ニ依り石炭消費調	明治20年10月2日	機関室長 副島多一		冊	1	2	虫損 内閣罫紙
52		(官報局便覧)	(明治20年)			冊	1	76	表紙あり 和綴製本 虫損 下部に破損大 42丁白紙
53		二十年自一月四日至十二月十五日勤務時間	明治20年			冊	1	2	虫損 内閣罫紙
54	1	(皇子・皇女降誕の官報掲載に付協議依頼ならびに回答)	明治20~21年	内閣官報局次長 高橋健三	宮内省官報報告主任 宮内書記官齋藤桃太郎	冊	1	4	虫損 内閣罫紙
	2	(皇子・皇女降誕の官報掲載に付協議依頼ならびに回答)	明治20~21年	内閣官報局次長 高橋健三	宮内省官報報告主任 宮内書記官齋藤桃太郎	冊	1	4	虫損 もろけ 破損大 内閣罫紙
55		官報登載手数料徴収ノ件上申案	明治21年1月12日	官報売捌所	官報局次長・会計局長	冊	1	2	虫損 内閣罫紙
56		自明治二十年四月至二十一年三月官報発送部数并量目見込	明治21年2月3日調			冊	1	2	虫損 内閣罫紙
57		(官報局支出額調)	明治21年2月21日調			冊	1	2	虫損小 内閣罫紙
58		上申案(輪転機械購入に付局員海外派出の件・輪転印刷機械概要)	明治21年2月9日		次長	綴	1		虫損小 内閣罫紙 輪 転機械概要は印刷物
59		(官報附録歳入出予算表中誤謬有之に付処分奉伺の件)	明治21年3月20・21日	官報印刷場等外四等工 近野重誠外2名	官報印刷場長 西田広 規・官報局次長 高橋健 三	冊	1	4	虫損
60		明治十六年七月内務省伺神宮并官国弊社官報購読義務ノ件指令取消ノ儀上申	明治21年3月	官報局		冊	1	4	虫損 内閣罫紙
61		(当局火災による官報罹災に付照会の件)	明治21年3月	東京郵便局外	官報局	冊	1	5	虫損 内閣罫紙
62		収支予算の事	明治21年4月24日			冊	1	4	虫損 変色 内閣罫紙
63		明治二十一年四月中実験 機械運転・電灯用石炭焚高表	明治21年4月	官報印刷場		冊	1	3	虫損 官報局罫紙
64		(日本赤十字社より入社勧誘に付申達)	明治21年6月15日	内閣官報局次長 高橋健三	局員	冊	1	8	虫損小 内閣罫紙
65	1	官報中ノ重要記事ヲ外国文ニ訳シ其附録トシテ発刊スルノ議(下書)	明治21年6月29日	内閣官報局次長 高橋健三	内閣総理大臣 伯爵 黒田清隆外1名	冊	1	3	虫損 表紙あり

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	官報中ノ重要記事ヲ外国文ニ訳シ其附録トシテ発刊スルノ議	明治21年6月29日	内閣官報局次長 高橋健三	内閣総理大臣 伯爵 黒田清隆外1名	冊	1	3	虫損 内閣罫紙
66		原稿調査担任ヲ置ケノ議	明治21年10月6日	編輯課 野村	局次長	状	1		虫損 内閣罫紙
67		上申案(各局の図書を保存する記録局の版權登録に関して明文の必要の件)	明治21年10月25日	往復掛 蛭江	次長	状	1		虫損 内閣罫紙
68		(府県、郡区数、戸長役場数調べ)	明治21年12月現在	吉村		冊	1	2	虫損 内閣罫紙 注意書き1枚挟み込み
69	1	(官報局内規ならびに業務実績書上 校正案)	(明治21年)			冊	1	2	虫損小 内閣罫紙
	2	(官報局内規ならびに業務実績書上 下書)	(明治21年)			冊	1	2	虫損小 太政官罫紙
70		戦利(高橋健三辞表提出に関する伊藤伯・田中書記官長との往復書簡写し一括)	(明治21年)						包紙共、田中書簡本紙は書簡の部に置く
	1	書簡(兼て進呈の辞表御聞被成下度、下書)	明治21年3月12日	高橋健三	伊藤伯爵	状	1		継離れ 断簡2
	2	書簡(明日出閣の上、内訓次第拝承に付、下)	(明治21年3月13日)	(高橋健三)	(田中書記官長)	状	1		
	3	(伊藤伯・田中書記官長との往復書簡写)	(明治21年3月13日)	(高橋健三)	(伊藤伯爵・田中書記官長)	状	1		継離れ 断簡2 ①②含む5通の写し
	4	(官報局長と次長に関する新聞記事写)				状	1		赤インク書き
71		(全国区役所・郡役所数調べ)	(明治21年)			冊	1	2	虫損 駅運局罫紙
72		明治二十一年自一月至八月官報一部頁数并印刷費	[明治21年)			状	1		虫損 内閣罫紙
73		海軍省官報々告主任へ照会按(法令全書追加条項に付了承相成度)	明治22年1月7日	編輯課法令全書掛 重雄・蛭江・赤木	局次長	状	1		虫損小 内閣罫紙
74		積り書	明治22年1月28日	東京電燈会社	官報局	状	1		虫損小
75		(一個人より官報原稿届出之儀に付農商務省へ回答案)	明治22年1月29日	編輯課 石井條	次長	冊	1	6	潔水よりの書簡・上願書
76		京都府へ照会案(京都府田中敬造より官報へ掲載依頼に付)	明治22年1月29日	編輯課 石井條	局次長	冊	1		虫損 内閣罫紙 田中敬三原稿添付
77		臨時賞与ノ件上申(憲法発布に際し局員一同非常の激務に付)	明治22年2月18日	官報局	内閣書記官長	状	2		虫損 内閣罫紙 「明治22年2月19日決済高橋」赤インク書き
78		官報(1689号附録 民刑事図表)	明治22年2月19日	(内閣官報局)		冊	1	6	11頁 印刷物 汚れあり
79		(輪転機械購入金取組先通報の件照会)	明治22年2月20日	印刷局事務長 得能通	官報局長 高橋健三	冊	1	5	虫損小 内閣罫紙
80		(官報に衆議院議員以下現数掲載を内務省より照会に付回答写同封の件)	明治22年4月8日	内閣書記官	高橋官報局長	状	3		封筒あり
81		(外国で起きた本邦に関わる事項を彙報中に掲載方上申)	明治22年4月17日	翻訳課 川田	局長	状	1		虫損小 内閣罫紙
82		(諸新聞紙雑誌検閲分担表)	明治22年4月26日			状	1		虫損 内閣罫紙
83		原稿取捨ノ件(地方諸会記事は会全体の景況がわかるものを掲載する)	明治22年4月30日	編輯課 古川	局長	状	1		虫損小 内閣罫紙
84		(輸入品拾壱種取調に付回答の件)	明治22年5月23日	大蔵省関税局	内閣官報局	冊	1	2	虫損 大蔵省罫紙
85		官報広告掲載ノ件	明治22年6月	内閣官報局		冊	1	2	虫損 内閣罫紙
86		(本年上半年管内重要品の商況は農商務省へ報道の件申進)	明治22年8月3日	長野県官報々告主任	内閣官報局	状	1		虫損小 長野県罫紙
87		官報局経費科目更正ノ件上申案	明治22年9月	官報売捌所	局長	冊	1	2	虫損小 内閣罫紙
88		本局判任官所労日数取調表送付案	明治22年10月30日	往復掛	局長	冊	1	5	虫損小 内閣罫紙
89		(官報用紙別摺見本)	明治22年11月9日	(内閣官報局)		冊	4		4頁分印刷物 帯封あり
90		(海外出張4ヵ月旅費見込金額調書)	明治22年			状	1		虫損小 封筒・付箋あり

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
91		(仏国派遣に付宮内省より拜謁通知の件 海外旅券送付の件)	明治23年2月18日	内閣書記官	官報局長 高橋健三	状	2		旅券送付の件のみ変色・破損
92		(マリノニー印刷機購入に関する為替手形に関する書類一括)	明治23年2～11月			一括	1		虫損・破損・もろけ 錯簡一括で1点とする
93		第五号・第六号(改良新型輪転印刷機械2台受注領収証)	1890年4月1日	マリノニー・ミショー	日本帝国官報局長 高橋健三	冊	1	2	
94	1	(官報局に印刷場を設置に付)約定案	明治23年			冊	1	2	虫損小 太政官罫紙
	2	(官報局に印刷場を設置約定書)	明治23年			冊	1	2	虫損小 太政官罫紙
95		二十四年度予定経費各目明細書(廳費内訳調書共)	(明治23年)			冊	1	37	虫損大 付箋多数あり 取扱注意 内閣罫紙 表紙あり
96		(渡航中心得書)	(明治23年)			状	1		
97		記(マリノニー製新聞紙印刷器械見積)	(明治23年)	ファブルブランド商会 伊東榮		状	1		虫損 変色 破損大
98		(私信 1700佛小生預り居、マリノニー会社へ 払込其領収書を封中差送に付御収査被下度)	明治23年9月11日	大山	高橋老台	状	1		破損大 農商務省罫紙 山縣伯夫人の洋
99		官報掲載シカゴ万国博覧会事項切抜	(明治23年)			冊	1	5	印刷物 台紙となっ ている内閣罫紙は破損 大 もろけあり 表紙
100		(大津事件に関する露国ノウオエ・ウレーミヤ・ 露国官報訳文)	明治24年5月			状			虫損 内閣罫紙
101	1	大津事件二関スル仏国諸新聞紙記事抄訳	(明治24年5月)			冊	1	6	虫損 変色 青罫原稿 用紙
	2	大津事件二関スル仏国諸新聞紙記事抄訳第 二	(明治24年5月)			冊	1	8	虫損 変色 青罫原稿 用紙
	3	大津事件二関スル仏国諸新聞紙記事抄訳第 三	(明治24年5月)			冊	1	4	虫損 変色 もろけ 破損大 青罫原稿用 紙
	4	大津事件二関スル仏国諸新聞紙記事抄訳第 四	(明治24年5月)			冊	1	3	虫損 変色 内閣罫紙
102		露国皇太子ノ御遭難地、	(明治24年5月)			冊	1	11	虫損 変色 内閣罫紙 No.99・100と関連あり
103	1	(鹿兒島県仮宿村外5力村戸長役場官報代価 未納に関する照会案・回答)	明治24年9月4日	大倉大臣官房第四課	内閣官報局	状	2		虫損 変色 内閣罫紙 官報局封筒あり
	2		(明治23～25年)			状	1		虫損 変色 内閣罫紙 官報局封筒あり
104		(コロンブス世界博覧会に関する訓令・告示 1 ～9)封筒		臨時博覧会事務局	監査官 高橋健三				①に収納
	1	官報号外(コロンブス世界博覧会に関する告)	明治24年6月5日	内閣官報局		冊	1	8	印刷物 15頁
	2	勅令第五十二号 臨時博覧会事務局官制	明治24年6月5日	内閣総理大臣 松方正 義 農商務大臣 陸奥		状	1		官報版 印刷物
	3	(臨時博覧会事務局告示第1～5号)	明治24年10～12月	臨時博覧会事務局総裁 農商務大臣 陸奥宗光		状	5		官報版 印刷物
	4	(臨時博覧会事務局訓令第1・2号)	明治24年10月3日・明 治25年1月25日	臨時博覧会事務局総裁 農商務大臣 陸奥宗光		状	2		第1号官報版印刷物 第2号コンニャク版
	5	事務局出品製造方之儀二付達案・(出品目 録)・美術部と往復書類訳文	明治25年1月11日	(臨時博覧会事務局)出 品課	総裁・副総裁・庶務課	冊	3	14	コンニャク版 達案(2) 目録(5)訳文(7)
	6	内訓(コロンブス世界博覧会出品概目報告期 限延期ノ件)	明治25年1月25日	臨時博覧会事務局総裁 農商務大臣 陸奥宗光	北海道庁・府県	状	1		印刷物

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	7	勅令第十二号(コロンブス世界博覧会に関する物件の処分の件)	明治25年2月1日	農商務大臣 陸奥宗光		状	1		コンニャク版
	8	勅令二十二号(勅令五十二号改正追加の件)	明治25年3月10日	内閣総理大臣 松方正義 農商務大臣 陸奥		状	1		コンニャク版
	9	内訓(出品噸数の節減に関する件)	明治25年4月14日	臨時博覧会事務総裁 農商務大臣 河野敏鎌	北海道庁・府県	状	1		印刷物
	10	博覧会事務局告示の要旨				冊	1	3	印刷物 5頁 表紙あり
105		(御巡幸記事を官報へ掲載方之儀に付申進の)	7月27日	草野宣隆	古木・高橋	冊	1	2	虫損 太政官罫紙
106		(官報原稿その他送り状一括)				状	23		封筒あり 書簡形式のも含む 虫損 変色
107		(官報原稿受領・領収書)				状	7		変色 破損 もろけ 内務省罫紙あり
108		(官報原稿下書き)				冊・状	8		冊はコンニャク版 不鮮明で開き不可 各省の罫紙あり
109		(投票結果明細、衆議院議員)				冊	1	8	上部破損 もろけ 変
110		(鉄道各線駅名一覧)				冊	1	2	虫損小 内閣罫紙
111		(浦和東京間、前橋東京間、横浜東京間発着汽車便及び千葉東京間馬車発着時刻一覧)				冊	1	2	虫損小 内閣罫紙
112		中山道鉄道公債応募ノ景況及其ノ増募				冊	1	3	文部省罫紙
113		口達案(官報掲載の達・指令・雑誌資料に付)				状	1		虫損小 文部省罫紙
114		出版書目ヲ類別スル部門				冊	1	2	虫損 太政官罫紙
115		(書籍分類項目)				冊	1	6	虫損 太政官罫紙
116		賞金ノ内三千万円ヲ帝室ノ御料ニ納ムル件ニ付件建議案				冊	1	2	
117		生命保険会社景況(官報原稿)				状	1		虫損小 太政官原稿用紙
118		法令全書毎月二回発刊ニ付増費見込左記ノ如シ				冊	1	2	虫損小 太政官・内閣罫紙 ためし書きあり
119		来ル一月ヨリ実施スヘキ事項左之如シ(官報局)				状	1		虫損 太政官罫紙
120		官報掲載事項ノ儀ニ付上申案				冊	1	6	虫損小 太政官罫紙
121		法律原案ヲ官報ニ登載スルノ件上申案				冊	1	2	虫損小 太政官原稿用紙
122		法令ノ説明ヲ官報ニ登載セサルノ儀				冊	1	2	虫損小 太政官罫紙
123		御達案(武官奏任官月報に付改正案)				状	2		虫損 太政官罫紙 付
124		編輯課管掌(事務分掌)				冊	1	4	虫損 内閣罫紙 メモ書き1枚挟み込み
125		(官報号外の特別配達及発送に関する駅通局照会に付供覧の件)	明治18年11月~12月			冊	1	8	虫損小 太政官・駅通局罫紙 書状形態の
126		官報郵税減額ノ儀ニ付上申案				状	1		虫損
127		官報広告御許可項目私按				冊	1	2	変色 もろけ 破損 大山田製罫紙
128	1	明治十六年十二月各地方官上京ノ節山縣監督より内儀ノ覚書	明治16年12月			状	1		変色 虫損小 太政官罫紙
	2	(各府県郡役所及戸長役場に官報を逕憑する郡区役所戸長役場に官報ヲ購買セシムルノ件諮問案)				状	1		虫損小 太政官罫紙
	3					冊	1	3	虫損小 文部省罫紙

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
129		(官報売捌に関する内問に付御答)				冊	1	3	虫損小 棲鳳館罫紙
130		官報販売取次公告案				状	2		虫損小 印刷物
131		地方報告主任官注意				冊	1	6	虫損
132		御請書(地方官報売捌方被命に付)				冊	1	2	虫損 内閣罫紙
133		府県公報ヲ官報附録ト為スニ付部数等算出調				冊	1	2	虫損 内閣罫紙
134		千葉県報ヲ官報附録ト為スノ計画左ノ如シ				冊	1	2	虫損 内閣罫紙
135		(往復掛日誌担当員設置の件)				冊	1	2	虫損小 変色 内閣罫
136		(官報普及の必要と代価低度の方法)				冊	1	3	虫損小 太政官罫紙
137		(工場雇人の発明にかかわる専売特許につい				冊	1	2	虫損 参事院罫紙
138		紙取器械湿気機械等(各社の比較、写本)				冊	1	6	虫損
139		公式物以下欄称及欄次改正案				冊	1	3	虫損 太政官罫紙
140		官報鉛版(二夕通り)印刷時間表				状	1		虫損 内閣罫紙
141		官報在来版改正版比較調				冊	1	2	虫損 太政官罫紙
142		(官報用紙見本)				状	2		虫損 よごれ
143		(鉛活字一覧表)				冊	1	5	虫損 変色 破損
144		(印刷機械について?)	1889年	C.&J. FAVRE-BRAN		状	1		虫損 英文
145		(輪転機械代・運搬費見積書)				状	1		虫損 変色 内閣罫紙
146		(受ノ分払ノ分 機械輸入税・陸揚持込費ほか)				状	1		虫損 下部変色 内閣罫紙
147		(印)刷機械書類				状	1		表紙のみ 虫損 変色 もろけ 破損大
148		(9月12日~27日発着)				状	1		虫損 内閣罫紙

5、国政一般

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
1		(西洋形船舶数の差異に付取調の件照会)	明治14年8月25日	(商務局)管船課 速水	高橋健三	状	1		封筒あり 宛先住所 「京橋区木挽町」変色 (色移り)農商務省
2		(書籍取調に付借覧の分返却相成度につ)	明治17年3月10日	管船局庶務課	駿河台紅梅河岸 高橋 健三	状	1		封筒あり 宛先住所 「駿河台紅梅河岸」
3		元老院会議筆記(新聞紙条例第30条中改正の儀)	明治18年7月6・8日			冊	1	21	42頁 印刷物 水濡れ もろけ
4		総会議議按属(第7号絹布税則、第9号種痘規則、第10号電信条例改正布告)	明治18年			綴	1		印刷物 水濡れ もろ け 第9号破損大 第7 号「秘」朱印
5	1	法典実施延期意見	明治25年4月14日	江木衷 他10名(編纂者 入江久太郎)		冊	8	28	表紙あり 和綴印刷 物 非売品 「秘」丸朱
	2	法典延期同盟員姓名簿				状	1		上部破損
6		(内閣官員・府県知事・元老院一覧、第1次伊藤内閣)	明治18~21年			冊	1	17	汚れ 変色 破損大 内閣罫紙 生年月日 記入あり
7		(第二回貴族院議員選挙にあたり愚意を述べ高教を仰ぐ)	明治30年1月	子爵 大給 恒		状	1		印刷物

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
8		(伯子男爵会派同意者調査一覧ならびに作成資料)	(明治30年1月)			冊・状	9		冊2(2) 状7下書き含む 一覧は明治30年1月印刷のものを使用
9	1	(貴族院伯子男爵議員選挙規則第五条二関シ伯子男爵現在員取調方回答)	明治30年3月3日	爵位局長 公爵 岩倉 具定	内閣書記官長 高橋健三	冊	1	3	内閣野紙
	2	(二十三年・三十年貴族院議員現員比較表)				状	1		インク焼け
10		乾第七四〇号(明治31年度経費概算調整に関する通達)	明治30年4月14日	大蔵大臣 伯爵 松方 正義	内閣書記官長 高橋健三	状	1		内閣野紙
11		(第二回総選挙にあたり公平無私の眼を以て臨むことを欲す)	明治30年5月	榎本武揚外7名		状	1		印刷物
12		第一回(貴族院内会派同意者一覧)	(明治30年6月1日)			状	1		印刷物
13		東京日日新聞号外(子爵議員互選の結果)	明治30年7月11日	日報社発行		状	1		印刷物
14		内閣より今回の総選挙に付伯子男三爵に向けて希望の趣旨	(明治30年)			状	1		糊剥離
15		(子爵一覧)	(明治30年)			冊	1	3	右下変色
16		(貴族院内賛成・反対人員調べ)	(明治30年)			状	1		
17		(内閣行政官吏任用下案)	(明治30年)			状	3		
18		(明治31年度予算編成に関する点書上げ)				状	1		糊剥離
19		総会議議員出席表				状	1		印刷物
20		(明治恤救基金創設建言書)				冊	1		虫損 非不能書屋用
21		(概況・実況等調査項目書上げ)				状	1		法制局野紙
22		(清国征伐する為に恐れ多くも我君ハ……)				状	1		俗謡風の歌 糊剥離
23		(小石川後楽園に於て園遊会開催案内文案、割付指定表、衆議院・貴族院宛)	明治25年6月17日		(高橋健三)	状			封筒欠、状4(4枚だが、関連性から1点と

6、文部省・教育

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
1		(文部省の学位授与に関し再議建言書)	明治10年11月	浜尾 新		冊	1	15	虫損 左部分変色 表紙あり
2		局長ヨリ諮問会員ヘ示諭参考書(農学校開設に付)	明治15年11月27日	後藤達三		冊	1	3	虫損 上部変色 右上部欠損 文部省野紙
3		達 第拾壹号(町村立私立学校等調査ノ儀ニ付)	明治16年6月19日	文部卿 福岡孝弟	府県	状	1		虫損 印刷物「健三」押印あり
4		(山口県違警罪学務委員、無許可学校開設者の召喚は削除に付了承の件)	明治16年6月26日	内務書記官	文部書記官	状	1		虫損 文部省野紙
5		農学校教員ノ儀ニ付御達ノ件	明治16年	専門学務局取調係 若林高孝	専門学務局長・調査課長	冊	1	3	虫損 変色 表紙あり 33丁白紙 計算式書込みあり
6		増訂 英華字典第一回分印刷落成ニ付稟告(東京大学法学部・文学部教則改正に付教員受持学科・生徒の級数変更案)	(明治16年)			冊	1	45	虫損小 下部欠損 文部省野紙
7		東京大学法学部別課設置ノ趣旨要項	(明治17年)			冊	1	3	虫損小 文部省野紙
8		達(華族女学校規則)	明治18年9月5日	宮内卿伯爵 伊藤博文		冊	1	12	虫損小 印刷物

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
10		帝国大学拡張考按	明治24年8月	九鬼隆一		冊	1	7	「当分秘」朱印 虫損 小 右上部欠損 変色 もろけ コンニャク版 表紙あり
11		(全国宝物取調事業大梗)	明治24年8月			冊	1	23	「当分秘」「秘」朱印 虫損小 変色 もろけ コンニャク版 表紙あり
12		尋常中学校設備規則(文部省令第27号達)	明治24年12月15日			冊	1	2	印刷物 4頁 表紙あり
13		公立中学校専門学校技芸学校職員名称待遇 及任免(勅令第244号達)	明治24年12月			冊	1	1	印刷物 2頁 表紙あり
14		未完(帝国美術院組織考按)	(明治24年か)	九鬼隆一		冊	1	13	「当分秘」朱印 変色 もろけ 破れ コンニャ ク版 表紙あり
15		京都大学条例	(明治24年か)			冊	1	7	「当分秘」「秘」朱印 虫損 変色 もろけ コ ンニャク版 表紙あり 上部欠損
16		万国美術会議次第うつし	明治43年7月20日	菊住ゆき子 写		冊	1	24	変色 滲み 表紙あり コンニャク版 変色 も ろけ
17		文部省事務規程				冊	1	16	虫損 もろけ 破損大
18		(文部省学務局長浜尾新君帰朝祝賀会案内)				状	6		虫損小 文部省罫紙 表紙あり
19		農学校通則				冊	1	6	汚れ 文部省罫紙
20		農書(蔵書一覽)				冊	1	2	虫損小 文部省罫紙
21		タチグラヒーノ利用ヲ起スノ議				冊	1	3	虫損小 文部省青罫 紙 後欠か
22		(学校の設置及設置の条項に係る調査に付建 言)				冊	1	5	コンニャク版 下部破 損
23		職員生徒賞与状并ニ学校奨励品付与状書式 用紙等ノ議伺	褒賞課立案			状	1		「外山氏」「外山」と記し た封筒2枚
24		(児童の教育に尽力のため学校設置に付寄附 金依頼の件)				冊	1	5	虫損小 文部省罫紙 付箋多
25		(英学を主とした学科の改正に付)				冊	1	6	虫損小 文部省罫紙 用紙挟み込み5枚
26	1	(大学授業上邦語使用に関し學術字書・本邦 言語字典編纂建言書)				冊	1	20	虫損 文部省罫紙 もろけ 変色 破損大 文部省罫紙
	2	(大学授業上邦語使用に関し學術字書・本邦 言語字典編纂建言書下書き)				冊	1	17	断簡 虫損 変色 破 損大 文部省罫紙
27		(學術対訳字典編纂に関する調査)				冊・状	2		虫損大
28		(外国教員の数を減じ邦語による内国教員養 成に関する建議)				状	1		虫損 左上欠損 文部 省罫紙
29		文部大臣ノ認可ヲ経タル學則ニ依リ法律學・政 治學又ハ理財學ヲ教授スル私立學校及帝国 大學ノ監督ヲ受クル私立法學校ニ関する条規				冊	1	5	虫損 太政官罫紙
30		學術字典編纂費概算				冊	1	2	虫損小
31		大學獨立案ノ要項(下書き)				状	1		
32		華族學校廢止ノ意見				冊	1	2	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
33		(日本語文体)				冊	1	12	虫損 太政官罫紙
34		(書籍館規則文案)				冊	1	2	付箋7枚 文部省罫紙

7、学校・機関

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
1		東京法学会第一常会討論筆記(議長星 発言者相馬・増島・鈴木・大原・岡山・金丸・大島・磯野・山本・高橋)	明治13年4月10日			冊	1	50	虫損小 東京法学会罫紙 表紙あり 白紙36丁
2		東京法学会諸印刷物注文并二収領帳	明治13年10月			冊	1	50	下部欠損 もろけ 変色 破損大 表紙あり 白紙48丁
3	1	第一期・第二期 東京法学会記事(法学会に関する印刷物貼り込み)	明治13~15年	幹事		冊	1	93	虫損 一部開き不可 東京法学会印影 白紙72丁
	2	第四期第二号報告(ハガキ 宛先不明で戻されたもの)	明治15年2月4日	東京法学会幹事		状	2		
	3	第四期第三号報告(ハガキ 宛先不明で戻されたもの・報告印刷物)	明治15年2月14日	東京法学会幹事		状	6		ハガキ4枚 印刷物2枚
	4	メモ書き				状	3		うち2枚白紙
4		(東京法学会総会記録)	明治14~15年			冊	1	50	虫損 変色 東京法学会罫紙 表紙あり 白紙47丁
5		会員宿所録(東京法学会創業会員名簿)	(明治15年)			冊	1	49	虫損小 上部一部変色 表紙あり 高橋一勝の斎藤信吉紹介状・法学会領収書挟み込
6		創業費及入会金帳簿(東京法学会)				冊	1	50	虫損小 表紙あり 白紙43丁 「和田貴一郎」名刺挟み込み
7		会員姓名録(東京法学会)				冊	1	49	虫損小 東京法学会罫紙 表紙あり 白紙
8		法学会物品録				冊	1	48	虫損 変色 東京法学会罫紙 表紙あり 白紙46丁
9		専修学校規則(明治13年9月緒言・入校証あり)	明治15年7月	専修学校		状	1		虫損 変色 印刷物
10		書籍室創設請願書(専修学校書籍室創設旨意・創設方法あり)	明治19年12月29日	伊藤善次郎・笠間忠一郎・古川巳之・平田駒之	専修学校	冊	1	9	虫損
11		専修学校広告		神田区今川小路 専修学校		冊	1	2	虫損
12		専修学校維持員規約				冊	1	3	虫損
13		ポロック氏契約法予約出版同盟者募集広告	明治20年5月	英吉利法律学校		冊	1	2	英吉利法律学校原稿用紙

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
14		英吉利法律学校沿革大略(草稿)	明治20年6月			冊	1	11	虫損 左側欠損 変色 もろけ 破損大 表紙 あり 英吉利法律学校 用紙 開き不可
15		(英吉利法律学校に原書科設置に付5千円御 下賜願、下書き)	明治20年			冊	1	3	虫損小
16		明治二十年一月中出版書目	明治20年	英吉利法律学校		冊	1	8	後半右側一部破損 英吉利法律学校原稿
17		(試験問題)	明治21年2月4日	(英吉利法律学校か)		状	12		虫損大 変色 もろけ
18		決算表(明治22年6月分)	明治22年6月	英吉利法律学校・英語 予備校・法理清華社		冊	1	12	虫損小 英吉利法律 学校用紙 表紙あり
19		予算表(明治22年7月分)	明治22年7月	英吉利法律学校		冊	1	4	英吉利法律学校用紙 表紙あり
20		九月分決算表(表紙に廻送票貼紙 明治22年 10月 東京法学院)	明治22年9月	英吉利法律学校・法理 清華社		冊	1	7	虫損小 英吉利法律 学校用紙 表紙あり
21		広告用 各地裁判所控		英吉利法律学校		冊	1	13	虫損小 英吉利法律 学校用紙 表紙あり
22		(英吉利法律学校新年宴会紹介ならびに学校 会計)				冊	1	2	虫損大 変色 一部英 吉利法律学校用紙
23		(英吉利法律学校小文庫設立資金御下賜願 下書)				状	1		糊剥離
24		英吉利法律学校々外生募集広告(案)				状	1		虫損 欠損部大 英吉 利法律学校原稿用紙
25		商船法質問				冊	1	2	虫損 左下欠損 英吉 利法律学校用紙
26		(講義項目、試験問題等一括)				状	5		法学協会雑誌用紙・英 吉利法律学校原稿用 紙・東京法学院用紙 使用
27		(東京法学院に発行の高橋・松野に関する受 領書一括)	明治22~26年	(東京法学院会計課入 江外)		状	7		
28	1	英文帝国憲法義解出版二関スル報告	明治23年11月10日	東京法学院	伯爵 伊藤博文	冊	1	3	虫損小 表紙あり
	2	自明治二十二年七月至全年十月英文帝国憲 法義解出版二関スル收支計算并現本調査表	明治22年10月1日			状	1		東京法学院用紙
	3	自明治二十二年十月一日至全年十二月三十 一日英文帝国憲法義解出版二関スル收支計 算并現本調査表	明治23年1月1日			状	1		東京法学院用紙
	4	自明治二十二年七月至全年十二月英文帝国 憲法義解出版二関スル收支計算并現本調査	明治23年1月			状	1		東京法学院用紙
29		第二回英文憲法義解收支報告	明治25年7月	東京法学院	伯爵 伊藤博文	冊	2	2	東京法学院用紙 表 紙あり
30		(御手元に留置の台帳に付け込むべき書目一 覧送り状)	12月12日	東京法学院図書係	高橋健三	状	2		東京法学院用箋
31		院友名簿(大阪市分、東京法学院)				状	1		変色 伊藤秀雄法律 事務所用紙
32	1	私立東京商業学校維持員規約		高橋健三外7名		冊	1	4	表紙あり 表紙のみ虫 損 和綴り製本

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	東京商業学校維持員規約(下書)				冊	1	3	
	3	株主心得ノコト				冊	1	3	
33		東京商業学校創立二十週年紀念葉書・太宰春台「産語」引換之証	明治43年10月16日			状	3		ハガキ2枚 袋1枚
34		(会議議決事項、明治24年1月27日・2月3日)	明治24年1~2月			状	1		虫損小 コンニヤク版
35		諸官立学校入学試験合格者并同卒業者	明治25年1月調査	(東京英語学校か)		冊	1	6	表紙あり 東京英語学校罫紙
36		非俗倶楽部記事 附会員姓名宿所録	明治25年5月31日	非俗倶楽部		冊	1	5	虫損 表紙あり
37		露西亜語学校創設ノ議	(明治25年)	(東邦協会)		冊	1	4	
38		法学士会員姓名				冊	1	4	上部変色 英吉利法律学校用紙
39		法律研究会規則(未定稿)				冊	1	12	虫損 文部省・内務省罫紙
40	1	日本新字速記学館規則・東京速成筆記学校々則				綴	1	3	虫損小 速記学館は印刷物 内務省罫紙
	2	(校名・位置・校主一覽)				状	1		虫損小 東京府罫紙
41		請求条件(東洋商業専門学校改組新設に付)				冊	1	2	
42		東京学院聯合規則				冊	1	2	虫損 表紙あり 司法省罫紙
43	1	職工学校(東京職工学校設置計画趣旨、草稿)				冊	1	5	虫損 文部省罫紙
	2	職工学校(東京職工学校設置計画趣旨、下書)				冊	1	5	虫損 変色 文部省罫
	3	(職工学校趣旨断簡)				状	2		虫損 変色 文部省罫
44	1	(大学生保護奨励会を創置し大学たるの實を示さんと欲す 未定稿)	1月19日			冊	1	4	上部欠損 変色 国華社原稿用紙
	2	(大学生保護奨励会を創置し大学たるの實を示さんと欲す 下書)				冊	1	4	英吉利法律学校原稿用紙
45	1	大学生保護奨励会規則				冊	1	2	国華社原稿用紙
	2	大学生保護協会発起人ハ…(発起人名あり)				状	1		糊剥離
46	1	(高橋一勝氏紀念高橋法律文庫創立趣旨書草稿)				冊	1	4	破損大 開き不可 虫損 変色 もろけ 太政官罫紙
	2	(高橋一勝氏紀念高橋法律文庫創立趣旨書、同志者人名簿)	明治20年2月			綴	1	8	
47		(遠隔地方で講義に出席不能者のために校外員制導入に付案文)				冊	1	2	虫損 講義科目からみて専修学校のものか
48		(英吉利法律学校卒業証書案文一括)				状	6		破れ 上部・下部破損 変色
49		(講師氏名)	明治20年3月24日		司法大臣伯爵 山田顕	状	1		虫損小
50		(契約法校正を御見聞見込請取被下度)	6月20日	横井(鐵太郎)	(高橋)健三先生	状	1		虫損 英吉利法律学校用箋
51	1	書籍館通則(草稿)				冊	1	4	虫損小 文部省罫紙
	2	書籍館通則(按文)				冊	1	3	虫損小 文部省罫紙
	3	書籍館通則				冊	1	3	虫損小 文部省罫紙
52		(東京法学院に関する諸受取書一括)		東京市神田区錦町 東京法学院	高橋様	袋	1		封筒入 状・綴

8、出版・会社

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
1	1	(印刷事業・新聞紙発行事業に関する規約書)	明治20年3月			冊	1	12	虫損 表紙あり 内閣
	2	(印刷事業・新聞紙発行事業に関する規約書)	明治20年4月			冊	1	6	罫紙綴じ込みあり白紙 虫損 乾草社のことか
2		八尾小川ヨリ借入ノ勘定書松野さん分預り(封筒上書)				状	1		封紙
	1	記(一金參十式円貳拾六錢也受取)	明治24年12月9日	小川健三	松野貞一郎・高橋健三	状	1		
	2	記(金七円貳拾四錢也受取)	明治24年12月9日	小川健三	松野貞一郎・高橋健三	状	1		
	3	記(堀口氏返金分 元金四百円 元金五拾貳円五十錢 後欠)				状	1		
	4	記(元金四百円 元金五拾貳円五十錢 後欠)				状	1	1	8-2-③と同じか
3	(大阪朝日新聞記事原稿、東海道外鉄道速加表一括)	明治26年				状	28	28	錯簡状態なので枚数を記す 大阪朝日新聞社・朝日新聞原稿用紙
4	(大阪朝日新聞記事原稿一括、日清講話・法典延期など)	(明治28年)				状	32	32	錯簡状態なので枚数を記す 大阪朝日新聞社原稿用紙
5	(11月分・12月分経費書上げ、大阪朝日新聞)					冊	1	3	虫損 下部汚れ
6	有馬竹細工景況(朝日新聞記事下書)					状			虫損 上部欠損 変色 朝日新聞社罫紙
7	第八議會出京社員往復旅費滞在日当表(大阪朝日新聞社)					状	1		変色 朝日新聞社罫紙
8	国華発兌ニ附キ国華社ト竹内広助トノ契約ヲ取結フコト左ノ如シ	明治22年9月				冊	1	2	
9		(国華第1号・第2号発行に関する書類一括)	明治22年10~11月						
	1	国華第一号目次(朱書き)				状	1		糊剥離
	2	記(国華第壹号壹千部請求書)	明治22年10月	築地活版製造所	国華社	冊	1	2	虫損 変色
	3	御積(国華表紙壹千枚紙料ならびに石版印刷)	明治22年11月27日	知新堂	高橋	状			虫損小
	4	御積り書(国華表紙印刷代・用紙代)	明治22年11月28日	知新堂	高橋	状	1		虫損小
	5	(国華第二号刷見本)	明治22年11月			状	1		虫損 欠損 変色 印刷物
10	明治廿五年九月二十日国華社財産調	明治25年9月20日				冊	1	2	虫損
11		(国華社収支計算表)	明治25年11~12月	国華社					
	1	明治廿五年十一月中収支計算書	明治25年11月			状	1		糊剥離 「二宮辰」印 横書洋罫線紙
	2	明治廿五年十一月中及自七月至十二月計算				状	1		横書洋罫線紙
12		(国華社負債調外関係書類一括)	(明治25年)						
	1	(十二月廿二日高橋借入現在高)	明治25年12月22日			状	1		上部・下部汚れ 国華社罫紙
	2	(差引借入現在高書上げ)	明治25年			冊	1	2	国華社罫紙
	3	御伺ノ件	明治26年			冊	1	3	国華社罫紙
13		(国華社出入計算書)	明治26年						
	1	廿六年一月中国華出入計算表・収支計算表	明治26年1月	国華社 印		状	1		横書洋罫線紙 「二宮辰」印
	2	廿六年六月中収支表	明治26年6月			状	1		破れ 横書洋罫線紙

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	3	明治廿六年七月中収支報告書	明治26年7月	国華社		状	1		横書洋罫線紙 封筒 上書き「日本橋両国芳 川町国華社」「大阪中 ノ島高橋健三」
	4	①明治廿六年八月中収支計算表	明治26年8月	国華社		状	1		横書洋罫線紙 封筒 上書き「日本橋両国芳 川町国華社」「大阪中 ノ島高橋健三」
		②八月份収支計算表別紙之有候也	明治26年9月11日	国華社 印	高橋健三	状	1		虫損
	5	①明治廿六年十月中収支計算表	明治26年10月	国華社		状	1		横書洋罫線紙 封筒 上書き「日本橋両国芳 川町国華社」「大阪中 ノ島高橋健三」
		②十月分經常収支計算表別紙之通有之候也 (国華社収支報告書)	明治26年11月10日	国華社 印		状	1		
14			明治29年9~12月						
	1	国華社九月中収支報告表 国華社九月中重要物品出入表(明治29年9月 30日調)	明治29年9月30日			状	2		横書洋罫線紙 右上 側欠損 封筒上書「京 橋区弥左衛門町国華 社 遠山友三郎」「麴 町区永田町高橋健三」
	2	国華社十月中収支報告表 国華社十月中重要物品出入表(明治29年10 月31日調)	明治29年10月31日			状	2		横書洋罫線紙 右上 側欠損 封筒上書「京 橋区弥左衛門町国華 社」「麴町区永田町 高橋健三」
	3	国華社十一月中収支報告表 国華社十一月中重要物品出入表(明治29年11 月30日調)	明治29年11月30日			状	2		横書洋罫線紙 右上 側欠損 封筒上書「京 橋区弥左衛門町国華 社 遠山友三郎」「麴 町区永田町高橋健三」
	4	①国華社十二月中収支報告表 明治29年12月 31日調 国華社十二月中重要物品出入表 (明治29年12月31日)	明治29年12月31日			状	2		横書洋罫線紙 封筒 上書「京橋区弥左衛門 町国華社 遠山友三 郎」「麴町区永田町高 橋健三」
		②明治廿九年度収支報告年表(29年12月31日 調)	明治29年12月31日	東京市京橋区孫左衛門 町 国華社		冊	1	7	④-1と同封 上部欠損 国華社罫紙
15			明治30年1~12月						
	1	国華社一月中収支報告表 国華社一月中重要物品出入表(明治30年1月 31日調)	明治30年1月31日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	1		横書洋罫線紙 報告 書左一部欠損 封筒 上書「京橋区弥左衛門 町国華社 遠山友三 郎」「麴町区永田町高 橋健三」
	2	国華社二月中収支報告表 国華社二月中重要物品出入表(明治30年2月 28日調)	明治30年2月28日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 報告 書右側一部欠損 封 筒上書「京橋区弥左衛 門町国華社」「麴町区 永田町高橋健三」

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	3	国華社三月中收支報告表 国華社三月中重要物品出入表(明治30年3月31日調)	明治30年3月31日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 報告書右側一部欠損 封筒上書「京橋区弥左衛門町国華社」「麴町区永田町高橋健三」
	4	国華社四月中收支報告表 国華社四月中重要物品出入表(明治30年4月30日調)	明治30年4月30日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 右側一部欠損 封筒上書「京橋区弥左衛門町国華社」「麴町区永田町高橋健三」
	5	国華社五月中收支報告表 国華社五月中重要物品出入表(明治30年5月31日調)	(明治30年)5月31日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 報告書右側一部欠損 封筒上書「京橋区弥左衛門町国華社」「永田町高橋健三」
	6	国華社六月中收支報告表 国華社六月中重要物品出入表(明治30年6月30日調)	明治30年6月30日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 報告書右側一部欠損 封筒上書「京橋区弥左衛門町国華社遠山友三郎」「麴町区永田町高橋健三」
	7	国華社七月中收支報告表 国華社七月中重要物品出入表(明治30年7月31日調)	明治30年7月31日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 右側一部欠損 封筒上書「京橋区弥左衛門町国華社」「麴町区永田町高橋健三」
	8	国華社八月中收支報告表 国華社八月中重要物品出入表(明治30年8月31日調)	明治30年8月31日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 封筒上書「京橋区弥左衛門町国華社遠山友三郎」「麴町区永田町高橋健三」
	9	国華社九月中收支報告表 国華社九月中重要物品出入表(明治30年9月30日調)	明治30年9月30日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 封筒上書「京橋区弥左衛門町国華社」「麴町区永田町高橋健三」
	10	国華社十月中收支報告表 国華社十月中重要物品出入表(明治30年10月31日調)	明治30年10月31日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 封筒上書「京橋区弥左衛門町国華社」「麴町区幸町高橋健三」
	11	国華社十一月中收支報告表 国華社十一月中重要物品出入表(明治30年11月30日調)	明治30年11月30日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 右側一部欠損 封筒上書「京橋区弥左衛門町国華社」「神田駿河台紅梅河岸高橋健三」
	12	①国華社十二月中收支報告書 国華社十二月中重要物品出入表(明治30年12月31日調)	明治30年12月31日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 右側一部欠損 封筒上書「京橋区弥左衛門町国華社」「神田駿河台紅梅河岸高橋健三」

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	12	②明治三十年度収支報告年表(明治30年12月31日調)	明治30年12月31日	東京市京橋区弥左衛門町 国華社		冊	1	7	①-1と同封国華社罫紙
16		(国華社収支報告書)	明治31年1~5月						
	1	国華社一月中収支報告表 国華社一月中重要物品出入表(明治31年1月31日調)	明治31年1月31日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 封筒 上書「京橋区弥左衛門町国華社」「神田駿河台紅梅河岸高橋健三」
	2	国華社二月中収支報告表 国華社二月中重要物品出入表(明治31年2月28日調)	明治31年2月28日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 封筒 上書「京橋区弥左衛門町国華社」「神田区東紅梅河岸高橋健三」
	3	国華社三月中収支報告表 国華社三月中重要物品出入表(明治31年3月31日調)	明治31年3月31日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 右側欠損大 封筒上書「京橋区弥左衛門町国華社」「神田区東紅梅河岸高橋健三」
	4	国華社四月中収支報告表 国華社四月中重要物品出入表(明治31年4月30日調)	明治31年4月30日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 右側欠損大 封筒上書「京橋区弥左衛門町国華社」「神田紅梅河岸」
	5	国華社五月中収支報告表 国華社五月中重要物品出入表(明治31年5月31日調)	明治31年5月31日	国華社 記簿計算係 遠山 印 記簿係 遠山 印		状	2		横書洋罫線紙 封筒 上書「京橋区弥左衛門町国華社」「神田区東紅梅河岸高橋健三」
17		国華挿画筆者回数調				冊	1	9	表紙あり 国華社罫紙
18		(国華第39号・第40号実費書上げ)				冊	2	2	封筒上書「東京市日本橋区両国吉川町国華社」「高橋先生報告書入り」 国華社罫紙
19		(岡氏の負債整理と国華社の関係について熟慮被下度)		鼎(久保田か)	高橋老台(健三)	冊	1	11	
20		(内務省発行新刊書目の各府県中学校配布を月評社が引受の件御指図仰度)	7月26日	横井鋏太郎	高橋健三	状	3		虫損 英吉利法律学校用箋
21		評論出版新報発行二付契約書(出版月評)				冊	3		虫損 表紙あり 1冊に付2丁
22		(出版月評執筆分担一覧)				冊	2		虫損小 1冊に付4丁
23		(出版月評執筆分担表 2種)				状	2		虫損小 糊剥離
24		(出版月評印刷代見積書一括)							
	1	改正出版月評千部積				冊	1	3	東京博聞社罫紙
	2	記(月評第38~40号出版代金明細書)		日本新聞社	月評社	状	1		
	3	記(金3円請取)	3月31日	片貝正晋	福本 誠	状	1		虫損 右側欠損
	4	記(月評原稿料落手)	明治21年2月9日	依田百川		状	1		上部欠損 糊剥離
	5	月報材料報酬領収書(袋のみ)				袋	1		
25		出版月評社友(名簿)				冊	1	3	虫損
26		(東邦協会「新增東国輿地勝覽」用紙版下)		神田区松下町 熊田活版所	高橋	状	1		封筒共 よごれ
27		法学新報維持規約				状	1		印刷物 周囲変色 し
28		新著評論雑誌刊行按				冊	1	5	虫損 表紙あり

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
29		Harrild & Sons Illustrated Catalogue	1885	Harrild & Sons		冊	1	57	虫損小 表紙あり カラー印刷あり 印刷機械力タロク
30		(Sererin Senator 社広告)	明治24年6~8月	BERLIN SW. Severin Senator	官報局	状	7		虫損 4種類の広告、封筒2枚共
31		(広告案内)	明治28年8月26日	PARIS Le courrier de La Press	大阪朝日新聞社 高橋健三	状	1		封筒共
32		国華社書類(封筒上書)							
	1	(収支決算書)				状	1		虫損 変色 日本新聞社罫紙
	2	(通信社・大阪・西京 部数改正案)				状	1		虫損 変色 国華社用
	3	証(15円60銭 国華12冊代)	明治43年12月	国華社	鈴木善左衛門	状	1		鈴木英雄家文書一般 No.15コピー
33		明治25年11月分出納決算表	明治25年12月	法学新報社	(高橋健三)	状	1		封筒入 東京法学院用箋

9、日記

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
1		日々小つかみ出入記	明治16年5月13日	夕むら		横	1	20	虫損 変色 表紙あり
2		日々出入小つかい帳	明治17年9月1日より	高橋		横	1	42	虫損 変色 表紙あり
3		日々出入小つかい帳	明治18年2月より			横	1	58	虫損 変色 表紙あり
4		日々金銭出入覚	明治18年9月1日より	高橋		横	1	35	表紙あり
5		金銭出入日記	明治19年1月ヨリ	高橋		冊	1	79	虫損小 表紙あり
6		日々出入おほえ	明治21年11月~同22年4月			冊	1	58	虫損小 変色 汚れ 表紙あり 上段に往来
7		日々出入ひかえ	明治22年5月	高橋 内		冊	1	35	虫損小 表紙あり 後半上部欠損 上段に往来備忘
8		主人仏国行留守中諸小遣扣	明治23年2月20日より			冊	1	59	虫損小 表紙あり 呉竹用箋
9		主人洋行留守中日記	明治23年2月[]日より			冊	1	31	変色 もろけ大 表紙あり
10		(日記)	(明治23年5~6月)			冊	1	13	表紙なし 呉竹用箋
11		日記	明治23年6~12月			冊	1	65	虫損小 表紙あり 背いたみ
12		日々小遣払おほえ(主人洋行不在中より引続き)	明治23年8月23日より			冊	1	60	変色 表紙あり 呉竹用箋
13		日々出入ひかえ	明治22年11月1日より	高橋		冊	1	58	虫損小 表紙あり 上段に往来備忘
14		日々小つかみ控	明治24年1月	高橋		冊	1	47	虫損 変色 表紙あり
15		臨時日々出金ひかえ	明治24年1月より	高橋		冊	1	26	虫損 表紙あり
16		(日記)	(明治24年5~7月)			冊	1	38	虫損 変色 もろけ 破損大 開き不可
17		(出金明細帳)	(明治25年)3~10月			冊	1	41	変色 上部欠損 前半 右下欠損 破損大
18		日[記]	明治25年8月より	高橋 清		冊	1	73	虫損小 表紙やぶれ

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
19		出金明細帳	明治25年11月1日より	高橋		冊	1	57	下部変色 上部欠損 表紙やぶれ
20		日記	明治26年3月29日より			冊	1	46	右側変色もろけ大 開 き不可 破損大
21		日記	明治26年11月1日より	大坂中の島 高橋 清		冊	1	14	表紙あり
22		日記	明治27年1~5月			冊	1	40	表紙あり 上段往来備
23		こころおぼえ	明治27年6月28日~	高橋内		横半	1	14	虫損小 汚れ 表紙あ
24		日記	明治27年6月より			冊	1	85	表紙あり 上段備忘書
25		金銭出入覚	明治27年9月より	高橋家		冊	1	6	表紙あり
26		日々小遣出入おぼえ	明治28年3月1日	高橋 内		冊	1	50	表紙あり
27		小遣ひ支払ひかゑ 但興津旅行先	明治29年5月より	高橋 内		冊	1	18	表紙あり やぶれ
28		日記	明治29年10月より			冊	1	13 4 ?	変色・もろけ大 破損 大 開き不可
29		日用金銭出入ひかゑ	明治30年4月1日	高橋 清		冊	1	48	表紙あり 虫損
30		日記	明治30年11月より	小田原二在中 高橋		冊	1	35	表紙あり 上部変色
31		日々小つかひ扣	明治30年11月より	小田原二在時 高橋		冊	1	7	表紙あり 下部小欠損
32		日記	明治31年8月16日より			冊	1	39	表紙あり 左側一部切
33		日記	明治31年	小田原山王原 高橋 清		冊	1	36	縦斜め右半分欠損 変色 もろけ 表紙あ り 破損大
34		鈴木多満子学資及小遣ひ預り支払おぼえかき	明治34年4月24日~	高橋		横小	1	12	表紙あり 多満子は鈴 木善左衛門娘
35		病床日誌(2月9日10日)				冊	1	4	虫損小 表紙あり
36		有馬日記	8~9月			冊	1	8	虫損小 下部変色 表 紙あり
37		(金銭出入明細帳)	明治27年9月~明治28 年2月	高橋家		冊	1	35	虫損 変色大 もろけ 表紙あり 破損大

37

10、私文書

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
1		(系図書写十一巻之内第十)	明和7年11月1日	(松岡)親喜	加納鞆負	状	1		前欠
2		東京日日新聞	明治10年3月24日			状	1		破れ
3		東京日日新聞	明治10年4月1日			状	1		1面左上部欠損
4	1	(共存同衆の証送付に付)	明治13年2月7日	共存同衆幹事 印	高橋健三	状	1		虫損
	2	共存同衆正員証第九拾四号	明治13年2月4日	共存同衆幹事 小野梓・ 菊池大麓		状	1		
	3	封筒	明治13年1月9日	共存同衆幹事 印	木挽町五丁目 高橋健	状	1		他に木片2枚あり
5		葬式入費留(智室妙慧信女、老母よし)	明治16年7月28日			横	1	13	表紙あり
6		野辺送り御名前控	明治16年7月30日	千村 佐々木氏		横	1	2	表紙あり
7		霊前供物記(智室妙慧信女)	(明治16年7~8月)			横	1	13	虫損小 表紙あり
8	1	(贈右大臣大久保公紀念碑建碑寄附金の件)	明治18年1月22日	大久保贈右大臣紀念碑 建設事務局一同	辻 新次・浜尾 新	状	1		印刷物
	2	回章(故大久保贈右大臣公紀念碑建設寄付 に付、趣意書共)	(明治18年1月)	浜尾 新・辻 新次	中島永元外7名	状	1		封筒あり

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	3	(文部省分寄附無之者、残金未済人名書上げ)				状	1		大蔵省罫紙
9		(高橋家葬儀に関する出金請取証)	明治18年2月		高橋	状	10		1枚糊剥離
10		香奠帖	(明治18年2月13日)			横	1	8	虫損 表紙あり
11		葬式諸入費扣簿	明治18年2月(13日)	高橋		横	1	13	虫損 表紙あり
12		葬式諸入費精算簿	(明治18年2月)			横	1	5	虫損小 表紙あり
13		会葬者姓名簿	(明治18年2月)	高橋氏		横	1	3	虫損小 汚れ 表紙あり
14		葬式行列及人名				横	1	3	虫損小 表紙あり 高橋健三の葬式か?
15	1	草津鉱泉場之図	明治18年6月	東京玄々堂 銅版製図 編輯兼出版人 松田敦		状	1		印刷物
	2	草津鉱泉略紀		旅舎 山本十郎		状	1		印刷物
16		裁判言渡書(明治19年第59号 被控訴人向笠 岩之丞より控訴人高橋健三に係る貸金催促一)	明治18年8月30日	東京控訴院評定官 小 松直吉外3名		冊	1	8	虫損 謄写本
17	1	裁判言渡書(下附金故障解除事件に付)	明治18年11月27日	大審院判事 西 成慶 外3名		冊	1	8	虫損 謄写本
	2	下附金故障解除事件審判願	明治19年9月17日	大田鉄吉	名古屋控訴院長 大塚 正男	冊	1	4	虫損 謄写本
18		遊獵願	明治19年11月6日	北豊島郡金杉邸 高橋 健三	警視總監 三島通庸	冊	1	2	虫損
19		裁判言渡書	明治20年3月30日	大審院兼民事第二部長 尾崎忠治外5名	上告人 益野能一郎 被上告人 千々松省三	冊	1	4	虫損
20		所得金高届	明治20年7月30日	麴町区紀尾井町 高橋 健三	麴町区長 子爵 大河 内正質	状	2		虫損 1部は控
21		帝国生命保険会社第一回生命保険一覧表	明治21年3~12月	帝国生命保険会社		状	1		印刷物
22		故文部少書記官安東君墓誌銘(高橋健三起稿 ノ写)	明治21年11月			状	2		2枚で一組
23		利附当座預り金[]定書	明治22年9月30日	高橋健三	(掛川銀行)	状	2		虫損 変色 欠損あり 破損大
24		(委嘱状、評議委員)	明治22年11月	十善会	高橋健三	状	1		虫損 変色
25	1	送高橋先生赴于欧州	明治23年2月			状	1		①~③同一封筒入
	2	送高橋官報局長之法蘭西序	明治23年2月	安原富次		状	1		
	3	(七陽韻賦一律以祝其行)	明治23年2月	東京商業学校学生 中 谷民三		状	1		
26		(約定金取戻并に損害賠償請求の訴に関する 裁判書類写、1~7号)	明治23年5月	原告 三井物産会社 支配人松本常盤・大坂 石油会社 支配人松村		綴	1	45	虫損小
27		控訴状理由書(約定金取戻并損害賠償請求に 付)	明治23年7~10月	控訴人 大坂石油会社 松村安輝、被控訴人 三井物産会社松本常盤		綴	1	31	虫損小
28		不法告示取消之急訴状	明治23年8月	原告 茨城県豊田郡宗 道村 森 隆介 代言人 合川正道	被告人 茨城県知事 安田定則	冊	1	5	表紙あり 合川正道訴 訟用紙
29		小秋元・藤田・戸田・奥田(預り金)	明治24年1月より			冊	1	27	虫損 表紙あり
30		明治廿四年改 債金支払簿	明治24年	高橋		冊	1	12	虫損 下部変色・一部 欠損 表紙あり
31		(東京日日新聞連載随筆切り貼り帳)	明治24~25年			冊	1	14	糊剥離 後半虫損・変 色・もろけ

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
32		(幽谷先生藤田次郎左衛門以下武田伊賀守外十二土ノ祭典執行案内)	明治25年1月	幹事 丸山作樂外3名	高橋健三	状	1		印刷物 封筒共(麹町官報局官舎高橋健三)
33		切抜通信(各種新聞スクラップ)	明治25年	(高橋健三)		冊	1	49	虫損 糊剥離 厚表紙あり・はがれ
34		月賦御返金受取之証	明治26年1月11日	大阪朝日新聞社	高橋健三	横	1	3	虫損
35		履歴書(筏 安太郎)	明治28年5月2日	兵庫県佐用郡大広村筏安太郎		冊	1	2	
36		(瀧之川学園慈善会開催案内、入場券5枚)	明治30年3月	主唱者 小鹿島筆子外四名	高橋健三	状	6		印刷物 封筒共(高橋健三宛)
37		(高橋・瀧両家宛請取・領収一括)	明治32年11~12月			状	22		封筒上書(滝様分)封筒欠損あり
38		敷金預り之証	明治34年2月13日	神田猿楽町 高橋 清	福田安太郎	状	2		1部は控 包紙あり・破損
39		(雇人引請証、松崎トミ・渡辺千代)	明治35年11~12月	雇人口入営業 寺田たか・深谷トセ	高橋	状	2		下部変色・一部欠損 封筒上書(乳母及奉公人証文入)
40		火災保険証券・保険料領収証・保険料仮受領証	明治34~40年	東京火災海上運送保険株式会社	小秋元三八吉	状	10		名刺1枚 封筒3
41		領収証書(府税家屋 外)	明治35~42年	東京府神田支金庫	仲猿楽町 高橋 せい	状	24		封筒虫損
42		委任状(陸軍省よりの俸給・給与受取に付)	明治37年2月14日	神田区紅梅河岸 瀧精	(高橋せい)	状	1		変色 上下欠損あり
43		国庫債券応募申込書	明治37年3月1日	神田区紅梅河岸 高橋清子	株式会社日本興業銀行	状	1		封筒上書(高橋預り分)
44		家屋所有者転居届(旧住所東京市神田区中猿楽町 新住所東京市神田区駿河台紅梅河岸 瀧精一方)	明治37年3月17日	高橋 せい	東京市神田区	状	1		
45	1	愛国婦人会証	明治37年6月	愛国婦人会総裁載仁親王妃智恵子・愛国婦人会長岩倉久子	高橋 清	状	1		
	2	(愛国婦人会通常会費領収証)	明治37~39年	愛国婦人会々計主任 杉原全徳 愛国婦人会東京支部	高橋 清	状	3		
	3	愛国婦人会趣意書	明治37年6月	愛国婦人会		冊		15	表紙あり 印刷物 封筒上書(神田区中猿楽町高橋清子宛 本郷金助町 幹事 渡辺源)
46		会員証(陸海軍将校婦人会)	明治40年1月22日	陸海軍将校婦人会会長 大山捨松子	高橋清子	状	1		封筒上書(神田区仲猿楽町 賛成員高橋清子/陸海軍将校婦人)
47		(電気料受領証一括)	明治41~43年	東京電燈株式会社	京橋区木挽町 高橋清	状	24		封筒上書(電灯請取書入)
48		医診聞書(2月9日10日三浦氏初診に付)				冊		2	虫損 表紙あり
49		(高橋健三遺影・自持庵追悼文、書籍切抜)		山田奠南・花井稚翠		状	3		印刷物 2枚は同一欠損あり
50		桜雲台同遊会員御名表・桜雲台千分之五縮図				状	2		印刷物 封筒上書(紀尾井町官報局官舎 高橋健三宛/上野公園八百善堀房)

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
51	1	(建築材料書上)				冊	1	5	下部欠損 変色 綴じはがれ 日本土木会社用箋
	2	(職人手間賃約定取極書)				状	1		糊剥離
52		月々入費概算		浜田健次郎		状	2		変色 封筒上書(渉来書類)
53		高橋家荷物目録	大正8年8月16日	平岡萬次郎		状	1		
		(瀧様へ預ケ分、高橋様へ預ケ分、平岡様へ預ケ分)				冊	1	4	虫損 変色 3~6丁欠
54		(受取証・納品証一括)				状・冊	18		一部虫損
55		借用金証(金250円)	明治25年10月	高橋清	帝国生命保険株式会社	状	1		下部変色欠損
56		記(出金書上げ)				状	1		糊剥離
57		記(但奥方より高橋清受持)				状	1		
58		曾我八幡宮略縁起・御判版摺り・曾我八幡宮御札・石碑拓本	明治29年6月22日消印	駿河国富士郡松風庄庵原邨		状	4		虫損 封筒上書(庵原郡興津町千歳屋 高
				京都府小学教員 大崎瀨栄		状	1		印刷物
60		募集の件、旧川越藩士高橋一勝開鑿株主に加わる)				冊	1	3	虫損 東京攻法館用箋
61		永井家分限帳				冊	1	48	虫損 破損大
62		(和歌)	明治2[]年	高橋[]		状	1		虫損 破損大
63		(和歌短冊 山館雨 あひおもふ 山家□□古寺鐘)				状	4		虫損 山館雨下部欠損
	64	明治廿五年中(親睦会関係)				状	8		虫損 下部欠損あり
65		名刺(東和洋行・岡山兼吉・浜尾新・中村芳二郎・K.Shimamura・玉手弘通・林茂淳・水原漸・和田仙造・志賀樹太郎・富谷嘉平)				状	11		
	66	(包紙・封筒一括)				状	10		虫損・破損あり
67		(雑一括)					1		1点とする 未使用外務省罫紙・はがきを含む
68		(新聞スクラップ、書記官長辞任経過)	明治30・31年			冊	1	50	厚表紙スクラップ帳
69		短冊(仏国出立の際詠んだ歌ほか)	正岡子規・上野可柅子・清子・一中			状	34		
70		(借用証か 前欠)	連借人 高橋健三・畠山重明	久保豊次郎		状	1		封筒上書(畠山返却分)
71		乙第一号証 証明書(建物名義書換に付)	小平			状	1		虫損 ×しるしあり
72		(越前家臣中大井姓ノモノ 前欠)				状	1		虫損小

B. 書簡・ハガキ類

1、個人から高橋健三宛

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	備考
1		合川正道書簡					17	
	1	御配慮被下候才判事件の件、9日開廷の旨控訴院より連有之候に付	明治23年11月16日	合川正道	糺町区紀尾井町官舎 高橋健三	書簡	180×465	消印 東京両国明治23年11月16日 虫損

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	石井條氏の件は其の後如何相成候也	明治23年11月21日	日本橋区村松町 合川正道	糺町区紀尾井町 高橋健三	書簡	166× 480		消印 東京両国明治 23年11月21日
	3	商業学校卒業式挙行の件に付	明治24年1月10日	日本橋区村松町 合川正道	(糺町区紀尾井)町官舎 高橋健三	書簡	166× 1295		消印 東京両国明治 24年1月10日封筒右上 欠損
	4	インフルエンザ見舞、例の件1年据置月賦にて 1年間の元利にて御返却相成候ては如何	(明治24年)1月22日	合川正道	高橋賢兄	書簡	175× 1695		幸便 糊剥離
	5	今朝大八木氏を見舞候件	明治24年3月13日	合川正道	糺町区[] 高橋健 三	書簡	175× 685		消印 東京両国明治 24年3月13日封筒右側 欠損 虫損
	6	金井氏より申参り候に付(浜尾氏に面接、同盟 休校は申上致さす事に決心)	明治25年1月28日	むら松町 合川正道	官報局ニ於テ 高橋健 三	書簡	172× 340		消印 明治25年1月28 日 合川宛金井延書
	7	宮本氏の診察を受け肺部へは異状無之也の 由	明治25年9月23日	日本橋区村松町 合川正道	糺町区元衛町 高橋健 三	書簡	175× 980		消印 明治25年9月23 日 封筒変色・虫損
	8	今朝某雑誌に左記の書名掲ケ有之	明治25年11月3日	飯田町 合川正道	糺町区元衛町 高橋健 三	書簡	175× 620		消印 東京飯田町明 治25年11月3日 封筒
	9	井上氏北海道に関する意見書東邦協会に於て 附録として刊行可被成候に付)	明治25年11月17日	飯田町 合川正道	糺町区元衛町 高橋健 三	書簡	166× 555		消印 東京飯田町明 治25年11月17日 糊
	10	貴君坂地に御出立前小集うい催し度に付	明治25年12月8日	糺町飯田町 合川正道	北豊島郡日暮里内字金 杉 高橋健三	書簡	167× 482		消印 東京飯田町明 治25年12月8日
	11	石川氏相見へ教務委員任命の始末委細承知 に付	1月2日	合川正道	高橋健三	書簡	167× 905		幸便
	12	御面喝仕度儀有之候間拙宅へ御立寄願度	1月10日	合川正道	鷗口館ニ於テ 高橋健 三	書簡	175× 235		幸便 封筒共虫損・水 濡れ
	13	リットンの小説の件	1月25日	合川正道	高橋健三	書簡	172× 500		幸便
	14	乍遺憾本夕升堂仕兼候	5月5日	合川正道	高橋健三	書簡	178× 500		幸便 封筒共虫損・水 濡れ
	15	先夜は御妨申上候、其節御願置申候件に付	6月27日	合川正道	高橋健三	書簡	181× 330		幸便
	16	本日口会の催相成候内是非参会可被下候	6月30日	合川正道	高橋健三	書簡	165× 465		幸便 封筒共虫損・水 濡れ カビ
	17	井上氏訪問之儀に付	9月1日	合川正道	高橋健三	書簡	175× 700		幸便
2		相川勝蔵書簡						1	
		先考石斎先生印譜の件	明治10年10月20日	麹町区相上二番町 相川勝蔵	神田駿河台紅梅町高橋 昌長方 高橋健三	書簡	178× 695		「先考石斎先生印譜 自恃題」同封
3		饗庭與三郎書簡						8	
	1	梅ごよみ批評に付	明治20年6月14日	鎌屋町 饗庭與三郎	紀尾井町 高橋健三	書簡	176× 272		消印 東京明治20年6 月14日便箋2枚 封筒
	2	箱根表引払後出陣、敗軍、昨日帰營仕りに付	明治24年1月10日	根岸 饗庭與三郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	170× 315		消印 東京下谷明治 24年1月10日 封筒上 部虫損
	3	一昨日より当地へ出浴罷在候に付	明治24年6月19日	箱根塔の沢鈴木にて 饗庭與三郎	麹町区元衛町 高橋健 三	書簡	242× 326		消印 東京明治24年6 月19日 封筒・書簡虫
	4	小生インフル風邪に罹り京都紀行付仕す腹の 立つ事たけに付	明治28年6月1日	東京向島 饗庭與三郎	大阪中ノ島 高橋健三	書簡	177× 880		消印 大阪明治28年6 月2日

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	5	坪内君之御高義により永住移転に付	明治28年11月6日	東京向島小梅町 饗庭 與三郎	大阪中ノ島 高橋健三	書簡	176× 740		消印 大阪明治28年 11月7日 宛名に奥様
	6	帰宅後伴信友もの本屋へ注文、此次御邪魔に 上る時迄伴氏著作集め持参に付	明治31年6月20日	東京向島小梅町 饗庭 與三郎	小田原山王原 高橋健 三	書簡	167× 820		熨斗飾り同封
	7	[]一読精細之考談感服仕候に付	明治31年7月18日	東京向島小梅町 饗庭 與三郎	小田原山王原 高橋健 三	書簡	165× 710		消印 小田原明治31 年7月19日 上部欠 損、もろけ・変色
		日本一の塩煎餅と申すもの差上申し候(奥様 宛)	明治31年7月18日	(饗庭)与三郎	高橋置く様(清)	書簡	166× 720		上部欠損 もろけ・変 色 糊剥離
4		青木 保書簡						6	
	1	法学会御流懇親集会申越の件拝承に付	明治13年3月3日	上二番町 青木 保	木挽町 高橋健三	書簡	158× 374		消印 東京明治13年3 月3日
	2	種々御歓待に預り深謝、御礼の件	明治21年10月5日	牛込天神町 青木 保	鞆町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	174× 370		消印 東京牛込明治 21年10月5日
	3	商業学校より解囑伺は去月十六日に差出に付	明治24年10月12日	青木 保	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	167× 555		消印 東京飯田町明 治24年10月12日 文 部省用封筒
	4	昨日参上其節御話の日本は日本の物に御賞 与被下の件に付	明治25年10月15日	牛込区天神町 青木 保	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	181× 462		消印 東京牛込明治 25年10月15日 糊剥 離 封筒変色
	5	(御見舞い並びに礼状)	明治31年3月13日	牛込区天神町 青木 保	小田原山王原鈴木氏方 高橋健三	書簡	182× 783		消印 小田原明治31 年3月15日 糊剥離
	6	御会合御案内被下難有処風邪に付	7日	青木 保	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	182× 783		封筒・書簡上部破損
5		青木直人書簡						1	
6		先生御講述の羅馬法口書仕度	明治14年8月5日	芝公園 青木直人	木挽町 高橋健三		165× 972		消印 東京明治14年8 月5日 赤色インク滲
		青木 邨書簡						1	
7		産後追々快方、貞三網腸炎再発の件ほか	明治21年12月27日	下谷竹町 青木 邨	麹町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	162× 1685		消印 東京下谷明治 21年12月17日 封筒 左下部欠損
		青木貞三書簡						4	
	1	関より別紙書面到来に付	明治19年4月28日	浅草巨紫磨(小島)巨紫 磨処士	内閣官報局 高橋健三	書簡	238× 262		消印 浅草明治19年4 月28日 シミ
		鶴口口造近状に付	明治19年4月27日	築地 関新吾	浅草小島町 青木貞三	書簡	154× 1444		消印 東京明治19年4 月27日 糊剥離
	2	仙田氏より別紙到来に付	明治21年7月26日	(青木)貞三	(高橋)健三	書簡	166× 317		巻封
8	3	病人取込虫に付、雑報記者の件	4月3日	青木貞三	高橋健三	書簡	162× 1055		幸便
		青山大太郎書簡						5	
	1	負債処分の事に付	明治20年1月15日	大坂土佐堀 青山大太 郎	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	172× 1680		消印 明治20年1月18 日書留
	2	弊社の内情は先日拝陳の通りに付援助引立 の程、礼状	明治21年9月8日	大阪北区綱島町 青山 大太郎	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	165× 745		消印 東京明治21年9 月14日
	3	一時対償致す外無之に付	明治24年1月21日	小石川区水道橋 青山 大太郎	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	164× 645		消印 東京小石川明 治24年1月21日

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	4	昨年末恩賞に付	明治24年1月27日	小石川区水道橋 青山 大太郎	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	163× 735		消印 東京小石川明 治24年1月27日
	5	弊社製本場出火により焼失、器械・活字・建物は損害無之に付	21日	(青山)大太郎	高橋先生(健三)	書簡	168× 645		封筒欠
9		青山 元書簡						1	
		浜尾新君の為一会御催之由に付同意の件	明治13年9月20日	麹町区上六番町 青山 元	京橋区木挽町 高橋健 三	書簡	151× 215		消印 東京明治13年9 月19日
10		赤津克郎書簡						1	
		出京の節赤尾津家の由緒の件で拝謁拝聴仕り度	明治30年5月4日	新潟県中頸城郡長 赤津克郎	内閣書記官長 高橋健 三	書簡	280× 400		消印 東京明治30年5 月5日 封筒中損 26 行青罫紙
11		赤松治部(洛陽豪士)書簡						1	
		高等文官試験論文中「労働者保護に関スル精 度ヲ論ス」草稿致しに付朝日新聞の余白を埋る 栄を得度)	明治29年8月13日	麹町区有楽町 赤松治 部	大阪朝日新聞社 高橋 健三	書簡	170× 1990		消印 明治30年8月15 日封筒破損 糊剥離
12		秋元興朝書簡		駿河台北甲賀町 秋元興朝				3	
	1	本月7日庭の牡丹開花に付宴会相開候間御来 車被下度	明治21年5月1日	駿河台北甲賀町 秋元興朝 家扶	麹町区紀尾井町官報局 第壹号官舎 高橋健	書簡	161× 300		消印 東京明治21年5 月1日
	2	明春洋行致し度御名案御教示被下度	明治21年5月30日	駿河台北甲賀町 秋元興朝	麹町区紀尾井町 高 橋健三	書簡	165× 662		消印 神田明治21年5 月30日
	3	銀次郎儀に付迷惑相願有難く存知候、御令聞 に願置候少年生の事	明治21年9月6日	神田区駿河台北甲賀町 秋元興朝	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	162× 1190		消印 東京神田明治 21年9月6日
13		赤穂津智門書簡						1	
		先祖の譜系履歴等調査の旨布令に付明細御 記載被下度	明治30年7月14日	秋田県由利郡松ヶ崎村 光弾寺住職 赤穂津智	麹町区永田町 高橋健 三	書簡	162× 890		消印 東京明治30年7 月17日
14		朝岡鎮太郎書簡						1	
		馨咳に接して御高教を伺い度希望、今回校正 係一名入用の由に付 履歴書共	明治 年8月10日	神戸市北宮内町兵庫新 聞社 朝岡鎮太郎	大阪市北区中之島大阪 朝日新聞社 高橋健三	書簡	170× 895		茶変色、糊剥離、破 損、履歴書は24行青
15		浅岡雄之助書簡						1	
		逋信省年報の儀	16日	教育会 浅岡雄之助	官報局 高橋健三	書簡	187× 295		封筒上書「逋信省年報 六部添」
16		朝倉外茂鉄書簡						6	
	1	黒本植氏に一度にても面会被下度	明治25年11月21日	東京麹町区上六番町 朝倉外茂鉄	日暮里村 高橋健三	書簡	181× 945		消印 東京□□明治 25年11月23日
	2	志賀氏不在に付留守のものに高橋君に書中の 趣意返答を申置きに付	明治2□年11月29日	神田仲猿楽町 朝倉外 茂鉄	麹町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	173× 738		消印 東京神田明治 □□11月30日
	3	頃日の新聞には快方とのこと、如何候也御見 舞い	明治30年9月15日	日本橋区上楨町 朝倉 外茂鉄	相州小田原町万年町鈴 木方 高橋健三	書簡	173× 615		書簡下部破れ、変色 封筒朝倉外茂鉄法律 事務所用
	4	約束の時刻を繰り上げ小生の事務所又は停車 場へ御光来被下度	9月23日	朝倉外茂鉄	神田橋内 高橋健三	書簡	248× 170		朝倉外茂鉄用箋2枚 幸便 封筒下部剥が
	5	黒本植氏昨日上京に付面会の上然るべく尽力 被下度(日本新聞へ周旋)	10月23日	東京麹町区上六番町 朝倉外茂鉄	高橋健三	書簡	182× 665		封筒上書「交人黒本植 氏持参」明治25年か
	6	申越しの趣拝承に付	12月5日	朝倉外茂鉄	紀尾井町 高橋健三	書簡	173× 645		幸便
17		浅田源次郎書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		別紙は小倉招魂祭参拝に際し旅商が拾いたるものに付	明治28年11月22日	小倉市京町 浅田源次郎	大阪朝日新聞社 高橋健三	書簡	175×455		消印 大阪明治28年11月23日 しわ、変色、糊剥離 別紙は破かれている
18		浅野陽吉・石橋徳次郎書簡						1	
		三宅雄次郎氏に学校盟休の状況具陳に付	明治24年3月18日	浅野陽吉・石橋徳次郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165×382		消印 東京神田明治24年3月18日
19		朝比奈之董書簡						2	
	1	円窓会之義中施の様子、当所寄宿に付伺い度に付	明治21年4月21日	赤坂柴天町 口官練習所朝比奈之董	赤坂紀尾井町官報局官舎高橋健三	書簡	165×865		消印 柴口明治21年4月21日 糊剥離
	2	旧誼に依り御用御座候はゞ御使役被下度	明治30年1月31日	清国芝罘 朝比奈之董	大日本東京永田町 高橋健三	書簡	180×2127		消印 東京明治30年2月18日
20		阿部奥人書簡						1	
		小生の私用にて明朝に差延、過刻電話にて願ひ度	明治30年2月22日	築地 阿部奥人	麹町区永田町 高橋健三	書簡	175×740		消印 東京両国明治30年2月22日
21		天野徳三書簡						1	
		父茂生への香料惠贈に付謝礼	明治30年11月1日	大坂口口商業倶楽部内天野徳三	麹町区内幸町 高橋健三	書簡	182×335		消印 東京明治30年11月2日 色移りあり
22		雨森菊太郎書簡						4	
	1	滞東中の御懇議深謝、当地電報社務従事に付相応の御用向き申被下度	明治20年1月1日	京都烏丸四條下ル 雨森菊太郎	麹町区紀尾井町官舎高橋健三	書簡	163×580		消印 京都明治19年12月31日 東京明治20年1月5日 水濡跡
	2	城多氏過般の事川田氏口口の趣承知に付、上京の節委細申承に付、官報売捌之事	明治21年9月11日	京都柳馬場御池下 雨森菊太郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165×1010		消印 京都山城明治21年9月12日 東京明治21年9月15日
	3	城多氏迎祭昨日無滞了候に付	明治21年9月24日	京都柳馬場御池下ル 雨森菊太郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165×411		消印 東京明治21年9月26日
	4	昨夜出京仕候、参館の日程に付	明治21年10月2日	木挽町 万屋方 雨森菊太郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165×454		消印 東京芝口明治21年10月2日 雨森菊太郎宛封筒あり
23		新井重太郎書簡						1	
		平岡万次郎君へ伝言被下御礼	明治21年11月16日	京都室町高辻上ル 新井重太郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	158×335		消印 東京明治21年11月18日
24		荒尾 精書簡						6	
	1	年頭の御祝詞申上度	明治25年1月1日	清国上海 荒尾 精	日本東京内閣官報局 高橋健三	書簡	230×320		消印 長崎明治25年1月4日 東京明治25年1月7日 色移りあり
	2	(解説不能)	明治28年12月3日	神戸 荒尾 精	大阪朝日新聞 高橋健三	書簡			破損ひどく解説不能
	2	今朝大本よりの急報に付(有栖川宮の御不例)	明治28年1月18日	京都鹿ヶ谷善王寺 荒尾 精	東京木挽町水盟館 高橋健三	書簡	180×1590		消印 東京明治28年1月19日
	3	凶報に接し候に付(御東帰の事)	明治28年1月18日	京都鹿ヶ谷善王寺 荒尾 精	東京木挽町水盟館 高橋健三	書簡	180×855		消印 東京明治28年1月19日
	4	来る31日郵便船にて渡清に付	明治28年12月27日	天神橋通夫婦橋南詰東へ入る牧山方 荒尾	中ノ島 高橋健三	書簡	184×975		上書き朱「二八ノ十二月」糊剥離 幸便
	5	(各氏への通報願)	2月16日	荒尾 精	高橋健三	書簡			虫損大 封筒宛名部分剥離 東方通商協会用箋2枚

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
25	6	御都合を以って一夕閑話致度に付一報願上候、清国通商総覧出版に付 有岡甲三郎書簡	9月8日	西久保神谷町 荒尾精	高橋健三	書簡	193×630		幸便 虫損 上書き「外二書籍二冊」
		いつ頃帰京出来候也、高橋氏の尽力の程有難く	明治16年3月26日	下谷上木坂町 有岡甲三郎	駿河台紅梅岸 高橋健三	書簡	248×337	1	消印 東京明治16年3月26日 差出人は「大木内」女性
26		安中忠如書簡						2	
	1	於照様召物の件	10月27日	安中 忠如	高橋	書簡	166×410		封筒欠
27	2	戸田公令子忠顯殿学習院入学御断書差出の趣に付	12月20日	神田駿河台北甲賀町 秋元内 安中忠如	(豊)島郡日暮里村(金) 杉村 高橋健三	書簡	167×410		
		新 新太郎書簡						1	
28		金15円為替にて貸渡被下度 飯田旗郎書簡	明治28年5月14日	千葉県千葉郡千葉町寒川 新 新太郎	大坂市大坂朝日新聞社長 高橋健三	書簡	245×335	7	消印 大阪明治28年5月15日
	1	巴里を御出に成るは何日頃に候哉	1890(明治23)年6月5日	ブリュッセル 飯田旗郎	パリ 高橋健三	書簡	170×283		便箋2枚
28	2	日本人会の事、各氏の動向	1890(明治23)年6月8日	ベルリン 飯田旗郎	ロンドン 高橋健三	書簡	415×270		一箇所焦げつきあり
	3	ベルリン滞在諸氏の動向、印刷機械の輸送について	1890(明治23)年7月3日	ベルリン 飯田旗郎	ロンドン 高橋健三	書簡	415×270		
	4	流行風邪に同居家族罹患の事、遣欧中の金子の件	明治24年2月2日	飯田旗郎	麹町区紀尾井町内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	180×855		消印 東京小石川明治24年2月 虫損大
	5	東邦協会規則の件、入会の件	明治25年9月12日	飯田旗郎	神田橋内 高橋健三	書簡	174×1500		消印 東京明治25年9月12日 糊剥離
	6	雑誌精神へ御投寄下され度に付	8月1日	飯田旗郎	高橋健三	書簡	182×768		幸便
	7	愚妹縁談の件	9月15日	飯田旗郎	神田橋内 高橋健三	書簡	172×748		幸便 糊剥離
		市川亮功書簡						5	名刺含む
29	1	御礼を兼ね暑中御伺い	明治21年8月27日	在仏国里昂府 市川亮功	日本東京 高橋健三	書簡	209×267		SPECIE BANK D E YOKOHAMA用箋
	2	当地への出発期日御一報被下度、帰朝の際の貸付金の事	1890(明治23)年6月28日	里昂 市川亮功	英京 高橋健三	書簡	176×223		SPECIE BANK D E YOKOHAMA封筒
	3	マリノニー氏へ渡す旧領収書の件、同氏よりの印刷機の調子伺いの件に付	1891(明治24)年4月24日	仏国里昂府 市川亮功	日本東京麹町区紀尾井町内閣官報局長 高橋健三	書簡	210×261		SPECIE BANK D E YOKOHAMA封筒、消印 東京明治24年5月30日
	4	T. Ichikawa(名刺)	1891(明治24)年	(市川亮功)	日本東京内閣官報局 高橋健三	名刺	89×96		消印 東京 明治□□年2月9日
	5	去る2月御差立候日本菊花帖の件、小生本年未帰朝の件	明治25年3月11日	里昂 市川亮功	日本東京麹町区元衛町官舎 高橋健三	書簡	210×263		SPECIE BANK D E YOKOHAMA封筒 消印 東京明治25年4月19日
30		市川量造書簡						1	
		迂生仕官の志罷在に付履歴書貴覧願ひ度	明治23年10月19日	宇都宮出先 市川量造	麹町紀尾井町 高橋健三	書簡	171×230		消印 東京明治23年10月19日 履歴書1冊
31		井上蘇吉書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		昨日の書物の代価別紙の通に付	明治21年7月14日	井上蘇吉	紀尾井町官報局 高橋健三	書簡	164×462		消印 神田明治21年7月14日 封筒裏面印刷 東京神田裏神保
32		飯村 粹書簡						1	
		本日の会は午後5時に付出席願上候	24日	飯村 粹	高橋健三	書簡	170×661		幸便 封筒・便箋変色もろけ 封筒上書「在秋田」
33		井内憊一書簡						1	
		神戸裁判所長・大阪裁判所長の転任一件と藤田氏の栄転に付	明治26年7月3日	大阪市北区紅梅町井内憊一	中猿楽町 高橋健三	書簡	177×1043		消印 東京明治26年7月4日 封筒破れ 糊
34		筏 安太郎書簡						1	
		入社を得度御採用願度に付	明治28年6月2日	兵庫県佐用郡大広村筏 安太郎	大阪中之島 高橋健三	書簡	180×1226		消印 大阪明治28年6月3日 糊剥離
35		池辺盛家書簡						1	
		病床御見舞い、今般欧州遊学の為明日横浜出帆に付	明治31年7月7日	横浜尾上町 池辺盛家	小田原町万年町 高橋健三	書簡	177×698		
36		池辺吉太郎書簡						4	
	1	御見舞状	明治30年10月8日	東京牛込区柳町 池辺吉太郎	小田原万年町 鈴木方高橋健三	書簡	181×668		消印 小田原明治30年10月9日
	2	東朝改革問題に付	明治30年11月28日	大坂市大川町淀屋小路越智方 池辺吉太郎	足柄下郡酒匂村天王原高橋健三	書簡	175×1525		消印 国府津明治30年11月29日
	3	長沢氏への書小生代筆に付記名願度	明治31年5月30日	東京牛込区柳町 池辺吉太郎	小田原山王原 高橋健三	書簡	180×702		糊剥離
	4	明日午前中に参上に付	7月3日	池辺吉太郎	高橋健三	書簡	247×343		幸便 汚れ 変色
37		石井(辰井)梅吉書簡 辰井梅吉分はB1-346		石井梅吉	高橋健三			10	
	1	学校事件之治め方に付可憂模様有之、対面を不損様懇望仕候	明治24年5月12日	(石井)梅吉	神田橋内官報局 高橋健三	書簡	166×594		封筒破損 虫損大
	2	歯痛の治療済み明日貴地へ御伺いに付	明治25年8月15日	大坂北区堂島中 石井梅吉	奈良中筋 藤田隆三郎様内 高橋健三	書簡	182×603		消印 奈良明治25年8月15日
	3	松本氏へ御書状の趣御伝置候、岡倉氏には面会東方協会の趣旨書相渡し候に付	明治25年9月2日	大坂北区堂島中 石井梅吉	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	166×422		しみ変色 虫損大
	4	借入金別表に相調候に付御高覧被下度	明治25年11月28日	日本橋区両国吉川町 国華社 石井梅吉	北豊島郡日暮里村 高橋健三	書簡	170×410		消印 東京駒込明治25年11月29日 書簡 下部変色 虫損 封筒
	5	細川へ参り委細話申候に付	明治25年12月16日	日本橋区両国吉川町 国華社 石井梅吉	北豊島郡日暮里村 高橋健三	書簡	243×332		消印 駒込・板橋明治25年11月17日 封筒もろけ 下部欠
	6	啓哲試刷出来、国華三十九号配送済ほか	明治25年12月26日	日本橋区両国吉川町 国華社 石井梅吉	大坂市北区中の島 渡辺橋南詰花屋方 高橋	書簡	242×334		消印 大坂明治25年12月27日 国華社罫
	7	電信為替御手許へ差出候、支払分取調一覧の件	明治25年12月29日	日本橋区両国吉川町 国[華社 石井梅吉]	大坂市北区中の島 花屋方 高橋健三	書簡	241×333		国華社罫紙4枚
	8	国華社経費の件に付	明治25年12月31日	日本橋区両国吉川町 国華社 石井梅吉	大坂市北区中の島 花屋方 高橋健三	書簡	245×336		消印 大坂明治26年1月2日 国華社罫紙2
	9	(国華社二関する条々)	明治26年6月30日	芝区本芝 法音寺内 石井梅吉	神田区仲猿楽町 高橋健三	書簡	242×169		縦とじ3枚
	10	其後御発熱の趣此頃は如何の御模様候哉	明治28年10月4日	大坂市北区中の島 高橋内 石井梅吉	神田区駿河台紅梅河岸 高橋昌長方 高橋健三	書簡	172×709		消印 東京明治28年10月4日

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
38		石井 條書簡						2	
	1	華族会館より囑託を受候件に付	明治22年12月16日	石井 條	高橋先生(健三)	書簡	179× 1080		幸便 封筒破損
	2	復職願	明治25年4月2日	石井 條	高橋先生(健三)	書簡	167× 750		幸便 糊剥離
39		石井忠之助書簡						1	
		(礼状)	12月2日	望陀郡大曾根村 石井忠之助	駿河台東紅梅河岸 高橋健三	書簡	245× 335		幸便
40		伊沢修二書簡						1	
		(病氣御見舞い)	明治30年10月10日	小石川区小日向 井沢修二	小田原町万年町 高橋 健三	書簡	172× 658		消印 小田原明治30 年10月11日
41		井沢(顛)三郎書簡						1	
		金拾円相収致候	8月4日	井沢(顛)三郎	高橋賢台(健三)	書簡	190× 540		
42		伊沢徳種書簡						1	
		厳父徳広死去に付	明治24年1月12日	麴町区飯田町 伊沢徳 種 人見宜智	麴町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	163× 349		
43		石川 巖書簡・葉書		石川 巖	高橋健三			15	葉書含む
	1	露国石油直輸入意見書の義に付	明治21年7月5日	下谷竹町 石川 巖	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	161× 686		
	2	東京電報負債の義に付	明治21年7月15日	下谷二長町 石川 巖	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	162× 1425		消印 神田明治21年7 月15日 上部欠 糊剥
	3	鈴木熊太郎氏翻訳の義に付	明治21年7月31日	下谷二長町 石川 巖	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	169× 746		消印 東京明治21年7 月31日 糊剥離
	4	東京電報借財の義に付	明治21年12月7日	下谷二長町 石川 巖	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	163× 1095		
	5	青木病状の件に付	明治21年12月27日	下谷正直屋にて 石川 巖	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	164× 1870		
	6	電報社負債一件に付	明治22年1月28日	神田柳原河岸 石川 巖	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	163× 903		
	7	遺産相続に付登記替致度に付	明治22年4月6日	下谷東黒門町 石川 巖	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	159× 1010		消印 四谷明治22年4 月6日 染み汚れ
	8	良吉処分御指揮被下度	明治22年4月15日	下谷東黒門町 正直屋 にて 石川 巖	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	159× 590		染み汚れ
	9	竹町邸宅の義日本鉄道会社と大概纏りに付	明治22年4月29日	石川	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	161× 1115		染み汚れ 封筒は私 立東京商業学校のも
	10	加賀美平八郎への貸金の件に付	明治22年5月14日	下谷東黒門町 石川 巖	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	158× 1080		染み汚れ 糊剥離
	11	青木家の義に付御相談の件	明治22年5月22日	石川 巖	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	159× 484		染み汚れ
	12	御令闈築地桜井方へ御出被下度	明治22年11月15日	南鋸町 石川 巖	赤坂官報局官舎 高橋健三	葉書	140× 89		消印 芝口明治22年 11月15日
	13	口上(青木老人病状の件)	明治22年11月27日	下谷東黒門町 青木方 石川 巖	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	239× 328		色移り カビ
	14	染竹軸燐寸事業の義に付	3月13日	下谷練堀町 石川 巖	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	172× 969		幸便
15	商業新報の戸田宇八氏依頼の件	10月13日	下谷練堀町 石川 巖	官報局官舎 高橋健 三	書簡	172× 655		幸便	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
44		石川顕一郎書簡						2	
	1	返金可被下候件に付	明治25年8月5日	四谷尾張町 石川顕一郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	182× 484		封筒・書簡下部変色、虫損
45	2	兼て之件催促申上候	明治25年8月9日	四谷尾張町 石川顕一郎	麹町区神田橋内内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	180× 265		封筒・書簡下部変色、虫損
		石坂義雄書簡						1	
46		一筆書替云々之儀に付	明治16年4月16日	練堀町 石坂義雄	駿河台東紅梅河岸 高橋健三	書簡	160× 684		汚れ 変色
		石橋 奎・内山行貫書簡						1	
47		法学士一許に付吾県の実情に付申述候	明治16年1月8日	石川県庁学務課 石橋 奎外1名	文部権少書記官 高橋健三	書簡	159× 253		消印 東京明治13年2月6日
		石山仁之助書簡・葉書						4	葉書含む
47	1	過日退校今般浦塩斯徳へ渡航致候に付	(明治25年)6月4日	石山仁之助	高橋先生	書簡	169× 731		幸便
	2	江州商人之敏智学び近在地方行商仕候	明治25年8月2日	石山仁之助	東京麹町元衛町 高橋健三	書簡	172× 509		消印 東京明治25年8月14日 下部変色 虫
				高橋健三	浦潮港にて 氷上克己	書簡			封筒上書「石山仁之助持参」未開封
3	先便申上之地方行商の件	明治25年8月30日	浦潮にて 石山仁之助	東京麹町元衛町 高橋健三	葉書			消印 東京 明治25年9月9日 91×142	
48		和泉良之助書簡						1	
		ロシア語学校卒業者良、閣下の一瞥を煩わし度に付	明治30年2月22日	麹町一番町二松学舎 和泉良之助	麹町区永田町内閣書記官長官舎 高橋健三	書簡	181× 807		
49		伊勢本一郎外2名書簡						1	
		10日東京商業学校第2回卒業生者音階開会に付御案内	1月1日	東京商業学校第二回卒業生謝恩会幹事 伊勢本一郎	高橋健三	書簡	178× 770		2名氏名斎藤銀太郎・原田長太郎 一部変色あり
50		磯部弥一郎書簡						1	
		11日本会第6回卒業証書授与式執行に付		国民英学舎 磯部弥一郎	(東京高等学校長)高橋健三	書簡	168× 448		幸便
51		一瀬勇三郎書簡						2	
	1	参会致兼候間役員投票差上に付	明治11年10月1日	南鍋町 一瀬勇三郎	木挽町 高橋健三	書簡	149× 325		虫損
52	2	法学会高義に付紹介人名御報申上候	明治13年2月8日	山下町 竹川藤八方 一瀬勇三郎	木挽町 高橋健三	書簡	169× 535		
		伊藤駒次郎書簡						1	
53		□究致度事件有之に付尊官の御周旋に預り度	明治25年4月7日	麹町区飯田町西片定方 伊藤駒次郎	高橋健三	書簡	249× 334		幸便 封筒下部虫損
		伊藤樗太郎書簡						3	
53	1	明治座見物致候に付御光来被下度	明治28年10月4日	日本橋区蛸殻町 伊藤樗太郎	下谷区上根岸町陸奥方 高橋健三	書簡	176× 812		
	2	明後日御光来被下度願上候	明治28年10月6日	かきがら町 伊藤樗太郎	神田駿河台紅梅川岸 高橋様方 高橋健三	書簡	181× 545		糊剥離
	3	三木屋へ金員渡候に付御一報	明治28年10月19日	かきがら町 伊藤樗太郎	神田駿河台紅梅川岸 高橋様方 高橋健三	書簡	180× 582		消印 東京明治28年10月20日
54		伊東巳代治書簡						25	
	1		(明治24年)1月13日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	182× 1116		幸便

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	表紙装飾等に付御高見相伺度	(明治24年)7月11日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	184× 682		幸便
	3	内嘱の一条に付、選挙人名簿御送付被下度	1月11日	伊東巳代治	官報局 高橋健三	書簡	183× 1330		幸便 糊剥離
	4	小生病気稍平癒に至り候に付12日夕拝謁被下度	3月10日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	182× 425		幸便 糊剥離
	5	学生より憲法其他の英訳取揃要望に付	6月10日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	182× 697		幸便 糊剥離 内閣用封筒
	6	明日は終日枢密院官舎に詰合せに付	6月10日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	214× 677		幸便 糊剥離 内閣用封筒
	7	昨日内談の一条今明日中に印刷に取掛候に付(英訳憲法)	6月12日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	181× 975		幸便 赤色墨文字
	8	一両日中に印刷に取掛に付尊台より議長へ一書差送被下度	6月17日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	164× 913		幸便 糊剥離 内閣用封筒
	9	伊藤伯の評議の件、学校へ出版書籍恵与に付	6月22日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	182× 837		幸便
	10	英訳憲法印刷見本出来に付	6月29日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	205× 260		幸便
	11	石版職工の儀に付	7月7日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	180× 695		幸便
	12	壮訂の件で印刷局へ御同伴に付都合相伺の件	7月13日	伊東巳代治	永田町官舎 高橋健三	書簡	182× 722		幸便
	13	英吉利法律学校へ300部程用意出来候に付	7月16日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	206× 261		幸便
	14	憲法附書の諸法令のところに皇室典範相漏に付	7月17日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	182× 1115		封筒欠 糊剥離
	15	昨日不在中拝謁も不仕欠礼に付	7月19日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	182× 825		幸便 赤色墨文字
	16	明24日午後4時すみ屋へ御来臨被下度	7月23日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	183× 516		幸便
	17	今夕四時より寿美屋へ御来臨可下候	7月24日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	183× 796		幸便
	18	今回は御懸りより後又御厄介に相成候事と罷成候	8月18日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	182× 1076		幸便 封筒虫損 糊剥離
	19	都新聞「高健のヤッキ巳代治の弁翁」と題する一項に付	10月4日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	182× 722		幸便 糊剥離
	20	明日は早朝より在所に付何事も相口候	10月4日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	182× 866		幸便
	21	御光来水曜日頃永田町官舎にて待受申上候	11月14日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	162× 718		幸便
	22	石板機械見積書ならびに付属品一式送状廻付被下候	11月22日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	182× 898		幸便
	23	御内所の事、石板一条取揃度、宿病再発自重の事	11月25日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	184× 658		幸便
	24	(在所の日程に付)	12月18日	伊東巳代治	高橋健三	書簡	183× 1070		幸便
	25	印刷出板の日付に付		伊東巳代治	高橋健三	書簡	183× 1450		幸便 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
55		稲垣満次郎書簡						4	
	1	東方協会の事に付至急御相談申上度	明治25年8月20日	麴町区下六番町 稲垣満二郎	神田橋内 高橋健三	書簡	179×572		下部しみ変色
	2	来1日夕飯後罷出候に付	明治25年8月30日	下六番町 稲垣満次郎	神田橋内 高橋健三	書簡	180×463		下部しみ変色 封筒虫損
	3	(政界の形勢、松方伯の事に付)	明治28年11月11日	埼玉県北足立郡大宮氷川公園万松楼 稲垣満	大坂市中島大坂朝日新聞社内 高橋健三	書簡	195×1825		糊剥離
	4	参堂仕るも面語時間は僅かに付御承知被下度	9日	稲垣満次郎	高橋健三	書簡	181×390		幸便
56		稲益一義書簡						4	
	1	川上氏を訪問、該地への第二期航海を決心に付	明治25年3月9日	麴町区富士見町松葉亭 稲益一義	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	183×497		
	2	(浦塩斯徳の景況報告)	明治25年6月21日	(浦塩斯徳米貿易事務所) 稲益一義	神田橋内官報局 高橋健三	書簡	172×1650		消印 東京明治25年6月29日
	3	(浦塩斯徳商況探査報告)	明治28年5月28日	神田錦町稲益一義	大坂中ノ島大坂朝日新聞社 高橋健三	書簡	183×1034		
57		稲本 誠書簡						2	
	1	拙詠三首採録に付 和歌3首	(明治22年)12月20日	牛込東五軒町 稲本誠 (稲本)誠	[]紀尾井町 高橋健三	書簡 和歌	165×308 200×145		虫損 変色 もろけ 同封用紙3枚(200×3枚 高橋の横浜出港 仏国行き
58	2	別紙印形御返璧、深謝の件	明治25年7月30日	まこと(稲本誠か)	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	165×409		下部しみ変色 虫損 「証人 高橋健三」短
		犬養 毅書簡						7	
	1	今朝の常議員会の返答の報告に対する返答の件(公同会員よりの秘密写後任人事の件	明治30年10月30日	牛込馬場下町 犬養毅	相州小田原万年町鈴木にて 高橋健三	書簡	181×1961		消印 小田原明治30年11月1日 水濡れ変
	2	隈伯今朝松伯へ辞表差出の件御報	明治30年11月6日	牛込馬場下町 犬養毅	相州小田原万年町鈴木にて 高橋健三	書簡	180×646		消印 小田原明治30年11月7日 水濡れ変
	3	座椅子の製造所を大隈伯夫人に問合せの件に付	9日	大隈伯邸にて 犬養毅	高橋健三	書簡	166×850		幸便 虫損小 変色
59	4	21日伊藤婦郷の事に付只今より神・大両君と八百勤に小集致居候、京都の事は始めて相分	9日	(犬養)木堂	高橋(健三)	書簡	178×610		幸便 しみ変色 色移り
		駄講釈 小柄15本の内				書簡	178×1010		しみ変色
	5	只今隈伯を訪問、伯の今夕明朝の予定に付		犬養毅	高橋健三	書簡	184×565		幸便 進歩党本部封筒 虫損小
60		井上 毅書簡						2	
	1	実方母死去に付	明治18年5月23日	市ヶ谷薬王寺前町 井上毅	京橋南コンヤ町 高橋健三	書簡	182×248		虫損小
60	2	(礼状 御奔走を煩わしに付)	2月13日	井上 毅	高橋健三	書簡	174×962		幸便
		井上哲次郎書簡						4	
1	英華字典校閲の件に付	明治16年6月6日	井上哲次郎 麴町区富士見町 井上哲次郎	高橋健三 神田区駿河台紅梅町河岸 高橋健三	書簡	164×872			

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	5日午後五参上の件敬承に付	明治24年5月2日	西片町 井上哲次郎	麴町区元衛町(神田橋内)高橋健三	書簡	179× 467		消印 麴町明治24年5月2日
	3	月評一覽致度に付拝借願ひ	11月14日	西片町 井上哲次郎	麴町区元衛町(神田橋内)高橋健三	書簡	182× 389		幸便 封筒左上しみ
	4	御招き拝諾に付	7月12日	小石川表町 井上哲次郎	神田橋内元衛町高橋健三	書簡	179× 421		幸便
61		今居真吉書簡						1	
		陸の妻よりの書簡で御不快を知り御見舞ひ在伯林の近況等	明治30年12月2日	ハルレ大学医学部眼科 今居真吉	下谷区上根岸町 高橋健三	書簡	223× 177		便箋2枚
62		今泉雄作書簡	明治20・24年		高橋健三			3	
	1	兼て差上候西谷名口返付願ひに付	(明治20年か)1月29日	根岸 今泉雄作	紀尾井町官報局官舎高橋健三	書簡	162× 818		文部省用封筒
	2	点口之伝口候間為写さしたしに付	明治24年7月14日	東京美術学校 今泉磯蔵	口区元衛町神田橋内高橋健三	書簡	167× 428		東京美術学校用封筒
	3	評論雑誌原按に付	19日	今泉雄作	高橋健三	書簡	160× 1556		封筒欠 糊剥離
63		入江鷹之助書簡						2	
	1	原君より小林氏の一般海上法草稿至急入用に付	明治14年8月8日	小川町 入江鷹之介	京橋区末挽町 高橋健三	書簡	151× 477		糊剥離
	2	河瀬局長に辞表を出すべき旨諭された件に付	10月22日	入江鷹之助	高橋健三	書簡			幸便 虫損 糊剥離
64		巖上照雄書簡						1	
		田村耕平より貸金取立方委託され候に付	5月28日	日本橋区金吹町 巖上照雄	高橋健三	書簡	165× 975		幸便 水濡れ変色
65		岩腰 寿書簡						1	
		旧藩公之侍読を今回出版に付進呈の件	明治31年5月26日	愛知県東春日井郡小牧町 岩腰 寿	神田駿河台東紅梅町高橋健三	書簡	181× 567		消印 明治31年5月27日
66		岩崎半右衛門書簡						1	
		泉井氏迄御一報を遣し度に付(別紙連絡先あり)	明治20年1月16日	岩崎半右衛門	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	163× 671		しみ 虫損
		(中村道太・泉井松右衛門連絡先)				状	163× 131		しみ 虫損
67		岩崎弥之助書簡						1	
		晩餐指上度に付	明治21年9月25日	駿河台 岩崎弥之助	麴町区紀尾井町第一号官舎 高橋健三	書簡	188× 494		虫損 水濡れ変色 糊剥離
68		岩田武雄書簡						3	
	1	17日園遊会相催し候に付	4月4日	新橋日吉町 岩田武雄	神田橋内官舎 高橋健三	書簡	182× 258		幸便 糊剥離
	2	同窓会景況日本新聞へ掲載に付	4月20日	岩田武雄	高橋健三	書簡	180× 668		幸便
	3	ロシア語学校看板設置場所に付	12月24日	新橋日吉町 岩田武雄	神田橋内官報局官舎高橋健三	書簡	183× 497		幸便
69		岩邨通俊書簡						1	
		亡父遺稿上梓に付進呈候	明治23年1月10日	岩邨通俊	高橋健三	書簡	170× 125		書冊添え 印刷物
70		巖谷 脩書簡						1	
		5日故立太郎二七逮夜に付	2月3日	小石川原町 巖谷 脩	糺町区紀尾井町高橋健三	書簡	173× 672		虫損
71		上杉武治郎書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
72		病気見舞い、拙書の可否伺い度 上田武蔵書簡	11月27日	(四谷筆笥町) 上杉武治郎	高橋先生(健三)	書簡	177× 1093		幸便
		亡植田貫之助への悔状・香料への礼状 植田理太郎書簡	明治29年8月30日	大分県宇佐郡駅館村 上田武蔵	大阪中ノ島 高橋健三	書簡	155× 407		封筒水濡れもろけ 変色糊剥離
73	1	小生本日午後上京に付	明治28年6月8日	南本町 植田里太郎	大阪中ノ島 高橋健三	書簡	179× 476		別紙欠
	2	参考迄別紙差上に付	明治28年6月20日	南本町 植田里太郎	中之島 高橋健三	書簡	182× 386		
	3	農商務へ係す書類下見済次第使者に渡し被下度	2月24日	植田理太郎	内閣書記官長 高橋健三	書簡	188× 681		幸便 糊剥離
74		上野眼道書簡						2	
	1	紙代金560円受取廻送の件	明治21年5月21日	横浜 上野眼道	紀尾井町 高橋健三	書簡	169× 680		糊剥離
		受取書	明治21年5月19日	Griffin & Co.	高橋健三	状	147× 229		
		請求書	明治21年5月21日	Griffin & Co.	高橋健三	状	265× 213		
2	為替金の儀に付	明治21年5月31日	横浜 上野眼道	紀尾井町 高橋健三	書簡	167× 862		消印 東京明治21年6月1日	
75		上野 哲書簡						2	
		相談申上候岩崎氏面会の儀に付 瀧先生へ紹介願い度	明治24年9月20日	下谷区徒町 上野 哲	官報局官舎 高橋健三	書簡	167× 631		上野哲は高知県事業会総代
76		上野理一書簡						23	
	1	明日午後2時北浜灘満楼へ御出車被下度	明治25年12月24日	上野理一	花屋にて 高橋健三	書簡	189× 788		
	2	内地雑居論出版に付奉謝候、他日必要のヶ條参考迄に申上候	明治26年12月13日	大坂 上野理一	麴町区帝国ホテル 高橋健三	書簡	180× 3180		消印 東京明治26年12月14日 虫損 変色
	3	去月分利子領収通帳に記載に付	明治27年3月3日	上野理一	高橋健三	書簡	179× 529		幸便 虫損小
		仮証(金75円)	明治27年1月26日	上野理一	高橋健三	状	182× 247		
	4	出京員の件村山氏より電信に付、国華社出品の件に付	明治28年1月7日	大阪本社 上野理一	京橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	184× 2805		消印 東京明治28年1月8日
		対清適見なる小冊子に付	明治28年1月6日	(在京都 荒尾)	上野理一	書簡	181× 1826		
	5	御口向の趣拝承仕り候に付入用品申越被下度	明治28年1月11日	大阪市北区中ノ島 大坂朝日新聞社 上野理一	日本橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	183× 912		消印 東京明治28年1月13日書留
	6	今日当警察本部より原田氏を呼出別紙の通相達候趣に付	明治28年1月16日	大阪 上野理一	京橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	180× 774		消印 東京明治28年1月17日
	7	社説日々紙面に現れ好都合、博覧会出品の儀、小川よりの申状の件	明治28年1月18日	大阪 上野理一	京橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	183× 2408		消印 東京明治28年1月18日
(別紙)小生支給の金額にては月々不足に付		明治28年1月13日	小川定明	上野理一	書簡	179× 1905			

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	8	強震見舞	明治28年1月20日	大阪 上野理一	木挽町水明館 高橋健三	書簡	181×387		消印 東京明治28年1月21日
	9	小川の儀に付、大臣随行支度云々の件	明治28年1月29日	大阪 上野理一	木挽町水明館 高橋健三	書簡	183×1609		消印 東京明治28年1月31日
	10	新聞用紙の儀、小川の儀、社説組込の儀、東朝社説の儀に付	明治28年2月4日	大阪朝日新聞社 上野理一	駿河台南甲賀町 高橋健三	書簡	182×1330		消印 東京明治28年2月5日書留
	11	瀧君へ晩餐差上度に付拙宅へ同車被下度	明治28年5月4日	上野理一	高橋健三	書簡	183×812		幸便
	12	本日分御手当残金差上候に付、稲垣君の事	明治28年6月26日	上野理一	高橋健三	書簡	182×902		幸便 明治27年か 封筒加筆では「二八ノ六
		勘定書(廿七年5月～6月)	明治27年6月25日	本社	高橋健三	状	182×491		
	13	御親族両名様死去の由、松方伯の事、組織改正(東西両社)の件	明治28年10月2日	上野理一	高橋健三	書簡	182×1585		幸便
	14	山松の事稲垣氏動向に付御返事旁一書	明治28年10月30日	大阪 上野理一	静岡県下興津町 千歳屋 高橋健三	書簡	182×1085		消印 興津明治28年10月31日
	15	御手当口額外二酒肴料さし遣わし度	明治28年12月28日	上野理一	高橋健三	書簡	182×654		幸便
	16	国家の前途果して如何、御同士虫最も厚き御方へ御内話可然と存に付貴意を伺い候	明治30年10月2日	東京木挽町水明館 上野理一	相州小田原万年町鈴木方 高橋健三	書簡	182×1420		書留郵便 書簡のみ虫損
	17	書留拝読不堪口激候、陸氏を訪い種々閑談、小田原へ同行し相談可致との事御都合如何	明治30年10月7日	東京木挽町水明館 上野理一	小田原万年町鈴木方 高橋健三	書簡	182×1420		消印 小田原明治30年10月8日
	18	三田主人へ漸く面語、勅撰の件熟願に付御内報候	明治30年10月10日	東京木挽町水明館 上野理一	小田原万年町鈴木方 高橋健三	書簡	182×722		封筒変色
	19	参上に際し御馳走報謝候、別封奥様に差上候	明治30年10月20日	東京木挽町水明館 上野理一	相州小田原万年町鈴木方 高橋健三	書簡	182×336		消印 小田原明治30年10月21日
	20	陸氏へ貴書御届に付	明治30年10月26日	コピキ町水明館 上野理一	相州小田原万年町鈴木方 善左衛門様方 高橋健三	書簡	181×883		
	21	昨夜は御迷惑の話申上げ奉感謝候	25日	大阪朝日新聞社 上野理一	高橋健三	書簡	183×228		幸便、大阪朝日新聞社封筒
77		上原六四郎書簡						1	
		専脩学校脩業生永野米蔵に適當の場所を御尽力願度	(明治22年)12月21日	神田中猿樂町 上原六四郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	157×685		幸便 封筒上書「廿二年力」
78		植村俊平書簡・葉書						2	葉書含む
	1	Mr. Magaki's adres	1890年7月3日	植村俊平	K. Takahashi	葉書	75×123		
	2	手紙持参の人古仏画売払い度に付紹介状	(明治28年)1月29日	中六番町 上村俊平	築地水明館 高橋健三	書簡	176×579		幸便 上書き「鈴木棟四郎氏持参」糊剥離
79		臼井喜代松書簡		臼井喜代松	高橋健三			3	
	1	媾和事件と戦後の国家経済についての記事清書出来次第参上に付	(明治28年)1月25日			書簡	176×573		
	2	博覧会一見の為京都着、御重態と聞き拝謁不叶平癒を念じ候	明治28年5月11日	京都三条通り下るル 臼井喜代松	大阪中之島 高橋健三	書簡	166×430		消印 大阪明治28年5月12日 糊剥離
	3	林茂淳氏より小生起草の文辞取り纏め貴下に奉呈申越に付	1月17日	臼井喜代松	高橋健三	書簡	163×573		幸便
80		内田嘉吉書簡		内田嘉吉	高橋健三			2	
	1	商業学校卒業式按内状印刷の件申来に付	明治30年4月11日	京橋区木挽町通信省官舎内田嘉吉	麹町区永田町内閣官舎 高橋健三	書簡	182×625		糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
81	2	商業学校卒業式18日と相定め招待状発送致 度に付	4月8日	元園町 内田嘉吉	永田町 高橋書記官長 (健三)	書簡	182× 745		
		内田信蔵書簡						1	
82		演題(旧上官の御仁慈により思召恵投願) 演代(旧上官の御慈悲を以て帰県の旅費恩 借願)	3月4日	内田信蔵 旧駅通局二相勤申候 内田信蔵	高橋従五位(健三)	書簡	246× 169 163× 243		幸便 切り封
		内原軍二郎書簡						1	
83		垂細垂編輯の傍らの副業を御周旋願い度	明治24年8月8日	陸中国鹿角郡毛馬内町 内原軍二郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	182× 1799		消印 東京明治24年8 月11日 虫損 変色
		内村義城書簡						1	
84		官河卯三郎東京の官省へ転勤し法律学研究 致し度に付	明治30年2月1日	(大坂府堺市戎三町) 内村義城	高橋健三	書簡	169× 1825		幸便 封筒変色 もろ け「愛媛県士族 官 河卯三郎」青焼き名刺
		内山信民書簡	明治21~30年	内山信民	高橋健三			6	
85	1	(出京から奈良着任までの様子報告)	明治21年1月23日	大和国五条治安裁判所 内山信民	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	164× 1813		消印 東京明治21年1 月27日 糊剥離
	2	民刑事丁部(宇智郡)担任と相成着任の判事と 法律研究会に勉励に付	明治21年3月8日	大和国五条治安裁判所 官舎第2号 内山信民	麹町区紀尾井町官報局 第1号官舎 高橋健三	書簡	161× 1505		消印 東京明治21年3 月13日
	3	仏国出張御事欽喜至奉存候、出国日程を石井 氏マデ御漏被下度	明治23年2月20日	大和五条治安裁判所 内山信民	麹町区紀尾井町官報局 第1号官舎 高橋健三	書簡	248× 336		消印 東京名23年2月 22日 虫損大 五条治 安裁判所用箋
	4	藤田先生の評説は無根の浮事なるを御諒知被 下度	明治24年5月24日	奈良区裁判所 内山信 民	麹町区元衛町 高橋健 三	書簡	180× 1852		消印 東京明治24年5 月25日 糊剥離
	5	御邸より北浦方書籍借用の儀御下命に付、故 北浦定政へ宮内庁より祭筵料下賜の件	明治30年9月18日	大和平城 内山信民	相州小田原万年町鈴木 方 高橋健三	書簡	180× 87		糊剥離 水濡れ変色
		祭筵料金25円下賜候事(写)	明治30年9月7日	宮内省	北浦義十郎	状	172× 195		
86	6	御病気の模様御一報被下度	明治30年10月7日	大和なら公納堂 内山 信民	相州小田原万年町鈴木 方 高橋健三	書簡	195× 395		水濡れ変色
		宇野銈太郎書簡						1	
87		帰朝を祝し亡父が懇切を蒙りしを謝の件	明治23年10月23日	三河国東加茂郡志賀村 宇野銈太郎	麹町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	157× 430		
		梅津直蔵書簡						1	
88		妻中事本月10日死去候に付	明治29年8月19日	芝区神明町 梅津直蔵	大阪市中ノ島 高橋健 三	書簡	157× 403		消印 大阪明治29年8 月21日 文中宛名は 高橋奥様
		梅津勇之進書簡						2	
89	1	恭賀新禧	明治21年1月16日	備前岡山常盤町石田方 梅津勇之進	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	164× 960		消印 東京明治21年1 月21日 糊剥離
	2	官報局への大火飛び火見舞い、愚妹の事	明治25年4月20日	岡山市東中山下 梅津 勇之進	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	182× 878		消印 東京明治25年4 月21日
90		浦 敬一書簡						2	
	1	謹奉賀新年	明治20年1月3日	長崎本博多町以文会 浦 敬一	東京府根岸金杉村 高 橋健三	書簡	275× 395		消印 東京明治20年1 月10日 転居票貼付 麹町区紀尾井町

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	漢鎮楽善堂店内に寓居商事之傍ら語学・支那財政取調に付専修学校の教科書御遺賜奉願候	明治21年1月23日	浦 敬一	麹町区紀尾井町 官報局官舎 高橋健三	書簡	244×374		消印 東京明治21年2月3日 外国郵便 漢鎮楽善堂用箋3枚
89		雲照書簡						1	
		謹稟(帰朝祝賀法門教義申上度に付)	明治23年11月4日	目白十善会 雲照	高橋健三	書簡	173×985		幸便 糊剥離
90		江木 表書簡						3	
	1	法学新報社の看板揮毫の件	1日	江木	高橋健三	書簡	171×487		幸便 虫損小 変色
	2	法学新報材料法学院へ於持寄願い度	20日	内務省於テ 江木参事官	官報局長 高橋健三	書簡	182×432		幸便
	3	法学新報(原稿)法学院へ御申遣被下度		江木	高橋健三	書簡	182×454		幸便 下部変色
91		蛭江暁村書簡			高橋健三			2	
	1	小原沢二男の件に付明日参上致し度御伺い	明治24年11月23日	本所緑町 蛭江暁村	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	173×360		糊剥離
	2	此品は年暮のしるし迄	12月29日	本所緑町 蛭江暁村	根岸御行松 高橋健三	書簡	180×368		幸便「鯉節打添」折目もろけ
92		遠藤福寿書簡						2	
	1	12月13日外国に関する事[]当監獄に幽閉に付	明治19年3月11日	大阪府堀川監獄分署 遠藤福寿	麹町区上二番町 高橋健三	書簡	251×338		消印 東京明治19年3月18日 虫損大 変色 在監人信書用紙
	2	国事犯事件の嫌疑を蒙り繋獄の処無罪放免となり、旅費調達の上高諭を拜し度に付	明治20年9月25日	大阪府東区小浜 草山英夫氏方 遠藤福寿	麹町区上二番町 高橋健三	書簡	160×745		消印 東京明治20年9月29日 虫損小
93		遠藤元三書簡						1	
		御見舞い申上度御伺い	明治30年10月2日	横浜市尾上町 遠藤元三	麹町区永田町書記官長官舎 高橋健三	書簡	240×161		水濡れ変色 横浜火災保険(株)便箋
94		大淡善童書簡						1	
		赤宇津墓碑銘拓本の件に付摺代 75銭 石碑磨賃共	明治28年11月12日	東京芝功運寺住職 大淡善童	大坂 高橋健三	書簡 状	165×598		幸便 上部変色 虫損小
95		大石正巳書簡		大石正巳	高橋健三			4	
	1	今夕の件友人との別杯の約束に付欠席致度	7月12日	牛込下宮比町 大石正巳	高橋健三	書簡	189×421		幸便 虫損小
	2	明後13、4日朝より拙宅にお出掛け被下度	1890(明治23)年7月12日	ロンドン 大石正巳	ロンドン 高橋健三	書簡	180×224		封筒破損
	3	何時に出発なるやを御報被下度	1890(明治23)年7月20日	ロンドン 大石正巳	ロンドン 高橋健三	書簡	180×226		封筒破損
	4	不日旅行に付粗酒差上げ度入来案内	明治24年9月17日	麹町区飯田町 大石正巳	神田橋内官報局 高橋健三	書簡	171×742		汚れ小
96		大岡邦二郎書簡						1	
		車上で考えた事、台湾の事、小西の件	明治25年10月15日	小石川 大岡邦二郎	駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	183×887		糊剥離
97		大木房英書簡						22	
	1	本日黄昏頃茅屋へ御来訪被下間敷に付	明治13年3月2日	本所区緑町 大木房英	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	160×486		消印 東京明治13年3月3日
	2	浜尾氏招待の儀に付	明治13年9月9日	深川区東元町 大木房英	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	165×680		消印 東京明治13年9月10日

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	3	総会へは出席可仕積り、別紙投票箋差出有之御吹聴迄申上候	明治13年10月1日	深川区東元町 大木房英	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	165×329		虫損
	4	小生儀長崎裁判所詰被命に付	明治14年8月9日	本所好町 大木房英	築地木挽町 高橋健三	書簡	159×537		
		追伸 本日にて事務引渡も為相済候に付				書簡	159×179		
	5	名古屋行之儀に付	明治14年8月14日	大木房英	木挽町 高橋健三	書簡	164×532		幸便
	6	病者死去の趣電報到来に付	明治14年8月15日	本所緑町 大木房英	木挽町 高橋健三	書簡	160×472		糊剥離
	7	彼の金円一条、先方より申越に付	明治14年8月27日	本所緑町 大木房英	木挽町 高橋健三	書簡	161×514		
	8	昨日も先方より別添之通申し越候に付	明治14年8月30日	本所緑町 大木房英	築地木挽町 高橋健三	書簡	161×631		色移りあり 虫損小
		御用立置候金子之件	8月29日		(大木)房英	書簡	162×427		
	9	長崎安着の御報、礼状	明治14年10月23日	長崎県下豊後町 大木房英	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	162×365		虫損 変色 色移り
		追伸 大坂にて岡田・鈴木・甲賀、神戸にて久米・上野・田中・小林に面会致し候				書簡	162×94		虫損
	10	辞職帰京決心罷在候得共種々障碍有之に付	明治16年3月13日	長崎県長崎区小川町 大木房英	神田区駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	162×1255		消印 東京明治16年3月17日 色移り
	11	昨日午後十時の電報にて御来爾の趣拝承候	明治16年3月23日	長崎区小川町 大木房英	神田区駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	163×1133		消印 東京(明治16年3月)29日
	12	這般の一条(現職辞職の事)に付	明治16年3月30日	長崎小川町 大木房英	神田区駿河台東紅梅河岸 高橋健三	書簡	159×1535		消印 東京明治16年4月5日
	13	身上之儀に付御官告之趣難有奉存候	明治16年4月26日	下谷上車坂町 大木房英	駿河台東紅梅町 高橋健三	書簡	164×583		
	14	左之通り誤植発見に付	明治16年11月26日	大木房英	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	165×507		虫損小 糊剥離
	15	古屋の儀に付	明治18年3月8日	神田山本町 大木房英	麹町区上二番町 高橋健三	書簡	166×1078		
	16	古屋の儀に付	明治18年4月6日	神田山本町 大木房英	麹町区上二番町 高橋健三	書簡	166×1090		
	17	御帰朝拝賀候、官報局改革の件	明治23年9月25日	山形県最上郡役所 大木房英	内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	171×1118		消印 東京明治23年9月27日
	18	未だ成否の程難記に付	1月9日	(大木)房英	高橋(健三)	書簡	163×693		封筒欠 破損大 変色
	19	(開状不可)				書簡			封筒欠 虫損 変色 破損大
		記(洋籍一冊 落手)	1月20日	大木房英		状	162×170		
	20	畠山の談、山岡の回答の件	12日夜	(大木)房英	高橋(健三)	書簡	164×563		封筒欠 破損大 変色
	21	一勝氏関係の件、古屋云々儀に付	27日	(大木)房英	高橋(健三)	書簡	165×940		
98		大木良宣書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		ロンドン滞在の青木氏宛書状の件に付	明治20年8月18日	蘇国ポーネス滞在 大木良宣	内閣官報局 高橋健三	書簡	171× 784		消印 甲府明治20年9 月30日 東京明治20 年10月1日 甲府在住 の大木房英から転送
99		太田卓之書簡						1	
		福島少佐口口云々に付	明治25年12月19日	会計検査院 太田卓之	豊島郡日暮里邨字金杉 高橋健三	書簡	164× 356		
100		大竹貫一書簡						3	
	1	金本位の儀に付相談致し度	明治30年2月11日	大竹貫一	高橋健三	書簡	182× 504		幸便 糊剥離
	2	粗末の物食品少々相口に付(添状)	明治30年9月28日	大竹貫一	高橋健三	書簡	191× 665		幸便 糊剥離 虫損 カビ 状態悪い
	3	志賀氏への貴翰の件、政海の模様は急願直下	明治30年11月4日	東京 大竹貫一	小田原万年町鈴木氏方 高橋健三	書簡	178× 912		消印 小田原明治30 年11月4日
101		太田黒重五郎書簡						1	
		太田黒惟信嬢樂と結婚し改姓に付案内(旧姓 小牧)	明治24年6月15日	下谷金杉村 太田黒重五郎	麹町区官報局 高橋健 三	書簡	166× 699		
102		大槻如電書簡			高橋健三			2	状含む
	1	平曲保存会第二回(公演会案内)	明治30年2月18日	大槻如電	永田町 高橋健三	状	167× 213		幸便 印刷物
	2	御都合の宜敷時刻を示し被下度、興福寺別当 次第三四両巻評価の件	明治28年10月7日	アサクサ 大槻如電	スルカ台 高橋健三	書簡	244× 328		幸便 上書「巻物二本 添」
103		大橋樹太口口書簡						1	
		元田氏の書面通信社謝絶の件に付	5月18日	大橋樹太口口	高橋健三	書簡			幸便 虫損小 糊剥離
104		大橋鐵太郎書簡						4	
	1	御申聞の翻訳の義に付	明治25年6月24日	三崎町北沢方 大橋鐵 太郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	156× 1020		虫損
	2	志賀様に御依頼の身上の件に付先生より御願 致し被下度	明治25年7月8日	三崎町北沢方 大橋鐵 太郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	183× 1003		
	3	過般御申聞の翻訳の義に付	明治25年7月15日	三崎町北沢方 大橋鐵 太郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	157× 839		
	4	陸先生の周旋にて日本に採用に付、宿料御立 換被下度	明治25年8月29日	神田三崎町北沢方 大橋鐵太郎	糺町区神田橋内官報局 官舎 高橋健三	書簡	161× 735		
686		大原鎌三郎書簡							
		今回意を決し近々帰京仕候間昔日の如く御添 心被下候様希望仕候	11月24日	秋田市 大原鎌三郎	高橋健三	書簡	159× 588		幸便 封筒上書「川瀬 君二托ス」
105		大矢東吉書簡						1	
		香料御礼	17日	大矢東吉	高橋(奥か)	書簡	162× 767		
106		大谷木 一書簡						1	
		尾一郎義病気快方の由に付	明治24年3月13日	小梅村 大谷木 一	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	175× 404		
107		大谷木備一郎書簡						2	
	1	高橋一勝の代言事務引継二年、同人追慕宴会 相催しに付	明治21年4月10日	神田区仲猿楽町 大谷 木備一郎・華子	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三・令夫	書簡	193× 526		
	2	書籍借覧願	9月9日	品川にて 大谷木備一 郎	神田橋内 高橋健三	書簡	168× 782		幸便 糊剥離
108		大谷木耐三・富次郎書簡						3	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	1	大谷木備一郎葬儀御礼	明治25年2月	大谷木耐三・富次郎	東京商業学校長 高橋健三	書簡	182×404		幸便
	2	大谷木備一郎三十五日追善に付	明治25年3月8日	神田区仲猿楽町 大谷木耐三	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	182×415		
	3	入社保証願い度	明治27年11月17日	中津村 明治紡織株式会社 大谷木富次郎	大阪中ノ島朝日新聞社 高橋健三	書簡	248×344		幸便 変色 カビ
誓約書		明治27年10月30日	神田区仲猿楽町 大谷木富次郎	明治紡織株式会社社長 藤田仙助	状	245×344			
109		大山金華書簡						1	
110		小口家譜の抜書進呈に付(添状)	明治29年8月20日	秋田県 大山金華	高橋健三	書簡	161×280		封筒欠 変色 糊剥離
		大山綱介書簡						1	
111		帝国議会の模様を官報にて拝見、欧州の政況	明治24年4月4日	在巴里 大山綱介	東京官報局 高橋健三	書簡	183×508		消印 東京明治24年5月12日
		大和田弥右衛門書簡						2	
112	1	妹をお遣被下度、4.5日間お待ち被下度	明治17年9月23日	船橋漁師町 大和田弥右衛門	南紺屋 高橋	書簡	153×385		切封
	2	いち事下女にお遣い被下度	明治23年6月17日	船橋漁師町 大和田弥右衛門	麹町区末尾町 高橋健三	書簡	244×330		包封
		岡倉覚三書簡						41	
112	1	辻氏より松原の事に付申来り候に付	明治21年3月24日	下谷七軒町 岡倉覚三	紀尾井坂官報局官舎 高橋健三	書簡	163×500		
		松原の成否に付御報知被下度	明治21年3月23日	辻 新次	岡倉覚三	書簡	174×490		
	2	欠番	明治23年5月						九鬼隆一へ移動
	3	被仰越候事国華社の為至極好都合に付	明治23年8月31日	中根岸 岡倉覚三	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	180×475		
	4	明後日は罷出に付	明治23年11月4日	岡倉覚三	紀尾井町 高橋健三	書簡	181×425		
	5	辻君の事成否明日通知仕り、浜尾君にも申入れに付	明治24年3月12日	岡倉覚三	紀尾井町 高橋健三	書簡	187×586		糊剥離 東京美術学校用封筒
	6	明後日別に約束有之に付	明治24年6月30日	根岸 岡倉覚三	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	180×622		
	7	国華社の事に付御談承候事有之に付会合の件	明治24年7月27日	岡倉覚三	神田橋内元衛町 官報局長高橋健三	書簡	187×438		東京美術学校用封筒
	8	九鬼君よりの内示有之、老兄にも相談可申趣に付	明治24年9月11日	美術学校にて 岡倉覚三	神田橋内元衛町 官報局長高橋健三	書簡	186×570		
		伊公使が日本獵銃法蹂つぶしたる件高健へ御内談被下度	明治24年9月11日	成海(九鬼隆一)	(岡倉)天心	書簡	182×790		
	9	別紙の通申来候に付	明治24年9月28日	中根岸 岡倉覚三	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	184×383		
高橋氏代理人金森より500円信用借り申込に付		明治24年5月27日	青山助盛	岡倉覚三	書簡	167×90		追伸166×90あり	
10	原稿纏まり国華社へ送付に付	明治24年11月21日	美術学校 岡倉覚三	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	179×420			
11	手島君より別紙の通申し参りに付	明治25年5月10日	美術学校 岡倉覚三	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	181×566		東京美術学校用封筒	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		呈示の旨拝承候	明治25年5月1日	(手島)精一	岡倉(覚三)	書簡	164× 636		東京美術学校用封筒
12		明晩6時より亀清にて招飲に付御貴臨被下度	明治25年7月13日	岡倉覚三	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	180× 725		東京美術学校用封筒
13		月末国華社より日本に対する事柄に付	明治25年9月27日	東京美術学校にて 岡倉覚三	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	183× 951		虫損小 糊剥離 しみあり 東京美術学校用封筒
14		八尾に係る儀可然取計被下度	明治25年9月30日	岡倉覚三	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	183× 404		しみあり 糊剥離 東京美術学校用封筒
15		木下より別紙の通申し来候に付	明治25年10月5日	東京美術学校 岡倉覚三	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	184× 330		東京美術学校用封筒
		高橋健三氏連帯を以て用立候金員の件出訴に付	明治25年10月4日	木下熊太郎承継人 木下建平	岡倉覚三	書簡	183× 393		
16		本日の稽古は歌舞伎座に有之に付	明治25年10月26日	中根岸 岡倉覚三	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	183× 446		糊剥離
17		国華の事相談仕度に付	明治25年 月17日	東京美術学校 岡倉覚三	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	181× 555		糊剥離 東京美術学校封筒
18		明晩の場所御示し被下度	5月16日(明治24年)	岡倉覚三	元衛町 高橋健三	書簡	180× 406		112-11に関連するもの
19		九鬼氏より御内談願度に付	7月15日	岡倉覚三	神田橋内 高橋官報局長(高橋健三)	書簡	188× 633		虫損小 糊剥離
20		黙隠の小屏風の件所有者滞在中に相運候様取計に付	9月2日(明治24年)	岡倉覚三	高橋健三	書簡	172× 903		虫損 帝国博物館封筒 112-8に関連する
21		九鬼氏へ一時の事依頼致度に付	9月14日	岡倉覚三	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	184× 518		東京美術学校用封筒
22		小生債務の事に関し御迷惑かけ候に付	10月22日	中根岸 岡倉覚三	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	183× 1276		幸便
23		松尾儀助氏に係る訴訟事件に付	11月6日(明治24年)	美術学校にて 岡倉覚三	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	179× 2103		幸便
24		今晚参堂致し兼候に付	11月6日	岡倉覚三	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	146× 569		幸便
25		無音社中にて帰朝御祝を致し度に付御光臨願ひ度	11月14日	金杉村 岡倉覚三	紀尾井町 高橋健三	書簡	174× 834		
26		斎藤氏訴訟延期の事、松尾氏事情取調べ談合中に付	12月4日(明治24年)	岡倉覚三	元衛町 高橋健三	書簡	179× 1445		幸便 112-23に関連
27		過日御話の趣明日と相迫に付御都合如何	12日	岡倉覚三	神田橋元衛町 高橋健三	書簡	183× 553		幸便 東京美術学校用封筒
28		学校用事済次第貴邸へ罷出候に付	13日	岡倉覚三	官報局長 高橋健三	書簡	182× 305		幸便 東京美術学校用封筒
29		御紙面の趣御心痛の至に付	15日	岡倉覚三	元衛町 高橋健三	書簡	184× 528		幸便 東京美術学校用封筒
30		国華表紙図案に付	16日	岡倉覚三	神田橋内元衛町 官報局長高橋健三	書簡	182× 562		幸便
31		古画備考10冊差出候、松尾事	13日(明治24年6月)	東京美術学校 岡倉覚三	内閣官報局 高橋健三	書簡	183× 577		糊剥離 幸便 東京美術学校封筒 下部変
32		会計主任に付適當の人考慮被下候	19日	(岡倉)覚三	高橋(健三)	書簡	184× 494		封筒欠 変色 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	33	種々御配慮の趣恐縮に候、屏風の事	21日	岡倉覚三	官報局 高橋健三	書簡	158× 485		幸便
	34	御仰の趣敬承候、明日参上仕候	27日	岡倉覚三	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	146× 445		幸便
	35	応挙写真返上致し候	27日(明治22年)	岡倉覚三	高橋健三	書簡	186× 530		幸便 東京美術学校用封筒 糊剥離
	36	計算書差出可仕候、斎藤方への御伴の件	31日	岡倉覚三	高橋健三	書簡	183× 605		
113		岡崎壮太郎書簡						2	
	1	御用立金500円弁済方の儀に付	明治23年11月29日	小石川区指ヶ谷町 岡崎壮太郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165× 524		糊剥離
	2	御融通金の内100円2月15日までに返却有之度	明治24年1月29日	小石川区指ヶ谷町 岡崎壮太郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	182× 415		虫損小
114		岡田鋼太郎外6名書簡						1	
		尊者を奉仰度	明治24年7月1日	岡田鋼太郎・都筑法弼・公保新三郎・山本義愛・黒羽教孝・内川義章・小	高橋局長(健三)	書簡	245× 330		封筒右側・下部欠損、もろけ 書簡中央部欠損、変色、もろけ
115		岡田侃二郎書簡						1	
		高等官試験の件に付	明治23年11月16日	岡田侃二郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	172× 327		
116		岡田真八書簡						1	
		岡倉殿よりの書面奉差上候	明治22年11月15日	東京日本橋区両国吉川町国華社 岡田真八	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	171× 362		国華社封筒 糊剥離
117		岡田泰蔵書簡						1	
		中小路亀次郎儀露西亜語学校雇い入れ願度	10月3日	西河口口町岡山事務所 岡田泰蔵	官報局官舎 高橋健三	書簡	180× 1058		中小路亀次郎持参 虫損・変色小
118		岡野敬次郎書簡						5	
	1	流行性感冒にて御臥床の趣御見舞	明治24年1月26日	下谷二長町 岡野敬次郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	186× 976		糊剥離
	2	留学命せられ宴会催しの由深謝候、日取りの件に付	明治24年9月9日	下谷二長町 岡野敬次郎	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	170× 952		
	3	今明日中に退院に付宴会日取りの件	明治24年10月9日	和泉町医院 岡野敬次郎	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	170× 828		右下欠損 糊剥離
	4	(伯林到着後の近況報告と出発に際しての御礼)	明治24年12月28日	伯林 岡野敬次郎	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	230× 180		
	5	帰京挨拶	明治28年11月30日	東京下谷二長町 岡野敬次郎	大坂朝日新聞社 高橋健三	書簡	181× 694		消印 大阪明治28年12月1日 色移り汚れ
119		岡野小三郎書簡						4	
	1	暑中御機嫌御伺い	明治24年7月6日	丹波国多紀郡追入村 岡野小三郎	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	192× 522		消印 東京明治24年8月8日
		暑中御機嫌御伺い	明治24年7月6日	岡野小三郎	奥様	書簡	192× 522		
	2	暑中御機嫌御伺い	明治25年8月3日	兵庫新川 兵庫倉庫株 岡野小三郎	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	191× 478		消印 東京明治25年8月7日 虫損小
		暑中御機嫌御伺い	明治25年8月3日	岡野小三郎	奥様	書簡	190× 480		
120		岡邨道輝書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
121		病氣平快、御高底に抛り22日絶配成県へ就任に付御厚情奉感謝候	明治21年5月27日	長崎西中町 岡邨道輝	紀尾井町内閣官報局 高橋官報局次長	書簡	165× 1003		消印 東京明治21年6月3日 しみ汚れ
		小川口吉書簡	明治28年	小川口吉	高橋健三			3	
	1	清国講和使一行の迎え入れ行程に付秘密事項を一寸御報道申候	明治28年1月25日	小川口吉	大阪朝日新聞社 高橋健三	書簡	179× 702		封筒破損大 幸便 糊剥離
	2	病氣御見舞い	明治28年5月14日	小川口吉・柳壮蔵	高橋健三	書簡	173× 564		封筒上書「品物添」 幸便 糊剥離
122	3	近頃は凶報続々耳朶に達し嘆息の至りに付	明治28年5月28日	神戸日本郵船会社 小川口吉	大坂中之島 高橋健三	書簡	166× 598		消印 大阪明治28年5月28日 糊剥離
		小川一真書簡						5	
	1	本月分国華挿画は別紙の通取極め候に付	明治23年12月8日	麹町区飯田町 玉潤館 小川一真	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	243× 164		玉潤館用箋2枚
	2	別紙輪転器械之図は1月発行の雑誌中に挿入に付	明治25年12月17日	麹町区飯田町 玉潤館 小川一真	豊島郡日暮里邨 高橋健三	書簡	251× 167		玉潤館用箋、輪転器械之図(写真191×)
	3	旅順口の写真数葉出来り分差上げ候に付	明治28年1月17日	神田三崎町小川写真製 版所本店 小川一真	高橋健三	書簡	244× 164		幸便 玉潤館用箋
123	4	着京報知御礼	明治28年6月2日	神田区三崎町 小川一真	[]大坂朝日新聞社 高橋健三	書簡	243× 170		消印 大阪明治28年6月3日 玉潤館用箋2
	5	此程は非常の繁忙に付延行の段不悪	10月1日	麹町区飯田町 玉潤館 小川一真	高橋健三	書簡	246× 165		
		小川健三書簡						1	
124		金子調達し御使へ渡し候に付	12月30日	八尾 小川健三	高橋健三	書簡	163× 615		幸便 虫損 糊剥離
		借用証文(写)	明治21年12月30日	大坂之何某	小川健三	状	164× 374		虫損
		小川三之助(三之介)書簡						10	
	1	御面上御相談申上度儀有之に付	明治13年2月1日	本郷医学部 小川三之助	木挽町 高橋健三	書簡	162× 350		
	2	明後10日金子戴罷出候に付	明治13年2月8日	本郷加州邸内大学医学部 小川三之介	木挽町 高橋健三	書簡	163× 550		
	3	賄い料17日迄に皆済可致に付	明治13年2月18日	本郷大学医学部寄宿舍 小川三之介	木挽町 高橋健三	書簡	162× 565		糊剥離
	4	金子落手に付謝辞申し述べ候	明治13年3月5日	本郷医学部 小川三之介	木挽町 高橋健三	書簡	162× 329		消印 東京明治13年3月6日
	5	小使金1円程至急送り被下度	明治13年5月13日	本郷医学部寄宿舍内 小川三之介	木挽町 高橋健三	書簡	244× 321		
	6	欧州派遣御榮譽之事と奉賀候、無事の御帰朝を祈り候	明治23年2月23日	青森県陸奥青森町公立 病院 小川三之助	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	167× 739		消印 東京明治23年2月27日
	7	本日小包郵便で粗品送り候に付	明治29年8月18日	名古屋市堅三ツ蔵町 小川三之助	大坂中ノ島朝日新聞社 高橋健三	書簡	180× 562		消印 大阪明治29年8月19日 封筒・便箋もろけ状態不良
125	8	千葉県久留里御出張の際は拙宅へ御立寄被下度御一報被下度	明治30年9月26日	名古屋市堅三蔵町 小川三之助	麹町区永田町 高橋健三	書簡	178× 966		糊剥離 水濡れ 下部変色 虫損
	9	御見舞いに御滞在地伺い度、都合御一報を奉煩度	明治30年10月26日	名古屋市堅三蔵町 小川三之助	小田原万年町鈴木方 高橋健三	書簡	178× 767		水濡れ変色
	10	来15日頃訪問致度に付		小川三之助	大坂中之島 高橋健三	書簡	?× 496		封筒・便箋もろけ状態不良 書簡上部欠損
		小川芳太郎・三郎兵衛書簡						3	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	1	影山氏出京に付承りの件に付(尊君御来遊の件)	明治15年12月9日	上総国望陀郡 小川芳太郎	駿河台紅梅町高橋昌長 方 高橋健三	書簡	156× 247		消印 東京明治15年 12月10日
	2	尊君の無事御帰朝御悦まで	明治23年10月8日	千葉県望陀郡根形村 小川芳太郎・三郎兵衛	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	160× 721		
	3	今月分月俸戴度に付	1月25日	小川(芳太郎)	高橋(健三)	書簡	244× 328		封筒欠
126		岡山兼吉書簡						2	
	1	無事御帰朝奉恐賀候	明治23年9月21日	岡山兼吉	高橋健三	書簡	168× 527		幸便
	2	大谷木氏事件に付三野村村氏へ面会の儀に付	3月25日	日本橋西河岸 岡山兼吉	官報局官舎 高橋健三	書簡	168× 527		幸便 下部変色 欠損
127		沖 守固書簡						1	
		官報へ当県公報の諸件御登載之儀に付	明治21年12月23日	神奈川県知事 沖 守固	内閣官報局次長 高橋健三	書簡	173× 1222		消印 東京明治21年 12月24日 糊剥離
128		奥田直次書簡						1	
		学習院より入院の儀申込みに付	10月7日	奥田直次	高橋先生(健三)	書簡	186× 257		幸便
129		奥田義人書簡						25	
	1	今朝石川に面会を得談判の末概ね纏まり候件 来客の多きに困却の事ほか 明日出発延期なれば御一報願ひ度	明治25年11月12日	農商務省 奥田義人	官報局 高橋健三	書簡	181× 1032		農商務省用封筒 糊剥離
	2	局員の義明日実行、デツトの義に付岡山氏に相談の件ほか	明治25年12月19日	官報局にて 奥田義人	北豊島郡日暮里村 高橋健三	書簡	182× 1465		官報局封筒
	3	九鬼君より郵送書面の件	明治25年12月25日	東京神田橋内官舎 奥田義人	大阪朝日新聞社 高橋健三	書簡	170× 1258		消印 大坂明治25年 12月27日
	4	2月3日夕6時御待申上候	明治28年1月28日	元衛町 奥田義人	日本橋区築地采女町水 明館 高橋健三	書簡	179× 393		住所違いの貼紙あり
		小生不得止今般衆議院の方へ転任の件	明治28年1月27日	(九鬼)隆一	高・奥 両(健三・清子)	書簡	189× 453		
	5	尚4、5日は出掛けること出来不得に付	明治28年6月13日	麹町区元衛町 奥田義人	大阪中島 高橋健三	書簡	177× 1300		消印 大阪明治28年6 月15日 糊剥離
	6	口口氏より今夜参り不申に付承知被下度、此際成行に任せ候方可然と奉存候	8月2日	奥田義人	官報局長 高橋健三	書簡	179× 473		封筒上書「書籍2冊添へ」幸便 糊剥離
	7	御書面拝誦、小生も今朝新聞紙にて一見	9月12日	奥田よし人	高橋健三	書簡	176× 585		幸便
	8	昨日の書面の結果に依り今朝村山氏来訪別紙証書按調整を約すの件	10月23日	奥田義人	高橋健三	書簡	176× 627		幸便 封筒上書「来客中口口御免」
	9	帰途三年町を訪問在宅にて談話要領を申上候、委細は明夜伺ひ度	11月8日	官報局 奥田義人	高橋健三	書簡	182× 711		幸便 官報局封筒 「至急」朱印
	10	御書面の趣承知、御病中御苦勞相願ひ恐縮の件	11月10日	奥田義人	高橋健三	書簡	176× 1850		幸便 下部変色 糊剥離
	11	過日平埜より松浦様に支払云々の義に付相談受け居りに付	11月12日	奥田義人	高橋健三	書簡	175× 428		幸便 虫損 下部変色
	12	御約束通り今朝村山氏を訪ひ委細相談候件	12月4日	奥田義人	根岸 高橋健三	書簡	163× 769		幸便 一部変色
	13	博覧会より受取方法と額面に付	12月6日	官報局 奥田義人	高橋健三	書簡	182× 1166		幸便 官報局封筒 封筒虫損
	14		12月16日(明治25年か)	官報局にて 奥田義人	高橋健三	書簡	182× 524		幸便 官報局封筒

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	15	今朝木熊を訪ひ談判に及び候に付		官報局にて 奥田義人	高橋健三	書簡	182× 406		幸便 官報局封筒 封筒汚れ・しみ
		昨日和田に面会承引候得共	12月16日	(奥田)よし人	高橋(健三)		182× 397		
	16	先般預りし稲嶺筆の千足鯉の大幅所有主池田家より入用金の話有たるに付	12月29日	奥田義人	高橋健三	書簡	182× 871		幸便 下部一部欠損
	17	今朝態々便を以って国華画並び稲嶺掛物御持たせ被下恐縮に奉存候	4日	奥田義人	高橋健三	書簡	164× 545		幸便 糊剥離
	18	藤田氏一条種々御配慮の央にて小生も実に気毒の至に存居候	5日	東京法学院 奥田義人	高橋健三	書簡	166× 1720		幸便 虫損 糊剥離 上部変色 東京法学院封筒
	19	御出館前に是非御面接を得度義に付	14日	奥田義人	高橋健三	書簡	182× 513		幸便
	20	午後に例の所相尋ね委細の義相談仕候に付	15日	奥田義人	高橋健三	書簡	176× 685		幸便 封筒虫損 汚れ
	21	今日の場合と相成ては如何とも致し方無之に付	15日	奥田義人	高橋健三	書簡	169× 630		幸便 農商務省封筒 虫損 下部欠 糊剥離
	22	博覧会事務局より本日受取へき手当金には委任状を要する趣に付	19日	奥田義人	高橋健三	書簡	182× 1215		幸便 「至急」朱印
	23	九鬼氏の伝言に鑑査時日26年1月に相成候に付	28日	官報局 奥田義人	高橋健三	書簡	182× 1215		幸便
24	別紙証文の件	3月7日	(奥田)よし人	高橋(健三)	書簡	181× 1071		封筒欠 糊剥離	
130	奥山莊次郎書簡						1		
	御調査の履歴上関係の古書類に別紙写し参考の一端として同封に付	明治30年3月11日	羽後国由利郡下川大内村奥山莊次郎	高橋健三	書簡	288× 394		虫損大 変色 水濡れによるもろけ 罫紙	
131	小倉 久書簡						1		
	13日の役員選挙会へ差支に付投票箋へ人名騰記の件	明治13年3月11日	葦午町 小倉 久	木挽町 高橋健三	書簡	167× 380			
132	尾崎嘉太郎書簡						1		
	3講師の宿所の件、編輯人は本田恒之と相成に付	明治21年9月15日	神田今川小路 尾崎嘉太郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡				
133	小澤裕郎書簡				高橋健三		3		
	1 協会の義に就ては尽力被下由万謝	明治23年12月10日	牛込区北町 小澤裕郎	紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	165× 816			
	2 東方協会の義総会済次第殖民学校開設致し度と存じ候に付	明治24年6月19日	牛込北町 小澤裕郎	神田橋内内閣官報局官舎高橋健三	書簡	164× 1196		色移りあり	
	3 病氣にて御辞職の由御見舞い	明治25年11月22日	牛込北町 小澤裕郎	内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	163× 1059		虫損小 糊剥離	
134	小原沢重雄書簡						1		
	御出迎に付発程時刻、随行等通知願ひ度	(明治23)年9月15日	小原沢重雄	高橋局長(健三)	書簡	171× 725		幸便 虫損大 封筒内閣用	
135	加賀美嘉兵衛書簡						1		
	国元友人志願に候に付	10月20日	東京にて 加賀美嘉兵衛	神田橋内 高橋健三	書簡	173× 509		幸便 糊剥離	
136	香川敬三書簡						1		
	口上書(御示教に随ひ引合中、挨拶旁参上仕候	4月7日	香川敬三	高橋(健三)	書簡	186× 538		幸便 糊剥離 封筒虫損小	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
137		景山信一書簡		景山信一	高橋健三			7	
	1	厄介者何分御引立の程奉願上候	明治15年12月3日	望陀郡大曾根村 景山信一	東京府下駿河台東紅梅 河岸 高橋健三	書簡	244× 335		消印 東京明治15年 12月4日
	2	年頭の御祝詞申上度	明治16年1月6日	千葉県下上総国望陀郡 從岩井村 景山信一	東京神田区駿河台紅梅 河岸 高橋昌長・高橋健	書簡	160× 206		包封
		舌代(小倉謙利娘を御奉公に差上申し候に付)	明治16年1月6日	景山信一	高橋御両君	書簡	160× 370		
	3	爰地鹿野山表の地方御所望の由御来車の程	明治17年7月19日	上総国望陀郡從岩井村 景山信一	東京京橋区南紺屋町 高橋健三	書簡	156× 723		消印 東京明治17年7 月21日
	4	御真影御患投被下度	明治30年7月30日	千葉県君津郡根形村岩 井景山信一	麹町区永田町 高橋健 三	書簡	182× 1040		消印 東京本所明治 30年8月1日
	5	謹て奉賀新年候	明治31年1月1日	千葉県君津郡根形村字 岩井 景山信一	相州小田原東海道字山 王原 高橋健三	書簡	183× 418		
6	本所御船蔵前小熊氏宅へ召仕えの小倉さん 病気に府	1月26日	上総望陀郡從岩井村 景山信一	東京神田区駿河台紅梅 河岸 高橋健三	書簡	160× 407		幸便	
138		峨山書簡	明治30・31年					2	
	1	恭賀新年	明治30年1月4日	京都嵯峨天竜寺僧堂 峨山	麹町区永田町 高橋健 三	書簡	168× 606		消印 東京明治30年1 月5日 封筒下部変色 糊剥離
	2	謹而奉賀	明治31年1月15日	京都嵯峨天竜寺僧堂 峨山	神田区駿河台東紅梅河 岸 高橋健三	書簡	176× 313		消印 東京明治31年1 月17日 糊剥離
139		加持金次郎書簡		加持金次郎	高橋健三			2	
	1	先般以来御情願の儀に付(就職の事)	明治24年12月8日	本郷区台町 加持金次 郎	鞆町区大手町 高橋健 三	書簡	169× 1207		
		不肖金次郎謹て高橋恩師閣下ニ啓ス	明治24年11月26日	加持金次郎	高橋恩師閣下	冊	275× 196		
2	仙田氏へ面会に付、履歴書相添に付	11月27日	加持金次郎	高橋恩師	書簡	170× 1005		封筒欠	
140		春日 衛書簡	明治30・31年	春日 衛	高橋健三			2	
	1	昨今の新聞にては御口口御希望の事に記載 あり、種々御考もある事ならん	明治30年10月8日	大阪東区北浜 春日 衛	相州小田原町万年町鈴 木善左衛門方 高橋健	書簡	181× 845		糊剥離 色移り カビ
	2	早く御本復あらんことを不堪希望候	明治31年3月4日	備州明石郡垂水村役場 春日 衛	相模国小田原手前山王 村 高橋健三	書簡	179× 636		消印 小田原明治31 年3月6日 糊剥離
141		片岡 茂書簡						1	
		転居の諸費左に、50円だけ御尽力願い度	明治14年10月9日	蛸殻町桜井静方 片岡 茂	木挽町 高橋健三	書簡	163× 305		配達人による住所変 更付箋 剥離切手1枚
142		勝田包承書簡						9	
	1	荒川氏よりの手紙の件、川田君の件で至急手 形督促相成度	明治19年8月25日	東京神田区 勝田包勝	北豊島郡金杉村 高橋健三	書簡	163× 425		封筒・便箋もろけ・変 色状態不良 書簡上 部欠損
		高橋健三殿外3名へ貸渡金の件に付	明治19年8月24日	四谷並木町 荒川満良	神田区三河町 勝田包 勝	書簡	161× 432		変色
	2	戸田家一件清算に付	明治19年11月27日	東京神田区三河町 勝 田包勝	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	163× 534		
	3	石川一件伺通に行届不申に付	明治20年2月4日	東京神田区三河町 勝 田包勝	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	147× 436		虫損小
4	岩崎へ及談判候処株券の始末に付	明治20年3月15日	東京神田区三河町 勝 田包勝	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	163× 394			

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	5	加茂氏への利子払い方法に付	明治20年7月6日	東京神田区三河町 勝田包勝	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	164× 616		
	6	加茂氏の件14日迄に月賦済方の確答に付	明治20年9月12日	東京神田区三河町 勝田包勝	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	170× 483		糊剥離
	7	磯部一件に付未だ確答無之に付	明治21年11月20日	東京神田区三河町 勝田包勝	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	163× 324		
	8	昨日御咄の趣鳥居氏に承合に付	明治24年1月21日	東京神田区三河町 勝田包勝	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	163× 387		糊剥離
143		加藤恒忠書簡						13	
	1	昨夜大山に聞くを浮雁忘知誠に相済不申おわびいたし候、三日続きの徹夜に付精気全く枯渴	1890(明治23)年6月19日		パリ 高橋健三	書簡	211× 266		年代は消印 Grand Hotel du Rhin用箋
	2	御約束の訳の件、小生全く閑居罷在、水を渡りたること一度もなし	1890(明治23)年7月	パリ 加藤恒忠	ロンドン 高橋健三	書簡	177× 226		
	3	官報配達先を病院にしたが来らずに付	明治24年4月6日	愛宕下町東京病院 加藤恒忠	紀尾井町 高橋健三	書簡	183× 667		
	4	御礼旁転地吹聴まで	明治24年5月10日	相州大磯駅禰籠館 加藤恒忠	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	176× 590		
	5	粕川信親来場の件	明治24年6月12日		神田元衛町 高橋健三	書簡	176× 393		虫損 朱書き 封筒差出名なし
	6	官報は他より工面つき用向相済候	明治24年8月20日	芝栄町 加藤恒忠	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	177× 422		左下欠損 しみ
	7	ルビュー8冊のうち7冊御返しいたし候、官報でみた仏国新聞ルベール記事に付	3月4日	外務省 加藤恒忠	官報局長 高橋健三	書簡	187× 960		幸便 外務省封筒 上書き「書籍七冊添」朱墨 糊剥離
	8	小説貸与の御礼、書中に請取書あり返却	3月4日	芝栄町 加藤恒忠	紀尾井坂町一号官舎 高橋健三	書簡	183× 660		幸便 上書き「別口式 通入、一通ハ返却ノ分」封筒同封糊剥離
	9	新聞御貸与被成下多謝候、恩借の11冊御返候	5月4日		高h氏健三	書簡	183× 655		幸便 糊剥離 3月4日の書簡と同じ年
	10	他約無し何処なりとも参上可仕候	7月2日	外務省 加藤恒忠	高橋健三	書簡	188× 483		幸便 外務省封筒 上書き「急」
	11	過日は官報御持越被下用済に付御返いたし候	8月24日	外務省 加藤恒忠	神田橋内 高橋健三	書簡	176× 380		幸便 右下欠損 しみ 上書き「西洋新聞一括」朱墨
	12	仏国官報6月28日より7月5、6日迄の分入用に付拝借出来度相談の件	19日	外務省 加藤恒忠	神田橋内官報局 高橋健三	書簡	175× 455		幸便 外務省封筒 朱墨虫損小
	13	シベリア鉄道に関する報告等印刷出来に付進呈候	20日	外務大臣秘書官 加藤恒忠		書簡	187× 1110		幸便
144		加藤得爾書簡						1	
		謹怒に触れ側を辞して以来不幸を歎じ、御採用の義を奉嘆願候	4月11日	加藤徳爾	高橋健三	書簡	190× 404		封筒欠 虫損大
145		加藤弘之書簡						4	状含む
	1	加賀秀一就職に付(推薦状)	明治21年3月5日	上式番町 加藤弘之	官報局 高橋健三	書簡	161× 737		汚れ しみ 虫損小 糊剥離
	2	震災地写真板並説明一冊進呈致度送付候	明治25年1月	帝国大学総長 加藤弘之		書簡	277× 198		幸便 帝国大学封筒 帝国大学用箋
	3	(法学士関直広氏を選挙せられんことを希望す	明治25年1月20日	加藤弘之	高橋健三	状	243× 332		コンニャク版 封筒のみ虫損 インク薄れ

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		衆議院議員候補の義に付同感の者懇親会開催に付	明治25年2月5日	林辰三郎・小川勝五郎・岡田善長・加藤弘之	高橋健三	状	243×333		コンニャク版
		(東京市第1部～第9部選挙人名簿か)				状	315×444		印刷物
146		金井保三書簡						2	
	1	東方協会切迫の報に接し清国内情探る付申進候	明治24年12月7日	清国上海 金井保三	大日本東京 高橋健三	書簡	169×1055		幸便 封筒破れあり
	2	失礼を顧みず奉書情を述べて京を退く	昭和25年8月27日	本郷西片町 金井保三	麹町区官報局対面神田橋高橋健三	書簡	252×514		虫損
147		金井之恭書簡						1	
		友人石井省一郎を勅撰議員に加被下度頼申候	(明治30年)7月4日	北海道函館町 金井之恭	東京永田町官舎 高橋内閣書記官長	書簡	181×752		消印 東京明治30年7月6日 虫損 糊剥離
148		金井(龍か)書簡						1	
		御書面拝承仕り候、暫く御猶予被下度	6月30日	金井(龍か)	高橋先生(健三)	書簡	180×545		幸便 虫損小 糊剥離
149		金子堅太郎書簡						2	
		井上書記官長より託されに付御送候	明治22年2月10日	金子堅太郎	官報局(高橋健三)	書簡	159×341		封筒損傷大(宛名不明)
		絹表紙付御手元御用本は11日御差上に付	明治22年2月10日	(井上)毅	高橋	書簡	183×711		
150		金子六蔵書簡						1	
		福井県新聞之一件は如何なる模様相成候や御一報願度	明治25年5月16日	京橋区築地 金子六蔵	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	188×734		糊剥離
151		兼松房次郎書簡						1	
		横浜へ出向午後帰京仕候に付延引仕り候、18日午後参趨罷候	明治22年3月17日	兼松房次郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	181×614		変色(色移り)カビ 封筒右端欠損か
152		加納治五郎書簡						2	
	1	大隈伯面談の件、蜂須賀侯よりの取計呉との意味の件伺い上げ候	明治30年4月15日	加納治五郎	永田町書記官長官舎 高橋健三	書簡	178×477		幸便 糊剥離
	2	新聞紙上にて御辞職相成候由に付	明治30年10月11日	大阪南区玉屋町 加納治五郎	相州小田原万年町鈴木方高橋健三	書簡	181×690		消印 小田原明治30年10月13日
153		上條慎蔵書簡						3	
	1	村山氏に面会種々成行窺い疑口氷解に付	明治21年9月12日	本郷 上條慎蔵	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	163×688		
	2	明朝帰郷之途に就き可申心得に候	明治21年9月18日	本郷 上條慎蔵	麹町区紀尾井町官報局第1号官舎 高橋健三	書簡	161×488		
	3	会社創業費運借事件に付大八木備一郎への添書き頂戴致し度	明治21年 月15日	京橋区数寄屋町 上條慎蔵	麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	187×490		
154		上司延貴書簡						1	
		病氣御見舞いの哀情申述候	明治30年7月28日	京橋区銀座読売新聞にて 上司延貴	麹町区永田町 高橋健三	書簡	177×1190		変色(色移り)下部虫損 糊剥離
155		川上賢三書簡						3	
	1	一兩日前茶業本部より茶況視察の者欧露に向け出発に付、一日も早く出発の都合に相運ぶ所存に付	明治21年7月17日	銀座日米屋 川上賢三	紀尾井町 高橋健三	書簡	181×244		便箋2枚
	2	露国石油、紅茶・生糸、雑貨等貿易の件、小生の素望相達候様御尽力被下度	明治21年9月2日	銀座日米屋 川上賢三	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	244×330		罫紙3枚

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
156	3	小生儀紀州蜜柑や紀州フラネルを東京日米屋にて荷受に付、露国石油の事など	明治21年10月26日	神戸山本通 川上賢三	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	169×1081		消印 東京明治21年10月27日
		河上房口書簡						1	
157		(御見舞状)	明治30年10月9日	麹町区元衛町 河上房口	相模国小田原町鈴木方 高橋健三	書簡	181×947		しみ 色移り
		河上謹一書簡						8	
	1	青木と宴会の儀相談、6日午後3時宅に御来駕の程	明治16年1月5日	上六番町 河上謹一	駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	242×342		
	2	本月28日婚儀相済に付酒差上に付御案内	明治16年12月30日	飯田町 河上謹一	駿河台東紅梅河岸 高橋健三	書簡	160×463		
	3	佳品御惠贈被下鳴謝候	明治17年2月21日	飯田町 河上謹一	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	167×722		
	4	福本氏渡航後の事、城多・安積の死去の事、商人書生に渡航の目的と手段を出発前に相談	明治20年3月10日	上海日本総領事館 河上謹一	東京内閣官報局 高橋健三	書簡	156×1723		消印 東京明治20年3月17日 虫損
	5	22日の儀は西川氏外差支に付見合わせに付	明治24年3月19日	外務省 河上謹一	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	188×570		外務省封筒 糊剥離
	6	旧友畠山氏身上之事に付	明治25年12月5日	牛込区東五軒町 河上謹一	北豊島郡日暮里村 高橋健三	書簡	167×1266		糊剥離
158		早川氏の事に付	明治30年2月	日本銀行 河上謹一	麹町区永田町 高橋健三	書簡	183×763		
	8	29日星岡茶寮で粗餐差上度に付御内室御一同御来駕被下度案内	3月24日	外務省 河上謹一	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	183×555		外務省封筒 糊剥離
159		川崎三郎書簡						2	
	1	東邦視察に付相公へ御協議の斡旋を煩わし度希望候	明治30年2月23日	本所区外手町 川崎三郎	麹町区永田町内閣書記官長官邸 高橋健三	書簡	172×1080		
160		12日東邦漫遊に出発に付挨拶	明治30年10月11日	本所区外手町 川崎三郎	麹町区有楽町 高橋健三	書簡	184×635		糊剥離
		川崎久虎書簡						1	
161		還城楽舞之義取調の件	明治25年12月28日	下谷区中根岸 川崎久虎	大阪中之島花屋にて 高橋健三	書簡	171×326		消印 大坂明治25年12月29日
		河瀬 書簡						1	
162		5日日本料理差上度	明治23年7月4日	(ロンドン)河瀬	ロンドン 高橋(健三)・戸水(寛人)	書簡	202×261		ロンドン滞在中の書簡
		川添利郷書簡						2	封筒汚れ
162		山木(本)氏が貴殿へ用立候金円延滞に付出訴の件に付	明治21年12月13日	神田錦町 川添利郷	麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	241×326		代言人川添利郷事務用箋 虫損小
		大原山本への負債還償の筈が代言人川添を以って督促の件川添へ御弁解奉願候	(明治21年)12月14日	(高橋)健三	勝田	書簡	167×912		
162		川田徳二郎書簡						18	旧目録No.16はNo.187久保田讓 256-7に川田書簡あり
	1	高原より別札之通申来候に付	明治21年4月7日	□□ 川田徳二郎	紀尾井町内閣官舎 高橋健三	書簡	164×325		
		8日午後3時高橋君御来駕に付	(明治21年)4月7日	高原	川田	書簡	164×366		
	明日土子金四郎氏横浜へ帰着に付	明治24年5月15日	神田区錦町私立東京商業学校仮事務所 川田徳二郎	官報局官舎 高橋健三	書簡	160×515		私立東京商業学校用封筒 糊剥離	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	3	記(無記名整理公債証書返戻に付受取)証(無記名整理公債証書借用証 明治25年6月)	明治25年8月11日	飯田町 川田徳二郎	麹町区元衛町官舎 高橋健三	状	279×398		大平泰三から高橋健三・川田徳二郎宛 両面記載
	4	石川件に付古川氏より御伝言承り御指揮待度に付	明治25年12月6日	飯田町 川田徳二郎	根岸金杉村 高橋健三	書簡	167×933		
	5	石川件に付奥田氏に述呈、本日御面会聞取り被下度	明治25年12月9日	川田徳二郎	豊島郡日暮里邸 高橋健三	書簡	174×955		官報局封筒 糊剥離
	6	7日官報局員数名相会候間御来車被下度	明治28年1月6日	官報局官舎 川田徳二郎	京橋区木挽町水明館 高橋健三	書簡	181×428		糊剥離
	7	新平民一条に付別記搜索入御覧候、参考用の3書は貸出中に付	明治28年10月15日	官報局官舎 川田徳二郎	駿河台西紅梅町高橋昌長方 高橋健三	書簡	183×611		官報局封筒 幸便
	8	(病氣御見舞い、近況報告)	明治30年11月15日	麹町区飯田町 川田徳二郎	相州小田原万年町 高橋健三	書簡	178×803		封筒汚れ 右側虫損色移り
	9	浜田氏も辞職に決心し種々相談致しその後の模様如何承り度御一筆願ひ上げ度	2月11日	川田徳二郎	高橋健三	書簡	179×793		幸便 糊剥離
	10	尼加拉瓦運河之件函にして相定ても宜敷、外報欄に掲載のものを翻訳添加致度、世界航路図共	8月15日	川田徳二郎	高橋局長(健三)	書簡	172×1345		幸便 虫損 変色 糊剥離 上書「英国商業雑誌相添」
	11	商業学校学期改正致に付、生徒中には改正賛成と不同意の両派に別れに付改正に付返答を	10月25日	川田徳二郎	高橋健三	書簡	173×530		幸便 下部変色 糊剥離
	12	香川県庁よりシカゴ博覧会出品の漆工芸衝立の品評の依頼により、事務局へ出勤の祭御一	10月29日	反訳課 川田徳二郎	高橋局長(健三)	書簡	175×635		幸便 官報局封筒 虫損変色 糊剥離
	13	持病の喘息の為宅調の儀願ひに付	11月20日	川田徳二郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165×1067		糊剥離
	14	退出時間の定めにより遠路の人は多分の業出来兼ね古画備考・印譜の作業大いに延引に付	12月8日	(川田)徳二郎	高橋(健三)	書簡	174×886		幸便 上書「古画備考目録3冊 印譜写13枚相添」官報局封筒 糊剥離
	15	最近のレビュー到着に付廻送候	(明治25年)12月15日	官報局反訳課 川田徳二郎	豊島郡日暮里字金杉 高橋健三	書簡	175×311		幸便 上書き「雑誌3部相添」官報局封筒
		石川件は早々取纏度候	(明治25年)12月15日	(川田)徳二郎	高橋(健三)	書簡	175×623		包封 糊剥離
	16	別紙の通伊藤より通申有之候、紙面人名不分明に不貴兄より直接御掛合被下間敷哉	28日		高橋(健三)	書簡	178×920		封筒欠 汚れ 下部一部欠損 糊剥離
163		川那辺貞太郎書簡						12	1-333-7 留守宅に1通あり
	1	(病氣見舞い、当地のコレラの様子)	明治28年1月2日	大阪市北区中之島大阪朝日新聞社 川那部貞	神田駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	182×509		大阪朝日新聞社封筒 下部しみ
	2	別封返上仕候、鶴原氏宛は新聞に掲載済に付、過日総理・外務京都の川田邸に会せし由奥様リヨウマチス足に出候、榊原少佐の伝記の件他(知人の消息など)	明治28年1月19日	大阪市北区中ノ島大阪朝日新聞社 川那部貞	東京京橋区木挽町水明館 高橋 健三	書簡	181×850		大阪朝日新聞社封筒 しみあり 糊剥離
	3	上海よりの書状の件、石原君台湾行きの事、為替の事	明治28年1月28日	大阪土佐堀浦町 川那部貞太郎	東京京橋区木挽町水明館 高橋 健三	書簡	182×1054		
	4	上海よりの書状の件、石原君台湾行きの事、為替の事	明治28年10月7日	(川那辺)貞太郎	先生(高橋健三)	書簡	182×501		封筒欠
	5	明日京都にて田口氏等と面会の事に付	明治28年10月12日	大阪市北区中ノ島 大阪朝日新聞社 川那部貞太郎	東京神田雉子町日本新聞社 陸実・高橋健三	書簡	183×608		消印 東京明治28年10月13日 大阪朝日新聞社封筒 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		別紙只今接手仕り候	(明治14年)10月14日	(陸)実	高橋(健三)	書簡	166× 528		同一の封筒に入ってる が2通の関連はなさそ
	6	大隈伊藤会合のこと等政府の狼狽は珍しくも 無候へ共	明治28年10月27日	大阪市北区中之島大阪 朝日新聞社 川那部貞	東京神田駿河台紅梅川 岸高橋昌長方 高橋健	書簡	170× 1138		大阪朝日新聞社封筒 糊剥離
	7	御手紙拝見安神仕候、上野氏の手紙送り申候 他	明治28年10月25日	(川那部)貞太郎	高橋(健三)	書簡	183× 807		封筒欠
	8	田中隆三氏送別会、小川健三氏受取書、土曜 の慰労会の事	明治28年10月30日	(川那部)貞太郎	先生(高橋健三)	書簡	182× 584		封筒欠
	9	床上げ御祝、上野様の上京の件、編輯上の改 革に付相談願度	明治30年9月28日	大阪市北区中之島大阪 朝日新聞社 川那部貞 太郎	相模国小田原万年町 高橋健三	書簡	181× 1423		村山合名大阪朝日新 聞会社封筒 しみ・変 色 糊剥離
	10	山田氏に面会、帰途稲田氏に参り周旋状差出 に付	明治31年3月14日	スルガ台 川那部貞太 郎	相模国小田原宇山王 高橋健三	書簡	180× 895		
	11	私事東上の件に付景況申上度	明治31年11月26日	大阪土佐堀裏町 川那 部貞太郎	相模国小田原万年町 高橋健三	書簡	180× 547		虫損 水濡れ変色
164		河村讓三郎書簡						1	
		旧上田家屋御買取代金残額の儀に付	明治18年4月29日	牛込払方町 河村讓三 郎	糞町区上貳番町 高橋 健三	書簡	180× 1018		封筒に料金不足印 数字落書きあり 糊剥
165		川邨利兵衛書簡						1	
		兵庫倉庫会社焼失損害弁償に関する訴訟事 件の新聞掲載願度	8月6日	大阪市東区大川町日印 貿易合資会社 川邨利	大阪朝日新聞社 高橋 健三	書簡	176× 663		封筒破れ 書簡変色 一部敗れあり
		新聞原稿(大阪保険会社差押エル)				状	180× 363		糊剥離 変色
166		菊岡徳次郎書簡						1	
		神田大火記事を披見し無事に付奉賀候 菊池定雄書簡	明治25年4月11日	大阪府若江郡八尾村 菊岡徳次郎	神田区元江町内閣官報 局長 高橋健三	書簡			消印 東京明治25年4 月12日
167		騰写物6点の内残り1点出来候に付供覧の件	明治29年10月27日	羽後国由利郡平沢村 菊池定雄	神田区駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	181× 594		消印 東京明治29年 10月29日 封筒左下 欠損変色 書簡下部
	2	平沢村村誌編纂にあたり建碑篆額撰文依頼に 付	明治29年11月18日	羽後国由利郡平沢村 菊池定雄	神田区駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	181× 606		消印 東京明治29年 11月21日 書簡上部 欠損 封筒下部変色も
		安部儀右衛門経歴書上げ				状	245× 350		変色 欠損部あり
		開拓碑(文案)	明治29年12月		高橋健三	状	258× 369		変色 封筒あり 虫損 変色
	3	開拓碑篆額及碑文御授与被成下度懇願候 (佐々木興治の蒐集した材料中写取た資料)	明治30年6月2日	羽後国由利郡平沢村 菊池定雄	麹町区永田町 高橋健 三	書簡	173× 1240		消印 東京明治30年6 月4日 虫損
		菊池武夫書簡		菊池武夫	高橋健三	状	244× 330		
168		仏前へ香料御手向被下御礼	明治28年12月6日	小石川区竹早町 菊池 武夫	大阪市北区中島 高橋 健三	書簡	187× 449		消印 大阪明治28年 12月7日 封筒汚れ大 書簡しみ
	2	嶺八郎は拙者と共に代言業に従事の筈に付会 同の諸君へ可然御吹聴可被下候	明治20年10月10日	京橋区新着町 菊池武 夫		書簡	250× 167		幸便 菊池武夫代言 人事務所封筒・用箋 「嶺八郎に托し」上書き

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
169		岸 小三郎書簡						3	
	1	明12日の晚餐に御招万謝候、先約に付了承被下度	明治25年7月11日	京橋区南鍋町 岸小三郎	麴町区神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	164×667		
	2	(書簡欠)	明治25年9月19日	赤坂区霊南坂町 岸 小三郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	封筒			封筒のみ
	3	岡野氏よりの手紙は掲載見合被下度、返奉願候	明治25年10月10日	京橋区南鍋町 岸小三郎	麴町区神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	172×532		岸小三郎事務所封筒 書簡中法学新報・報… 論争への言及有
4	翻訳被下候事なれば原評文のみ御掲載被下事は不出来や	明治25年10月11日	京橋区南鍋町 岸小三郎	神田橋内官報局 高橋健三	書簡	172×466		岸小三郎事務所封筒 糊剥離	
170		欠番							
171		城多 董書簡						1	
		御教示の亡口覽遺学取調べ候処都合28綴有之御選択奉願上候	(明治21年)2月19日	城多 董	紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	167×725		
172		城多席雄書簡	明治18・19年	城多席雄	高橋健三			2	
	1	御昇進大慶に候、三井寺の山内に転寓、目下取調に掛り候事有之に付伊多利国財政一斑(新版のエンサイクロペディアより)	明治18年9月	大津三井寺 城多席雄	東京太政官文書局 高橋小書記官(健三)	書簡	188×473		消印 東京明治18年9月9日 変色虫損大 糊剥離
	2	(開封不能)	明治19年8月17日	京都 城多席雄	東京北豊島郡金杉村 高橋健蔵(健三)	書簡	187×681		変色 もろけ 虫損
303		北畠治房書簡						1	
		昨夜は小川氏の電報被下の件	明治28年5月28日	北畠治房	朝日新聞社内 高橋先輩(健三)	書簡	182×464		
174		北原九十郎書簡						1	
		御来県承り御待申上候	明治29年8月10日	由利郡本庄町 北原九十郎	秋田市長町石橋石三郎方 高橋健三	書簡	180×776		変色 もろけ 虫損 糊剥離 書簡日付は9
175		北村三郎書簡						4	
	1	弊社雑報主筆の人物として適任の者御明示被下度	明治25年2月18日	京橋区加賀町経世新報社北村三郎(紫山)	官報局内ニ於テ 高橋健三	書簡	170×800		
	2	御斡旋の件感謝の至に堪ず、無辺居士への協議資本塊集の成否決定後にせられたし	明治25年7月13日	赤坂新町 北村三郎(紫山)	神田橋外官報局官舎 高橋健三	書簡	180×935		虫損大
	3	出先にて入用不足に付金2円拝借仕り度	16日	神田小川町 北村三郎	内閣官舎 高橋健三	書簡	247×188		幸便 虫損 下部変色 鉛筆書
4	官員録官報局より弊社に譲渡相成まじき哉		北村三郎	高橋健三	書簡	181×643		幸便 虫損	
173		木原勇三郎書簡						2	
		亜細亜経綸の大志を抱き亜細亜問題への志を関み200金余救助を賜り度	明治24年5月26日	芝南佐久間町 木原勇三郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	163×1583		封筒書簡とも一部変色
		2、3日中に御返事伺い可罷越に付		(木原)勇三郎		書簡	163×203		一部変色
176		肝付兼行書簡						1	
		御礼報怠惰に流れ申訳なき次第に付	明治26年7月1日	麴町区下二番町 肝付兼行	大阪市北区中ノ島大阪朝日新聞 高橋健三	書簡	174×841		消印 大阪明治26年7月2日 糊剥離
177		桐山純孝書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		御依頼申上置候文武会設立趣意書に付	5月28日	備後町 桐山純孝	高橋健造(三)	書簡	167× 461		幸便 封筒に計算式など落書きあり
178		陸 実書簡						54	和歌含む
	1	松野□□署名の件に付福本・安田に相談、貴兄の思召しを伺い置度	明治21年6月24日	深川西光町 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	167× 1140		糊剥離
		出版月評の件一層改良の為相談申度	明治21年6月25日	高橋健三	長尾影弼	書簡	169× 1077		糊剥離
	2	元老院探訪に付電報社員津田に貴兄より御依頼被成下度	明治21年7月11日	神田錦町 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	167× 760		糊剥離 東京電報社探訪掛津田永胤
	3	今朝愛知子の伝言にて藤田君宅へ参り貴意の趣申述べに付	明治21年8月31日	北神保町 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	159× 298		8時45分
	4	明7日午前8時頃より参上可致し候に付	明治21年10月6日	東京電報社 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	161× 418		2時50分
	5	田口の進退に付至急に相談致し度に付	明治21年 月14日	(日本新聞社)陸 実		書簡	167× 530		幸便 日本新聞社封筒 虫損
	6	別紙の通井上角五郎より申し来、政論は昨夜発行停止を申し渡されに付	明治22年4月10日	根岸金杉村 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	167× 304		
		侯爵より明後11日高橋健三君へ面会致し度に付	(明治22年)4月9日	井上角五郎	陸 実	書簡	185× 344		
	7	野村素介の別荘貸家差配人に明13日午前中に借否返事可致約束に付	明治22年5月12日	金杉村 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	178× 764		糊剥離
		根岸金杉8番地新築貸家(見取り図)				状	248× 341		
	8	会計川村の事御雇被成下度に付	明治22年5月27日	金杉村 陸 実	紀尾井町 高橋健三	書簡	162× 783		糊剥離
	9	明日御出発は何時の汽車御座候哉	明治22年8月9日	ねきし金杉村 陸 実	麴町紀尾井町 高橋健三	書簡	160× 400		8時半
	10	日本新聞解停に付貴兄の名前にて社友連の祝詞を載せ度に付	明治22年8月14日	陸・杉浦	相州箱根塔沢鈴木方 高橋健三	書簡	173× 625		
	11	浅野に参り候処其咄甚意想外に付近日面会御話可申候	明治22年11月18日	根岸金杉村 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	179× 551		糊剥離
	12	今夕参館可仕存候処明朝参館可仕候	明治23年1月8日	金杉村 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	166× 633		
	13	新聞明後日より開停も不測に付発刊の用意の為ご同行難致に付	明治23年8月10日	陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	161× 421		
	14	例の件熟考の事、本日古荘と話に付、東方協会の事ほか	明治23年10月7日	根岸町金杉村 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	167× 1305		糊剥離
	15	箱根行至極宜敷存候、帰途早ければ参館可存候、新聞の事	明治23年10月15日	根岸金杉 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	167× 436		午後2時20分
	16	昨日福南と逢い過日貴兄よりの書面同様事件に付谷と激論の事を貴兄まで通知呉との事に	明治23年11月8日	根岸金杉村 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165× 987		8時
	17	青木茂氏より貞三氏より借用の金80円即時返却の書状相違候に付調金の猶予を与られ度奉	明治23年12月11日	下谷金杉村 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165× 588		糊剥離
	18	昨夜川口氏に参り、今夕までに御報あるへしに付都合次第函根へ御出可然候	明治23年12月20日	根岸村 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165× 732		
	19	奉賀新年、川口今朝参り例の件敗訴人宮本氏不同意に付、新聞は29日より1万以上に達候	明治24年1月1日	根岸金杉 陸 実	相州箱根塔ノ沢鈴木方 高橋健三	書簡	166× 1326		

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	20	福南に昨夜会合相談致し両三日中に返答可致下申上候	明治24年1月13日	根岸金杉村 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	168×575		
	21	月評の草稿略出来候、印刷は日本にて出来るか否かは詳にせず、売捌きの方法は如何	明治24年4月5日	根岸金杉村 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	179×920		糊剥離
	22	上野氏に囑託の負債一件	明治28年3月24日	下谷上根岸 陸 実	大阪市中之島 高橋健三	書簡	181×1596		消印 大阪明治28年3月25日 糊剥離
	23	小生今後の事に付少数候儀有之、御示教を仰度時日場所とも御示被成下度候	明治20年4月29日	根岸金杉 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	176×529		
	24	山喜の事(関係各氏の動向)	(明治31年)3月6日	神田 陸 実	小田原 高橋健三	書簡	173×2147		明治31年か 幸便 糊剥離
	25	山田は頗る苦戦、尽力望み度し	明治31年3月10日	下谷区上根岸町 陸 実	相州小田原町字山王原 高橋健三	書簡	180×1034		消印 小田原明治31年3月12日
	26	帰宅後藤田へ面会、代々木ベルツの件同意	明治31年3月28日	下谷区上根岸町 陸 実	相州小田原町字山王原 高橋健三	書簡	179×1395		消印 小田原明治31年3月29日 糊剥離
	27	川那部氏今頃御地に着候哉、大阪に滞在哉電報にて御一報被下度	明治31年5月3日	下谷区上根岸町 陸 実	相州小田原町字山王原 高橋健三	書簡			宛名は高橋家執事、変色、もろけ
	28	赤沼の書証入貴覧候、御容態は如何、合同問題にれ忙敷候	明治31年6月15日	下谷区上根岸町 陸 実	相州小田原町字山王原 高橋健三	書簡	182×818		糊剥離
		参趣致度の処日々快腹を謀り居り候得共見込なきに付先生始諸先輩之命に奉背の儀に御座	明治31年6月14日	神戸諏訪 赤沼信古	下谷区上根岸町 陸 実	書簡	178×1838		下部虫損小
	29	入沢達吉医師同道明日御見舞可致筈に付	明治31年7月5日	下谷区上根岸町 陸 実	相州小田原町字山王原 高橋健三	書簡	182×755		消印 小田原明治31年7月6日 糊剥離
	30	末永今夕参上申来候に付	1月8日	(陸)実	高橋(健三)	書簡	170×634		幸便 封筒下部変色
	31	東西人と題する雑誌の論文を此の人に託して訳すため雑誌を同人に交付被下度	3月1日	陸 実	高橋健三	書簡	186×608		幸便 封筒変色あり 上書き「露語講習者にて英文学者稲益氏持
	32	後藤某より金百円御用の約束致し保証員被遣度奉願候に付	3月25日	北神保町 陸 実	高橋健三	書簡	167×533		幸便 封筒上半分欠損 変色 書簡中央欠損もろけ 変色 糊剥
	33	秘書一条は今日大石・国友等後藤に逢い勸免候筈に付	3月26日	陸 実	高橋健三	書簡	167×1033		幸便 糊剥離
	34	月評社手伝員成田哲四郎への俸給未渡に付給与候様御下命被成下度奉願候	5月2日	(陸)実	高橋(健三)	書簡	162×857		封筒欠
	35	社の方御安心被下度、出版月評の印刷料・報酬・定価割引、今後維持の事に付相談致度	6月16日	神田雉子町日本新聞社 陸 実	高橋健三	書簡	189×886		幸便 「月評社太田持参」封筒下部変色
	36	老輩連中は事情一変し八月以後の事計画を要するに付貴兄の御一臂煩度候	7月11日	(陸)実	紀尾井町 高橋健三	書簡	167×1093		幸便 糊剥離
	37	月評の方誠に暗黒にて委細申上兼候	9月11日	陸(実)	高橋(健三)	書簡	164×638		幸便 東京電報社封筒
	38	横浜に於けるマルワ号強姦事件に付侠気ある人をして此事に助力せしめ度候件お伺い	9月4日	北神保町 陸 実	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	159×785		幸便 糊剥離
	39	古橋源六郎氏よりの添書、御紹介上候、上京の岡誠一より委細話可上候	9月20日	神田区雉子町日本新聞社 陸(実)	紀尾井町 高橋健三	書簡	163×945		幸便 日本新聞社封筒 封筒上書「岡誠一氏持参」
		小生親友松山義根郡長在職中非常の横難を蒙り裁判所虫に付御尽力被下度候	8月26日	古橋源六郎	日本新聞社 陸実・国友重章	書簡	233×163		石川猪太郎書簡用紙3枚

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	40	例の件大石とも相談他には谷と面語の筈に付	9月21日	陸 実	高橋健三	書簡	182× 917		幸便 糊剥離
	41	谷氏との事、東邦協会予算の義要旨の件	9月25日	神田雉子町日本新聞社 陸 実	高橋健三	書簡	164× 1126		幸便 封筒汚れ大
	42	20日浜尾邸へ参り可申旨差支無之故御同願 度候	10月18日	陸(実)	高橋(健三)	書簡	162× 528		幸便
	43	例の事大略探らせ候に付、大石の見込みの件	10月28日	陸(実)	高橋(健三)	書簡	192× 867		幸便
	44	願の件昨日相済、宮本へ申し込みの事に御座 候、「アルマナック」の事、日本主義の綱領入用	11月1日	(陸)実	高橋(健三)	書簡	163× 1048		封筒欠
	45	卒業までの学資に窮し候に付商業学校なりへ 御世話相願度)	11月7日	陸 実	紀尾井町 高橋健三	書簡	232× 323		幸便 封筒上書「青森 県人法科大学生成田 氏持参」
	46	柴に参候処留守に付、愛知と叔母との事	11月13日	神田雉子町日本新聞社 陸 実	紀尾井町 高橋健三	書簡	161× 516		幸便 日本新聞社封 筒
	47	根岸連6.7名に長尾国分加つて14日伊香保行 御差支無之哉	12月11日	陸(実)	高橋(健三)	書簡	182× 536		糊封 幸便
	48	各新聞社主筆の寄合に山田氏出席、昨夜より 膀胱カタルにて困り入候	12月19日	陸 実	高橋健三	書簡	182× 711		幸便 糊剥離
	49	本日御出発の趣、病氣益々不宜に付御無沙汰 仕候	12月20日	陸 実	高橋健三	書簡	182× 470		幸便
	50	川口不來、赤坂氷川町の工藤氏宅へ約束被成 度	12月21日	日本新聞社 陸 実	麹町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	164× 804		日本新聞社封筒 糊 剥離
	51	台湾島所感他(和歌6首)				和歌	274× 397		封筒上書「陸実君状」 封筒汚れ虫損 内閣 封筒
		述口・台湾島近況(和歌5首)				和歌	265× 192		
179		九鬼隆一書簡						65	
	1	舌代(本邦木版の精巧に付、和亭の画の事他)	明治20年7月27日	ワシントン 九鬼隆一	内閣文書局 高橋健三	書簡	245× 341		便箋3枚
	2	シヨウソウインミツカニヒラク	明治21年8月1日	キヨト フヤ町タワラヤヨ リ 九鬼隆一	官報局カンタク 高橋健 三	電報	247× 176		電報送達紙
	3	官報東京山下町鹿鳴館小生宛送達被下度	明治21年9月3日	京都麩屋町俵屋より 九鬼隆一	麹町喰違官報局長官舎 高橋健三	書簡	247× 339		消印 東京明治21年9 月6日
	4	大略は岡倉士へはなし口口候に付	明治21年11月11日	九鬼隆一	赤坂喰違官報局官宅 高橋健三	書簡	167× 760		糊剥離
	5	京都へ入十分の人物御見付け被下	明治22年2月17日	九鬼隆一	赤坂喰違官報局官舎 高橋健三	書簡	168× 594		糊剥離
	6	23日12時30分迄に小石川原町別邸へ御来車 被下度	明治22年3月20日	小石川原町 九鬼隆一	赤坂喰違官報局長官宅 高橋健三	書簡	188× 283		
	7	出勤時間上野博物館へ御立寄被下度	明治22年5月31日	九鬼隆一	赤坂喰違官報局長官舎 高橋健三	書簡	164× 703		糊剥離
	8	3日本省へ被招候に付2時過拜口申度	明治22年6月1日	九鬼隆一	赤坂喰違官報局長官舎 高橋健三	書簡	183× 259		
	9	17日午後1時小石川原町邸にて午食差上度御 来車被下度	明治22年7月13日	小石川原町 九鬼隆一	赤坂喰違官報局官宅 高橋健三	書簡	188× 362		糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	10	万御見舞迄	明治22年8月9日	九鬼隆一	赤坂喰違官報局長官舎 高橋健三	書簡	182× 388		
	11	国華6ヶ月前金を以て左の4人に御遣わし相成度	明治22年11月26日	九鬼隆一	赤坂喰違官報局長官舎 高橋健三	書簡	187× 405		書簡中の宛名「高はし・天心」
	12	昨日御宅出候口紙、今朝の書類領収に付(賀状)2日午後1時小石川原町邸へ御来車被下度	明治22年12月28日	九鬼隆一	赤坂喰違官報局長官宅 高橋健三	書簡	187× 936		封筒あり、上書「至急拝復必親展」
	13	明治23年1月1日	九鬼隆一	赤坂喰違官報局長官宅 高橋健三	書簡	188× 321		糊剥離	
	14	国華6ヶ月前金を以て左の2人に御送付相成度	明治22年11月12日	九鬼隆一	赤坂喰違官報局長官宅 高橋健三	書簡	188× 368		
	15	19日午後5時小石川原町邸へ御来車被下度、外には岡倉氏のみ	明治23年1月14日	鎌倉より 九鬼隆一	赤坂喰違官報局長官宅 高橋健三	書簡	188× 395		消印 東京明治23年1月15日 糊剥離
	16	内陳 瀧和亭氏へ博覧会審査官承諾相成候様御内話被下度	明治23年1月24日	九鬼隆一	赤坂喰違官報局長官舎 高橋健三	書簡	194× 395		第三回内国勸業博覧会事務局用封筒
	17	15日午後1時より5時迄の間に上野へ御出かけ被下度、御出発用迄に薬用類取揃えさせに付	明治23年2月	九鬼隆一	赤坂喰違官報局長官宅 高橋健三	書簡	188× 829		糊剥離 虫損小
	18	急行之御旅行御疲勞拜察申候、国華はまずまずの勢するべく候、日本新聞多少改良を切望せざるを得ず候 板垣の三党合体も大分出来そうに見え申し…速く御帰京有之度	明治23年5月9日		米国華盛頓日本公使館 付高橋官報局長	書簡	184× 1162		封筒裏「東京宮内省発」消印 サンフランシスコ5月24日 下部破れあり 糊剥離
		小生三四日中より暫時他行仕りに付岡倉氏より御聴取被下度	明治23年5月6日		高橋	書簡	189× 996		下部破れ、もろけ糊剥離
	19	明治23年10月6日	九鬼隆一	赤坂喰違官報局長官邸 高橋健三	書簡	188× 1194		帝室博物館用封筒	
	20	明治23年11月27日	九鬼隆一	赤坂喰違官報局長官舎 高橋健三	書簡	188× 608		帝室博物館用封筒 糊剥離 中途欠か	
	21	口代(一寸頓発に付) 岡倉氏に係る一件、当方も昨年来財政整理、毛利家との約束も不如意に付御断申上候外無	明治24年11月4日 明治24年10月10月27日	九鬼隆一 大阪今橋 藤田伝三郎	官報局長官舎 高橋健三 麹町区三年町官舎 九鬼隆一	書簡 書簡	247× 345 186× 954		幸便 封筒汚れ大
	22	29日農商務省へ御出かけ被下候はば幸に御座候	明治25年3月27日	九鬼隆一	麹町区大手町 内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	186× 524		封筒汚れ・虫損 書簡上部変色・虫損 糊剥
	23	昨日の一件に付、御一口口被下度	(明治25年5)月4日	九鬼隆一	高橋健三	書簡	189× 280		幸便 糊剥離 封筒汚れ 明治25年5月か
	24	内陳(米博の事務局鑑査官に任命被成候間御承諾被下度候)	明治25年5月15日	九鬼隆一	官報局長官舎 高橋健三	書簡	190× 560		幸便 下部しみ 糊剥離
	25	今夕は8時半より10時までの間差支無之に付回答のみ	(明治25年5月)19日	九鬼隆一	高橋健三	書簡	189× 356		幸便 下部しみ 明治25年5月か 1-179-26に帯封あり
	26	20日夕7時御来車被下度、御一答可被下度	(明治25年)5月19日	九鬼隆一	高橋健三	書簡	188× 300		幸便 下部しみ 明治25年か 1-179-26に帯封あり
	27	内陳(長尾楨太郎の処遇に付両兄へ御内談仕候)	明治25年5月25日	九鬼隆一	官報局長官舎 高橋健三	書簡	189× 1148		書簡は「高橋兄岡倉兄」宛別封筒にあり「明治25年5月九鬼」帯封あり 糊剥離
	28	新聞条例一件に付	明治25年12月16日	三年町 九鬼隆一	上野公園之北日暮之里 高橋健三	書簡	187× 1106		封筒汚れ 書簡糊封印あり 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	29	何卒一タ御来車被下度	明治26年1月7日	九鬼隆一	木挽町水明館 高橋健三	書簡	188×400		幸便 糊剥離
	30	12日夕5時より三年町へ御来車被下度	明治26年1月8日	九鬼隆一	神田区南甲賀町 高橋健三	書簡	188×367		
	31	内陳(第4回博口の社説御尤千万に御座候)	明治26年1月23日	九鬼隆一	木挽町水明館 高橋健三	書簡	187×388		幸便
	32	三年町に皆移り来り、今夜おはなし申承度	明治28年1月18日	三年町 九鬼隆一	木挽町水明館 高橋健三	書簡	187×409		封筒右下欠損
	33	2月3日夕御出被下度	明治28年1月27日	九鬼隆一	木挽町水明館 高橋健三	書簡	187×402		
	34	24日夕5時より三年町邸へ御来車被下度	明治30年2月22日	九鬼隆一	永田町官舎 高橋健三	書簡	188×593		幸便 糊剥離
	35	内陳(明夕6時より三年町邸へ御来車被下度)	明治30年2月24日	九鬼隆一	永田町内閣書記官長 高橋健三	書簡	188×338		幸便
	36	昨日は御辞職被成候由に付御見舞	明治30年10月9日	鎌倉由比ヶ浜 九鬼隆一	相州小田原駅宿屋前 高橋健三	書簡	181×841		変色(しみ)あり 糊剥離
	37	明10日の予定に付参上致兼候	1月5日	九鬼隆一	高橋健三	書簡	189×944		幸便 封筒左側欠損
	38	内陳(別紙は疾くに返上候と思込仕り候に付)	2月4日		(高橋)健三	書簡	186×436		幸便 封筒には宛名なし
	39	4日夕6時より三年町邸へ御来車被下度	3月1日	九鬼隆一	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	188×389		下部しみ変色
	40	御来車被下候由大謝、兄のことに付上野理一郎氏へはなし致、村山氏へ面会致件	3月1日	三年町 九鬼隆一	官報局長 高橋健三	書簡	189×1034		書簡は内封筒に収納、染み変色虫損あり
	41	舌代(20日夕7時より三年町邸へ御来車被下度)	5月18日	九鬼(隆一)	高橋(健三)	書簡	188×296		封筒欠
	42	川田氏出張の件	6月12日		紀尾井町 高橋健三	書簡	187×778		幸便
	43	内陳(11時には出省の都合、4時までの間に出省被下候てもよろし)	6月20日		高橋健三	書簡	160×1335		幸便 書簡中宛名「高橋様・菱田様」糊剥
	44	10月には帰国に付御相談可申聞候	7月2日	(九鬼)隆一	内閣文書局 高橋健三	書簡	243×330		幸便 書簡2枚
	45	内陳(幸次郎又々来訪、黒田伯口口来訪…)	7月17日			書簡	187×354		封筒欠
	46	必要なる書類御恵被下難有鳴謝致候	7月24日	九鬼隆一	喰違官舎 高橋健三	書簡	187×337		幸便 宮内省封筒
	47	高橋殿御不快腹子ブスにも相成也、一応左の医へ診察させられ候ては如何	7月30日	九鬼隆一	赤坂喰違官報局長官宅 高橋健三	書簡	188×981		幸便 宛先「高橋殿御看護人中」
	48	口代(18日午6時半より鹿鳴館へ御出被下度)	9月15日	九鬼隆一	官報局 高橋健三	書簡	188×294		幸便 図書寮用封筒
	49	匆々略陳(村印面談致し先方の心表を正かめ貫度とのことに付)	(明治25年)10月15日	九鬼隆一	官報局長 高橋健三	書簡	188×1415		幸便 書簡は内封筒入 明治25年か新聞 条例関連
	50	内陳(御病氣如何 村印は手紙は起さず過日之電報のみ、議会も近し一意条約改正に傾注)	(明治25年)10月30日	九鬼隆一	官報局長官舎 高橋健三	書簡	181×796		幸便 書簡糊封 明治25年か新聞 条例関連
	51	相談申度に付今日2時より3時の間に博物館事務局へ御出頭被下度	12月12日	九鬼隆一	根岸 高橋健三	書簡	189×311		幸便 帝国博物館封筒

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	52	内陳(明朝8時三田へ御同伴致下申候、高橋義雄の履歴御聞せ被下度	2日	九鬼隆一	官報局長官宅 高橋健三	書簡	188×327		幸便 封筒汚れ大
	53	用談紛雑中共面談可致に付	4日	九鬼隆一	高橋(健三)	書簡	181×359		幸便 文中宮内省予算とある
	54	今夜九時半より御待申居候	6日	九鬼隆一	高橋(健三)	書簡	189×170		幸便 下部しみ変色
	55	明日午前11時上野博物館へ御出被下度	13日	(九鬼)隆一	高橋(健三)	書簡	190×254		幸便 封筒上部変色
	56	今日12時上野精養軒で御待申居候	14日	九鬼隆一	日暮里 高橋健三	書簡	189×232		幸便
	57	今宵8時より9時の間に三年町に御出ケ被下度候は大幸に御座候	14日	九鬼隆一	官報局長官舎 高橋健三	書簡	190×182		幸便 下部しみ変色
	58	御訪問被成度、別封御届	15日	九鬼隆一		書簡	188×362		封筒欠 上部しみ変色 中損 糊剥離
	59	只今別紙到達、大体ハヨロシト有之候	(明治25年) 22日	九鬼隆一	官報局長官舎 高橋健三	書簡	188×503		幸便 明治25年か
	60	24日夜7時より8時迄の間に御出被下度	23日	九鬼隆一	官報局長官舎 高橋健三	書簡	181×407		幸便 下部しみ変色小
	61	内陳(即刻三年町へ御出被下候はば大幸に御座候)	28日	九鬼隆一	官舎 高橋官報局長	書簡	183×403		幸便 帝国博物館封筒 上部しみ変色
	62	今夜9時奥田氏御同伴御出被下度、手島精一にも参り候様御通じ被下度	28日	九鬼隆一	官報局 高橋健三	書簡	190×827		幸便 下部しみ変色 糊剥離
	63	議会議中に付12月4日夕6時と決定、御繰合被下度		九鬼隆一	高橋(健三)	書簡	180×390		幸便 糊剥離
	64				高橋健三	封筒			封筒のみ
180		日下義諦書簡						1	
		仏教大意贈呈と十全大意献上に付	11月29日	小石川区目白十善会ニテ 日下義諦	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	168×795		幸便
181		工藤一記書簡						3	
	1	内閣記録局より借用中の東国輿地勝覧御入用の趣に付	5月7日	学習院幹事 工藤一記	内閣官報局 高橋健三	書簡	163×884		幸便
	2	東国輿地勝覧35より47迄5冊差上候間受領被下度	5月11日	学習院 工藤一記	内閣官報局 高橋健三	書簡	161×642		幸便 封筒上書「輿地勝覧五冊添」
	3	東国輿地勝覧御返却被下受領仕候、記録局へ返却に付同局へ御用弁可被下候	5月17日	学習院 工藤一記	内閣官報局 高橋健三	書簡	165×814		幸便 糊剥離
182		工藤助勝書簡		工藤助勝	高橋健三			2	
	1	横山の事に付	明治23年12月19日	宇都宮地方才判所 工藤助勝	内閣官報局 高橋健三	書簡	173×849		糊剥離
	2	東京朝日新聞に宮館貞一使用の義御計被下度	明治28年6月6日	麹町区永楽町 工藤助勝	大阪朝日新聞社 高橋健三	書簡	183×763		消印 大阪明治28年6月8日
183		国友重章書簡						1	
		同郷人佐藤潤象氏朝鮮人9名を携え博覧会見物の為帰朝に付御配意被下度	明治28年5月28日	在朝鮮京城 国友重章	在大阪 高橋健三	書簡	183×741		幸便 封筒上書「佐藤潤象氏持参」 糊剥離
184		国広頼蔵書簡						1	
		東條氏慶応義塾卒業生にて新聞広告取次の事業に従事、同氏の望一応御聞取被下度	1月14日	国広頼蔵	官報局 高橋健三	書簡	179×606		幸便 外務省封筒 上書「東條貞一氏持参」 糊剥離
185		久保田 鼎書簡						25	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	1	内展(野呂氏と岡倉氏の談判に付、九鬼氏へは小子より模様承り御報し可有之	明治24年10月27日	久保田 鼎	内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	170× 973		帝国博物館封筒 書簡包封紙あり
	2	19日今泉氏同伴6時頃可罷出積りに候	明治24年11月14日	久保田 鼎	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	161× 406		東京美術学校用封筒
	3	九鬼氏帰京、多忙に付此義は小生より申上の指示に付	明治24年11月19日	久保田 鼎	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	169× 776		帝国博物館封筒
	4	辻氏小川一真氏の出金額報知無之に付	明治25年1月4日	久保田 鼎	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	171× 1377		帝国博物館封筒 糊剥離
	5	昨朝川瀬氏来訪、熱海の談判の模様承知仕候、辻・小川への出金依頼に付	明治25年1月7日	久保田 鼎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	280× 378		幸便 便箋4枚
	6	石川頭一郎方御相談之支払残金御尋に付	明治25年3月16日	久保田 鼎	神田橋元衛町 高橋健三	書簡	188× 1288		糊剥離 帝国博物館封筒1枚封入
		25年3月迄(計算書)				状	164× 519		糊剥離
		22年5月600円川田 22年8月500円高橋(計算書)					164× 329		糊剥離
	7	石川成行其後如何運相成候や	明治25年5月9日	久保田 鼎	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	171× 616		帝国博物館封筒 糊剥離
	8	石川頭一郎方証書未だ返却不相成候に付	明治25年6月21日	久保田 鼎	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	189× 990		帝国博物館封筒 虫損
	9	弘中格氏より年始会に係る費用75銭尊台より頂戴の事に付	1月13日	(久保田)鼎	高橋(健三)	書簡	163× 649		封筒欠 しみ変色
	10	昨夜退出之節帽子落し候に付取落候はば此者へ御渡被下度	1月17日	久保田 鼎	高橋(健三)	書簡	161× 590		糊封 幸便 しみ変色 破損あり
	11	別紙森文次郎利子に係る裁判所命令書昨日到達に付、辻・小川出金に関する件	1月21日	久保田 鼎	官報局 高橋健三	書簡	171× 1358		幸便 糊剥離
	12	今朝辻氏より出金有之、小川氏よりは未だ沙汰無之候	1月28日	久保田 鼎	官報局 高橋健三	書簡	170× 678		幸便 帝国博物館封筒
	13	金額の内65円髓に領収仕り候、九鬼氏帰京後宮本・木下・森の証書送付被下度	2月19日	久保田 鼎	高橋健三	書簡	187× 640		幸便 帝国博物館封筒
	14	石川頭一郎氏方処分の件岡倉氏に談判被下度	3月30日	久保田 鼎	官報局 高橋健三	書簡	184× 973		幸便 しみ変色 封筒 虫損 糊剥離
	15	石川氏談示之件に付、残金100円の件に付	4月7日	久保田 鼎	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	168× 1763		幸便 追記の分あり 168×79
	16	彼の件300円の証書落手に付奉謝候	6月22日	久保田 鼎	高橋健三	書簡	184× 397		幸便 東京美術学校用封筒 書簡包紙あり
	17	石川頭一郎方より200円証書取戻御送付被下領収仕候	6月30日	久保田 鼎	高橋健三	書簡	188× 377		幸便 帝国博物館封筒 虫損
	18	小子・今泉氏差支無之18日夕参堂候に付	11月16日	久保田 鼎	高橋健三	書簡	170× 402		幸便 帝国博物館封筒 虫損 明治24年か
	19	今泉氏品川の河瀬氏へ参り候に付、書面相添河瀬氏の模様申上げ旁参上仕度	12月6日	久保田 鼎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	249× 335		幸便 帝国博物館封筒
	20	三年町九鬼氏方へ参り書付一覽署名相談の処、浜尾・辻に先へ廻し呉度趣に付	12月8日	帝国博物館ニテ 久保田鼎	神田橋内官報局 高橋健三	書簡	233× 1142		幸便 糊剥離
	21	辻氏訪問の件、別陳(今泉氏及小子融通分相纏め居候に付)	12月14日	久保田 鼎	神田橋官報局官舎 高橋健三	書簡	161× 1000		
	22	瀧・辻氏に面会、来年1月下旬又は2月初には融通可相附趣に有之	12月25日	(久保田)鼎	高橋(健三)	書簡	171× 1880		封筒欠 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	23	金口口口御領収被下度	30日	久保田 鼎	高橋健三	書簡	175× 650		幸便 しみ変色 虫損 大 糊剥離
	24	雅会欠席可仕候、辻氏来月末迄には大丈夫と 存じ候、過日差上候証書按を此者へ御遣し被		久保田 鼎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	249× 346		幸便
	25	堀秀之の事に付書面被下感銘候		久保田 鼎	高橋(健三)	書簡	248× 348		幸便 明治31年か
186		久保田 貫一書簡						2	
		専修学校卒業式寵招を蒙候処用事出来に付 御断申上度	明治17年7月14日	小石川区竹早町 久保田 貫一	京橋区南紺屋町ビクニ 橋際煉瓦家 高橋健三	書簡	162× 528		糊剥離
		専修学校卒業式へ御招に預り感謝候、風邪に て引籠り出席不致遺憾に候	明治17年7月14日	福口	高橋(健三)	書簡	164× 428		
187		久保田 讓書簡		久保田 讓				16	
	1	佐藤氏本日拜命致し好都合に候	(明治18年)4月16日	於文部省 久保田 讓	太政官文書局 高橋健 三	書簡	153× 550		幸便
	2	佐藤氏の俸給額に付	明治18年4月28日	於文部省 久保田 讓	上二番町 高橋健三	書簡	178× 919		封筒汚れ 糊剥離
	3	佐藤氏之…新聞社之…奉敬承候	(明治18年)4日	於文部省 久保田 讓	高橋健三	書簡	178× 751		幸便
	4	佐藤氏採用之儀本日内務省江照会致候間本 人へ内諭被下度	(明治18年)14日	於文部省 久保田 讓	文書局 高橋健三	書簡	153× 823		幸便
	5	口口正夫氏御採取之儀は如何御勤考被下候 哉	(明治21年)6月23日	文部省 久保田 讓	官報局長 高橋健三	書簡	186× 576		幸便 文部省封筒 封 筒変色
	6	文部予算の内地方視学費6万3000円削減に付 御内示被下度	明治30年2月2日	小石川金富町 久保田 讓	麹町永田町官邸 高橋 健三	書簡	183× 1133		
	7	文部視学費の件御答示之趣拝承仕候	明治30年2月6日	小石川金富町 久保田 讓	麹町区永田町 高橋健 三	書簡	183× 804		
		高等教育会議ニ関スル質問主意書				状	248× 168		罫紙
	8	借樂園に参会可仕旨御答申上候、熟談之会に 有之候哉	明治30年2月11日	小石川金富町 久保田 讓	麹町区永田町 高橋健 三	書簡	182× 618		糊剥離
		メモ(衆議院予算委員会速記録曾根答弁頁)				状	183× 135		
	9	貴族院本会議に於て高等教育会議質問書理 由演説に付書記官にても聞きに遣し被下度	明治30年2月25日	小石川金富町 久保田 讓	麹町区永田町 高橋健 三	書簡	182× 457		
	10	新に登傭したる新人材は根本的に改革を企て されは何事も為す能はず、近況伺	明治30年9月1日	相州鎌倉町長谷 久保 田讓	相州小田原万年町鈴木 方 高橋健三	書簡	179× 1376		糊剥離
	11	今日の官報は其実を報し来り感慨を不免、御 勇退に依り今後の事有志者非常の苦慮百端に	明治30年10月9日	小石川金富町 久保田 讓	相州小田原万年町鈴木 方 高橋健三	書簡	187× 901		しみ変色
	12	政海大波瀾を起し折角昨年来御苦辛被成候 事も水泡に帰候に付、文部省内組織の件	明治30年11月17日	小石川金富町 久保田 讓	相州小田原万年町鈴木 方 高橋健三	書簡	178× 1298		しみ変色
	13	高雄氏の儀詳細に御報道被成下難有奉存候	2月28日	文部省 久保田 讓	太政官文書局 高橋健 三	書簡	177× 405		幸便 上部しみあり
	14	明治の救恤金(文部省より支出の分)の儀相談 致度に付	2月28日	文部省 久保田 讓	太政官文書局 高橋健 三	書簡	177× 541		幸便 封筒下部欠
	15	先頃御愛女御失御愁傷の事奉存候、新聞救恤 金の件相談仕り度	3月28日	於文部省 久保田 讓	上二番町 高橋健三	書簡	178× 933		幸便 糊剥離 下部変 色あり 虫損
	16	新聞処分の儀は以外の好都合に連本日処分 を了り候	23日	(久保田)讓	高橋(健三)	書簡	162× 783		封筒欠 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
188		熊谷幸之輔書簡						1	
		御舎兄昌長様神戸よりの帰途立寄被下結構の品御患投に預り奉謝候	9月16日	名古屋市堅三倉町 熊谷幸之輔	高橋健三	書簡	180× 706		幸便 しみあり
189		熊谷直五郎書簡						1	
		最上廣畔氏の件	明治30年4月11日	永田町 熊谷直五郎	永田町内閣書記官長官邸 高橋健三	書簡	162× 587		糊剥離 直五郎は幸之の叔父
190		熊谷平三書簡						1	
		友人梅沢義道(法学会)入会の儀高橋一勝君まで申入置に付上京、入会の儀都合は如何	明治14年8月2日	神田区美土代町止宿 水戸法学館 熊谷平三	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	161× 375		
191		熊谷台四郎書簡						1	
		法制局関栄造御目にかかり度に付	17日	熊谷台四郎	高橋健三	書簡	160× 519		幸便
192		熊田亘遜書簡						1	
		欧文ブック印刷用活字購入取調に付	明治21年7月25日	神田区松下町熊田活版所 熊田亘遜	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	246× 341		熊田活版所罨紙
193		桑野年実書簡						1	
		両三日中帰東仕候に付御都合御知ら願ひ度	明治28年5月26日	堺甲斐町 桑野年実	大阪中之島朝日新聞社 高橋健三	書簡	171× 511		消印 大阪明治28年5月27日 しみ変色
194		黒岩市兵衛書簡						1	
		是迄種々□□の件一時御見合奉願上候	5月31日	黒岩市兵衛	高橋(健三)	書簡	173× 248		封筒欠 上部欠損
195		黒田清隆書簡						1	
		鶏卵25□ 御見舞小包郵便にて進呈候に付	明治31年6月8日	芝三田 黒田清隆	神奈川県小田原字天王原 高橋健三	書簡	161× 685		消印 小田原明治31年6月9日 糊剥離
196		J. J. Clualbors. 書簡						1	
			明治24年3月16日	J. J. Clualbors.	官報局にて 高橋健三	書簡	178× 228		
197		小秋元三八吉書簡						5	
	1	志賀氏へ面会御伝言逐一申述候、来月1、2日中には御伺可申との事に御座候	明治30年10月28日	麹町区内幸町高橋方 小秋元三八吉	神奈川県小田原町鈴木方 高橋健三	書簡	165× 1070		消印 小田原明治30年10月29日 しみ変色
	2	志賀重昂氏は来月2日には必ず伺可申旨確答候(松方首相、政党の動向)	明治30年10月31日	小秋元三八吉	小田原 高橋(健三)	書簡	161× 1791		封筒上書「托鈴木君」しみ変色 欠損虫村大
		宜しく御賛成ありたし	明治30年10月30日	□□□日本新聞社 陸 実	大竹貫一	書簡	179× 674		しみ変色 上部欠損大
	3	奥様御着京、富田氏・神鞭氏・柴氏宅を訪問の事	明治30年11月14日	麹町区内幸町高橋方 小秋元三八吉	相州小田原万年町鈴木方 高橋健三	書簡	177× 780		消印 小田原明治30年11月15日 しみ変色
	4	開封不能	明治年10月28日			書簡			水濡れ圧縮板状 下部欠損
198		小出小源太書簡						1	
		来2月を期とし10円拝借願ひ度に付	明治13年11月26日	南伝馬町 小出小源太	京橋区木挽町 高橋健三 蔵(三)	書簡	158× 616		虫損小
199		高抱徳治書簡						3	
	1	候補者一件、本社員の探訪で文部省某書記官より聞きたるに付御報	明治24年5月17日	不二見町 高抱徳治	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	172× 406		消印 東京飯田町明治24年5月18日
	2	震災救恤絵画会開会に付寄贈品請取の件	明治24年12月11日	東京新報社ニテ 高抱徳治	官報局官舎ニテ 高橋健三	書簡	165× 324		糊剥離 震災は濃尾大地震
	3	東京新報記事奇異なる文字の言語御尋の件に付	12月31日	不二見町 高抱徳治	麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	165× 444		

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
200		神鞭知常書簡						38	
	1	昨日条約実施準備委員会に於て日独条約実施の説明中の件に付	(明治29年)11月17日	法制官 神鞭知常	高橋内閣書記官長(健三)	書簡	170×854		幸便 内閣用封筒 糊剥離
	2	本年文官高等試験合格者氏名	明治29年12月3日	神鞭文官高等試験委員長	高橋内閣書記官長(健三)	冊	269×195		幸便 内閣用封筒 コンニャク版 4丁
	3	本按篤と御閲覧ありたし	(明治29年)12月28日	神鞭知常	高橋書記官長(健三)	書簡	183×225		幸便 内閣用封筒
	4	法規提要一部進呈候	明治30年1月8日	法制局長官 神鞭知常	内閣書記官長 高橋健三	書簡	278×203		幸便 内閣用封筒 原型印刷物 内閣用罫
	5	台湾住民分限に関する書類の件	(明治30年)1月29日	衆議院にて 神鞭知常	高橋内閣書記官長(健三)	書簡	188×466		幸便
	6	別紙陸氏より差越、貴台可然御注意相成度	(明治30年1月)31日	法制局 神鞭知常	議会に於て 高橋内閣書記官長(健三)	書簡	182×559		幸便 内閣用封筒 「渡辺氏持参」日本新聞社渡邊金太郎名刺1枚 糊剥離
		営業税一件に付大蔵次官の答弁の件	(明治30年)1月末日	社員持参 陸 実	神鞭知常	書簡	182×1310		幸便
	7	懲戒免除の件両大臣同意の電信を発す	明治30年2月6日	京都先斗町西屋旅館 法制局長官 神鞭知常	内閣書記官長 高橋健三	書簡	161×738		消印 東京明治30年2月7日 糊剥離
	8	別紙の如き議会の決議を内相に話し試みる積なりしに御一考被下度	明治30年5月24日	神鞭知常	高橋内閣書記官長(健三)	書簡	182×515		幸便 内閣用封筒
	9	島津伯より別紙申越たり、貴慮承置たし	明治30年6月23日	法制局 神鞭知常	高橋内閣書記官長(健三)	書簡	183×911		幸便 内閣用封筒 虫損
	10	島津伯より又別紙被差越候、陸氏貴兄御氣分宜しからざるに付今夕の会は改日事候	明治30年6月25日	法制局 神鞭知常	高橋内閣書記官長(健三)	書簡	183×772		幸便 内閣用封筒
		壬生伯勅撰一件内談候に付	(明治30年)6月24日	島津忠亮	神鞭知常	書簡	182×1036		幸便 糊剥離
	11	今朝大石と首相に面晤、外傷を訪問、其情況も拝面の上可申述候	(明治30年)7月7日	法制局 神鞭知常	高橋健三	書簡	182×752		幸便
		金700円也 竹内正志渡邊魁台湾旅費渡	明治30年7月6日			状	280×403		内閣罫紙 下書か
	12	(内閣人事、国政の動きなどの報告)	明治30年8月24日	東京麻布仲之町 神鞭知常	相州小田原万年町鈴木善左衛門方 高橋健三	書簡	175×2935		封筒虫損
	13	(富田君鎌倉の家の事、山田喜之助、高埜の事、各省人事の事)	明治30年9月8日	麻布仲之町 神鞭知常	相州小田原町万年町鈴木方 高橋健三	書簡	179×2008		消印 小田原明治30年9月10日 封筒汚れ
	14	関税定率奉按上申致候、御一覽置を乞う	(明治30年) 月26日	法制局 神鞭知常	内閣 高橋書記官長(健三)	書簡	183×289		幸便 内閣用封筒 封筒上書「関税定率法按二添へ」
	15	(山田兄醜状の事大隈邸での事、伊藤公の困難)	明治31年1月8日	麻布区仲 神鞭知常	相州小田原町字山王 高橋健三(自恃居士)	書簡	182×1695		幸便 糊剥離
16	(大隈伯伊藤と同調の件、威海衛問題に付小生諸兄と相談同志者会取計、遼東還付の事)	明治31年4月3日	麻・仲 神鞭知常	相州小田原山王原 高橋健三	書簡	181×1954		消印 小田原明治31年4月4日 糊剥離	
17	出掛たる上臨機に相話候、要は鎮定に可有候	1月19日	神鞭知常	高橋健三	書簡	179×563		幸便	
18	福井三郎・伊藤伊吉菜場の件松伯へなりとも至急耳打すること必要と存じ候	2月1日	神鞭知常	高橋健三	書簡	174×782		幸便	
19	矢部重高君今後の事に付相談あり度趣に付御聞取被下度	2月4日	神鞭知常	永田町 高橋健三	書簡	181×843		幸便 封筒上書「矢部君紹介」 糊剥離	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		履歴大略 福島県西白河郡大沼村 矢部重高				状	247× 336		
	20	(大竹氏、山田氏の事、17日陸氏催主の夜会の事ほか)	2月20日	日本社に於て 神鞭知常	一松庵主人	書簡	180× 2380		幸便 糊剥離
	21	小生友人池田謙蔵相談願度儀あり、御逢被下度	5月16日	神鞭知常	高橋健三	書簡	182× 487		幸便 封筒上書「池田君ヲ照会ス」 糊剥離
	22	佐脇氏よりの書塾閲、大東氏妻君死去通報被下拝謝	6月27日	(神鞭)知常	高橋健三	書簡	181× 807		幸便 糊剥離
	23	乃木氏おくだを如何する決心に候哉	7月5日	(神鞭)知常	高橋(健三)	書簡	182× 600		
	24	昨夜首相に面晤緩話を遂ぐるを得たり(詳細内容あり)	7月10日	(神鞭)知常	自恃(高橋健三)	書簡	182× 1130		封筒欠
	25	前日来(高橋)後任者候補談に付尾崎・犬養・陸諸兄と謀りしも適応の人未だ見出し不申候、ほか人事に付	9月29日	神鞭知常	高橋健三	書簡	179× 4130		幸便
	26	御悩書拝誦、決心は事後に非されは承けかたくに付、新聞にて貴兄の吐血の報を見て心配	11月17日	神鞭知常	高橋健三	書簡	182× 768		幸便 糊剥離 封筒虫損あり
	27	閣議の御模様如何決口候哉大体承り度	10日	神鞭知常	高橋翰長(高橋健三)	書簡	188× 413		幸便 虫損小
	28	今夕外務大臣官邸へ立寄尾崎・犬養両氏に面談、明朝大石氏貴邸へ出掛可申候に付	12日	神鞭知常	高橋健三	書簡	176× 1031		幸便 糊剥離
	29	島津伯より別紙到来に付一覽被下度、別紙後藤生成局長よりの請求の件、秩禄委員寄合の拝誦、何もかもボンヤリ御心痛察上候、明朝訪問可致候	(明治30年) 16日	(神鞭)知常	高橋(健三)	書簡	182× 1224		封筒欠 虫損小 糊剥離
	30	意外に運そうろう得共間違き口義故油断は出来不申候	18日	(神鞭)知常	高橋(健三)	書簡	182× 801		封筒欠 糊剥離
	31	昨夕大臣に面会の上人材登用の件を熟談致候、小生の要求の要領は左の如し	27日	神鞭知常	高橋健三	書簡	178× 548		幸便
	32	予算委員長の報告の件、予算に関する会議に臨み念の為一言述べ置きます	27日	牛込区大久保余丁町尾崎行雄	高橋健三・神鞭知常	書簡	181× 1207		幸便
		質問演説ある(予算会議進行表、続きか)				書簡	184× 2030		封筒欠
	33	勝伯に面会、松方伯にシンボして太く大きく御心配被成様序に御話してくれと被申候		(神鞭)知常	高橋(健三)	書簡	184× 663		封筒欠
	34	四五輩徒然待合被居候、結局如何哉わからぬならば帰宅すへしと申居候		神鞭知常	高橋翰長(高橋健三)	書簡	182× 1217		封筒欠
201		国分高胤書簡					183× 460		幸便
		御委囑相成候材正書類の件	明治21年11月13日	国分高胤	高橋(健三)	書簡		1	幸便 虫損
202		小久保喜七書簡						5	
	1	其節御話之件不在者多く確たる所を探知不致本日の新聞を閲するに総て復活したる様子先づ御安心に御座候	明治30年2月11日	小久保喜七	麴町永田町官舎 高橋健三	書簡	167× 492		
	2	友人の友人下村なるもの日清戦争により支那政府との契約品押収に付回収手続き御伺度	明治30年2月17日	小石川表町 小久保喜七	麴町永田町官舎 高橋健三	書簡	164× 453		
	3	御面会の上御相談願度義有之候に付	明治30年2月21日	小石川表町 小久保喜七	麴町永田町官舎 高橋健三	書簡	165× 1195		
	4		明治30年4月25日	小石川表町 小久保喜七	麴町永田町官舎 高橋書記官長(健三)	書簡	171× 603		

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
203	5	本日の新聞に断然御辞職の由、神鞭氏引続き 辞表呈出せしとの事に付	明治30年10月9日	小石川表町 小久保喜 七	神奈川県小田原万年町 鈴木方 高橋健三	書簡	174× 785		消印 小田原明治30 年10月10日
		小島正勝書簡						2	
		尊大人の書幅7幅を使者に相嘱候に付御着 掌被下度	10月6日	小島正勝	高橋健三	書簡	162× 403		幸便 封筒上書「風呂 敷包添」
204		明後8日尊大人御祭典に付昇楼被下候	6日	貯金課 本田是国	高橋(健三)	書簡	163× 685		
		児嶋惟謙書簡		児嶋惟謙	高橋健三			3	
	1	藤田の件云々了解	(明治25年)12月14日	牛込下宮比町 児嶋惟 謙	豊島郡日暮里村字金杉 高橋健三	書簡	184× 681		消印 明治5年12月15 日糊剥離 旧No.598
	2	御高話拝聴仕度御都合よろしき口御口車被下 度	7月29日	飯田町 小嶋惟謙	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	183× 590		幸便
205	3	御不快の趣御加養祈上候、藤田の義に付相談 の件	11月9日	児嶋惟謙	高橋健三	書簡	189× 395		幸便
		小島雄之允書簡						1	
206		閣下御不快の由、御快復可被遊候様奉祈候 後藤象二郎書簡	明治25年11月7日	仙台市東三番町 小島雄之允	麹町区官報局官舎 高橋健三	書簡	175× 817		糊剥離
	1	15日在宅に付	7月13日	後藤象二郎	官報局にて 高橋健三	書簡	188× 795		幸便 糊剥離
	2	明日御成話之旨承知仕候	11月11日	後藤象二郎	高橋健三	書簡	200× 1025		幸便
207		後藤本平書簡						1	
		小生本日より帰京仕候に付滞阪の件は取消奉 仰候	明治28年6月12日	後藤本平	高橋先生(健三)	書簡	168× 662		幸便 糊剥離
208		後藤基亮書簡						1	
		父死去に付御香料御恵与被成下鳴謝	明治30年9月1日	大阪市東区大川町祥雲 堂後藤基亮	麹町区永田町内閣官舎 高橋健三	書簡			汚れ大 しみ変色 封 筒上書「御執事衆中
209		小中村義象書簡						1	
		官報にて御辞官の事甚遺憾の至に候	明治30年10月9日	本郷西片町 小中村義 象	麹町区永田町内閣書記 官長官邸 高橋健三	書簡	169× 667		転居通知状添附 しみ 変色
210		小中村清矩書簡	明治20年					3	
	1	月評発行に付御伝言承知致に付	明治20年8月11日	北豊島郡金杉村 小中村清矩	麹町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	167× 436		
		「むかしもろこしに羊をうしなひし人あり…」				原稿	244× 321		原稿2枚 明治20年8 月小中村清矩しるす
211	2	出版月評第1号発行御恵贈被成下奉謝候	明治20年9月3日	根きし金杉村 小中村 清矩	麹町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	167× 450		
		小西平蔵書簡						1	
212		新聞紙上に於て先生御病氣之趣承知に付御 自愛專一に奉存候	明治30年9月29日	羽後国仙北郡大曲町 小西平蔵	麹町区永田町 高橋健 三	書簡	181× 823		しみ変色 虫損
		小林小太郎書簡						1	参事会資料同封
213		別紙要旨近日参事会に於て御意見承知仕度	明治22年2月22日	大日本教育会理事 小林小太郎	麹町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	159× 278		封筒汚れ(カビ) 虫損
		学校生徒学芸品々評会要旨				冊	205× 142		印刷物 5頁
213		小林定彦書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		肝付氏待命仰付けられ候儀に付御尋の趣拝承仕候	明治25年12月29日	神田錦町東邦協会 小林定彦	大阪中ノ島 高橋健三	書簡	173× 1344		消印 大坂明治25年 12月30日
214		小林清作書簡						1	
		日出新聞社に就任に御懇情を辱せしに付、知遇に反する筈に及びしは事情御察し被下度	明治30年11月7日	京都油小路 小林清作	相模国小田原万年町鈴木善左衛門方 高橋健	書簡	181× 1713		封筒汚れ傷み大
215		小林直太郎書簡						1	
		外務省に加藤秘書官と面会に付(墨国移民の事)	明治25年3月8日	京橋区大工町 小林直太郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	159× 631		転居通知状添附 虫損
216		小牧昌業書簡						1	
		転輸器械拝見の件御断申上候	明治25年5月2日	西久保明舟町 小牧昌業	官報局官舎 高橋健三	書簡	172× 595		糊剥離
217		駒井信好書簡						1	
		別紙回議六通御検覧回被下候	11月6日	駒井信好	高橋健三	書簡	171× 535		幸便 臨時博覧会事務局封筒 糊剥離
218		小松原英太郎書簡						4	
	1	茨城県人鳥居正功官報印刷所備員に御採用被下度	明治21年7月5日	小松原英太郎	紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	162× 1117		幸便 糊剥離
	2	鳥居正功之件は成否如何御座候哉	明治21年7月17日	麹町区富士見町 小松原英太郎	紀尾(井)坂上官報局官舎 高橋健三	書簡	165× 635		封筒虫損小
	3	鳥居正功履歴書差上置候	明治21年7月22日	麹町区富士見町 小松原英太郎	紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	161× 409		消印 神田明治21年7月23日 糊剥離
		別紙の通り奉職履歴書口呈仕候に付	(明治21年)7月21日	(鳥居)正功	小松原(英太郎)	書簡	162× 573		
		履歴書(鳥居正功)	明治21年4月7日	鳥居正功		冊	206× 197		丁数2
219		小見山宗法書簡						2	
	1	奉賀新稔	明治23年1月1日	名古屋市玉屋町 小見山宗法	赤阪区紀尾井町 高橋健三	書簡	162× 410		消印 東京明治23年1月4日 虫損小
	2	官報売捌之義至急御許可被成下候	明治23年11月1日	名古屋(玉屋町) 小宮山宗法	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	168× 717		消印 東京明治23年11月3日
220		子安 峻書簡						1	
		21日芝紅葉館に於て小宴相開候に付	明治21年7月17日	日就社長 子安 峻	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	180× 389		封筒落書あり
221		小山正武書簡						4	
	1	支那有志士某支の遺著拝借の件	明治24年11月27日	牛込南榎町 小山正武	神田橋内官報局官邸 高橋健三	書簡	165× 810		
	2	雑誌三種拝受の事	明治25年7月23日	牛込南榎町 小山正武	麹町区神田橋内官報局 高橋健三	書簡	164× 812		
	3	(東邦)協会懸賞応募寄稿質台御通覧の上可否御批評を得度に付	明治25年10月9日	東方協会 小山正武	神田橋内官報局官邸 高橋健三	書簡	179× 1288		虫損小
	4	協会席上に於て願置候「朔方備要」此者に御交付御遣被成下候	11月27日	小山正武	神田橋内官報局長官邸 高橋健三	書簡	206× 136		
222		小山健三書簡						2	
	1	エレメンタリーエヂュケーションアクトは官報に登載被下候哉	明治24年9月15日	文部省 小山健三	内閣官報局長 高橋健三	書簡	183× 403		文部省用封筒
	2	御都合御内示被成下感謝候		文部省 小山健三	高橋官報局長(健三)	書簡	182× 240		幸便 文部省用封筒
223		近藤千吉書簡						2	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	1	当地支店詰と相成御暇乞旁安着報知の件	明治28年10月30日	上海仏租界洋経浜海帯 公司 近藤千吉	大坂市大坂朝日新聞社 高橋健三	書簡	181× 661		
	2	高橋先生は未だ小田原に御滞在被遊居候哉 斎藤修一郎書簡	明治30年9月17日	横浜市三吉町 日本昆 布会社にて 近藤千吉	麹町区永田町 高橋健 三 執事御中	書簡	180× 384		しみ変色 糊剥離
224								4	
	1	河田氏の義別紙の通反電有之候に付 明治18年送達紙(電報、カワタライゲツライケ ン)	明治18年4月11日	斎藤修一郎	太政官文書局 高橋書 記官(健三)	書簡	176× 757		糊剥離
			明治18年4月11日	山口 ヨシドミカニツ	ガイムセウ サイトウシ ウイチロ	状	245× 173		電報送達紙
	2	改正書類印刷落成に付明日より翻訳取掛被下 候様願度	4月15日	斎藤修一郎	文書局 高橋書記官(健 三)	書簡	175× 723		
	3	吉富管一氏より別紙の通雷電に付 カイロ リョヒ シハライ…	4月25日	外務省 斎藤修一郎	太政官文書局 高橋健 三	書簡	176× 288		
				吉富管一	斎藤修一郎	状	175× 172		電報写し
	4	雑誌目録御送附被下拜謝、本局購入の目録別 紙御送附に付	10月11日	斎藤修一郎	内閣官報局 高橋官 報局長(健三)	書簡	170× 414		幸便 農商務省封筒 封筒汚れあり 糊剥離
225		斎藤真男書簡						2	
	1	口之介事に付懇情の至奉謝候	明治17年3月4日	滋賀県大津 斎藤真男	京橋区木挽町 高橋健 三	書簡	161× 467		
	2	昨日御話之件、小原沢重雄の増俸の件	(明治23年)12月19日	(斎藤)真男	高橋(健三)	書簡	185× 859		封筒欠 糊剥離 後筆 「廿三年」
226		斎藤政吉書簡						1	
		石井政平訴訟事件自談と相成に付万謝候	明治22年3月29日	京橋区銀座 斎藤政吉	麹町区紀尾井町官報局 第一号官舎 高橋健三	書簡	164× 607		封筒汚れあり 糊剥離
227		斎藤茂介・遠田勇記書簡						1	
		故仁賀保兵庫頭拳誠の甲冑の写真贈呈の件 に付	明治30年2月27日	羽後国由利郡平沢町 斎藤茂介・遠田勇記	麹町区永田町 高橋健 三	書簡	180× 570		消印 東京明治30年3 月3日 糊剥離 虫損
228		堺 利彦書簡						1	
		藪広光身上の件に付	明治28年5月10日	堺 利彦	大阪中の島朝日新聞社 内 高橋健三	書簡	180× 806		糊剥離
229		佐賀直政書簡						1	
		北秋田で縄紋土器発見の記事本日の新聞に 有之に付御参考に差上候	8月25日	秋田市大町秋田新聞社 佐賀直政	石橋方 高橋健三	書簡	182× 892		封筒上書「在秋田」 汚れ しみあり 虫損
230		坂口佐吉書簡						1	
		6日の親睦会出席仕兼候に付	3月3日	一ツ橋外東京大学ニテ 坂口佐吉	京橋区木挽町 高橋健 三	書簡	167× 154		
231		坂根達郎書簡	明治18・21年		高橋健三			4	
	1	官報原稿中文部省会計局長任免の件重複相 成哉に存候	明治18年2月10日	牛込築出八幡町 坂根 達郎	麹町区上式番町 高橋 健三	書簡	162× 742		糊剥離
	2	原時亮身上に係る片付方の件に付 青木様へ御無心之一件に付	明治21年3月9日	坂根達郎	高橋次長(健三)	書簡	167× 621		幸便 内務省用封筒 封筒上部しみあり 包 紙「高橋様 返上モノ」
			明治21年3月17日	麻布永坂町 坂根達郎	麹町区紀尾井町五番地 内官舎第一号 高橋健	書簡	271× 401		罫紙 包紙「高橋様 返上モノ」
	3	外国雑誌類拝借の儀御承認被成下度奉願上 候	明治21年12月20日	京橋区三十間堀東京新 聞社より 坂根達郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	157× 689		
232		坂本則美書簡						2	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	1	民法第二条の件に就き至急御相談相願度貴族院議長官邸へ来会被成下度案内	明治30年2月21日	麹町区元園町 坂本則美	永田町内閣書記官長官邸 高橋健三	書簡	164×523		
	2	近衛公邸へ御出の節御同行御認の人御同行被下度	明治30年2月23日	麹町区元園町 坂本則美	永田町内閣書記官長官邸 高橋健三	書簡	164×344		糊剥離
233		阪本彰之助書簡						1	
			明治30年11月12日	駿河台南甲賀町 阪本彰之助	相州小田原[]鈴木氏方 高橋健三	書簡			水濡れ変色 虫損大板状となり開封不能
234		坂本武治書簡						1	
		東京法学院講師・院友先生の御来臨を請小会開催計画に付日取り承り度に付	(明治28年)10月3日	東京法学院 坂本武治	高橋健三	書簡	180×375		坂本武治=佐藤正之
235		阪谷芳郎書簡						2	
	1	昨夜決定の兌換券条例の改正に一項を追加する必要あり	明治30年2月23日		永田町官舎 高橋健三	書簡	183×433		幸便
	2	貴局写生字綿貫義太郎への添書の件	11月9日	大蔵省 阪谷芳郎	官報局 高橋健三	書簡	183×543		幸便 糊剥離
236		佐久間貞一書簡						3	
	1	地図彫刻印刷之儀に付御諮問之趣承知仕候(本日の憲法は誠に立派にて…)御意見の趣は至極御尤に御座候(憲法の印刷の困難につ	明治24年4月7日	牛込区市ヶ谷加賀町秀英舎工場 佐久間貞一	高橋健三	書簡	178×571		幸便
	2		((明治22年)2月11日	(佐久間)貞一	高橋(健三)	書簡	164×1477		幸便 書簡前半上部もろけあり
	3	器械図も千部御摺立相願度	10月28日	佐久間貞一	高橋健三	書簡	176×357		幸便 虫損小
237		佐々友房書簡						2	
	1	一両日中天気よろしき折必ず相伺可申候	明治28年1月10日	牛込北町 佐々友房	京橋区木挽町水明館 高橋健三	書簡	182×513		
	2	両三日臥床に付、嬢和の事も頗る切迫いたし、朝野各派色めき成候様相見申候	明治28年1月	牛込北町 佐々友房	京橋区木挽町水明館 高橋健三	書簡	179×629		
238		佐々澄治・林 健書簡						1	
		弊社発行鎮西日報明治25年1月4日で4000号相発候に付先生の御祝文一篇拝贈仕度	明治24年12月18日	長崎市本博多町□□会社 佐々澄治・	紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	173×865		消印 東京明治24年12月23日
239		佐々木留蔵書簡						4	
	1	誓詞	明治21年7月	(佐々木)留蔵	先生(高橋健三)	書簡	240×164		封筒欠 形態は冊 丁数2
	2	今月丈月謝の外に2円増加して御補助に預られことを奉希望候(「捧げ措きし誓詞なる質物」	明治21年11月28日	神田英吉利学校内 佐々木留蔵	麹町区紀尾井町官報局 舎 高橋健三	書簡	160×1762		
	3	御補助金は本月及来年1月2月にて悉皆4円丈御願申度	明治21年12月27日	神田錦町 佐々木留蔵	麹町区紀尾井町官報局 舎 高橋健三	書簡	165×1214		
	4	今月末までに不足分2円50銭御補助被下度	3月13日		先生(高橋健三)	書簡	229×150		封筒欠 形態は冊 丁数5 英吉利法律学校
240		佐々木直綱書簡						1	
		急報 大谷木危篤直く小梅へ御出向被下度	3月11日	大谷木備一郎事務所取締 佐々木直綱	紀尾井町官報局 高橋健三	書簡	185×280		封筒上部しみあり 虫損小
241		佐沢太郎書簡						6	
	1	旅行法書替に付連印奉願候	明治17年6月8日	本郷区駒込西片町 佐沢太郎	京橋区南紺屋町 高橋健三	書簡	177×865		水濡れしみ・カビ汚れ 虫損 破損大
	2	岡崎之一件御許容被成下候	(明治17年)6月9日	[]西片町 佐沢太郎	京橋区南紺屋町 高橋健三	書簡	175×?		水濡れしみ・カビ汚れ 虫損 破損大 書簡開けず

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	3	送別会費2円落手に付案内	(明治17年)10月2日	佐沢太郎	高橋健三	書簡	174× 593		幸便 水濡れしみ・カ ビ汚れ 虫損 破損大
	4	石川は五月蠅申来り困却、金策の口御相談仕 候	明治17年10月27日	[]西片町 佐沢太 郎	京橋区南紺屋町 高橋 健三	書簡	155× 267		水濡れしみ・カビ汚れ 虫損 破損大
	5	明日石川へ御立寄被成下候	明治17年11月26日	本郷区駒込西片町 佐沢太郎	京橋区南紺屋町 高橋 健三	書簡	160× 722		水濡れしみ汚れ 虫損 破損大
	6	多々氏の件早く持参不仕にては示談行届不 申、彼の反訳料御下付相成度	明治20年1月19日	駒込西片町 佐沢太郎	紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	150× 388		虫損
242		佐藤弘毅書簡						1	
		今春当市博覧会開設に際し本局事務に従事 候、貴社相応の事業有之候は御採用奉願度	明治28年6月20日	京都市三条通白川橋東 入五軒町 佐藤弘毅	大阪市中の島朝日新聞 社社長 高橋健三	書簡	181× 770		名刺「佐藤弘毅」同封
243		佐藤伝司書簡						3	
	1	青山・陸・本田三君と貴台連帯金員の義残金 幾分入金有之間敷哉	明治25年4月9日	三田四国町 佐藤伝司	内閣官報局官舎ニテ 高橋健三	書簡	160× 436		封筒上部欠 下部汚 れ(黴)
	2	御連帯金一条如何被成候哉	明治25年4月25日	芝区三田四国町 佐藤 伝司	[]報局官舎 高橋 健三	書簡	158× 298		封筒上部欠
	3	青山氏外御三名の一条御入金一度も無之如 何の思召なる哉	明治25年9月24日	芝区三田四国町 佐藤 伝司	内閣官報局官舎 高橋 健三	書簡	160× 642		
244		佐藤幡郎書簡						1	
		加藤太郎なる者御局に於て雇に採用被下度	2月29日	佐藤幡郎	高橋局長(健三)	書簡	185× 464		幸便 内閣用封筒 糊 剥離
245		佐藤良太郎書簡						3	
	1	日英条約の件に付御教示被下度	明治28年5月9日	京都先斗町西屋方 佐 藤良太郎	大坂市中の島 朝日新 聞社 高橋健三	書簡	180× 650		消印 大阪明治28年5 月10日
	2	大竹の出発、大竹の伝言の件、中村敬宇の書 籍弘物の義、社会問題の義ほか	明治31年2月16日	麴町区上二番町 佐藤良太郎	小田原字山王原 高橋 健三	書簡	184× 1460		消印 小田原明治31 年2月17日 糊剥離
	3	参考書中の公約履行の事取調べに付	1月15日	麴町区上二番町 佐藤良太郎	京橋区末挽町水明館二 テ 高橋健三	書簡	178× 406		
246		佐藤 甫書簡						1	
		誤判録送付被下拝謝	明治15年6月19日	樺戸集治監 佐藤 補	京橋区末挽町 高橋健 三	書簡	168× 438		消印 東京明治15年7 月6日
247		佐野常民書簡						1	
		御秘蔵品中御選出御出品被下候様仕度	明治25年3月8日	日本美術協会会頭 子爵 佐野常民	高橋健三	書簡	169× 246		幸便 封筒上下欠 下 部変色 虫損 印刷物
		美術展覧会規則	明治25年2月	日本美術協会		冊	172× 128		下部しみ変色欠損 虫 損 172×123
248		佐脇安文書簡						1	
		辞令書封入差出し候間御落握被下致候	明治30年10月8日	佐脇安文	高橋健三	書簡	182× 1150		幸便 しみ変色
250		沢田俊三書簡						2	
	1	北畠提訴院長小川一真氏に口口を求め度用 有之に付	明治28年5月22日	北浜花外楼にて 沢田 俊三	大坂朝日新聞社 高橋 健三	書簡	172× 948		幸便 しみ変色 糊剥 離
	2	小生今晚帰京決定に付小川一真氏へ宜敷御 伝被下度	明治23年5月23日	北浜花外楼にて 沢田 俊三	大坂朝日新聞社 高橋 健三	書簡	171× 734		
251		沢村則辰書簡						21	
	1	加藤曾根右衛門領収次第泉地へ帰り候に付	明治25年5月7日	神田区雉子町日本新聞 社 沢村則辰	官報局官舎 高橋健 三	書簡	168× 332		幸便 書簡上部変色 糊剥離「日本新聞沢 村 廿五年五月中」

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	細川への200円明日立替支払申上に付承知成被下度	明治25年5月19日	神田雉子町日本新聞社 沢村則辰	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	165× 850		糊剥離
	3	記 昨日国華社の支払左之通	(明治25年)5月20日	神田雉子町日本新聞社 沢村則辰	官報局官舎 高橋先生(健三)	冊	256× 171		幸便 丁数2
	4	本月分100円不足仕候間御下ヶ金相願度	(明治25年)5月27日	神田雉子町日本新聞社 沢村則辰	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	246× 169		幸便
	5	国華社基礎の義に付御協議申上度に付	明治25年6月15日	神田雉子町日本新聞社 沢村則辰	麹町区元衛町官報局官舎 高橋健三	書簡	161× 765		
	6	国華社へ小生より御周旋申上候金員は左の通りに相成申候	明治25年6月28日	牛込区市ヶ谷田町 谷邸 沢村則辰	麹町区元衛町官報局官舎 高橋健三	書簡	249× 337		
	7	臨測言行録の文字出来に付御送付被遣度奉願候	明治25年6月30日	神田雉子町日本新聞社 沢村則辰	大坂中ノ島 高橋健三	書簡	158× 601		消印 大坂明治25年7月
	8	二宮より別紙之通申参候に付二宮の請求願上候	明治25年7月13日	神田雉子町日本新聞社 沢村則辰	麹町区元衛町官報局官舎 高橋健三	書簡	166× 806		
		今度之支払に30円程不足致候に付	(明治25年)7月13日	二宮(辰次郎)	沢村先生(則辰)	書簡	182× 191		
	9	国華社の事務小生之堪る処に無御座候に付御尊許相成度	明治25年7月30日	日本新聞社 沢村則辰	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	161× 602		糊剥離
		丸一へ支払の件		二宮(辰次郎)	沢村先生(則辰)	書簡	245× 164		国華社罫紙2枚
	10	加藤曾根右衛門代金請取に参り申候、小川一真も催促申参り候	明治25年8月5日	神田雉子町日本新聞社 沢村則辰	神田橋内官報局 高橋健三	書簡	167× 307		
	11	新聞御申越委細了承仕候	明治28年10月(26日)	神田雉子町日本新聞社 沢村則辰	東海道興津町 千歳屋 高橋健三	書簡	168× 361		消印 興津明治28年10月27日
	12	賃訳料に付大蔵省へ確たる所を照会せしに付	明治29年3月30日	日本新聞社 沢村則辰	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	173× 404		虫損
		講宗余題来月早々出版之運に付		(沢村則辰)	(高橋健三)	書簡	173× 128		虫損
		明日細川よりの金満期支払の筈に付		沢村則辰	高橋先生(健三)	書簡	249× 338		虫損 日本新聞社罫紙
	13	加藤曾根右衛門参り返答に困り尊宅まで為相伺候	8月8日	日本新聞社 沢村則辰	一ツ橋内官報局官舎 高橋健三 執事	書簡	251× 177		幸便「加藤曾根右衛門殿持参」被本新聞社用箋 虫損小
	14	資本之義御仕出相成度、本月末支払之分	10月27日	日本新聞社 沢村則辰	高橋健三	書簡	160× 559		
	15	機械購入之事に相成に付過日の50円一先御返却相願度	11月27日	日本新聞社 沢村則辰	先生(高橋健三)	書簡	186× 601		封筒欠、虫損 糊剥離0
	16	筆耕者口口差出候、御覧奉願候	12日	(沢村)則辰	先生(高橋健三)	書簡	157× 270		虫損 □は虫損
		(筆耕雛形)				状	270× 388		
	17	他の方へ立替之分返済方依頼いたし幾分返戻取計呉候筈に付国華社の分も200円是非相願度	30日	神田雉子町日本新聞社 沢村則辰	(神)田橋内 高橋健三	書簡	164× 652		封筒右上欠損 書簡下部色移りあり 書簡宛先「高橋先生・岡倉
252		沢柳政太郎書簡						5	
	1	御通覧の上月評へ掲載するも不都合なきものと御認候はば左様御取計被下度	明治21年11月8日	牛込矢来町 沢柳政太郎	麹町区紀伊尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	176× 645		

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	今後青木家後事に就ては御配意相成度、心付き候件御耳に達し置候	明治22年2月14日	牛込矢来町 沢柳政太郎	麹町区紀伊尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	173×735		
	3	青木氏蔵書家計上売却を必要とせざる以上は大学図書館或は東京図書館等へ寄贈に付指	明治22年2月27日	牛込矢来町 沢柳政太郎	麹町区紀伊尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	180×1160		
	4	十善会創業費の件、評議員御承諾有之度	12月18日	矢来町 沢柳政太郎	紀尾井町 高橋健三	書簡	172×1455		糊剥離
	5	別冊仏教大意5部御領収被下度		沢柳政太郎	高橋健三	書簡	166×546		幸便 「別冊添」
253		三条実美書簡						1	
		18日園会相催候に付	明治18年4月14日	公爵 三条実美	太政官権少書記官 高橋健三	書簡	180×343		幸便
254		三宮義胤書簡						1	
		11日英照皇太后御一周御式年御霊殿祭及御陵祭通知(別紙式次第あり)	明治31年1月6日	式部長 男爵 三宮義胤	正五位 高橋健三	書簡	282×205		幸便 宮内省封筒 下部変色 虫損 コンニャク版
		英照皇太后尊御一周御式年御陵祭次第	明治31年1月11日			状	228×348		印刷物 変色
255		志賀重昂書簡	明治24~30年					14	
	1	官報局より小生宛に罹災義捐に付電話有之候、貴君よりの電話に候哉	明治24年11月5日	京橋区南鍋町 国会新聞社 志賀重昂	神田橋内 高橋健三	書簡	182×528		幸便 下部しみ変色
	2	御来諭の趣承知仕候	明治24年11月6日	京橋区南鍋町 国会新聞社 志賀重昂	高橋健三	書簡	286×345		幸便
	3	「垂細亜」発行人畑山芳三氏官吏侮辱之件にて召喚に付弁護人之事に付御高諭仰ぎ度	明治25年3月8日	京橋区南鍋町 国会新聞社 志賀重昂	高橋健三	書簡	162×609		幸便 糊剥離 「畑山芳三氏紹介」
	4	帝国教育大会帰途郷里に立寄度に付50位一時御立替出来間敷候哉	明治28年5月24日	京都上京区麩屋町通姉小路北へ入 柵屋 志賀重昂	大坂市大坂新聞社 高橋健三	書簡	183×722		志賀重昂用封筒 しみあり 糊剥離
	5	拝借のもの納付仕候、松方伯に宛決意を強固するの書面を御送付願上候 「日本人」「二十六世紀」の事	明治28年6月23日	赤坂区霊南坂町 志賀重昂	大坂市中ノ島 高橋健三	書簡	181×1280		志賀重昂用封筒 書留 糊剥離
	6	御病気の程如何に候哉	明治30年3月11日	京都上京区麩屋町通姉小路北へ入 柵屋 志賀重昂	大坂市中ノ島 高橋健三	書簡	176×640		下部しみ変色小 糊剥離
	7	明後日〔 〕氏帰京を待ち入官者の一会を催しを致度御含みまで、先夜総理邸に四人会し改革の件に付口口致大満足の様子ほか	明治30年9月1日	赤坂区霊南坂町 志賀重昂	相模国小田原町鈴木屋 高橋健三	書簡	177×2280		志賀重昂用封筒 封筒・書簡左半分欠損 しみあり 糊剥離
	8	下院書記官長の件に付陸氏心配致し居り候、増税の件、富田氏農商務大臣の事件に付ほか当地の現状御報告	明治30年9月7日	赤坂区霊南坂町 志賀重昂	相模国小田原町鈴木屋 高橋健三	書簡	178×1555		志賀重昂用封筒 封筒・書簡左半分欠損 しみあり 糊剥離
	9	進歩等代議士総会に出席、誠にスムーズに経過致し候、天台道士は頃日吾らの同志に候や	明治30年9月17日	志賀重昂	相模国小田原町鈴木屋 高橋健三	書簡	182×1541		農商務省用封筒 しみ変色 虫損 糊剥離
	10	来月初旬には必ず可参候、一昨日樺山伯に面会その談の事	明治30年9月29日	赤坂区霊南坂町 志賀重昂	相模国小田原町鈴木方 高橋健三	書簡	181×1480		消印 小田原明治30年9月30日 志賀重昂用封筒 しみ変色 虫
	11	政界之紛々擾々何とも御報知可仕様も無之、報知新聞が重野氏之件を非難いたし候に付困却、陸氏への御伝言承知に付	明治30年10月27日	志賀重昂	相模国小田原町万年町 鈴木氏方 高橋健三	書簡	178×1546		消印 小田原明治30年10月28日 しみ 封筒上部汚れ

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	12	明日は定刻参館可仕候	5月4日	神田区北神保町 政教社志賀重昂・三宅雄二	高橋健三	書簡	179×313		幸便 政教社封筒 下部しみ変色 もろけ
	13	御辞職之由新聞紙上にて承知仕り候、郷里より贈り来り品分配可仕候	11月18日	志賀重昂	高橋健三	書簡	182×667		幸便 明治30年か
	14	13日札幌農学校出身同志10名芝浜海水浴に集り候に付御臨席被下間敷候哉	12日	政教社 志賀重昂	高橋健三	書簡	173×785		幸便
256		鹿田静七書簡						3	
	1	御大切に御加養被成下様御見舞	明治30年10月1日	大阪市東区安土町 鹿田静七	麴町区永田町内閣官舎 高橋健三	書簡	173×454		消印 麴町明治30年10月3日書簡内宛先高橋奥様
	2	別紙の通郵送致候、御見舞迄	明治30年10月25日	大阪市東区安土町 鹿田静七	相州小田原万年町 鈴木善左衛門方 高橋	書簡	174×421		色移りあり
	3	選出の書籍別紙之通	6月15日	鹿田静七	高橋健三	書簡	167×272		幸便
257		重岩虎彦書簡						1	
		昨8日付被選挙の御照会に付回答候	明治13年3月9日	本所横網町 重岩虎彦	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	157×276		糊剥離
258		重村 莠書簡						1	
		久留米市に13年振にて着本月9日帰京仕候	明治31年3月17日	牛込区弘方町 重村 莠	相州酒匂村字山王 高橋健三	書簡	182×2012		消印 小田原明治31年3月18日「東京秀英舎にて」封筒虫損
		帰東後御近状の詳知不致長文御閲読被下度 篠原誠一書簡・葉書	明治31年3月17日	重村 莠	高橋健三	書簡	182×248		添状
259								8	葉書含む
	1	親戚佐々木氏の件に付、あいの件に付 二伸 20年出京中瀧和亭先生へ相願置候立幅物の件に付	明治23年6月10日	栃木県安蘇郡葛生町旅舎 篠原誠一	麴町区官報局 高橋健三	書簡	207×282		書簡内宛先「御内室様」罫紙1枚
			明治23年6月10日	篠原誠一	高橋様御内室(清)	書簡	207×282		書簡内宛先「御内室様」罫紙2枚
	2	瀧和亭の書幅の件御高配難有、左の宛名へ郵送御恵贈奉願候	明治23年8月1日	群馬県高崎町大橋町止宿 篠原誠一	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	243×331		中封筒あり、宛名は「高橋御内室」
	3	御恵贈の画到着に付御礼奉謝候	明治23年8月23日	上野国多胡郡日野 天野方 篠原誠一	麴町区紀尾井町 高橋健三	葉書	141×90		
	4	篠原彦助は縁者に付あい引取の義は御懸念無く御引渡被下度	明治23年8月29日	高崎中田 篠原誠一	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	141×90		
	5	あいの引取の事御報知申上候に付	明治23年8月30日	上野国多胡郡日野 天野方 篠原誠一	麴町区紀尾井町 高橋健三	葉書	141×90		消印 東京明治23年8月31日
	6	お愛の義引取に付、信濃国親許へ贈り届け可申	明治23年10月6日	高崎大橋町 止宿 篠原誠一	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	162×624		消印 東京明治23年10月7日
	7	依頼置之瀧先生画恵贈の趣万謝、あいの義旧親元へ照会を遂げ引取相計可申	(明治23年)8月18日	上野国多胡郡日野村 天野貞三方 篠原誠一	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	240×277		書簡内宛先「御内室様」罫紙2枚 虫損 下げ紙あり
	8	其後あいの義沙汰無之如何、あい之義も高崎親類中田伊勢太郎方へ願調上候に付 篠原孫三郎書簡	明治23年9月14日	上州富岡城町 美濃屋 金作	麴町区紀尾井町 高橋(健三)	葉書	140×89		
260								1	
		孫三郎参上しあいのせわありがたし、せがれ兼太郎事よろしくおとりたて被下度に付	明治24年9月11日	長野県西筑摩郡木祖村 篠原孫三郎	東京市紀尾井町 高橋健造	書簡	158×1280		郵便転居票あり 消印 東京麴町 明治24年9月14日書簡内宛先たかはしお清、ふし屋こ

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
261		柴田家門書簡						1	
		過日の御達示の趣先方へ徹底不仕候に付別紙相添御問合候	明治24年9月18日	柴田家門	高橋官報局長(健三)	書簡	183×617		幸便 糊剥離 封筒虫損
		官報代金毎月25日前に徴収の者可差出に付	明治24年8月	大日本図書会社 官報販売取次所		状	165×217		印刷物 添書き「9月17日受配布」
262		柴原亀二書簡						2	
	1	明朝8時頃来堂仕度に付	22日	柴原亀二	高橋健三	書簡	171×428		幸便
	2	昨日の御話の秋山氏一条に付御伺申上候	24日	柴原亀二	高橋健三	書簡	178×446		幸便
263		渋谷慥爾書簡						2	
	1	岡野は相談の上取戻ことに定め、宮本左源治へ相談、取戻の結果は御報仕度	明治24年1月18日	日本橋区松物町 渋谷慥爾	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	176×931		糊剥離
	2	御用立申上置き書籍調査の為18日係員参上仕りに付	明治24年7月16日	神田区錦町東京法学院 渋谷慥爾	麹町区元衛町官舎 高橋健三	書簡	242×163		幸便 東京法学院用箋2枚 虫損小
264		白井慎一書簡						2	
	1	山縣伯夫人の洋服仕立師の姓名・宿所御報被下度	1890(明治23)年7月9日	ロンドン 白井慎一	ロンドン 高橋健三	書簡	202×252		
	2	仕立師の件本邦出店より報知に付申上候、山縣伯夫人洋服の件に付	(1890年)7月13日	ロンドン 白井慎一	ロンドン 高橋健三	書簡	180×231		幸便 「S.I.SHIRAI」名刺同封
265		白井新太郎書簡						7	
	1	東邦協会之運に付申上度存候に付	明治24年4月20日	麹町区飯田町 白井新太郎	神田橋内官舎 高橋健三	書簡	165×480		糊剥離
	2	不明の点等照会して精細確実に取調度に付数日猶予願度	明治25年1月6日	麹町区飯田町 白井新太郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	162×297		
	3	石本口太郎は語学教員には適當、支那人張滋財と両教員を置き支那学館創立委員として尽	明治25年7月1日	牛込細工町 白井新太郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	173×565		
	4	14日出立新潟県へ参候、新潟遊説の模様、小生の再任一条に付	明治25年10月26日	新潟口町通六番町 白井新太郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	167×1502		下部しみ変色 虫損 糊剥離
	5	恭賀新禧 今般占領地へ参りに付御年賀旁御暇乞まで	明治28年1月4日	広島 白井新太郎	大阪市大阪朝日新聞社 高橋健三	書簡	166×559		
	6	屑糸紡績事業の件参考までに支那人より聞取の事を別紙に認め候に付 (事業目論見書) 屑糸紡績会社を清国二設立スルモノトス	(明治28年)10月30日	白井新太郎	高橋健三	書簡	183×840		幸便
	先般之整理公債催促有之候に付御都合被下度	(明治28年)7月21日	牛込細工町 白井新太郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	状	288×397			
	7		7月21日	牛込細工町 白井新太郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	181×348		封筒虫の書簡は7月13日付川田徳二郎のも
266		白井 洌書簡(白井新太郎の改名前の名前ら						1	
		星ヶ岡の会合は5日と確定致候	明治23年11月3日	飯田町 白井 洌	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	162×860		糊剥離
267		白石 龍書簡						1	
		拝借願候殊号事略の件に付	明治14年8月9日	神田国文社内 白石 龍	木挽町 高橋健三	書簡	242×329		幸便 「神田 国文社」罫紙
268		白岩 保書簡						1	
		長田藤四郎上京に付池田家系の儀に付閲覧に供し度に付	明治30年1月	秋田県由利郡本荘町 白岩 保	永田町 高橋健三	書簡	171×495		消印 東京明治30年1月11日 封筒上書「賀詞及願用」
269		白尾一也書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		李氏口種合刊御通送申上に付	(明治28年)正月26日	内閣官報局 白尾一也	京橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	167× 498		幸便 封筒上書「漢書 二秩添」 破れあり 糊 剥離
270		白土幸力書簡						1	
		由利七碩記は近日中に入手出来可申と存知 候に付	明治28年10月10日	本郷区真砂町 白土幸 力	神田区駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	181× 878		
271		白鳥太一書簡							
		別紙二卑見相認候に付御一読賜り度、文壇上 の事に付御教示賜り度	明治28年1月27日	神田区鈴木町 白鳥太 一	日本橋区木挽町 水明 館 高橋健三	書簡	179× 508		
314		代藤良太郎・大竹貫一書簡(しろふじ)						1	
		各派の傾向は信用無く政社へは口議致事無用 なりとの論も…	明治28年1月14日	麹町区上六番町 代藤良太郎	京橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	178× 502		書簡中差出人:代藤良 太郎・大竹貫一
272		寫保孫九郎書簡						1	
		年始之御祝詞奉申上候	明治30年1月	秋田県由利郡西目村 寫保孫九郎・貞次郎	麹町区永田町 高橋健 三	書簡	164× 362		消印 東京明治30年1 月12日
273		ジロー書簡						1	訳文付
		欧州各国にて相用候印刷法に付	(明治23年)	ジロー	(高橋健三)	書簡	276× 216		原文中損 訳文212× 132便箋2枚
274		神保半左衛門書簡・葉書						2	葉書含む
	1	勝田氏より別紙之通申参候に付 紀尾井町へ再度ナガラ同様之事申上候も面目 無之候に付	明治24年3月25日 (明治24年)3月25日	日本橋区浜町 神保半左衛門	麹町区紀尾井町 高 橋健三 日本橋区浜町 神保半左衛門	書簡 葉書	168× 654 141× 90		切封「於清様 半左衛 門」高橋清宛
	2	別紙之通り申来候に付今1ヶ月御手續被下度 下宿料相渡度に付1ヶ月分丈御無理相願度	明治24年5月5日 (明治24年)5月3日	浜町 神保半左衛門	元衛町 高橋健三 日本橋区浜町 神保半左衛門	書簡 葉書	165× 654 141× 90		書簡の宛先は於清様 (高橋清)
275		末永純一郎書簡						1	
		小社説起草の義口口居申候、少しは企望を達 せらるるやの見込に候 殖産興業の件、東京	明治21年10月7日	広島県広島区袋町 芸 備日々新聞社 末永純	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	180× 989		糊剥離
277		菅沼行蔵書簡							
		曾て御意見を煩置候願の件其後如何に候哉	明治25年9月13日	麻布六本木 菅沼行蔵	神田橋内官報局前 高橋健三	書簡	202× 282		書簡中央部変色 封 筒下部変色 虫損
278		菅谷正樹書簡						1	
		御願上候海上法に付明日参上仕り候に付	明治14年3月11日	横浜裁判所 菅谷正樹	東京木挽町 高橋健三	書簡	170× 430		虫損小
279		杉浦重剛書簡						10	
	1	印刷事業の愈々着手に付九鬼氏方へ500計り も借用若しくは寄附の義申込ては如何	明治21年1月17日	小石川久堅町 杉浦重 剛	麹町区紀尾井町 官報 局官舎 高橋健三	書簡	156× 810		
	2	増島と共に大隈之法へ出掛可申の件、大学一 件の内浜尾一件を第一口に口込み候に付	明治21年4月13日	小石川久堅町 杉浦重 剛	麹町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	165× 532		もろけにより欠損あり 虫損
	3	岩屋立太郎氏病没、小村、口口氏の事	明治24年1月24日	小石川久堅町 杉浦重 剛	麹町区紀尾井町 官報 局官舎 高橋健三	書簡	164× 624		しみ 色移り 糊剥離
	4	口口氏の件鹿兒島行と相極り由、水元氏の事 を宜敷相願度	明治24年7月11日	小石川久堅町 杉浦重 剛	麹町区大手町官報局官 舎 高橋健	書簡	166× 583		変色 虫損
		学生の修学期試験受験中不正の行為ありし者 付点の儀に付	(明治24年)7月11日	矢野二郎		状	192× 269		コンニャク版 虫損 し み変色 カビ

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	5	尽力遂に水泡に帰し残念に存知候、此上は義捐を求の外有之間敷に存知候	明治25年7月15日	小石川久堅町 杉浦重剛	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	173× 542		封筒虫損小
	6	小村氏広島行之件	明治28年1月18日	小石川久堅町 杉浦重剛	京橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	164× 419		しみ変色
	7	滋賀県尋常中学校長以下総辞職の事に関し大岩貫一郎氏を上申申之由に付	(明治30年)2月3日	杉浦重剛	高橋健三	書簡	182× 566		幸便
	8	24日塾生会にて貴兄に演説を煩度に付	4月20日	(杉浦)重剛	(高橋)健三	書簡	165× 431		封筒欠 しみ変色 欠損部分あり 虫損
	9	例の件は其後如何に相成相候哉	7月15日	神田区小川町東京英語学校 杉浦重剛	神田橋内 高橋健三	書簡	163× 480		幸便 東京英語学校用封筒 計算落書あり 変色あり
	10	法学院から一時融通金の儀切迫之事情と相成候に付	9日	杉浦重剛	高橋健三	書簡	172× 572		幸便 しみ変色 書簡中差出人は松浦・宮崎
280		杉浦正明書簡						1	
		19日清国上海へ出向に付恩借金の事に付	明治19年5月17日	麴町 杉浦正明	北豊島郡金杉村 高橋健三	書簡	166× 463		しみ変色
281		杉江輔人書簡						1	
		三宅氏の件に付御面談の為御宅訪問致度	明治25年9月14日	小石川区中町 杉江輔人	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	168× 492		下部しみ変色、もろけ
282		杉村庸一書簡						1	
		高物御恵贈被下御礼	10月22日	杉村庸一	内閣官報局 高橋健三	書簡	176× 231		
283		杉本荘之助書簡						3	
	1	兼ての利子27日中送金被下度	明治25年3月25日	芝区露月町 杉本荘之助	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	170× 209		
	2	兼ての金円利子13日参堂に付	明治25年6月11日	芝区露月町 杉本荘之助	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	162× 236		糊剥離
	3	貴君竹下康之氏連帯一条26日迄に極り方被下度	明治25年6月21日	芝区露月町 杉本荘之助	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	170× 233		
284		鈴木充美書簡						5	
	1	慶応義塾出身大橋盛一氏簡易なる商業学校設立の見込みに付紹介仕候	(明治23年)11月7日	鈴木充美	紀尾井町 高橋健三	書簡	238× 117		幸便 封筒上書「大橋盛一氏持参」大橋盛一名刺1枚 便箋2枚
	2	御問合せの債権者人名宿所の件	明治24年10月19日	神田区鎌倉町 鈴木充美	高橋健三	書簡	271× 193		幸便 鈴木充美事務所用箋
	3	地所実見人13日午後都合由に付左の地へ御立寄相成候様仕度	6月12日	神田区鎌倉町 鈴木充美	高橋健三	書簡	165× 770		
		無抛要用に取掛居候間乍略義以書面御願申上候	6月12日	(鈴木)充美		書簡	165× 418		
	4	手金流れの一条全く相免れ候、小宮山の書面御覧に入置候	7月13日	神田区鎌倉町 鈴木充美	官報局官舎 高橋健三	書簡	165× 860		虫損
		閣下及高橋氏連帯の金500円の証文の件に付	7月11日	小宮山舜一	鈴木(充美)	書簡	163× 532		虫損 糊剥離
	5	(洋書図書)別紙に認め置き候に付	9月24日	一ツ橋外東京大学 鈴木充美	木挽町口口 高橋健三	書簡	245× 331		虫損欠損部分大 汚れ しみ
285		鈴木敬治郎書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		謹て一書を尊叔大人の膝下に白す 鈴木券太郎書簡	明治23年11月5日	山形県西田川郡大宝寺 村 鈴木敬治郎	紀尾井坂第1号官宅 内 閣官報局長官 高橋健 三	書簡	174× 917		消印 東京明治23年 11月8日 サイズは便 箋2枚合計
286		一日も速かに御退養被成候	明治26年6月26日	備前上道郡古都村 鈴 木券太郎	高橋健三	書簡	179× 1131	4	
	1	陸君の尽力により政教社も方法が立、「日本 人」発刊に決し先生の論文を乞う事に纏まり候	明治28年6月9日	相州大磯町日色方 鈴 木券太郎	大坂中ノ島 高橋健三	書簡	178× 991		糊剥離
	2	此度の御辞職被成候趣に付、近況相伺い候也	明治30年10月12日	群馬県尋常中学校 鈴 木券太郎	相模国小田原万年町鈴 木方 高橋健三	書簡	171× 1049		変色色移り
	3	先生一筆の勞を煩し犬養氏に催促被成下候、 神鞭氏へも御斡旋方依頼相成度	明治31年7月4日	前橋市南曲輪町 鈴木 券太郎	相模国小田原在山王原 別荘 高橋健三	書簡	182× 1845		糊剥離
287		鈴木真三郎・安藤才次郎書簡						1	
		地震見舞に預り難有存候	明治24年11月4日	三州東かしら郡足助町 鈴木真三郎・安藤才次	麹町区元衛町 高橋健 三	書簡	164× 637		消印 東京明治24年 11月6日
288		鈴木清直書簡						1	
		船大法外1本御送り方延引、2冊にて48枚に相 成候	明治16年5月21日	赤坂台町 鈴木清直	駿河台紅梅河岸 高橋 健三	書簡	163× 358		色移りあり 虫損小
289		鈴木善左衛門書簡		鈴木善左衛門	高橋健三			2	
	1	(開封不能)	明治24年9月18日	塔ノ沢 鈴木善左衛門	麹町区元衛町 高橋	書簡			消印 東京明治24年9 月9日 虫損 もろけ
	2	英雄之儀に付御頼入候処御聞濟被下難有存 候	9月11日	鈴木善	麹町区元衛町 高橋健 三	書簡	159× 715		封筒上部欠
290		鈴木 談書簡						1	
		18日相談に御伺申上度に付	10月16日	日本橋区西河岸町岡山 事務所 鈴木 談	神田駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	170× 403		糊剥離
291		鈴木萬次郎書簡						4	
	1	別紙口口書1通御送申上候	明治25年12月9日	神田区北神保町 鈴木萬次郎	北豊島郡日暮里村 高橋健三	書簡	172× 221		封筒汚れ 虫損 糊剥 離
	2	岡崎茂三郎上京致し小生方へ留置候、御仕用 被下候儀相叶申間敷哉	9月5日	神田区北神保町 鈴木萬次郎	高橋健三	書簡	165× 746		幸便 封筒しみあり 封筒上書「岡崎茂三郎 氏持参」
	3	咯痰中に結核菌発見に付拜顔の上御話申度 に付	10月17日	鈴木萬次郎	高橋健三	書簡	242× 331		幸便
	4	岡崎生の件御配慮相付候はば早き方好都合 に御座候に付	12月3日	神田区北神保町 鈴木萬次郎	金杉にて 高橋健三	書簡	164× 540		幸便 しみあり
292		鈴木三喜蔵書簡						1	
		拙者儀故石齋先生の門下にあり、既往の多罪 を寛赦せられ将来深く御愛顧を賜らん事を懇	明治23年1月15日	名古屋市前之川町 鈴木三喜蔵	麹町区驥尾町第一号官 舎 高橋健三	書簡	169× 1023		幸便 封筒上書「伊藤 満作二托ス」しみあり
293		鈴木良吉書簡						2	
	1	明日御出立横浜迄見送可仕筈之処不得其意 失礼に付	明治21年8月2日	下谷竹町 鈴木良吉	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	162× 513		
	2	先刻石川氏より申上候金子之件他より調達致 候に付	明治24年2月18日	鈴木良吉	高橋健三	書簡			封筒汚れ しみあり 下部欠損 糊剥離
294		鈴木安六書簡						1	
		ロイド規則書入後連候に付宜敷御周旋被下度	明治13年9月28日	築地 鈴木安六	木挽町 高橋健三	書簡	157× 477		封筒汚れ しみあり 糊剥離
618		須藤偉四郎・伊藤秀雄書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
295		山田先生昨夕京都宅迄着、小生共は今朝10時の上りにて参候積、御都合奉伺上候	(明治28年)5月18日	須藤偉二郎・伊藤秀雄	朝日社内 高橋健三	書簡	167× 479		私製封筒 糊剥離
		砂川雄峻書簡						2	
	1	御来坂之節御訪問被下奉謝候	明治25年8月30日	大阪市東区北浜 砂川法律事務所 砂川雄峻	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	182× 585		しみあり
	2	御大葬に付京都へ御供の件御見合せ願度に付	明治30年2月1日	木挽町 厚生館 砂川雄峻	麹町区永田町内閣書記官長官舎 高橋健三	書簡	172× 1375		
296		周布公平書簡						1	封筒欠
		貴下仏国行之儀は目下上奏中に付御裁可次第辞令書御下附可致に付	(明治23年)2月13日	周布公平	高橋官報局長(健三)	書簡	182× 999		
297		諏訪廉三書簡						2	
	1	雑誌出版之義に付御心添被下奉謝候	明治16年11月1日	神田区中猿樂町 専修学校 諏訪廉三	駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	163× 507		専修学校用封筒
	2	先好都合之様に付浜尾氏訪問し直願手續可配置に付	5月22日	牛込白銀町 諏訪廉三	高橋健三	書簡	180× 476		幸便 糊剥離 封筒汚れ虫損
		舌代(百合2鉢 右進呈仕候)	5月28日	諏訪廉三	高橋(健三)	状	248× 170		
298		瀬川浅之丞書簡	明治25年					2	
	1	小生も東方協会に入会仕りに付可然御取計為下度、同協会雑誌合本の件に付	明治25年9月3日	朝鮮釜山 瀬川浅之丞	日本東京麹町区元衛町 高橋健三	書簡	169× 1223		消印 東京明治25年9月6日しみ変色 下部破れあり
	2	御惠贈の東邦協会報告拝受仕候、御申越の朝鮮語の用語取調べに付	明治25年10月6日	朝鮮釜山 瀬川浅之丞	日本東京麹町区元衛町 高橋健三	書簡	183× 1382		消印 東京明治25年10月10日 下部しみ変色 虫損 糊剥離
299		関 新吾書簡						13	
	1	万代義勝を周旋するあらんことを希望す	明治18年11月	関(新吾)	青木君 高橋君(健三)	書簡	162× 1195		太政官用封筒 虫損小
	2	謹賀新年	明治19年1月3日	築地 関新吾	根岸金杉村 高橋健三	書簡	161× 655		しみ変色 もろけ 糊剥離
	3	御配意之地方書記官一件に付	明治19年7月30日	築地 関新吾	根岸金杉村 高橋健三	書簡	241× 325		しみ変色 虫損
	4	御容体如何、□□一件調物の件陸・川田へは相話置候	明治19年8月25日	関 新吾	根岸金杉村 高橋健三	葉書	141× 89		下部破れあり
	5	久保田氏より申越云々委細承知、同家へ相尋懇話可致候	(明治21年)8月4日	関 新吾	内閣官報局 高橋健三	書簡	163× 775		幸便 虫損 封筒下部欠
			永田の人物評、芳川へ参に付ほか	8月15日	□□	高橋(健三)	書簡	163× 500	
	6	31日夜無異着広致候、在京中の御厚配奉謝候	(明治30年)2月5日	広島市大手町 関 新吾	高橋健三	書簡	184× 546		幸便
	7	書中御伺い、今春以来小生の事御配慮煩わし深謝候	明治30年7月26日	広島市大手町 関 新吾	麹町永田町 高橋健三	書簡	181× 635		消印 東京明治30年7月19日 しみ色移り
	8	今朝の新紙之報に依れば老台御辞職の記載有之事実如何や	明治30年10月9日	広島市大手町 関 新吾	麹町永田町 高橋健三	書簡	165× 740		「転居票」あり 消印 東京明治30年10月12日 しみあり
9	老台の疾病快癒に向ひ此間に駆馳せられんこと祈り候、御見舞い	明治30年10月19日	広島市大手町 関 新吾	相模國小田原万年町鈴木方 高橋健三	書簡	181× 790		しみ 色移り	
10	小生今般福井県知事に任せられ候此段御吹聴申上候	明治30年11月16日	広島市大手町 関 新吾	相州小田原万年町鈴木方 高橋健三	書簡	181× 619		二重封筒上部分破損 しみ色移り	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	11	他事に係らず御静養相成御快癒に到らんことを祈り居候	明治31年1月5日	福井市宝永中町 関新吾	相模国小田原万年町鈴木方 高橋健三	書簡	182×600		消印 小田原明治31年1月16日
	12	御無音御詫旁々御近況伺上度に付	明治31年5月4日	福井県庁 関 新吾	相模国小田原山王原高橋健三	書簡			
300		関田豊吉書簡						1	
		見習採用願司法省へ差出候処採用に成り前橋地方才判所詰命せられ候に付	明治24年1月16日	群馬県前橋地方才判所ニテ 関田豊吉	麹町区紀尾井町 官報局長 高橋健三	書簡	172×517		
301		関藤成緒書簡						1	
		今日高津より別紙葉書差越申候間可然御取計方願候	明治16年6月26日	駒込西方町 関藤成緒	駿河台東紅梅町河岸高橋健三	書簡	166×254		糊剥離
302		関谷清康書簡						2	
	1	通信之件に付御手数掛万謝候、小生7名の学友へ御通可致申述同意之旨に付(長谷川芳之介・松本駒次郎・鳩山の名あり)	明治13年9月21日	壱番町 関谷清康	木挽町 高橋健三	書簡	166×981		
	2	同志参会之人數に付為念左の人名御承知被下度 (人名書上、杉浦・富塚・種田・山崎・瓜生・松村・松本・鳩山・長谷川)	明治13年9月24日	壱番町 関谷清康	木挽町 高橋健三	書簡	166×554		2枚で一組 しみあり 封筒虫損
						状	166×275		しみ
304		瀬林政實書簡						1	
		小秋元氏帰省の事、その際貴地へ謝状差上之処未だ御落掌無驚入候に付、外	明治25年9月9日	長野県西筑摩郡駒ヶ根村 瀬林政實	神田橋内元衛町 高橋健三 御家内	書簡	166×640		消印 東京明治25年9月23日 虫損 宛先は御家内とあり、高橋清
305		仙石 貢書簡						3	
	1	大学旧友会之儀に付御通知被下度	明治13年11月25日	新橋日吉町 仙石 貢	木挽町 高橋健三	書簡	161×420		
	2	東京府を辞し鉄道会社設立の目論見、富山迄の鉄道布設の工業に従事する事に相成、自憲会の件に付	明治14年8月19日	石川県下金沢区十軒町浅田方 仙石 貢	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	164×745		消印 東京明治14年8月24日 しみ変色 虫損
	3	先達の翻訳の儀は多忙にて出来不致に付	明治17年3月15日	埼玉県熊谷鉄道停車場 仙石 貢	文部省 高橋健三	書簡			消印 東京明治17年3月16日 しみ変色
306		仙田謹一郎書簡	明治16~23年		高橋健三			6	
	1	御梯子は如何相成候哉、彼の所は出来不申候哉、他に宜敷所無之哉相伺度に付	明治16年8月20日	北神保町 石川方 仙田謹一郎	駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	159×656		しみあり 糊剥離
	2	小生到着後の模様は付、新聞の改良の件、当県の人情の件ほか	(明治21年)5月20日	長崎県長崎区 倉田吉連方 仙田謹一郎	麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	165×3060		消印 東京明治21年5月27日
	3	(国内の地価修正に係る衆議院議員被選挙権問題、政治社会、商業社会など状況報告)	明治23年3月22日	仙田謹一郎	パリ・フランス 高橋健三	書簡	240×326		罫紙5枚、横浜の英字新聞記事中高橋健三にかんする論評切抜1
	4	三河一件、衆議院議員選挙一件、博覧会、社会一般ほか報告	明治23年8月16日	仙田謹一郎	香港日本領事館 高橋健三	書簡	240×326		罫紙4枚
	5	陸氏への伝言之件、日本新聞社社屋物件に付	明治23年10月30日	日本橋区浜町 仙田謹一郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	163×1345		
	6	今日午後5時より倶楽部員にて口地へ出張する人の送別会相聞候に付御出會希望致候	9月7日	仙田謹一郎	高橋(健三)	書簡	187×481		幸便 汚れ 虫損 糊剥離
307		仙田重邦書簡						3	
	1	先生には近々御上京之由、議會中不在勝に付私部屋を明けて御用達可申に付	明治26年12月3日	飯田町 仙田重邦	大坂中ノ島 高橋健三	書簡	176×608		汚れ 変色 虫損 糊剥離 破損大

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	合川先生建碑之事、碑文起草を陸実氏承諾、揮毫を先生に相願度に付	明治28年6月4日	飯田町 仙田重邦	大坂中ノ島 高橋健三	書簡	180× 1355		消印 大阪明治28年6月5日
	3	充分御保養之程切望候	明治30年9月28日	大坂東区今橋 仙田重邦	相模国小田原万年町鈴木善左衛門方 高橋健三	書簡	181× 841		しみ変色
	308	仙田重玄書簡・葉書						2	葉書含む
	1	今般中学校へ入学の儀に付御高配被成下の件	明治17年3月8日	島根県能義郡広瀬町 仙田重玄	京橋区木挽町 高橋健三	葉書	141× 90		
	2	重邦の事今日有るは全く御薫陶による事にて鳴謝候	明治28年6月23日	出雲国能義郡広瀬町 仙田重玄	大阪市中ノ島 高橋健三	書簡	160× 953		幸便
310		相馬永胤書簡						12	
	1	南紺屋町へ引移決定相成候はば御報被下度 明日の参館乍遺憾御断申上候、帰京次第御伺候	明治17年3月4日	四谷仲町 相馬永胤	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	170× 543		糊剥離
	2	目加田・鳩山帰京に付7日口会相催申度、御出席被下度	(明治21年)8月2日	(相馬)永胤	高橋(健三)	書簡	166× 830		幸便 色移り
	3	品川湾に於て網獵相催しに付鮫洲川崎屋へ御来遊被下度	明治21年9月5日	神田区今川小路 専修学校 相馬永胤	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	168× 618		専修学校封筒
	4	小生の知人にて別紙広告屋之如き営業始め候に付御試み被下度	明治21年10月10日	四谷仲町 相馬永胤	麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	176× 410		封筒上部汚れしみあり
	5	慶禱(快気祝い)の験迄に星ヶ岡茶寮に御狂駕被下度	(明治24年)3月29日	四谷仲町 相馬永胤	麹町区元衛町(神田橋内官報局) 高橋健三	書簡	164× 345		幸便 虫損小
	6	小林の儀相尋の件(商工会議所延期派と断行派について)	明治24年5月8日	四谷仲町 相馬永胤	神田区錦町官報局官舎 高橋健三	書簡	163× 605		宛名間違票あり しみ 変色 虫損
	7	遷生帰国に付	明治25年5月13日	四谷仲町 相馬永胤	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	164× 777		汚れ しみ 虫損小 糊剥離
	8	近火御見舞被下御礼	2月27日	四谷仲町 相馬永胤	木挽町水明館 高橋健三	書簡	184× 434		しみ 糊剥離
	9	鈴木氏の件同氏へ都合出来不申其旨返答致置候に付	7月4日	四谷仲町 相馬永胤	高橋健三	書簡	187× 464		幸便
	10	保険法の件奥田君へ相談被下如何	9月13日	(相馬)永胤	麹町区元衛町神田橋内 高橋健三	書簡	162× 964		汚れ しみ 虫損小
	11	御病状如何に被為在候哉	11月11日	相馬永胤	高橋(健三)	書簡	182× 770		幸便 しみ 虫損小 封筒と書簡剥離できず 「明治2年頃力」書込
	12	御病状如何に被為在候哉	11月11日	相馬永胤	高橋(健三)	書簡	184× 308		幸便 封筒上書「鶏卵添」
311		添田寿一書簡						1	
312		深田氏の件に付御計画被下候はば幸奉願候	明治22年3月26日	添田寿一	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165× 1567		下部破損 糊剥離
		築地活版所印刷物の義流行感冒の為定例通りには間に合せ兼に付	明治24年					4	
	1	本月16日附貯金通知書御預り置被下度	明治24年1月21日	日本橋区両国吉川町国華社 袖岡庄五郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	169× 728		国華社封筒 虫損 封筒上部欠
	2	手形へ御記入の上御調印被下度奉願上候	明治24年3月28日	日本橋区両国吉川町国華社 袖岡庄五郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165× 284		国華社封筒 虫損 しみ 糊剥離
	3	金10円調達仕候に付御改御入手被下度	4月10日	日本橋区両国吉川町 袖岡庄五郎	高橋(健三)	書簡	165× 283		幸便 国華社封筒 虫損
313		大国有寿書簡	6月18日	国華社内 袖岡庄五郎		書簡	249× 329		幸便 国華社罫紙

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
315		奥様より口書頂戴之処藤田様随行にて巡回中無精致し候に付	明治25年4月12日	奈良町西御門 大国有寿	神田区神田橋元衛町 高橋健三	書簡	183×855		書簡中宛先:高橋健三様御奥様
		高雄道德書簡						1	
316		父病氣にて逝去に付上京仕候訳にも不参に付	明治24年2月17日	長崎県対馬国厳原 高雄道德	麹町区官報局官舎 高橋健三	書簡	167×901		消印 東京明治24年2月25日
		高木銃二郎・小笠原孝定書簡						1	
317		明日の新橋出立を敢て不敬の罪を犯して微意を表白仕候	(明治23年)2月21日	東京法学院英語法学科 高木銃二郎・小笠原孝	高橋先生(健三)	書簡	182×574		封筒欠 虫損 糊剥離
		高木 操書簡						1	
318		一日も就職の速かなるを希望に堪えず	明治25年9月21日	四谷仲町 高木 操	麹町官報局前 高橋健三	書簡	167×1550		封筒上部欠 虫損
		高階経本書簡						1	
319		御内政様御容体奈良県医師遣し候書面と引違にて先方より左の通り申越候に付御報道仕候	8月13日	京橋区新肴町 高階経本	麹町区大手通 高橋健三	書簡	184×875		封筒上部欠
		高杉常五郎書簡						1	
320		先生の御周旋により小生就職相叶候はば幸福に御座候	明治24年3月6日	牛込築土八幡町 保坂方 高杉常五郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	171×567		糊剥離
		高須誠之助書簡						1	
321		マリノ二器械模様之義に付、旅費逆為替8日到着に付申上候	明治23年7月5日	(パリ)高須誠之助	ロンドン 高橋局長(健三)	書簡	253×345		
		高津正光書簡						1	
322		木下一件本月20日御返済期日に付御回答有之度	明治16年9月18日	四ツ谷南伊賀町 高津正光	駿河台東紅梅町河岸 高橋健三	書簡	183×220		
		高梨鎌次郎書簡・葉書						7	包紙あり、ハガキあり
322	1	小生東京法学院英語科3年生の処学業放棄自活の道を求めに付適當の処御周旋を煩し度	明治22年11月10日	神田区美土代町 五十嵐方 高梨鎌次郎	麹町区紀尾井町内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	166×894		下部しみ変色
	2	過般申置候事に付御世話に心苦しく反訳を以て万一を償い度心底に有之候	明治22年11月28日	神田美土代町 五十嵐方 高梨鎌次郎	麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	166×865		下部しみ変色 封筒下部欠
	3	御耳に入置申候代言の件明日出頭可致候様通知致しに付	明治23年1月8日	神田美土代町 五十嵐方 高梨鎌次郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	葉書	141×91		
	4	免許状下付相成候上は高橋捨六先生の都合次第にて何時にても差支無之候に付	明治23年1月12日	神田美土代町 五十嵐方 高梨鎌次郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	166×624		下部しみ変色
	5	目下の事情空しく通学のみを専一とすべき秋にも無之に付、学校卒業生処分義、金子の義	明治23年1月18日	神田美土代町 五十嵐方 高梨鎌次郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	238×157		
	6	高橋捨六先生方の模様可申上の処創業の際多端にして不沙汰候に付(詳細報告)	明治23年2月12日	神田美土代町 五十嵐方 高梨鎌次郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165×1225		
323		謹賀新年 金子の件に付			高梨鎌次郎	書簡	165×704		
		高野五郎書簡						1	
324		病氣御見舞い、小生17日神戸出航に付御報知の件	明治30年10月16日	四谷区本村町 高野五郎	相州小田原万年町 鈴木方 高橋健三	書簡	182×573		水濡れしみ・カビ汚れ 色移り 虫損 破損大
		高橋一勝書簡・葉書						5	葉書含む
324	1	木下氏よりの申置も有之参台可致候処裁判所へも漸く参る位にて病勢去り兼ね罷出兼候に付	明治18年2月2日	托大原君 高橋一勝	上二番町 高橋健三	書簡	244×331		幸便 法学士代言人 高橋一勝所用箋 水濡れしみ・カビ汚れ
	2	(開封不能)	明治18年2月28日	浜町 高橋一勝	麹町区上二番町 高橋健三	書簡			しみ もろけ 開封不能

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		(開封不能)	2月28日	駿河台東紅梅河岸 豊川良平	日本橋浜町 高橋一勝	葉書			
	3	14日渡辺・平坂君相招候間御光来被下度	(明治18年)3月10日	浜町 高橋一勝	麹町区上二番町 高橋健三	書簡	152× 423		虫損小
	4	東京法学会開会に付生等何か講義可致旨被仰趣候処好題目無之、講義の節題目等御報知可仕候	11月6日	高橋一勝・大谷木備一郎	高橋健三	書簡	246× 338		幸便 法学士代言人 大谷木備一郎所用箋 虫損
325		高橋是清書簡						7	
	1	講和に関し御卓見御尤千万に奉存候	明治28年5月22日	赤馬関市西南部町 高橋是清	大阪中之島 高橋健三	書簡	183× 1537		消印 大阪明治28年5月23日 糊剥離
	2	今朝奥田に面会詳細承り申候	7月20日	高橋是清	高橋健三	書簡	161× 655		幸便 糊剥離
	3	空に如論厭倦を生ずる次第に御座候、明細書は熟読の上卑見可申上候、奥田も後刻参り候	7月22日	租税局建築所 高橋是清	官報局 高橋健三	書簡	161× 540		幸便 虫損小
	4	新聞紙之伝ふる所に依れば今日の閣議にて極まる様にも推測せられ候が其実如何にや	7月27日	高橋是清	官報局 高橋健三	書簡	161× 595		幸便 虫損小
	5	小生友人白石元次郎米国石油之事調度候に付参考書御案内御教示に預かり度御願申上	11月11日	高橋是清	高橋健三	書簡	173× 747		封筒欠 水濡れ変色 虫損破損大
	6	竹マッチ一件は特許に依り如何なる迄に権利を有し居り候哉、昨日の一条判然したる事は未だ分り不申哉	20日	高橋是清	高橋健三	書簡	161× 603		幸便 封筒上書「所見 壺本添」 虫損小
	7	昨夜三年町御面会相成候哉、新聞紙之伝ふる所松伯辞表思止まるとの事は真実なりや	29日	高橋是清	高橋健三	書簡	161× 309		水濡れ変色・カビ
326		高橋七郎書簡						1	
		今日は口類纂御遣し被下恐縮に奉存候	明治23年3月23日	根岸芋坂下 伊東方 高橋七郎	麹町区紀尾井町官舎 高橋健三	書簡	174× 338		
327		高橋修一書簡						2	
	1	謹賀仏国御出向	明治23年2月19日	秋田県秋田市長町 和田方 高橋修一	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	186× 351		消印 東京明治23年2月22日 名刺3人分3枚同封 封筒虫損
	2	火事御見舞申上候	明治25年4月18日	羽後国河辺郡新屋村 高橋修一	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	181× 785		消印 東京明治25年4月21日 糊剥離
328		高橋捨六書簡						5	
	1	代言業務従事一周年経過に付7日一回年期の祝宴開き粗酒献呈仕度	明治21年4月3日	神田区今川小路 高橋捨六	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	176× 414		汚れ しみ 虫損
	2	加藤花子氏の縁談の件 (平賀欽一経歴調書)	明治31年3月9日	神田区西小川町 高橋捨六	神奈川県小田原町 高橋健三	書簡	183× 765		消印 小田原明治31年3月10日 糊剥離
	3	国元より実父上京に付参館の件相済まさる次に付	4月13日	神田区今川小路 高橋捨六	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	285× 320		封筒しみ色移り 虫損 書簡下部しみ変色
	4	金18円85銭洋紙5リール代 御払渡被下度 国会解散、小生派団体にては渡辺義雄を推す事に決着、御知己の人へ御尽力願度	4月12日 12月31日	英吉利法律学校 森脇籌 高橋捨六	宮崎道心 高橋健三	書簡	161× 678 163× 347 173× 716		下部しみ変色 幸便 封筒上部欠 汚 れ 虫損小
329		高橋清(子)書簡		高橋清(子)				41	
	1	(2月23日～3月4日日記、岡倉氏へ御渡金並び出立の節受取金にて支払の分)	明治23年3月4日	高橋 清	フランス 高橋健三	書簡	235× 329		罫紙8枚

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	(3月4日～13日日記、別紙で3月6日読売新聞記事書抜き)	明治23年3月13日	高橋 清	仏国巴里大日本帝国公使〔 〕高橋健三	書簡	235×329		罫紙8枚 別紙
	3	(3月14日～18日日記)	明治23年4月	高橋 清	フランス・パリ 高橋健三	書簡	239×336		罫紙5枚
		御起居御伺い	明治23年3月7日	瀧 精一	仏国公使館 高橋健三	書簡	271×377		
		(機械購入に際しての事、官報局の様子ほか)	明治23年3月15日	小原沢重雄	高橋局長(健三)	書簡	173×1262		
		餞別送品アラマシ				冊	236×165		
	4	(4月2日～8月8日日記)	明治23年8月7日	麹町区紀尾井町内閣官報局 高橋 清	清国香港日本領事館 高橋健三	書簡	209×254		罫紙25枚
	5	(家計入費の件、衆議院議員選挙の件、各氏消息の件)	明治23年8月14日	麹町区紀尾井町 高橋 清	清国香港日本領事館 高橋健三	書簡	231×326		罫紙4枚
		衆議院議員当選者及競争者(日本新聞附録)勘定書き	明治23年7月10日	日本新聞社		状	617×423		印刷物 2枚
	6	横浜はコレラ病ありに付神戸より汽車にて御帰り被下度	(明治23年)	紀尾井町 高橋 清	高橋健三	書簡	156×945		幸便 封筒しみ 虫損 上下欠 糊剥離
	7	病気存外早くおさまり申候に付御安心被下度	明治24年8月10日	奈良県奈良池の町 藤田方 高橋 清	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	181×1051		消印 東京明治24年8月11日 下部虫損
	8	引き続き気分宜敷成候、藤田様御一身定之事御分り被成候はば直に御暇申考えに付御報待	明治24年8月12日	奈良県奈良池の町 藤田方 高橋 清	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	166×1432		消印 東京明治24年8月13日 左下虫損
	9	病気快方、医師への御礼の件、藤田様御身の義に付	明治24年8月13日	奈良池の町 藤田方 高橋 清	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	166×1206		消印 東京明治24年8月14日
	10	大阪・京都での事、興津、箱根を経て帰宅のつもりに付	明治24年8月21日	京都ナワテ三条下る小川てい方 高橋 清	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	171×1046		消印 東京明治24年8月22日 糊剥離
	11	被為遣金子之義有難御礼申上候、興津へは電報にて御報申上候北畠・藤田の事ほか	明治24年8月22日	京都三条下る 小川てい方 高橋 清	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	168×758		消印 東京明治24年8月23日 封筒上部欠
	12	只今興津へ到着致候、松野・古川へ興津へ御出の際に私の羽織を持参被下度	明治24年8月27日	興津町海水楼 高橋 清	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	169×755		封筒上部欠
	13	御見送後石井・小秋元と帰宅、書付封入差上申候	明治25年12月22日	北豊島郡日暮里村 高橋清	大坂市北区中ノ島淀屋橋北詰西へ入南側 松本幹一方 高橋健三	書簡	180×307		消印 大坂明治25年12月23日
		書付(大阪朝日新聞の主義、社則ほか)				状	172×705		糊剥離
	14	御出立後内方の模様申上候(21日～24日日記)	明治25年12月25日	北豊島郡日暮里村 高橋清	大坂中の島 花屋方 高橋健三	書簡	171×1359		消印 大坂明治25年12月26日
		(25日分日記)		(高橋)清	旦那様(高橋健三)	書簡	171×617		
	15	(26日～29日日記、家引移の件ほか)	明治25年12月29日	北豊島郡日暮里村 高橋清	大坂中の島 花屋方にて 高橋健三	書簡	171×2171		消印 大坂明治25年12月30日 A9-18より詳細の箇所あり
	16	夜具運送の義、藤田様奈良御出立被成候事、石井への受取金40円の件ほか	明治25年12月30日	北豊島郡日暮里村 高橋清	大坂中の島 花屋方 高橋健三	書簡	172×947		消印 大坂明治26年1月1日 封筒上部欠
	17	山田猪太郎の手紙開封の義、今居氏小川一件の事、11日12日日記ほか	明治26年12月12日	中の島 高橋 清	陸様御内 高橋健三	書簡	183×1647		変色 もろけ 欠損大 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	18	(4日～8日日記)	(明治28年)正月8日	大坂中の島 高橋 清	木挽町水明館 高橋健三	書簡	181× 2079		
	19	仙田方書生原田の件ほか	(明治28年)正月9日	(高橋)清	水明館にて 高橋健三	書簡	181× 1331		幸便
	20	原田の義に付、小川一件其後、今居母上の事ほか	明治28年正月13日	大坂中の島 高橋 清	木挽町水明館 高橋健三	書簡	181× 1846		
	21	みかん御送り申上候、同封の3包の件、陸氏の今居母着坂の事	(明治28年)1月15日	大坂 高橋 清	水明館にて 高橋健三	書簡	182× 967		幸便 糊剥離
	22	別紙到着に付直送付候、鉄道便にてみかん御送申候、小川の件如何、坂本・中村の封書川那部氏へ差出申候	明治28年1月15日	大坂中の島 高橋 清	京橋区木挽町水明館 高橋健三	書簡	180× 212		糊剥離
	23	昨日の電報一つは小川の件、一つは東京地震無事の報にて安心致候、17日18日来訪者	明治28年1月20日	大坂中の島 高橋 清	京橋区木挽町水明館 高橋健三	書簡	182× 1280		消印 東京明治28年1月21日
	24	須藤氏に手紙相頼申候、今居得口君の病状、母上の事	(明治28年)1月21日	大坂中の島 留守宅 高橋 清	京橋区木挽町水明館 高橋健三	書簡	180× 474		幸便 しみあり
	25	商業学校成瀬隆三氏より本多氏へ手紙あり、郵船会社へ口ありとの事に付、今居香典の義	明治28年1月25日	大坂中の島 高橋 清	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	180× 410		消印 東京明治28年1月26日封筒破れあり
	26	今居の葬儀の件、小川の件、少しも早く朝日社近所へ御転座、移りに相成候	明治28年1月27日	大坂中の島 高橋 清	京橋区木挽町水明館 高橋健三	書簡	182× 1236		消印 東京明治28年1月28日
	27	松本奥方より奈良の地図の義伝言、小川為換切手持参明日位に御手元御届けの件、鉄眼さ	明治28年1月28日	大坂中の島 高橋 清	木挽町水明館にて 高橋健三	書簡	180× 884		
	28	佐々木・仙田方へ送付金不都合に付御手許より御遣し置被下候、社の新年会の件	明治28年1月30日	大坂中の島 高橋 清	京橋区木挽町水明館 高橋健三	書簡	180× 528		消印 東京明治28年1月31日
	29	別紙2通御届申候間御廻し申上候、近況の件	明治28年10月6日	東海道興津町千とせやにて 高橋 清	神田区駿河台東紅梅町 河岸高橋昌長方 高橋	書簡	164× 721		消印 東京明治28年10月7日 封筒右下欠
	30	松野奥方10日頃には帰京致度に付、懐中ともしく至急御送付被下候様御願	明治28年10月8日	東海道興津町千とせやにて 高橋 清	神田区駿河台東紅梅町 河岸高橋昌長方 高橋	書簡	164× 734		消印 東京明治28年10月9日
	31	瀧精一君より為替金御届被下有かたく候、松野奥方留り候、柘植片付方の件、浜尾様老母	明治28年10月11日	東海道興津町千とせやにて 高橋 清	神田区駿河台東紅梅町 河岸高橋昌長方 高橋	書簡	166× 965		消印 東京明治28年10月12日
	32	精一君の手紙には15日位に東京出発と申越に付いまた御報無之御伺申上度に付	明治28年10月18日	東海道興津町千とせやにて 高橋 清	神田区駿河台東紅梅町 河岸高橋昌長方 高橋	書簡	165× 670		消印 東京明治28年10月19日
	33	野村氏へ送金の義昨日為換差送りの件、内藤の義は其の内何とか極ると存候	明治29年8月1日	大坂中の島 高橋 清	神田区駿河台東紅梅町 河岸高橋昌長方 高橋健三	書簡	164× 1010		消印 東京明治29年8月3日 しみ・変色・カビ 糊剥離 破損中
	34	名古屋小川三之介氏よりの来書の件、松本氏方へひる坊とまねかれた事	明治29年8月3日	大坂中の島 高橋 清	神田区駿河台東紅梅町 河岸高橋昌長方 高橋健三	書簡	164× 449		消印 東京明治29年8月4日 しみ・変色・カビ 糊剥離 破損中
	35	電報今朝8時30分宅へ到着、汽車の延着一向分り不申今居氏今朝6時無事着、寺西氏娘の	明治29年8月4日	大阪中ノ島 高橋 清	下谷区上根岸町陸方 高橋健三	書簡	179× 773		しみ・変色 糊剥離 破損中
	36	別紙配送に付送付申上候、駿河台御宅へ処得の義問合可申事失念に付、当地の同窓会の事	明治29年8月6日	大阪中ノ島 留守宅 高橋 清	神田区駿河台東紅梅町 河岸高橋昌長方 高橋健三	書簡	164× 655		消印 東京明治29年8月10日 しみ・変色もろけ 糊剥離 破損中
	37	(7日から22日まで留守中の出来事)	明治29年8月24日	大阪中ノ島 高橋 清	秋田県下秋田 石橋忠三郎方 高橋健三	書簡	183× 2715		消印 秋田明治29年8月28日 しみ・変色 封筒破損中
	38	(14日から17日までの知己の人々の様子)	明治30年11月17日	麴町区内幸町 高橋 清	相州小田原万年町 鈴木方 高橋健三	書簡	165× 1396		水濡れ変色色移り 虫損 封筒破損
330		高橋昌長書簡						23	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	1	小生嫁の義に付御相談を致度に付	明治13年2月28日	駿河台紅梅河岸 高橋昌長	木挽町 高橋健三	書簡	165×284		虫損小
	2	家屋抵当の義に付御通知致置候	明治13年5月21日	駿河台紅梅河岸 高橋昌長	駅通局管船課 高橋健三	書簡	166×298		しみ 糊剥離
	3	古橋の養生計に差支郷国越後へ引籠度由に付	明治13年8月1日	駿河台紅梅河岸 高橋昌長	木挽町 高橋健三	書簡	163×641		
	4	昨日は御出産の趣大慶に御座候、山口・梅沢の尽力を以て金子借用の談纏まり実印入用に	明治14年5月31日	高橋昌長	高橋健三	書簡	164×893		
	5	読売新聞5日より7日まで取調べ、8日に広告掲載、約に違ひものは代価払はずとも宜敷と考	明治14年10月10日	駿河台紅梅河岸 高橋昌長	木挽町 高橋健三	書簡	162×455		虫損小 糊剥離
	6	梁井墓地の義郡長へ願置候処場所も有之都合次第郡長名義を以て戸長方へ申遣し可被下	明治19年8月25日	駿河台紅梅河岸 高橋昌長	北豊島郡金杉村 高橋健三	書簡	166×1056		消印 東京明治19年8月26日 しみ変色 糊
	7	昨日発布の地方官官制により此際参事官に相成度内務次官又は知事に御幹旋御尽力被下高橋昌長職歴書上	明治23年10月12日	駿河台紅梅河岸 高橋昌長	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡 冊	168×548		糊剥離 253×167罫紙4枚
	8	小生身上之義に付寺島氏に面会協議致候処奈良県を推薦、知事又は藤田氏に便宜を御依	明治23年10月26日	駿河台紅梅河岸 高橋昌長	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	168×1006		糊剥離
	9	山田より借入金之内昨年元利の10円入金残余之分別紙之通催促申越に付	明治24年8月5日	駿河台紅梅河岸 高橋昌長	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	183×324		
		予て御用達候金員別紙之通相成候に付御返済被成下度	明治24年8月5日	山田内 遠山三平	高橋昌長	書簡	173×300		
		記 金18円98銭也	明治24年8月5日	山田内 遠山三平	高橋昌長	状			173×240
	10	(新年挨拶)	明治28年1月2日	神田駿河台紅梅河岸 高橋昌長	大坂中ノ島 高橋健三	書簡	164×977		消印 大阪明治28年1月4日
	11	饗庭氏年始に参候筈に付御遊来被下度	明治28年1月8日	神田駿河台紅梅河岸 高橋昌長	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	164×470		しみあり
	12	20日午後饗庭氏御遊び之積りにて御入来に付口語の事御帰京中に相催之報都合宜敷哉と	明治28年1月17日	神田駿河台紅梅河岸 高橋昌長	京橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	162×395		
	13	存候に付	明治28年10月18日	高橋昌長	高橋健三	書簡	183×570		幸便
	14	源左衛門身分一件書類は官報局へ御届、岩崎氏は小牧小学校教員、専修学校の諏訪氏より	明治28年10月27日	神田駿河台紅梅河岸 高橋昌長	東海道興津町 千年屋 高橋健三	書簡	183×1146		
	15	東坡墨帖届き候、貴族院議員由利公正氏より秋田県会に由利党の事績調査の件に付仁賀	明治28年12月5日	神田駿河台 高橋昌長	大坂中ノ島 高橋健三	書簡	171×896		しみ色移り 封筒上部欠
	16	6日横手へ着の趣奉賀候、昨夜大坂より到来に付不取敢差上申候	(明治29年)8月8日	神田駿河台紅梅河岸 高橋昌長	秋田市下長町 小林方 高橋健三	書簡	175×425		封筒上書欠落(内封筒のみ)しみ変色 もろけ 虫損 糊剥離
	17	過日来口氣相発し此度は転地療養相決し武州高尾山麓へ参候に付	明治29年8月13日	神田駿河台紅梅河岸 高橋昌長	秋田市下長町 小林定修方 高橋健三	書簡	162×643		消印 秋田明治29年8月15日 しみ変色 もろけ 虫損 糊剥離
	18	一昨夜帰京仕候、岩崎方と名古屋に泊し光明印・平間院に参詣の事	明治30年9月10日	神田駿河台紅梅河岸 高橋昌長	相州小田原万年町 鈴木善左衛門方 高橋健三	書簡	179×903		消印 小田原明治30年9月11日 しみ色移り かび
	19	19日日曜頃御見舞旁御尋申度に付	明治30年9月15日	神田駿河台紅梅河岸 高橋昌長	相州小田原万年町 鈴木善左衛門方 高橋健三	書簡	180×423		消印 小田原明治30年9月17日 しみ色移り かび
	20	先般名古屋にて佐野氏〔 〕と通製造方依頼遣申越に付	明治30年10月3日	神田駿河台紅梅河岸 高橋昌長	相州小田原万年町 鈴木善左衛門方 高橋	書簡	180×438		しみ色移り

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	21	佐野氏へ証文之義伏頼申上、今般御辞職之儀 残念の次第御座候	明治30年10月9日	神田駿河台紅梅河岸 高橋昌長	相州小田原万年町 鈴木善左衛門方 高橋	書簡	180× 498		消印 小田原明治30 年10月11日 しみ色移
	22	御紙面の趣承合之処設立者資格の有無に依 り許可可被成由に付御承知被下候	11月6日(明治24年)月 25日	東京府 高橋昌長	官報局 高橋健三	書簡	183× 393		幸便 封筒虫損
331		高橋 達書簡						1	
332		井上所有書籍の内御所望之御品の件に付	明治13年3月31日	三田 慶応義塾内 高橋 達	木挽町 高橋健三	書簡	167× 490		封筒左側虫損か
		高原弘造書簡						1	
333		昨日帰京仕工場一覽致し、29日上棟の運に為 成居候に付公債証書引換之義奉願候	7月15日	高原弘造	高橋健三	書簡	165× 838		幸便
		高橋留守宅からの書簡(高橋清以外)						9	
333	1	御申越の件川崎氏に於て御取調の上先生御 手許へ送付可致との仰せに付	明治25年12月28日	北豊島郡日暮里村 高 橋留守宅	大阪市北区中の島渡辺 橋南詰 花屋方 高橋	書簡	176× 505		消印 大坂明治25年 12月29日 虫損
	2	年賀状の儀例年の通名刺封入の上相出申置 候哉	明治25年12月30日	北豊島郡日暮里村 高 橋留守宅	大阪市北区中の島 花 屋方 高橋健三	書簡	180× 460		消印 大坂明治25年 12月31日
	3	鹿田書店より格古要論の件社に有之候故御了 知被下度との事、購求に付伺上候	明治28年1月9日	大坂中の島 高橋内 本多市良	京橋区木挽町 高橋健 三	書簡	182× 969		
	4	御申越の冊子3冊御廻送に付御落掌被成下 度、仙田君本日当地着に付	(明治28年)1月29日	大阪留守宅(本多)市 良	高橋先生(健三)	書簡	182× 705		幸便
	5		明治28年10月7日	大阪市北区中之島 高 ハシ宅	神田区駿河台東紅梅町 河岸高橋昌長方 高橋 健三	書簡			消印 東京明治28年 10月8日 封筒のみ 大阪朝日新聞社 清
	6	上野氏へ別紙の通認もらい候、三浦公使の 件、聯立内閣の件(メモ書)	明治28年10月21日	大阪 高橋留守宅	神田区駿河台紅梅川岸 高橋昌長方 高橋健三	書簡	241× 101		消印 東京明治28年 10月22日
	7	社の方何も異状無御座候、合名会社に成候て も同じ事、鉄眼の事、写真の事、鹿田の手紙の	明治28年10月30日	大坂中のシマ 高はしる す 川那辺貞太郎	静岡県興津町千とせや 高橋健三	書簡	182× 937		消印 興津明治28年 10月31日
		左之通取極に付(納品書)	明治28年10月12日	鹿田静七	高橋(健三)	状	174× 540		
	8	大竹氏・陸氏の許へ御親書差出候に付	明治30年11月4日	麴町区内幸町 高橋留 守宅 鶴松	相州小田原万年町鈴木 高橋健三	書簡	173× 695		
9	幅物数品拝借申参候、星ヶ岡へ来客数取極申 遣度につ		宅		書簡	168× 303		幸便 虫損 糊剥離	
334		瀧 和亭書簡						7	
334	1	150円丈は今夕迄にも差上可申手都合仕置候	明治24年3月18日	駿河台東紅梅町 瀧和 亭	麴町区紀尾井町官報局 官宅 高橋健三	書簡	168× 584		書簡中宛先「高橋御内 様」清か
	2	広瀬氏より別紙到着に付廻送の件	明治24年4月14日	駿河台東紅梅河岸 瀧 和亭	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	173× 320		
		過日御立換置返済期日前なれとも御都合御依 頼迄	明治24年4月	下谷御徒町 広瀬義範	駿河台東紅梅町河岸 瀧 和亭	書簡	163× 754		
	3	荒川氏の屏風の代金受取の件に付	(明治24年)9月2日	駿台東紅梅河岸 瀧 和亭	神田橋内元衛町 高橋 健三	書簡	250× 341		幸便
	4	当地滞在中は御厄介を蒙り御厚情の程奉拝謝 候	明治28年6月30日	神田区駿河台東紅梅河 岸 瀧 和亭	大阪中ノ島 高橋健三	書簡	180× 1116		消印 大阪明治28年7 月1日 しみ 糊剥離 健三・清両名宛
	5	当地へ御上京の趣、此品粗品に御座候へ共御 笑留被下度	1月8日	駿河台 瀧 和亭	京橋区木挽町 高橋健 三	書簡	179× 523		幸便 しみあり
6	寺島氏吉川金兵衛氏より漸く100円丈融通相 付趣に付御落手被下度	3月19日	瀧 和亭・高橋昌長	高橋健三	書簡	173× 680		幸便 封筒上書「金百 円添」糊剥離	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
335	7	戸田公御石碑御建立寄贈金御届置候に付 瀧 幹事葉書	3月31日	瀧 和亭	高橋健三	書簡	167× 416		幸便 汚れ しみ
		新潟県岡田旭堂氏老母死去の電報有之、御通報申上候	明治23年3月4日	駿台東紅梅河岸 瀧 幹事	麹町区紀尾井町 高橋健三	葉書	142× 90	1	
336		瀧 精一書簡						6	
	1	御礼旁々京都より興津經由帰宅御通知まで 例の書面加筆の上御送被下有難存候、可成長く御滞在御保養の程願候	明治28年6月4日	神田紅梅町 瀧 精一	大坂市中之島 高橋健三	書簡	180× 1339		消印 大阪 明治28年6月5日 糊剥離
	2	一昨夜陸氏と帰京、昨日宮本氏を訪問、御預りの物届申候、九鬼への書面御覧なし置被下九鬼へ宛シ書面(巴里府万国大博覧会へ出品製作方御下命の儀辞退の件和亭の九鬼宛書御容体陸氏・小秋元氏より承り候、蒲生重章氏の件、柘植家屋の儀、小生入営の件、鈴木善左衛門氏への礼の事	明治28年10月25日	駿河台 瀧 精一	静岡県興津町 千歳屋 高橋健三	書簡	181× 1307		消印 興津明治28年10月26日
	3	一昨夜陸氏と帰京、昨日宮本氏を訪問、御預りの物届申候、九鬼への書面御覧なし置被下九鬼へ宛シ書面(巴里府万国大博覧会へ出品製作方御下命の儀辞退の件和亭の九鬼宛書御容体陸氏・小秋元氏より承り候、蒲生重章氏の件、柘植家屋の儀、小生入営の件、鈴木善左衛門氏への礼の事	明治30年10月27日	瀧 精一	小田原 叔父上(高橋健三)	書簡	182× 410		幸便 封筒上書「深田君ニ托ス」
	4	一昨日より母上病気の理由で外泊通勤を許され候、三聯隊での生活の事、鈴木氏へ贈る父の画の事	明治30年11月29日	駿河台 瀧 精一	神奈川県足柄下郡小田原町山王原 高橋健三	書簡	181× 2062		消印 小田原明治30年11月30日 しみ色移り 虫損
	5	書面の趣に依り上野氏を訪問、国華の事に付相談有之、小生入社に伴い返答約束に	(明治31年)1月8日	瀧 精一	叔父上(高橋健三)・叔母上(高橋清)	書簡	182× 1622		幸便
337	6	田口卯吉書簡	明治31年3月3日	駿河台 瀧 精一	相州小田原山王原村 高橋健三	書簡	182× 2255		
	1	大日本人名辞書再版に付将棋名人所沢藤吉の伝記御取調被下間敷哉	明治24年9月29日	京橋区弥左衛門町 経済雑誌社 田口卯吉	高橋健三 麹町区紀尾井町第1号 官舎 高橋健三	書簡	174× 1172	3	汚れ 虫損 糊剥離 経済雑誌社封筒
	2	人名辞書掲載の所沢東吉の伝に付御配慮奉謝候、社員望月二郎を差出候間御申聞被下度	(明治24年)10月6日	京橋区弥左衛門町 経済雑誌社 田口卯吉	官報局 高橋健三	書簡	161× 753		幸便 軽財雑誌社封筒上部欠
338	3	人名辞書再版出来仕候に付御厚情を謝し小宴相催度案内申上候	明治24年12月7日	京橋区弥左衛門町 経済雑誌社 田口卯吉	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	172× 969		経済雑誌社封筒
	1	武市章一書簡						2	
339	2	14日貴邸へ参候様御通知連名の面々に通知候に付	明治30年2月13日	武市章一	麹町区永田町内閣書記 官長官舎 高橋健三	書簡	181× 469		
		御来車の件議長の方より御注意の通りの手続き致し、明朝惣会を開き勢揃い致し候に付安心	2月9日	武市章一	高橋健三	書簡	180× 443		幸便
340		竹内勝太郎書簡						1	
		講義録の有無に拘はらず御試験被下候様請願仕度に付	明治21年2月15日	神田今川小路 専修学校 二年生 竹内勝太郎	麹町区紀尾井町官舎 高橋健三	書簡	163× 827		封筒上部欠
341		竹内善七書簡						1	
		官報発送方に付具申	明治24年1月16日	名古屋市入江町 竹内善七	麹町区紀尾井町 内閣 官報局長 高橋健三	書簡	242× 330		封筒上書「至急ノ儀ニ付局長御不在に被口在候ハ、庶務課長小原沢重雄殿ニテ御開
342		竹内政五郎書簡						1	
		別紙報告印刷局は号外に無之では印刷難相成旨返答に付如何致し可然哉	明治27年9月19日	文書局宿直 竹内政五郎	高橋書記官(健三)	書簡	166× 450		
342		竹下康之書簡						7	
	1	官報上の儀に付愚見有之別紙に記し御参考の為入御内覧候	明治21年6月9日	岐阜県警察官舎 竹下康之	高橋健三 紀尾井町 高橋健三	書簡	159× 608		消印 東京明治21年6月12日 しみ

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	29日着県に付御報の件	明治23年11月7日	徳島県庁 竹下康之	麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	164×965		消印 東京明治23年11月9日 しみ
	3	高木氏採用の件同氏の前途を誤らんことを恐る故に御依頼御断申上度に付	明治25年10月10日	琉球那覇官舎 竹下康之	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	168×764		消印 東京明治25年10月17日 しみ変色
	4	今般御掛冠被成候趣御深意ならびに今後の御運動の方針等承り置度に付	明治25年11月30日	琉球那覇官舎 竹下康之	北豊島郡金杉村 高橋健三	書簡	184×700		消印 東京明治25年12月7日
	5	台湾の経営には積極的進取の人物にて英断早決の手腕を要す、生を内閣書記官の一人に御周旋被下度	明治30年2月5日	竹下(康之)	高橋先生(健三)	書簡	183×3847		封筒欠 しみ 糊剥離
	6	同姓元三郎の儀官報局に出仕致し居由、同胞の表情憐察被下度為念事情申上置候	2月22日		高橋先生(健三)	書簡	182×1397		封筒欠
	7	河田氏の儀に付吉満より別紙の通返答有之候	4月21日	竹下(康之)	高橋老兄(健三)	書簡	175×619		封筒欠 糊剥離 虫損小
343		田崎綱三郎書簡						1	
		24日着広仕候に付	6月24日	田崎綱三郎	高橋先生(健三)	書簡	235×320		幸便 虫損小
344		田沢多賀吉書簡						1	
		昨年申進候件は如何御組取相成候哉、将来吾党上何人が如何なる政局を告るか御観察相成	明治24年1月5日	三河東加茂郡東加塩 田沢多賀吉	東京市下谷区金杉村 高橋健三	書簡	248×319		消印 東京明治24年1月7日
345		多田好問書簡						1	
		明日の議会にて勅語は官報号外を以て配布相成候様御取計被下候	明治23年11月28日	多田好問	高橋官報局長(健三)	書簡	186×559		幸便 封筒汚れ
346		辰井梅吉書簡(石井梅吉参照)		大阪市 辰井梅吉	高橋健三			2	
	1	御申越のガロア代金の儀神戸朝日支局に於て正金銀行ガロア宛為換取組方依頼仕に付	明治28年10月15日	大阪市北区中之島 大阪朝日新聞社 辰井梅	神田区駿河台紅梅河岸 高橋昌長方 高橋健三	書簡	167×856		消印 東京明治28年10月17日
	2	別紙之通御送金仕候 大阪保険会社の社員参上、山田氏の委任状の所在の件	明治28年10月28日	大阪市北区中之島 高橋内 辰井梅吉	東海道駿河国興津町 千歳屋方 高橋健三	書簡	181×1039		消印 興津明治28年10月29日 封筒汚れ 書簡虫損 糊剥離
		金200円 上野氏にて受高、差引残額は先生の御名儀と御承知置被下度				書簡	181×353		糊剥離
		書留郵便物受取証	明治28年10月24日	興津町 高橋健三	神田駿河台江梅川岸 瀧精一	状			115×83
		受領証書	明治28年10月25日	通信省		状			161×123
347		辰巳重範書簡						10	
	1	編輯之儀に付御相談を煩わし度候	明治24年3月6日	浅草橋場町 辰巳重範	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	116×510		上部一部欠損 糊剥離
	2	過日相願置候批評之草稿の儀に付	明治24年5月6日	浅草 辰巳重範	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	165×765		
	3	草稿之儀築地の方へ活版頼むよう陸へ取極めに付	明治24年5月13日	浅草 辰巳重範	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	166×850		
	4	(封筒のみ)	明治24年5月31日	浅草聖天町 辰巳重範	神田橋内官報局官舎 高橋健三	封筒			封筒のみ196×74
	5	官報局御取寄の外国雑誌の内独英の御用済のもの暫時借用の件	明治25年8月12日	上根岸町 辰巳重範	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	165×707		糊剥離
	6	借用の新聞より切紙見当申候に付	明治25年9月9日	下谷区根岸町 辰巳重範	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	164×429		封筒下部しみあり
	7	西氏に御紹介を賜り奉謝候、西氏に面会に付	明治25年11月19日	上根岸町 辰巳重範	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	162×628		封筒虫損小 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	8	御手数を煩し置候表紙の件に付	5月23日	浅草聖天町 辰巳重範		書簡	164× 339		幸便、虫損小、封筒上部汚れ
	9	月評の継続に付陸氏と相談の件	9月13日	(辰巳)重範	高橋(健三)	書簡	171× 723		封筒欠
	10	転口の処意を表し御晚餐の一味賜り候はば大慶の至に付	11月29日	上根岸 辰巳重範	高橋健三	書簡	161× 350		幸便、封筒変色 糊剥離
	11	国会新聞の志賀氏に御紹介被下度	12月13日	上根岸 辰巳重範	高橋(健三)	書簡	165× 956		封筒汚れ
348		田中稲城書簡						1	
		和漢書目録御入用の趣に付、写本謄写事業の件	明治28年10月28日	東京上野図書館 田中稲城	静岡県下興津町 千歳 屋ニテ 高橋健三	書簡	182× 885		消印 興津明治28年 10月29日
349		田中勝治書簡						1	
		過日之拝顔一件に付	9月10日	田中勝治	高橋健三	書簡	156× 455		幸便 Marine Office f封筒 汚れ 破損
350		田中恒平書簡						1	
		一昨8日着任仕候、在京中御懇情を蒙り万謝候	明治21年8月10日	伯州米子治安裁判所 田中恒平	紀尾井町内閣官報局 高橋健三	書簡	160× 533		消印 東京明治21年8 月14日
351		田中成美書簡						1	
		控訴院向笠に係る件裁判当方敗訴に付元利精算の件	明治19年8月30日	日本橋区本町 田中成美	北豊島郡金杉村 高橋健三	書簡	239× 340		変色 虫損
352		田中光顕書簡						3	
	1	本日は参閣仕候に付御来見被下度 内訓の趣旨は次長に任せ干渉不致、別紙落手有之度	(明治21年)2月27日	内閣 田中光顕	高橋官報局次長	書簡	164× 381		幸便 糊剥離
	2	辞表 事故有之本官罷免度此段相願候也	(明治21年)3月14日	田中内閣書記官長 内閣官報局長 高橋健三	高橋官報局次長 内閣総理大臣 伯爵 伊藤博文	書簡	181× 432 281× 397		幸便
	3	御配神之件総理大臣より出頭の件	(明治21年)3月14日	田中内閣書記官長	高橋官報局次長	書簡	180× 364		幸便
353		田中正顕書簡						1	
		印形2葉落手、本月26日書式の通り証書認に付	明治16年1月24日	田中正顕	高橋健三	書簡	164× 480		幸便
354		谷 干城書簡						4	法典取調一条
	1	伊藤博文よりの書簡写、右の通回答に付両三日中に持参都合伺度	明治26年10月14日		神田橋内内閣官報局官 舎高橋健三	書簡	183× 972		
	2	伊藤氏病氣面会謝絶に付昨日相談の主旨を認め忠告いたし置候に付御承知被下度	(明治26年)10月14日	谷 干城	高橋健三	書簡	278× 413		幸便
	3	流行病にて引籠昨今快方に付15日貴邸へ罷出に付	2月11日	谷 干城	高橋健三	書簡	167× 431		幸便
	4	今夕は兼約有之、明夕は何も差支も無御座に付	9月28日	谷 干城	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	189× 595		幸便 封筒上部汚れ 小
355		谷口元明書簡						4	
	1	恭奉賀新年候 11月中当地へ転職、亡弟の事、御礼延引御託の件	明治20年1月 明治20年1月29日	伊予松山 営所経理部 谷口元明 谷口元明	麹町区紀尾井町 高橋健三 高橋(健三)	書簡 書簡	167× 324 166× 1289		消印東京明治20年2月 1日 封筒水濡れ変色 虫損 水濡れ変色

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	恭奉賀新年	明治21年1月1日	伊予松山電信局前 谷口元明	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	182×497		消印 東京明治21年1月9日
	3	奉賀新年	明治22年1月15日	伊予松山□□町 (谷口元明)	麹町紀尾井町 高橋健三	書簡	139×419		消印 明治22年1月2日 □日 封筒汚れ破損 大 水濡れ変色
	4	大谷木方不幸(備一郎死去)の節御尽力被下御厚礼申上候	明治25年4月18日	讀取丸電風袋町 谷口元明	麹町紀尾井町 高橋健三	書簡	186×1421		消印 東京明治25年4月29日 転居付箋「元
505		田畑書簡						1	
		申上置候金の件此者へ御渡被下度	(明治24年)3月10日	深川 田畑	高橋(健三)	書簡	177×230		幸便 封筒虫損小 切封
356		田畑(老母)葉書						1	
		病気に付不如意之処より再度御送金被下度に付	明治25年3月22日	深川区蛤町 望月内田畑(老母)	麹町区大手町 内閣官報局官舎 高橋健三	葉書	141×89		虫損小
357		玉置直矩書簡						1	
		御願申上候シベリア旅費の件如何に候や	明治28年5月5日	神戸市中山手通 玉置直矩	大坂市中の島 高橋健三	書簡	178×775		封筒汚れ 糊剥離
358		玉手弘通書簡						7	
	1	本日午後6時より小集会催相成候に付	明治21年5月29日	木挽町 玉手弘道	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	168×574		汚れ・虫損大
	2	明後1日午後5時より浜町花屋□□□屋楼迄御台臨成被下度、柴氏へも相通に付	明治21年5月30日	木挽町 万屋 玉手弘道	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	167×695		消印 東京明治21年5月31日
	3	春來流行の感冒により三条公薨去、小原沢君死去の事、彼の上告の事件審判が差迫り、実質上との関係頗る大の為起訴の次第に付御彼の件好結果を得大慶、先方へ一声奉願候、御礼	明治24年2月22日	大坂鞆中通 玉手弘道	麹町区紀尾井町第一号 官舎 高橋健三	書簡	177×221		親展 消印 東京明治24年2月24日 封筒汚れ 虫損
	4	昨日御依頼置候古調の蒔絵2品為持上候に付御覧可被候	6月25日	玉手弘通	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	175×720		消印 東京明治24年6月16日 幸便 封筒下部汚れ、欠損
	6	古調蒔絵2品入用出来候に付	6月28日	玉手弘通	官報局 高橋健三	書簡	176×619		幸便 封筒上部欠 汚れ虫村
		副啓	28日	(玉手)弘道		書簡	176×339		
	7	12日は帰阪に付御暇乞い昇堂は多忙に付御寛恕可被下、御暇乞之証一書候	7月11日	玉手弘通	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡			幸便 封筒上部欠 下部虫損小
360		田村維則書簡						1	
		「近世三傑伝」出版に際し印刷費贊助を仰度	(明治23年)9月23日	神田錦町 静岡県士族田村維則	高橋健三	書簡	250×340		封筒欠
		「近世三傑伝」組見本				状	184×267		虫損小
309		千頭清臣書簡(ちがみ)						3	
	1	故福富氏追弔会相催し度候に付	明治24年4月14日	牛込市ヶ谷薬王寺前町 千頭清臣	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	174×754		千頭ほか陸奥・杉浦重剛・高橋昌連名 糊剥
		福富氏葬送に付親友共フロックコート着用徒歩にて会葬の相談致候、御用意被下度	明治24年4月10日	佐々木高美・仙石貢・千頭清臣	高橋健三	書簡	165×792		千頭ほか佐々木高美・仙石貢連名
	2	宇都宮平一君帰郷に付送別会相催し候、来会の有無御回答願度	明治24年4月20日	神田区錦町東京英語学校 千頭清臣	麹町区元衛町神田橋内 高橋健三	書簡	247×174		東京英語学校封筒・用箋 会主:千頭清富・垣内正輔
361		塚田三碩外4名書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		恭賀新禧	明治25年1月1日	愛知県東加茂郡野見町 塚田三碩・安藤学・鈴木 友一・鈴木友次郎・田沢 多賀吉	麹町区元衛町 高橋健 三	書簡			消印 東京明治25年1 月3日
362		塚原由造書簡			高橋健三			2	
	1	御問合致候儀に付御出向の件	(明治)16年4月31日	官報局 塚原書記官	京橋区木挽町 高橋健 三	書簡	161× 268		幸便 色移りあり
	2	一寸御伺い致度義有之に付御在宅申上度	明治21年7月31日	塚原由造	内閣官報局官舎 高橋 健三	書簡	179× 505		糊剥離
363		辻 新次書簡						4	
	1	教育学術講談会講談員を依嘱	明治25年6月13日	大日本教育会長 辻 新次	(靴町区元衛町) 高橋 健三	状	220× 182		封筒上部汚れ コン ニャク版
	2	小林へ面設致候処昨年口口発し変更改変六ヶ 敷甚だ困却に付	2月13日	辻 新次	官報局長 高橋健三	書簡	167× 653		幸便 封筒上部変色 虫損小
	3	法典延期論に関する論説印刷に付したるもの 御手許に有之候はは2,3部御送付被下度	7月1日	辻 新次	官報局 高橋健三	書簡	164× 383		幸便 文部省封筒 文 部省文書課使4432号
	4	別冊第二号本月25日発行に付早く御検閲被下 度	12月15日	辻 新次	文部書記官 高橋健三	書簡	178× 612		幸便 封筒上書「別冊 相添」
364		辻 鶴松書簡						1	
		本月9日の暴風雨にて何方も損害との伝聞に 付御尊宅は如何	明治30年9月17日	大坂市北区綱島町 辻 鶴松	麹町区永田町 高橋健 三	書簡			消印 東京明治30年9 月19日 封筒汚れ 執
365		津田純一書簡		津田純一	高橋健三			2	
	1	司法省にて民法草案御下渡相成候は該草案 一部丈下渡相成様御運被成下度	明治16年2月1日	加賀国金沢石浦町 津 田純一	駿河台西紅梅町 高橋 健三	書簡	164× 399		消印 明治16年3月7 日
	2	御上京之由伝承候に付御面会相談致し度御 一報被下度	明治28年9月30日	芝区芝通新町 沢田純 一	神田区甲賀町 瀧和亭 寮内 高橋健三	書簡	177× 457		しみ変色
	3	御上京の由に付一度相窺い度	明治28年10月7日	芝区芝通新町 津田純 一		書簡	176× 745		宛先不明票あり 封筒 汚れ
366		津田信次郎書簡						1	
		一書を呈じて従来の厚恩を謝し、爰に先生の 健康を祈る	明治24年6月12日	津田信次郎	高橋健三	書簡	248× 499		幸便 248×333と248 ×166の2枚
367		土子金四郎書簡						9	
	1	演舌会開催の方法、維持会の開催見込、講義 録の景況、浜田一件に付	明治24年4月28日	本郷弓町 土子金四郎	紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	161× 1114		水濡れ変色・カビ 虫 損
	2	校舎借受之儀貴兄に於て校主校長を兼候方 好都合ならんと存じ候如何	明治24年5月27日	本郷弓町 土子金四郎	神田橋内 高橋健三	書簡	163× 923		幸便 変色・虫損小
	3	商業学校建築敷金貴兄に於て受合相成候に 付川だ迄御渡被下間敷や	明治24年5月31日	土子金四郎	神田橋内 高橋健三	書簡	165× 625		変色・虫損小 封筒や ぶけあり 糊剥離
	4	貴兄を校長に仰ぎ候事に決定、会計報告上不 都合不少次第に付	明治24年8月25日	本郷弓町 土子金四郎	神田橋内官報局 高橋健三	書簡	169× 473		水濡れ変色 虫損
	5	震災義捐金25円立替時事新報社へ遣なし置候 処不足金生じ貴兄と合川氏より一円つつ払込	明治24年11月19日	土子金四郎	神田橋内 高橋健三	書簡	165× 685		水濡れ変色 虫損
	6	勘定は6円85銭に付半額5円だけ支出被下度、 学校事務所迄御届被下度	明治25年2月9日	本郷弓町 土子金四郎	神田橋内 高橋健三	書簡	181× 486		消印 東京飯田町明 治25年2月10日 水濡 れ変色・カビ
	7	鷗遊館支払5円のほか別途請求有之候に付代 価の中より差引の件承知被下度、錦城学校家	(明治25年)2月29日	神田区錦町東京商業学 校土子金四郎		書簡	157× 1099		幸便 私立東京商業 学校事務所印 変色

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	8	例之借家一条其他に付相談いたし度と存じ候に付26日鷗遊館茶寮へ参集の件	明治25年6月22日	土子金四郎	神田橋内 高橋健三	書簡	170×517		下部欠損 カビ
	9	神鞭より御容体伝承致居、近日参上の心得に付暑中伺申上度	明治31年7月11日	本郷弓町 土子金四郎	相州小田原町 高橋健三	書簡	182×652		消印 小田原明治31年7月12日 糊剥離
368		都筑馨六書簡						6	
	1	過日御送致置候活版機械の直価表役立ち候哉、官報送付の件万謝候、町村制度記載せる官報御送付被下度	明治21年7月29日	巴里 都筑馨六	内閣官報局次長 高橋健三	書簡	196×246		消印 東京明治21年9月□6日
	2	小生は明朝伯林へ参り候	1890(明治23)年6月30日	パリ 都筑馨六	ロンドン 高橋健三	書簡	169×243		書簡中の宛先「有無間先生」
	3	(英文)	1890(明治23)年7月5日	ベルリン 都筑馨六	ロンドン 高橋健三	書簡	226×349		
	4	Post Office Telegraphs	1890(明治23)年7月9日	ベルリン 都筑馨六	ロンドン 高橋健三	書簡	141×221		封筒上書「数人ノ高橋有之候ニ付為念開封致候 鍋島」
	5	至急御相談申度義御座候、2日松野貞一郎氏宅迄御参集被成下度	明治24年8月1日	麹町区紀尾井町 都筑馨六	麹町区神田橋内官報局 構内官舎 高橋健三	書簡	163×436		幸便 封筒上書「至急」
	6	小生も至極同感にて、御高按は如何御座候哉、法学院の方へ御出かけ被存候哉委細同所にて申述べ度	18日	都筑馨六	高橋健三	書簡	189×571		幸便 内務省用封筒 糊剥離
369		綱倉兵作書簡						1	
		御講義之商船法来学期の附録として二年及三年共完脱致候様奉願候	明治21年8月30日	二年級編輯係 綱倉兵作	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	240×323		英吉利法律学校用封筒 虫損
370		坪井 晋書簡						2	
	1	青鹿氏御用立金残金明31日悉皆御返金の趣 鈴木氏へ被仰聞候由為念申上置候	明治15年12月30日	小石川区小石川諏訪町 坪井 晋	神田区駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	163×726		幸便
	2	返済金巨細書右之通に申上候に付御領承被下御送付奉願候	明治16年3月30日	小石川区江戸川町 坪井 晋	神田区駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	168×892		
371		坪内雄蔵書簡(坪内逍遙)						1	
		恩借の御蔵書の中拝読し候分御返納仕り候		書籍係 坪内雄蔵	高橋健三	書簡	173×650		
372		坪野平太郎書簡						1	
		宝生流能役者波吉御慰みに仕舞、謡始めに付	29日	坪野平太郎	高橋健三	書簡	160×623		幸便 虫損小
373		靄井重太郎書簡						1	
		小子今より会社又は銀行等業務に従事仕度に付御周旋被下度	明治21年8月28日	京都室町高辻上ル 靄井重太郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	158×682		消印 東京明治21年9月1日
374		鶴原定吉書簡						1	
		12日の御招深謝、先約有之に付参上仕兼に付	明治25年7月10日	麹町区壱番町 鶴原定吉	内閣官報局ニ於テ 高橋健三	書簡	182×737		糊剥離
375		手島精一書簡						7	
	1	米國博覧会に関する英字新聞記事を官報に掲載の儀に付	明治24年8月13日	本郷区駒込西方町 手島精一	神田橋内官報局長 高橋健三	書簡	174×900		封筒汚れ 糊剥離
	2	シカゴ博覧会に関するドレッチ演説の反訳相成世人に知らしめ度官報に掲載の件	明治24年11月20日	本郷駒込西方町 手島精一	神田橋内官報局 局長 高橋健三	書簡	176×814		
	3	ドレッチ氏演説翻訳の儀奉謝候	明治24年12月2日	手島精一	官報局 高橋健三	書簡	177×680		下部欠損 カビ 東京工業学校用封筒

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	4	再びシカゴ府に帰着、国華の儀当府商人輸出方示談の処尽力可致旨に付、岡倉らは知人に	明治25年3月3日	紐育 手島精一	神田橋内官報局長 高橋健三	書簡	243×340		消印 東京明治25年4月3日
	5	藤田氏の儀海軍大学校の件、小村氏外務省の件、田中氏洋行の件、古書類票の件	9月2日	(手島)精一	高橋(健三)	書簡	163×829		封筒欠
	6	文部省で拝陳仕候Fine Education Sill別紙差上に付便宜官報へ掲載相成候はば教育家参考之益付少に付	9月7日		官報局長 高橋健三	書簡	181×557		幸便 東京工業学校用封筒「親展別紙添」下部虫損小 糊
	7	ドレヅ演説翻訳書の件鳴謝候、演説官報へ掲載後書肆に印行せしめては如何	(明治24年)12月4日	手島精一	官報局 局長 高橋健三	書簡	283×401		幸便 農商務省用封筒・用箋 封筒変色
376		手塚 強書簡						1	
		行政庁に14年職し過般解職に付貴局に採択の栄をせしめられ度	明治25年5月14日	青森県弘前山道町 手塚 強	麹町区紀尾井町第一号 官舎 高橋健三	書簡	172×882		消印 東京明治25年5月16日 返信用切手
377		鉄眼(天田愚庵)書簡・葉書						7	葉書含む
	1	御滞留は何日頃迄の御見込みに被為在候哉御在京の日時御披聞披下度	明治21年8月18日	修学院村林丘寺 鉄眼	上京姉小路麩屋町依屋 高橋健三	書簡	183×550		消印 京都明治21年8月19日 虫損小
	2	□□御送与望外の大恵に付、杉浦重剛に託すつもりが宿所尋ね当らずに付	明治21年10月24日	京都修学院村林丘寺 鉄眼	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	160×725		封筒上書「10月27日2時50分到着」虫損 汚れ 糊剥離
	3	相国老僧の法語出来に付拝送仕候、陸より書面到来、竹町翁との関係も釈然候由安心に付	明治21年11月28日	京都修学院村林丘寺 鉄眼	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	159×640		消印 東京明治21年12月2日 糊剥離
	4	森氏の行方相分居様祈念致居候、茂の妻や母の特徴に付、海外御出張御苦勞奉察候御自奉存候	明治23年2月15日	京都修学院村林丘寺 鉄眼	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	167×1168		消印 明治23年2月16日 変色 しみ 虫損 糊剥離
	5	希代の地震早速御見舞披成下難有奉存候	明治24年11月3日	京都修学院村 鉄眼	神田橋内元衛町 高橋健三	葉書	141×88		消印 東京明治24年11月6日
	6	陸氏西下の折承り追々御快方との事、御多病の儀御自愛之程、御見舞い旁御礼	明治30年9月17日	京 愚庵 鉄眼	相模国小田原万年町 鈴木方 高橋健三	書簡	180×868		消印不明 水濡れ変色 虫損「愚庵」印形
	7	漢詩、何れ御見舞参上致度に付	明治31年3月8日	京都清水 愚庵 鉄眼	相模国小田原町字山王 原 高橋健三	書簡	230×173		消印 明治31年3月9日「愚庵」印形 玉山人便箋2枚
378		デニング書簡						2	
	1	全文新紙へ掲載仕候、ルートル電報翻訳済の官報弊社へ御送付被下度に付	明治24年1月19日	横浜ガゼット(新聞)社 デニング	内閣官報局長 高橋健三	書簡	198×262		封筒虫損 かび「JAPAN GAZETTE」社便箋
	2	官報の訳出近日両3日見受不申に付、御局に着不致時は他より採用に不御一報被成下度	明治24年4月6日	ガゼット(新聞)社 デニング	内閣官報局長 高橋健三	書簡	204×267		「JAPAN GAZETTE」社便箋
379		寺尾亨・山田三郎書簡						1	
		民法第二条修正案に付斯学の専攻志として別冊私見一部呈し御一覽に供し度	明治30年12月13日	本郷駒込咲町 寺尾亨・山田三郎	麹町区永田町官舎 高橋健三	書簡	182×732		幸便 封筒汚れ・虫損 糊剥離
380		寺尾 寿書簡						1	
		東京法学院卒業業者津田信次郎禄仕志願に付可然御引立被成下度	5月27日	麻布天文台官舎 寺尾 寿	高橋健三	書簡	182×904		幸便 封筒右下しみ変色
381		寺師宗徳書簡						2	
	1	史談会補助費一件一日も早く採用之義閣議可然御高配相成度	明治30年2月1日	寺師宗徳	官舎 高橋書記官長	書簡	188×733		
	2	史談会補助費之儀別紙の通懇請書差出候に付御含置被下度	明治30年2月6日	中六番町 寺師宗徳	麹町区永田町 高橋健三	書簡	178×558		

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		懇請書	明治30年2月6日	史談会副会長 伯爵壬生基修外2名	大蔵大臣・文部大臣	状	282×398		
382		寺島直書簡						2	
	1	駿河台昌長君就職尊台不同意之趣、尊台に対し鉄面皮にて御認容之義奉懇願候	明治31年4月5日	麴町区飯田町 寺島直	東海道小田原駅字山王原 高橋健三	書簡	170×2112		消印 小田原明治31年4月6日 虫損 封筒
	2	正に為取仕候	23日	寺島(直)	高橋健三	書簡	247×168		幸便 封筒変色 大審院用箋
383		寺西成器書簡						1	
		御弔詞御患与に預り拝謝候	明治29年8月11日	大阪西区北堀江裏通 寺西成器	大阪中之島 朝日新聞社内 高橋健三	書簡	161×219		消印 大阪川口明治29年8月12日 水濡れ
384		遠山角助書簡						2	
	1	続日本の日本序文頂戴仕度、続日本の日本は「現在及未来之日本」と改題に付	7月13日	下谷区下谷車坂町 遠山角助	神田橋内にて 高橋健三	書簡	165×424		幸便 変色 かび
	2	金5円此者へ御貸与被下度、本月16、7日中には返上に付	9月7日	下谷区下谷車坂町 遠山角助	神田橋内にて 高橋健三	書簡	155×578		幸便
385		遠山友三郎書簡						1	
		村山龍平氏御帰京相成貴答相待居候に付御意見洩被下度	明治28年10月5日	京橋区元数寄屋町 国華社 遠山友三郎	東海道興津駅旅館千歳家方 高橋健三	書簡	175×513		消印 □□明治28年10月6日 国華社封筒
386		徳田佐一郎書簡						3	
	1	Krafft氏書簡(英文、礼状) 貴重の贈物に付クラフト氏礼状転送致旨依頼に付	1890(明治23)年6月29日	セーヌ・パリ 徳田佐一郎	ロンドン 高橋健三	書簡	177×227		消印 ロンドン1890年7月1日 103×177追伸
				徳田佐一郎	高橋健三	書簡	131×188		
	2	園芸事業に付特別の御詮議相願度	明治23年7月22日	徳田佐一郎	高橋健三	書簡	175×1011		幸便 変色 カビ 糊剥離
387		徳富猪一郎書簡						1	
		別紙小評11日の国民新聞に掲載仕候に付供覧候(『国華』第25号)	明治24年12月17日	民友社 徳富猪一郎	神田橋内官報局構内高橋健三	書簡	183×493		虫損 12月11日国民新聞第1面「親書月旦」
388		得能通口書簡						1	
		晚餐差上度に付御光臨奉願度	10月26日	得能通口	高橋健三	書簡	182×419		幸便 下部欠損 しみ・変色・カビ
390		戸田忠綱書簡・葉書						4	葉書含む
	1	娘別添持参甚困却仕候、可然様返東差遣置御承引の程	明治20年8月7日	駿ヶ台北甲賀町 戸田忠綱	紀尾井町 高橋健三	書簡	166×521		
		御一願の金円の件償還の金額増加し身代限りの事にも不見心配に付愚妻と小児を御預り被	(明治20年)8月6日	井上正巳	戸田忠綱	書簡	162×1147		糊剥離
	2	引越之義万事相済申候、秋元にても特別に致呉職に都合も宜敷に付貴君より申伝被下度	明治25年12月18日	本所区相生町 戸田忠綱	北豊島郡日暮里村字金杉高橋健三	葉書	142×90		
	3	殉国予後備兵遺族扶助義捐金の内へ貴君并御家内様にも応分の義捐被成下度	明治28年6月18日	本郷元町 戸田忠綱	大阪中島 高橋健三	書簡	179×453		封筒しみ 糊剥離
		殉国予後備兵中憫むべき遺族を扶助せんとする主意	明治28年6月	発起人 塙 浜子・戸田清子ほか		状	181×490		印刷物 7部
391		戸田忠義書簡						1	
		音楽練習室も落成に及び楽器(オーガン)購入致し度、伊沢の儀承知仕候	明治21年8月4日	戸田忠義	高橋健三	書簡	164×636		幸便 封筒上書「21年か」虫損小
392		戸田正之書簡						3	
		履歴御高覧を仰ぎ、肺患により辞職、貧苦の為一餐の御救恤被仰仕度	10月21日	神田和泉町 戸田正之	高橋健三	書簡	162×832		幸便 同一封筒

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		舌代(農商務省商務局奉職中の縁故を以愚書を呈す)	10月22日	戸田正之	高橋健三 執事	書簡	163×249		幸便 同一封筒
		舌代(過日之書申受奉願上候)	10月24日	戸田正之	高橋健三	書簡	163×151		幸便 同一封筒
393		鳥取宇平太書簡		鳥取宇平太	高橋健三			3	
	1	持参致置候紙口へ御任意に御揮毫被下度	明治24年10月3日		内閣官報局官長 高橋健三	書簡	165×1146		
	2	御申越相成候出羽国風土記の件	明治28年10月14日	秋田市東根古谷町田中方鳥取宇平太	大坂中ノ島 高橋健三	書簡	180×2219		消印 大阪明治28年10月17日
	3	台南県へ事務の監査の為出張出立から到着迄様子報告	明治30年2月2日	台南県庁内 鳥取宇平太	麴町区永田町 高橋健三	書簡	180×1460		消印 東京明治30年2月19日 糊剥離
394		富井政章書簡						3	
	1	拙著月評之紙上に御批評可被下由研究の為相願申度候	明治21年3月5日	飯田町 富井政章	糺町紀尾井町 高橋健三	書簡	165×630		
	2	拙著契約法講義遺呈仕候処月評に批評を載すべき旨御申越被下何分宜敷奉願候	明治21年4月2日	飯田町 富井政章	糺町紀尾井町 高橋健三	書簡	168×630		虫損小
	3	明日は法典会議定日に付別に御都合の日時を選び参邸仕候、此問題に付御意見と衝突し明後土曜日若くは日曜日の午前なれば差支無之に付	明治30年2月11日	飯田町 富井政章	永田町 高橋健三	書簡	178×612		
						書簡	178×128		
395		戸水寛人書簡						1	
		日光写真隨に落手仕候、十六七世紀又は十八世紀の書籍にて今日の学問の基礎となるは日本に無之、委員を派出し欧州の古本購求する	明治25年3月18日	サンフランシスコ 戸水寛人	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	179×225		消印 東京明治25年4月21日
396		富田鉄之助書簡						1	
		英字新聞紙御送被下奉多謝候	明治20年12月15日	麻布区市兵衛町 富田鉄之助	口下町帝国ホテル 高橋健三	書簡	157×708		上部変色、虫損大 上部判読不可能
397		富谷嘉兵衛書簡						3	
	1	島村徳太郎儀速に差上可申処昨日解雇相成候に付使兼為付申候	明治20年7月11日	富谷嘉兵衛	高橋 執事	書簡	176×294		幸便 島村徳太郎持参 封筒上書「20年か」 虫損小
	2	日給の儀は何れに共適宜御処分被成下、別段本人へ申聞候迄も無御座私より請申上候	明治20年7月19日	上六番町 富谷嘉兵衛	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	177×280		幸便 封筒上書「20年か」 虫損小
	3	島村徳太郎儀宿直にて拜趨仕兼候に付禿毫奉願候	明治24年5月18日	麴町区上六番町 富谷嘉兵衛	元衛町 高橋健三	書簡	242×326		
399		東寺不帰書簡						1	
		陸氏より近況相窺安心仕候、講和事件東洋前途に可通事挙動に付尊兄如何候哉、御見舞を	明治28年5月17日	京都鹿谷 東寺不帰	大坂朝日新聞社内 高橋健三	書簡	174×1623		糊剥離
400		内藤虎二郎書簡(内藤湖南)			高橋健三			11	
	1	郷友の組織かた鹿友会誌印刷に付費用の内3円拝借仕り度	明治24年12月11日	飯田町 根岸方 内藤虎二郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	182×650		
	2	会誌立替の一件他にも立替ふべき有之に付3円だけ拝借仕り度、来年初刊に掲載の論文の北村氏と面会いろいろ話候、私入社之事については曖昧に付	明治24年12月20日	飯田町 根岸方 内藤虎二郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	182×570		封筒右下欠損 糊剥離
	3	困却の身柄政教社の方も会計困難、5円拝借願い上げ度	明治25年3月12日	飯田町 根岸方 内藤虎二郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	191×1097		右端虫損欠損 色移り
	4		明治25年7月6日	飯田町 根岸方 内藤虎二郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	181×586		

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	5	今日出立の処差支、来春の始末をつけ明後日出発に取極め候	明治25年12月25日	飯田町 根岸方 内藤虎二郎	大阪中之島花屋方 高橋健三	書簡	182× 481		消印 大坂明治25年12月27日
	6	宇治道中の事、懐中悉皆遺失、上野様への前借の減却の件に付上野様へ御談承被下度	(明治28年)5月20日	(内藤)虎二郎	自侍(高橋健三)	書簡	181× 1623		封筒欠
	7	御申越の由利七堂記の件催促致候へ共返事無し本人に聞合せられ度、須磨より播州へ参り白土の方へ書籍届き不申催促の旨白戸より申越候、鈴木・畑山・三宅の事、古鐘一覧の事、正倉院の開扉の事、郷友会の事	明治28年10月7日	大阪中之島藤井方 内藤虎二郎	神田駿河台東紅梅河岸 高橋昌長方 高橋健三	書簡	178× 1284		消印 東京明治28年10月8日
	8	今月末までに参上仕候間金10円恩借被仰付度	明治28年10月17日	大阪中之島藤井方 内藤虎二郎	神田駿河台東紅梅河岸 高橋昌長方 高橋健三	書簡	181× 1036		消印 東京明治28年10月19日
	9	過日も願上之通り画の沿革完成まで10円恩借願上候	7月25日	内藤虎二郎	自侍庵(高橋健三)	書簡	183× 563		幸便 糊剥離
	10	仰付の論文遷延遅急の極猶予願上候、姪児の事心臓病にて入院、松岡氏は相応の仕事御周旋願上たき由申候	8月5日	内藤虎二郎	自侍庵(高橋健三)	書簡	183× 522		幸便 封筒に計算式など落書きあり
	11	永井岩之丞書簡	12月20日	内藤虎二郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	182× 746		幸便 封筒汚れ・虫損 糊剥離 封筒上書「本二冊添」
401								4	
	1	4日御罷招を蒙り拝堂可仕候	明治21年10月2日	金杉邨 永井岩之丞	麹町区紀尾井町第1号 官舎 高橋健三	書簡	162× 515		消印 東京下谷明治21年10月3日
	2	亡父尚志会葬被成下御礼申上候	明治24年7月9日		麹町区神田橋御門内 高橋健三	書簡	151× 99		
	3	此程は御辞職相成御不例勝故に付近況奉伺候	明治30年10月13日	東京市下谷上の桜木町 永井岩之丞	相州小田原万年町鈴木 善左衛門方 高橋健三	書簡	182× 901		消印 小田原明治30年10月14日 水濡れ 色移り
	4	藤田氏より承候、尊恙御見舞併せて御疎情之御詫申上候	明治31年5月13日	下谷上野桜木町 永井岩之丞	相模国小田原町旅人宿 鈴木屋 高橋健三	書簡	176× 1206		消印 小田原明治31年5月15日
402		永井久一郎書簡						2	
	1	故畠山氏奨学義金之儀は小生取纏候間出金は小生まで御送付被下度	明治19年5月27日	帝国大学 永井久一郎	内閣高橋官報局長(高橋健三)	書簡	172× 390		水濡れ・色移り 糊剥離 虫損小
	2	東京開成学校長畠山義成氏紀念の醸集金152円50銭を東京大学に寄附通知	明治21年12月	帝国(大学) 永井久一郎	麹町区紀尾井町 官報局官舎 高橋健三	書簡	225× 152		封筒裏側右下欠損 コニヤク版
403		永井尚行書簡						2	
	1	貴下版權所有之英文日本憲法註釈を高等商業学校教科用書として読本中に記載致度御依小生編纂之英文読本貴校に於て教科書に採用の趣本懐の至に候、売捌上の割引に付	明治23年9月27日	神田三崎町 永井尚行	内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	282× 401		封筒汚れ
	2	中尾彦二書簡	3月31日	神田三崎町 永井尚行	麹町区紀尾井町官舎 高橋健三	書簡	183× 510		虫損小
404		岡部宗五郎へ融通の金員8月期限に付貴下へ御通知申上候	9月3日	京橋区加賀町 中尾彦二	官報局官舎 高橋健三	書簡	175× 658		幸便 封筒しみ「洋酒中尾商店」印 糊剥
	2	川瀬氏は帰京相成不申哉、御入用に候はば周旋人の手を経ず直接掛合被下度	9月11日	中尾彦二	高橋健三	書簡	173× 813		幸便
	3	岡部の件拙者方にて直接掛合申やも難計為念、川瀬氏一度弊方へ御越候様御伝知希上候	9月14日		官報局官舎 高橋健三	書簡	173× 501		幸便
405		長尾景弼書簡						4	
	1	府県会令を官報附録とし発行の義に付事前に不明の廉も御座候に付別紙に相認候間貴覧(別紙)記(6項目)伺い度義御座候間一両日中に御伺い度	(明治21年)8月8日	京橋区銀座 博聞本社 長尾景弼	高橋(健三)	書簡	163× 180		幸便 博聞本社用封筒
			(明治21年8月)8日	(長尾)景弼	高橋(健三)	書簡	163× 113		

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	埼玉県御報を官報へ合巻発行の義に付書記官来社相成御紹介可致被申聞候に付	明治21年8月29日	京橋区銀座 博聞本社 長尾景弼	紀尾井町 高橋健三	書簡	163× 752		幸便 博聞本社用封筒 糊剥離
	3	月評改良之義に付御相談被下候趣、御都合の義以前御証被下度候	明治21年10月29日	京橋区銀座 博聞本社 長尾景弼	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165× 806		博聞本社用封筒 封筒虫損
406		長尾景重書簡						1	
		来月3日學術演説会に欧州巡検に就ての御高説を渴望致居候間御演題至急御送致被下度	明治23年10月30日	日本橋区薬研堀 報知社ニテ 長尾景重	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	167× 509		虫損
407		長尾楨太郎書簡		長尾楨太郎	高橋健三			7	
	1	過日御依頼申上候植田氏之義宜敷奉願度	明治23年10月31日	本郷森川町 長尾楨太郎	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	162× 962		
	2	昨日話之義岡倉君に都合承り16日朝国華社に集り候事に約束致候に付	明治24年8月12日	両国吉川町国華社 長尾楨太郎	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	162× 492		封筒汚れ 虫損 糊剥離
	3	過日供高覧の十二天仏画の義明朝当社迄御為持遣被下度	明治24年12月21日	日本橋区両国吉川町国華社 長岡楨太郎	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	164× 682		封筒汚れ 虫損小
	4	小生身事之義に付、村山氏方に容れらるへき余地有之候得は多幸の事	明治25年6月20日	下谷上野花園町 長尾楨太郎	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	286× 392		封筒汚れ 虫損
	5	御尋の画家伝の義取調候へ共分明なりかね候、分り次第お報可致候、社業本日限にて休	明治25年12月28日	日本橋区両国吉川町国華社 長岡楨太郎	大坂中ノ島花屋 高橋健三	書簡	183× 726		国華社封筒 糊剥離
	6	東京法学院卒業生氷上克己小生知人に候処賢台に拝謁致し度趣に付紹介致し候	1月30日	長岡楨太郎	神田橋内 高橋健三	書簡	181× 421		幸便 封筒上部汚れ 虫損
	7	小川交渉の義に付本月分発行も滞り沢村よりの談話は更に無之内外不信用の事体に至り不安の模様有之	6月16日	日本橋区両国吉川町国華社 長岡楨太郎	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	181× 800		幸便 国華社封筒
408		中川銃三郎書簡		中川銃三郎				3	
	1	明後10日六十会開会之通知に会員名簿必要に付此者へ御渡被下度	7月8日	日本橋区横河町岡山事務所 中川銃三郎	高橋健三	書簡	168× 259		幸便 封筒汚れ・虫損小 糊剥離 封筒の日付けは7月8日
		委員の指名も有之別紙の如き報告印刷に付し会員へ配布致し候に付御添刪被成下度	7月29日	中川銃三郎	高橋(健三)	書簡	181× 364		
	2	御芳書之趣拝承、明日先方へ御届に付御了承被下度	8月5日	中川銃三郎	高橋健三	書簡			幸便 水濡れ色移りかび 明治24年か
		受取証 金30円也	8月5日	中川銃三郎	高橋(健三)	状	161× 180		
409		中川重麗書簡						1	
		万一にても御採用相成候は難有俸給は如何にても不苦候	1月25日	京都二条通小路 中川重麗	大阪市中島 朝日新聞社 高橋健三	書簡	174× 1195		書簡前欠か
410		中川長次郎書簡						1	
		小生小児14歳に至り中学校へは差出し兼候に付先生御門方となし被下度奉願候	明治23年6月	岐阜県大野郡大名田村 中川長次郎	糺町キヨイ町 高橋謙蔵	書簡	247× 337		消印 東京明治23年6月29日
411		長沢 説書簡						1	
		池辺氏より朝日に用いる書面参り宜敷返事差出、先生の御芳書を拝受欣喜、可然御指図の程奉希上候	明治31年5月31日	岡山市大字栄町 山陽新聞社 長沢 説	相州小田原山王原 高橋健三	書簡	243× 168		消印 小田原明治31年6月□日 山陽新聞社用箋4枚
412		中島徳次書簡						1	
		奥田先生より御懇諭の廉有之当会社に継勤可致す覚悟付平岡氏・奥田先醒へも頼申置に付	明治30年2月22日	周防国玖珂郡由宇村 山陽鉄道株式会社 中島徳次	麴町区内閣書記官長官舎 高橋健三	書簡	181× 1392		消印 東京芝明治30年2月26日
413		中島 嵩書簡						3	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	1	兼て御相談仕候新曲会の事、貴下全快を期し集会の為富豪連を廻り候	明治30年9月5日	本郷区駒込追分町 中島 嵩	相州小田原万年町鈴木 方 高橋健三	書簡	177× 1379		消印 小田原明治30 年9月6日 水濡れ色 移り カビ
	2	新曲会着手の事、年内のうちには一兩度も発 会相催為様加納治五郎君へ訪問致度、名刺内 に小生紹介を賜度	明治30年9月17日	本郷区駒込追分町 中島 嵩	相州小田原万年町鈴木 方 高橋健三	書簡	178× 1064		消印 小田原明治30 年9月18日 二重封筒 の上紙破損大 色移り 虫損糊剥離
	3	拙稿日本新聞紙上へ掲載の件、彼の音曲会の 事貴下の帰京無之では引立間敷に付帰邸の 心算を内報賜度	明治30年10月6日	本郷区駒込追分町 中島 嵩	相州小田原万年町鈴木 善左衛門方 高橋健三	書簡	165× 1231		消印 小田原明治30 年10月7日糊剥離
414		中島気崙書簡						1	
		海内の新紙百を数ふ、卓然の節操と毅然主義 を懐抱し俗流を抜焉もの幾許かある、収めて犬 馬の役に投ぜよ	明治28年6月27日	江ノ子島上町藤村秀次 郎方 中島気崙	中ノ島 大坂朝日新聞 社ニテ 高橋謙三	書簡	225× 318		罫紙2枚
145		永島富三郎書簡						1	
		過日は厚き御配慮を戴き謹謝候	明治25年7月8日	麻布三河台町 永島富三郎	麹町区元衛町 高橋健 三	書簡	171× 485		
416		中田伊勢太郎葉書						1	
		篠原誠一目下他行に付御依頼の書類私に御 廻し被下度	明治23年7月29日	高崎大橋町 中田伊勢太郎	紀尾井町 高橋(健三)	葉書	141× 90		
417		永滝久吉・花井卓蔵書簡						1	
		本月9日先生御帰朝祝を兼貴衆両議院議員当 選を祝するため院友大会催に付都合如何候哉	明治23年10月29日	神田区錦町 東京法学 院内 永滝久吉・花井卓	麹町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	166× 517		東京法学院封筒 しみ あり 院友会理事総代
418		永富謙八書簡						1	
		英語学校在籍の谷武治と申者商業学校へ入 学仕り度に付御試験之上入学取計候	8月25日	永富謙八	高橋健三	書簡	167× 293		幸便
419		永富雄吉書簡						2	
	1	此度は当地に留まり入学試験の諸科目一通り 目を通し度に付	1890(明治23)年6月27 日	ロンドン 永富雄吉	フランスパリ 高橋健三	書簡	272× 214		消印 パリ1890年6月 30日 未使用切手1枚
	2	謹賀新年 卒業試験・卒業論文の事	明治24年12月17日	フランス 永富雄吉	麹町区紀尾井坂内閣官 報局にて 高橋健三	書簡	204× 254		消印 横浜明治25年1 月22日
420		中野二郎書簡						2	
	1	取賄事件に関し小生壮士らしき拳動なきやに て御心配を相懸恐縮の至りに奉存候	明治25年6月28日	築地 中野二郎	麹町区元衛町神田橋内 官報局官舎 高橋健三	書簡	171× 1160		
	2	本日会津地方へ鉄道布設に関する大会相開 筈に付出発、明後は帰京に付	明治25年8月14日	途上郡山 中野二郎	麹町区元衛町神田橋内 官報局官舎 高橋健三	書簡	249× 340		消印 東京明治25年8 月15日 2枚
421		中橋徳五郎書簡						6	
	1	御口舎書明治5年之分出来之由、批評之為入 用に付暫時借用致候、英吉利法律学校憲法之 義に付	(明治21年)3月7日	農商務省 中橋徳五郎	紀尾井坂町 高橋局長 (健三)	書簡	185× 751		幸便 汚れ変色 虫損 小 農商務省用封筒 糊剥離
	2	当日大臣に訪問日時相尋候所次の月曜高輪 私宅にて面会致度と被申候	明治24年7月3日	逓信省 中橋徳五郎	官報局 高橋健三	書簡	173× 467		しみ 虫損 逓信省用 封筒
	3	藤田氏の件好結果の由御通知難有結好に御 座候	明治24年11月18日	糞町五番町 中橋徳五 郎	神田橋内官報局 高橋健三	書簡	164× 519		糊剥離
	4	製鉄所館、その予算の件に付	(明治28年)1月24日	中橋徳五郎	木挽町水明館 高橋健 三	書簡	182× 573		幸便 汚れ小 逓信省 用封筒
	5	かるた会御招下難有奉存候	1月23日	中橋徳五郎	高橋健三	書簡	168× 654		幸便 しみ 虫損

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
422	6	御話の電話之件官選局長官舎へ至急架設を電報局長へ照会に付	11月5日	通信省 末橋徳五郎	官報局官舎 高橋官報局長(健三)	書簡	176×655		幸便
		中原貞七書簡						1	
		成立学舎女子部へ寄附金員落手仕候証(寄附金20円)	明治20年6月30日	中原貞七	高橋健三	書簡	162×495		幸便 しみ 汚れ
423		中邨倉次書簡	明治20年6月30日	成立学舎会計局	高橋健三	状	135×133		
		御願申上置き候調書類御取集の義伺の件に付	明治21年10月13日	京橋区南鞆町 中邨倉次	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	166×731		糊剥離
424		中村貞吉書簡						1	
		官報印刷場副長野村氏より入学生徒の義に付御照会相成候に付回答	明治21年2月14日	工手学校長 中村貞吉	内閣官報局長 高橋健三	書簡	180×622		水濡れ変色 虫損 糊剥離
425		中村重惇書簡						2	
	1	商業学校謝恩会相催に付御光臨被成度案内候	明治24年1月21日	神田錦町鈴木方 中村重惇	麴町区紀尾井町官舎 高橋健三	書簡	178×551		
	2	卒業証書授与式当日一同写影取兼候に付小川一真に於て一同撮影仕度に付	明治24年1月28日	神田錦町鈴木方 中村重惇	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	166×710		
426		中邨秋香書簡						2	
	1	出版月評松野氏訪問有之玉あられ窓の小篠の評被相托御手許間迄参上申候	明治21年11月19日	三番町 中邨秋香	麴町区紀尾井町官報局 高橋健三	書簡	166×473		11月20日発送 糊剥離
427	2	単稟(古事類縁編輯事務上至急見合の廉有之由小中邨氏より申越に付)	6月19日			書簡	163×329		幸便 虫損小
		中邨道之書簡						1	
428		横浜へ出港仕候間明日は参上仕兼候	(明治21年)4月19日	京橋区南鞆町 中邨道之	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	160×548		糊剥離
		中邨弥六書簡						4	冊を含む
	1	法典問題にて御多忙の事と奉察上候、之といふ御用も不致、例のもの願上候	明治25年6月2日	四谷東信濃町 中邨弥六	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	181×398		虫損小
	2	今日伝聞するに兄には山林局長に榮進せらるゝ云々、事実ならば少々御話致度に付	明治25年7月21日	四谷東信の町 中邨弥六	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	173×632		虫損小
	3	宣言	明治28年6月5日	四谷東信濃町 中邨弥六	大阪市 大阪朝日新聞社 高橋健三	冊	281×198		封筒水濡れしみ 4丁
429	4	画幅此者へ御渡被下度、老兄の御尽力を以て美術学校へ嫁入出来候はば無此上に付	5月30日		官報局官舎 高橋健三	書簡	172×547		幸便 焼け変色 虫損小
		永元愿蔵書簡						3	
	1	城多未亡人再嫁之一条の件都合に依り見合相成候に付	明治21年7月2日	小石川久堅町 永元愿蔵	内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	163×371		
	2	御依頼の一条先方之都合未判然付致候哉、御模様相分り候はば一寸御沙汰被成下度	明治24年8月11日	飯田町 永元愿蔵	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	173×301		汚れ 虫損
430	3	朝鮮公債之義に付政府の決心如何を渡辺大蔵田尻次官之内々就き質問に小川君御遣し被下度	明治28年1月9日	大阪市北区中之島 大阪朝日新聞社 永元愿蔵	木挽町水明館 高橋健三	書簡	181×763		消印 東京明治28年1月10日 大阪朝日新聞社封筒
		中山利愛書簡						2	
430	1	山田・加藤君と連帯の分と貴台の2口貸金期日経過に付至急御送被下度	明治16年9月1日	西小川町 中山利愛	文部省にて 高橋健三	書簡	161×508		汚れ小
	2	山田・加藤連帯の分と貴台一名の分本月25日迄延期相成りに付本月皆済費下度	明治16年10月26日	中山利愛	文部省にて 高橋健三	書簡	159×609		色移り カビ 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
431		半川恵之・山形茂書簡						1	
		常総法学会之儀盛會に相成り、法律雑誌発行し常総二州の利益を進め度、先生の御助力を	明治24年2月7日	(富士見町) 半川恵之・山形茂	紀尾井町 高橋先生(健三)	書簡	161×1229		則剥離
432		生田目経徳書簡						1	
		過日御参堂御饗応にあつかり報謝候	(明治30年)5月2日	神田北神保町 生田目経徳	永田町 高橋健三	書簡	178×518		幸便
433		並木時習書簡						1	
		過日は大好物の塩魚沢山御送被下奉深謝候、本月分の月給深田君に託し差出に付落手相成下候	10月15日	並木時習	高橋健三	書簡	188×1250		幸便 糊剥離 変色小封筒上書「十月分月給相添」
434		成田與作書簡						1	
		去る2日上京、国元よりの林檎持参に付御見舞迄進上候、表書へ引移に付	明治30年9月6日	下谷区桜木町 顕性院内 成田與作	相模国小田原 鈴木方 高橋健三	書簡	182×847		消印 小田原明治30年9月7日 色移り小書簡宛名に御奥様併
435		成瀬隆蔵書簡						1	
		本校授業本月11日より相始め候に付是迄の受持科目に2年生商律の部御受持被下度	(明治21年)9月7日	高等商業学校 成田隆蔵	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	183×482		幸便 汚れしみ 虫損小 糊剥離
436		南条正中書簡						1	
		本月21日出張差免帰京、書記兼戸口取調掛を命られ候、両三日中に昇館に付	明治13年2月27日	本所緑町 南条正中	木挽町 高橋謙(健)三	書簡	241×281		虫損小
437		西 沢之助書簡						1	
		国光の義一層奮發改良相加居候、本日刊行の分差上候に付御一覽賜り御紙上に評判被成下	明治28年6月25日	築地 国光社 西沢之助	大阪朝日新聞編輯局 高橋健三	書簡	181×635		消印 大阪明治28年6月26日 糊剥離
438		西 直資書簡						1	
		本日の貴紙治安妨害云々の貴説に付一軍人と叙勲上將校は遠慮可然云々の対談停止の	明治28年5月15日	東区北浜 宇野方 西 直資	北区中ノ島 朝日新聞社 高橋健三	書簡	180×358		
439		西川鉄次郎書簡						38	
	1	(マルセイユから英国までの旅の様子、英国の気候について)河上・杉浦に面会、其他は未だ今朝御出面に預り大謝、御息様御病氣之由困難に存候、拜眉にて相談に願度義に付	明治13年1月8日	パデントン 西川鉄次郎	木挽町 高橋健三	書簡	189×269		消印 東京明治13年2月27日 罨紙2枚
	2		明治14年9月15日	西川鉄次郎	木挽町 高橋健三	書簡	110×69		虫損小 別封筒に文面を書いている
	3	英文(50円借用願ひ)	明治14年10月2日	T. Nishikawa	木挽町 高橋健三	書簡	206×261		汚れ 虫損
	4	過日和亭先生に御願の物可成丈け急に出来候様希望候、貸家は芝田町に出る辺に有之に先達て御話申上候漢学先生の義は日曜日2時間程来教を依頼に付相談被成下度	明治14年10月9日	白金志田町 西川鉄次郎	木挽町 高橋健三	書簡	156×549		色移り 虫損小
	5		明治14年10月10日	志田町 西川鉄次郎	木挽町 高橋健三	書簡	156×626		色移り 虫損小
	6	過刻差上候法学会討論問題中長崎すべて神戸と御改正被下度候	明治15年3月24日	西川鉄次郎	木挽町 高橋健三	葉書	142×91		
	7	御依頼を篤と勤考仕り候処御内情を推察仕り翻訳は保険法丈御手伝仕り候	明治16年9月16日	牛込新小川町 西川鉄次郎	日本橋区坂本町藤本次 左衛門方 高橋健三	書簡	156×736		水濡れ変色 カビ
	8	昨日中学校教員養成の訳文と反訳相成候3、4枚を加ひ差出検印に付	明治17年7月28日	牛込新小川町 西川鉄次郎	京橋区南紺屋町 高橋健三	書簡	154×1011		変色 カビ
	9	病人の御見舞い之印にコンデンスミルク2缶御笑納被下度、法学士院に御推選に付御承知置	(明治18年)2月11日	西川鉄次郎	上二番町 高橋健三	書簡	163×375		幸便 水濡れ変色 カビ もろけ
	10	(解読不能)	明治18年3月1日	西川鉄次郎	上二番町 高橋健三	書簡	155×?		水濡れ圧縮板状 封筒破損大

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	11	相馬氏購読の英国の法律雑誌題名は如何と申す哉、条約改正一件に付	明治20年9月25日	広島大手町 西川鉄次郎	麹町区官報局官舎 高橋健三	書簡	181×746		消印 東京明治20年9月29日 糊剥離
	12	批評月報御患贈有難奉謝候、奥宮正治氏加入の件、宮崎氏印刷事業の件、大隈伯施政上方	明治21年2月19日	広島大手町 西川鉄次郎	官報局 高橋健三	書簡	182×925		消印 東京明治21年2月23日
	13	此程京阪地方へ御旅行の由、小生は12日午後有馬に入湯に付御巡回の程希望仕り候	明治21年8月5日	広島県広島大手町 西川鉄次郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	168×856		消印 東京明治21年8月10日
		小生は何時でも神戸なり大坂なりへ罷出候	(明治21年8月5日)			書簡	168×144		1-439-13の追伸か
	14	官報にて此程仏国御出張拜命の趣に接し万事好都合と奉察候、御発足に付相伺度	明治23年2月18日	広島県広島区塩屋町 西川鉄次郎	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	183×711		消印 東京明治23年2月22日 封筒汚れ 下部虫損 名刺5枚入
	15	縁家の者家計困難に付官報局にて欠員御届候はば御採用相願度別紙相添御依頼候	明治24年2月7日	牛込区柳町 西川鉄次郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	179×445		下部変色・カビ・虫損
	16	三橋借家の一条に付	明治25年8月3日	鎌倉郡西鎌倉町長谷津 田伊三郎方 西川鉄次郎	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	181×772		消印 東京明治25年8月4日 しみ 糊剥離
	17	御話の判文理由之部文け謄写及送付候	明治25年10月25日	牛込砂土原町 西川鉄次郎	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	163×229		水濡れしみ・カビ汚れ 色移り 封筒破損大
	18	私立学校開申書若検閲不相成候はば夫々検閲に付御報希望仕り候、東京法律学校規則中校則之分に付	1月14日	西川(鉄次郎)	高橋(健三)	書簡	162×593		封筒欠 しみ変色 もろけ
	19	仙台藩立学校書類報告局より至急返済之義申来候に付返却可被下候	1月16日	西川(鉄次郎)	高橋(健三)	書簡	164×439		封筒欠 しみ変色 虫損 糊剥離
	20	付県立学校表調整相成表掲載に付別紙之通調候御考量被下度	1月19日	西川(鉄次郎)	高橋(健三)	書簡	165×461		封筒欠 しみ変色 虫損 糊剥離
	21	令嬢御病氣は如何に候哉、山下氏よりポイント万国公法借用之旨申越に付件の者へ御渡今朝御話之件中島氏に相談候処同氏は辻氏に相談候に付承知可被下候	2月3日	西川鉄次郎	高橋健三	書簡	164×516		幸便 しみ変色 糊剥離
	22	明日御来示之趣委詳承知仕候、貴君出張の風説も有之に付月報の発行の決定候様致し度	2月13日	西川(鉄次郎)	高橋(健三)	書簡	165×665		封筒欠 しみ変色 糊剥離
	23	別紙昨日御回し書類藤田氏に一読を請候、卵巣病は開業医士の参考には相成可と	3月3日	西川(鉄次郎)	高橋(健三)	書簡	164×371		封筒欠 しみ変色 もろけ
	24	病院患者表当年7月分迄官報に掲載、其後の分掲載方に付御勘考の上尊意御示被下度	10月3日	西川(鉄次郎)	高橋(健三)	書簡	165×527		封筒欠 しみ汚れ 前欠
	25	山口昇館の件別紙之通差候、林・増山賞与の義は小生より両局長に内談、教育雑誌相談の付県立学校の件付箋之通取調候に付御検閲被下度	11月10日	西川(鉄次郎)	高橋(健三)	書簡	160×800		封筒欠 しみ変色 虫損 糊剥離
	26	別冊教育会雑誌御回付に及候、其内商人教育論は返信地方不明に付相談仕り候	12月20日	西川(鉄次郎)	高橋(健三)	書簡	164×712		封筒欠 しみ変色 糊剥離
	27	別冊教育会雑誌御回付に及候、其内商人教育論は返信地方不明に付相談仕り候	21日	西川(鉄次郎)	高橋(健三)	書簡	165×604		封筒欠 しみ変色 糊剥離 虫損
	28	別冊教育会雑誌御回付に及候、其内商人教育論は返信地方不明に付相談仕り候	22日	西川鉄次郎	高橋健三	書簡	176×986		幸便 しみ変色 カビ
	29	別冊教育会雑誌御回付に及候、其内商人教育論は返信地方不明に付相談仕り候	26日	(西川鉄次郎)	(高橋健三)	書簡	165×288		封筒欠 しみ変色 糊剥離
	30	別冊教育会雑誌御回付に及候、其内商人教育論は返信地方不明に付相談仕り候	26日	西川鉄次郎	高橋健三	書簡	165×645		幸便 しみ変色 カビ
	31	別冊教育会雑誌御回付に及候、其内商人教育論は返信地方不明に付相談仕り候	29日	(西川鉄次郎)	(高橋健三)	書簡	163×459		封筒欠 しみ変色 糊剥離 虫損
	32	別冊教育会雑誌御回付に及候、其内商人教育論は返信地方不明に付相談仕り候	10月2日	西川鉄次郎	高橋健三	書簡	165×810		

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		救荒植物は13送致来候、次は凶歳の人民悲嘆、その次にて大尾とし度掲載方御取計被				書簡	163× 278		1-439-32に同封 朱書
		船中より御遣相成候御状鈴木氏へ相托し候、本日拜謁に罷出候処御不在に付	10月2日	辻村 八平	佐藤 甫	書簡	243× 325		1-439-32に同封
		御書中に別紙付達に付持参可仕候処御使にて指上候条御検閲被下度	2日	佐藤 甫	高橋健三	書簡	140× 152		1-439-32に同封
		糸女の件、高橋君に於て呼び寄る意無之上は本人の出京を止るは難事には無之に付	明治17年9月30日	大阪文部省中学校 山崎 口重	京橋区弥左衛門町 佐藤 甫	書簡	163× 1466		1-439-32に同封 消印 東京明治17年10月2日封筒上部欠
	33	文部省改革の次第(以下解説不能)		(西川鉄次郎)	(高橋健三)	書簡	161 × ?		封筒欠 しみ変色 虫損板状剥離不能
440		西沢有助書簡						1	
		山田・浜口・大竹・萩野左門も当選など喜悦之至りに候、先日来御考慮煩わし候之こと有之に	明治31年3月	築地 西沢有助	相州小田原町御別邸 高橋健三	書簡	181× 1688		消印 小田原明治31年3月17日 糊剥離
441		西川俊治書簡(鉄次郎父)						1	
		二男鉄次郎より別封到来仕候間差上候	明治13年1月10日	白金志田町 西川俊治	木挽町 高橋健三	書簡	161× 174		虫損小
442		西河道鐵書簡						1	
		近衛将校の儀御蔭を以て緒方参謀官に面会仕候	明治28年1月30日	芝区南佐久間町 西河道鐵	京橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	182× 439		封筒汚れ小
443		西村(邨)時彦書簡		西村(邨)時彦				6	
	1	御不在中新聞之方仕合に御座候、川那辺兄への御書状展覧為見鄙情を慰め申し候、時下見	明治28年10月4日	大阪市北区中之島大阪朝日新聞 西邨時彦	静岡県興津千年家 高橋健三	書簡	183× 1009		消印 興津明治28年10月5日
	2	去月28日上野・池辺・川那辺との会議は川那辺氏御話の筈、東朝根本的革新の一端も行わ	明治30年8月9日	赤阪区仲之町 西邨時彦	相州小田原万年町 鈴木方 高橋健三	書簡	179× 1022		消印 小田原明治30年9月10日 水濡れ色
	3	昨日は久々にて拝眉御快方にて大慶に候、今日は雑報取消かたがた一文を掲載仕候	明治30年9月21日	赤阪区仲之町 西邨時彦	相州小田原万年町 鈴木方 高橋健三	書簡	165× 821		消印 小田原明治30年9月21日 汚れ・色移り・カビ
	4	此度辞表御呈出相成候由、為国家為現内閣如何千万奉存候、東京朝日の賓客として御指揮	明治30年10月8日	赤阪区仲之町 西邨時彦	相州小田原万年町 鈴木方 高橋健三	書簡	179× 1044		消印 小田原明治30年10月10日 色移り
	5	新年之御祝儀申納候、小生去24日当地着2月下旬に帰朝に御座候	明治31年1月1日	清国漢口日本人倶楽部 西邨時彦	神奈川県小田原万年町 鈴木方 高橋健三	書簡	234× 315		消印 小田原明治31年1月12日 罨紙2枚
	6	今朝記事一見怪訝之至に存、文部省担当者に面会し詰問仕候、上野氏に先生よりも御話		(西邨)時彦	高橋(健三)	書簡	184× 1058		幸便 汚れ しみ 虫損小 糊剥離
444		西村茂太書簡						1	
		在京中は御厚情に与り奉万謝候、13日拜命の仕事に付幸慶の至に御座候	明治17年5月16日	横浜宮崎町 柴田方 西村茂太	京橋区南紺屋町 旧弘法館跡 高橋健三	書簡	168× 668		糊剥離
445		二宮辰次郎書簡						4	
	1	此度辞職相願候処御許容被成下難有奉存候御帰京被遊候趣に付国華第39号御送付不致、今般試摺1枚御送申候	明治24年7月15日	伊予宇和島 二宮辰次郎	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	180× 664		消印 東京明治24年7月19日 虫損小
	2	親口画伝の件は博物館へ御依頼取調中に付御了承被下度	明治25年12月30日	日本橋区両国吉川町国華社 二宮(辰次郎)	高橋(健三)	書簡	182× 407		
				(二宮辰次郎)	高橋(健三)	書簡	182× 232		
	3	国家挿画と普賢菩薩木版摺長尾先生要用に付此使に御渡被下度	5月13日	(二宮辰次郎)	高橋(健三)	書簡	165× 341		封筒欠
446		欠番							
447		沼上龍一書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
448		新年宴会之儀青木氏と御相談迄御決定有之度奉存候	明治16年	上六番町 沼上龍一	駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	243×343		
		沼田宇源太書簡						2	
	1	此地天氣と相成万人愁眉を開き候に付必御来遊之程奉願候	明治29年8月5日	羽後横手 沼田宇源太	駿河国興津町千歳屋 高橋健三	書簡	169×628		消印 興津明治29年8月8日 封筒破れありしみ 糊剥離
449	2	本月下旬には出京仕候に付御高話伺度、秋田の同志者山田氏の立候補に付御心配蒙難有根本行任書簡	明治31年 3月5日	本郷区東大竹町 沼田宇源太	相州小田原字山王 高橋健三	書簡	159×3145		法律事務所用封筒 糊剥離
		昨年秋田市にて御兼約願候秋田藩士大井家家譜知人より郵送に付差上候に付	明治30年1月14日	羽後北秋田郡大館町 根本行任	糺町区永田町 高橋健三	書簡	183×513		消印 東京明治30年1月17日 糊剥離 書留
		数月前御出社之際御依頼相成りたる大井家系譜写之件落手に付入手被下度 (大井家家譜写)	(明治29年)12月15日	根本源小兵衛		書簡	198×1040		糊剥離
450		野口本之助書簡及び広告原稿						1	
		友人和田守氏発明の記憶法の披露被成下度奉願上候	明治28年4月30日	京橋区宗十郎町 野口本之助	大坂市 大坂朝日新聞社ニテ 高橋健三	書簡	168×1426		消印 大阪明治28年5月2日 不足郵便税4銭請求書共 汚れ 中
		和田守氏の記憶術(原稿)				状	281×400		
451		記憶学上ノ一大新説	明治28年3月	発明者 和田守菊次郎 外3名		状	241×365		印刷物
		野宮 茂書簡						1	
		過日之烈風近来稀なるものの由に付御見舞申上候	9月14日	上州前橋曲輪町 野宮茂	麴町区永田町 高橋健三	書簡	179×591		消印 下谷明治□□年9月15日配達関係の付箋2枚 しみ変色
452		野村 肇書簡		野村 肇				3	
	1	写字等此方にて浄書為致其上にて供貴閣に付参館仕度小生方迄報知願上候	明治14年8月2日	芝区三田綱長 野村肇	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	236×116		
	2	御論説に少々文字を加え申に付御検閲被下、御筆を入れ被下候様奉願上候	明治14年8月7日	芝区三田綱長 野村肇	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	236×116		色移り しみ
453	3	御紹介状 入社人仏国法律学士 栗塚省吾	明治14年10月27日	神田万世橋内国文社本店 野村 肇(志林編輯)	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	244×164		神田国文社用箋・封筒 中損小
		野村新作書簡						1	
		迂生学費の義に付御尽力被下奉厚謝候	明治31年7月4日	神田淡路町 野村新作	相州小田原山王原 高橋健三	書簡	182×239		消印 小田原明治31年7月5日
454		野村鈴吉書簡						1	
		先般来阪の節当地に東京電報販売店開設の御談に付御配慮相成度、尊兄御罹災之時計一	明治21年10月24日	大坂土佐堀通 野村鈴吉	紀尾井町内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	154×716		消印 東京明治21年10月27日 汚れ 中損
455		野村 菱書簡						1	
		官報にて御辞職相濟候事承大慶仕候、此際は御英断の方至当之儀と相談し申候	明治30年10月9日	牛込区弘方町 野村菱	麴町区永田町 高橋健三	書簡			内幸町1丁目転居票添付 色移り しみ
456		萩原朝之介書簡						1	
		(坪内・鶴原・前川・中原の追加書込み用原稿)	6月5日	萩原朝之介	高橋健三	書簡	164×281		幸便 封筒汚れ・しみ
		法学士ノ部、文学士ノ部(役職・捧給一覧名簿)				状	276×401		文部省罫紙2枚

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
457		橋下源太郎書簡						1	
		亡安東清人氏記念碑御揮毫被下候様御願の件、御出来の節は大蔵省主税局へ御報相願度	(明治21年)9月26日	橋下源太郎	高橋(健三)	書簡	164×785		幸便 汚れ 中損 糊剥離
458		橋下友太郎書簡						1	
		本年4月中尊君外3名御連借にて用立の金円に付本月3日迄に延期証書遣旨之処御送付無	明治17年6月5日	四谷東信濃町 橋下友太郎	京橋区南紺屋町 高橋健三	書簡	139×1012		色移り
459		橋本言衛書簡						1	
		結局如何御取計被下候哉、御約束文は御確守被下候様致度回報被下度	明治25年2月25日	麹町区上二番町 木下方 橋本言衛	麹町区元衛町官報局官舎 高橋健三	書簡	176×467		
460		長谷川辰之助(二葉亭四迷)書簡						2	
		辰巳君より別紙書面到来致候、不取敢入御覽候		神田錦町 今井館 長谷川辰之助	大手町官報局官舎 高橋健三	書簡	255×170		
		昨日太田来り月評売捌之模様や永統方に付承り、同人御相談の為今日高橋君へ罷出候心		(辰巳重範)		書簡	164×430		後欠 封筒欠
461		畠山重明書簡						11	
	1	法学会条例同僚中へ分配致候処既に伊東・大森の両人入会の筈に付、条例入用に付明朝持	明治13年1月28日	内務省取調局 畠山重明	木挽町 高橋健三	書簡	156×757		汚れ しみ
	2	法学会へ加入の人名并住所左之通御座候	明治13年2月10日	水島町 畠山重明	木挽町 高橋健三	書簡	157×653		糊剥離
	3	法学会役員被選者之儀は御断申上候、氏家楨介も同様断致旨御通達申上候	明治13年2月24日	畠山重明	木挽町 高橋健三	書簡	240×324		
	4	御談義之石川県一条は折角の御好意ながら見合之積に決定致候、為念由布方へ申遣置に御約束の3品(水晶玉・蒔絵箱・古鏡)鑑定致候	(明治19年)12月9日	ゆしま天神町 畠山重明	駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	150×876		
	5	処別紙之通有之、御一覽の為差出候御返却被	(明治20年)5月4日	(畠山)重明	(高橋)健三	書簡	162×560		封筒欠 しみ変色 糊剥離 虫損
		御持の2品拝見致仕時代并代価奉申上候	(明治20年)5月3日	井上梅八	畠山(重明)	書簡	148×540		糊剥離
	6	神戸赴任前一方ならぬ御配意を蒙り奉深謝候、延引御礼迄	明治21年6月14日	畠山重明	麹町区紀尾井町第1号官舎 高橋健三・奥様	書簡	166×884		
	7	金70円発送の電報一昨夜到達、昨日現金受取申候	明治21年10月3日	神戸阪本村司法省官舎 畠山重明	麹町区紀尾井町内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	222×124		消印 東京明治21年10月5日 虫損小
	8	宿患は如何、時計一条は大坂府警部長へ依頼すべく心得、野村に万事托候ほか	明治21年10月21日	神戸区阪本村司法省官舎 畠山重明	麹町区紀尾井町内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	157×819		消印 東京明治21年10月23日 糊剥離
462		別封御届申上候	8月21日	神戸市阪本村司法省官舎 畠山重明	奈良市奈良町中筋 藤田隆三郎方 高橋健三	書簡	223×124		幸便 汚れ 中損
	10	藤川出京の幸便に任せ別紙計算書并残金御届け申上候、別封郵書は奈良の方へ御送付可	10月12日	神戸 畠山重明	東京 高橋健三	書簡	174×629		幸便「託藤川君」汚れカビ 虫損 しみ
462		蜂須賀茂韻書簡						2	
	1	次官転任、新次官任命之儀は本日御裁可之手続には至り不申候哉如何、何分之御答折返し奉希候	(明治30年)4月16日	蜂須賀茂韻	内閣書記官 高橋健三	書簡	184×510		幸便 文部省用封筒「文部省文書課 使528号」「急使」
463		文部省臨時政務調査委員牧野・木場兩人退職に不都筑文部次官に御命し相成度	(明治30年)7月1日	蜂須賀茂韻	麹町区永田町官舎 高橋内閣書記官長(高橋健三)	書簡	183×408		幸便 文部省用封筒「文部省文書課 使11号」「急使」 しみ変色 虫損
		服部 直書簡						1	
		原稿用紙数百葉差送候に付原稿用紙3葉即1回分凡70行内外に相成ます様御認方郵送奉	(明治22年)1月5日	西京 服部 直	内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	182×665		幸便

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考	
464		鳩山和夫書簡						4		
	1	本日午後4時より築地寿美屋にてテリ一先生叙勲之祝宴相關に付御來臨被下度	3月22日	鳩山和夫・穂積陳重・山田喜之助	高橋健三	書簡	167×708		幸便 しみ変色	
	2	書面の趣敬承、昨夜夜明かしいたしに付明日川田氏訪問の心算に御座候	6月1日	鳩山和夫	高橋健三	書簡	178×590		幸便	
	3	御書面の□□□会之義至極御同意に付三崎氏へ伝達仕候	6月17日	鳩山和夫	高橋健三	書簡	168×351		幸便 虫損小	
4	平野氏は知人にて国会新聞の志賀氏に御紹介被下度	9月6日	鳩山和夫	高橋健三	書簡	181×840		幸便「托平野氏」糊剥離		
465		花井卓蔵書簡・葉書						4	葉書含む	
	1	新報之義に付合川氏より別紙之通り申越頗る当惑仕候	明治25年12月16日	仲猿楽町 花井卓蔵	北豊島郡日暮里村字金杉高橋健三	書簡	250×338			
		照会の件に付	明治25年12月11日	合川正道	神田中猿楽町 花井卓蔵	葉書	141×90			
	2	拝借仕候独逸民法学寮口源返上仕に付	7月20日	花井卓蔵	高橋健三	書簡	161×511		幸便「別冊相添」変色	
3	歸途法学院に渡辺を訪ひ御命令の通り伝暢仕置候、合川氏へ昨夜書面差出原稿の義依頼仕候、民政論続稿の写し及び社説、民政論の件	11日	(花井)卓蔵	高橋(健三)	書簡	190×670		しみ変色 封筒上書「民政論続稿 法の弊」		
466		浜尾 新書簡						78		
	1	事務局の方遷引に付神鞭氏へ催促状差出置候処別紙之通り申越候	明治11年3月9日	小石川金富町 浜尾新	久松町 瀧和亭方にて高橋健三	書簡	161×523		しみ	
		追伸 神鞭氏の書中の局長の言の件は小生河瀬氏に面会相頼候節申上置次第に付					書簡	161×276		
		出張被命に付出発前快答申上度旨局長に相談致候に付、貴言を局長に相示御答に付	(明治11年)3月5日	(神鞭)知常	浜尾(新)	書簡	167×1221			
	2	文部省報告課より別紙回答有之御承知可被成候	明治11年10月29日	大学 浜尾 新	蛸殻町巴屋方にて高橋健三	書簡	166×334			
		英国憲法原稿落手仕候、訳課へ御渡の件に付				書簡	160×348			
	3	彼件神鞭氏より別紙の通り申越候に付	明治12年5月27日	小石川金富町 浜尾新	浜町相模屋鉄五郎方高橋健三	書簡	159×385		しみ 変色 糊剥離	
		高橋君は当局へ乞申度、金の処都合故月給40円にて乞度に付	(明治12年)5月27日	(神鞭)知常	浜尾(新)	書簡	160×904			
		高橋君の義に付伺貴意候処河瀬氏より御都合御見込之程御伺可申様被申に付	(明治12年)5月30日	神鞭知常	浜尾(新)	書簡	160×492			
	4	別紙河瀬局長よりの答書御廻申上候	明治12年(5)月17日	浜尾 新	浜町相模屋鉄五郎方高橋健三	書簡	166×219		封筒汚れ・破損 虫損	
		神鞭士より依頼仕候仏学士の義に付	(明治12年)5月15日	河瀬秀治	浜尾(新)	書簡	162×864		糊剥離	
		高橋氏の事、本人へは御來書之旨相示、少々再考すへき由確答の義は両3日猶予致候様申	(明治12年)5月30日	(浜尾)新	神鞭(知常)	書簡	165×1557		虫損小 糊剥離	
		既に拝命のよし大礼に候、神鞭士より貴訳書類返付相成候間御返申上候	(明治12年)6月6日	(浜尾)新	高橋(健三)	書簡	160×434		虫損小	
高橋君は一要務の地に御拜命の趣に付先づ結構な事に御座候		(明治12年)6月3日	神鞭知常	浜尾(新)	書簡	167×707		虫損		
5	駅通局の会計検査に付御一報被下度	明治12年9月26日	一ツ橋外大学 浜尾新	木挽町 高橋健三	書簡	166×369		糊剥離		

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	6	大野氏の事云々の御内問小生も諮問被成候、司法卿には法学卒業生を採用致度云々相談	明治13年6月14日	小石川金富町 浜尾新	木挽町 高橋健三	書簡	183×596		
	7	大野氏も裁判官志願に候に付採用可致旨遂に決定致し次第に付駅通局の方御断申上候	明治13年6月30日	小石川金富町 浜尾新	木挽町 高橋健三	書簡	183×717		
	8	御倚頼に及び置候倉備登載謄写の件多謝の至候、文部より囑託相成候英国憲書の繙訳修	明治13年12月5日	小石川金富町 浜尾新	木挽町 高橋健三	書簡	167×553		糊剥離 虫損小
	9	別封生の書状共々御廻申上候、昨日相談の結果他家屋に係る例は除き別紙之通り改作致候別紙は鈴木に相認候もの、直に高橋へ御まわし被遣度	(明治15年6月)20日	文部省 浜尾 新	木挽町 高橋健三	書簡	163×747		汚れ しみ
		結果他家屋二係ル例即チ猶以下ハ削除シ左ノ如ク改作ス	(明治15年6月)20日			書簡	160×467		糊剥離
		(穂積氏付箋○印)「学校設立当所ノ」ノ文字ニ…				状	163×297		朱墨 糊剥離
		(穂積氏付箋△印)彼レ若シ本文ニ答ヘテ…				状	158×280		
						状	159×333		
	10	眼病医師来診の為会議の模様依り罷出度存候、独逸公使へ返書の儀に付九鬼少輔より独逸公使への返書に付催促を受け困却致候、調査行届き兼故障有之候哉	明治15年12月24日	小石川金富町 浜尾新	文部省 高橋健三	書簡	156×1131		汚れ カビ 糊剥離
			(明治15年)12月24日	(九鬼)隆一	(浜尾)新	書簡	163×682		汚れ カビ 糊剥離
	11	杉浦は両三日所勞にて引籠居候間宅へ御廻相成候はば校正可相計哉小沢にて可差出哉都	(明治15年) 月9日	浜尾 新	高橋健三	書簡	162×365		幸便 変色 しみ 糊剥離
	12	直接続稿一覽いたし度趣に付可成は草稿のまま御持参候哉、少輔より御問合致候様被申候	(明治15年) 月10日	浜尾 新	高橋健三	書簡	179×438		幸便 しみ カビ 朱墨
	13	写字生云々御申越之趣敬承候	(明治15年) 月14日	浜尾 新	高橋健三	書簡	163×175		幸便 しみ 朱墨
	14	中絶候様の事も到来候ては折角の駁論も弱を示すのみならず日報社に対しても心配致仕られ候に付、稿案も一閱を要し手間取候間速に	(明治15年)	文部 浜尾 新	木挽町 高橋健三	書簡	163×755		幸便 しみ 朱墨 糊剥離
	15	文部の方辻氏とも心配致し、一先外務に入り時機を図り在外公館に赴き御見聞便宜とも被	明治21年2月19日	小石川金富町 浜尾新	紀尾井町第1号官舎 高橋健三	書簡	153×535		変色 色移り 封筒破損 下部もろけ
	16	近頃兄には胃病の由、官報局御遠退の儀未定之由に付	明治21年7月6日	小石川金富町 浜尾新	麹町区紀尾井町第1号官舎 高橋健三	書簡	170×452		しみ 変色 糊剥離
	17	小生此際兼任之中に相成候に付早速御懇書を以て御祝口被感激致候	明治22年12月28日	小石川金富町 浜尾新	紀尾井町 高橋健三	書簡	164×445		
	18	欧州行御拜命之趣殊に御繁忙と奉察候、送別会の催し岡倉氏等と晩饗を共にし度日時御示	明治23年2月15日	小石川金富町 浜尾新	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	176×485		糊剥離 折目もろけ
	19	御帰朝後御不例之趣に付、仏国より御持返の塑像の件、久保田讓氏は9日桑港発船に乗込	明治23年10月26日	小石川金富町 浜尾新	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	179×602		しみ 変色 糊剥離
	20	例の件好都合に付、巴里にて開催の錦画展覽会目録暫時拝借閲覧に付、転地療養之程	明治23年12月29日	小石川金富町 浜尾新	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	181×708		
	21	御発行の御用意御繁忙の由何日頃御出発相成候哉、明日の件は他日に相延し候方然歟と	(明治23年) 月18日	文部省 浜尾 新	麹町区紀尾井町官舎 高橋健三	書簡	171×497		幸便 封筒印「専・急使」文部省用封筒
	22	矢田部氏の事に付御内談の次第一寸申上置候	明治25年3月27日	浜尾 新	麹町区元衛町官報局官舎 高橋健三	書簡	181×410		

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	23	本学史料編纂委員文科大学助教授三上参次御参届の上内閣記録局より借用の書籍修史館より引続貸用方御相談御配意被下度候	(明治30年)4月5日	浜尾 新	高橋書記官長(健三)	書簡	178×634		幸便 封筒上書「文科 大学助教授三上参次 氏持参」 帝国大学用 封筒 糊剥離
	24	内閣にて御面会の節咳疹よろしからざる様見受其御如何哉、近傍海辺にて療養相成度	明治30年4月12日	小石川金富町 浜尾 新	永田町 高橋健三	書簡	181×788		封筒汚れ小 糊剥離
	25	大隈伯へ御面談相成候は、其模様一寸御示し被下度候	(明治30年)4月13日	浜尾 新	高橋書記官長(健三)	書簡	181×502		幸便 しみ小
	26	明日京都へ御出張可相成趣此際例の件に付御配慮の次第感謝之至候、神鞭氏も注意仕候	(明治30年4月)17日	浜尾 新	高橋健三	書簡	181×495		幸便
	27	例の件文部のみならず外務より提案相成儀に候哉、昨朝隈伯へは大体申上相談に付御一報被下度	(明治30年4月)	浜尾 新	高橋内閣書記官長(健三)	書簡	184×554		幸便 帝国大学用封筒
	28	呉々当分ハ御療養専一にて自適、速に御快愈之程、肺患重症の新保盤次氏の空気療法等の	明治30年10月11日	小石川金富町 浜尾 新	相州小田原万年町鈴木 方 高橋健三	書簡	181×1663		消印 小田原明治30 年10月13日
	29	石川氏には過日本人へ面談の上安心之趣被申候に付其儘にいたし置候次第にも有之	1月25日	浜尾 新	高橋官報局長(健三)	書簡	174×599		幸便 封筒上書「専・ 急便」 文部省用封筒 しみ変色 虫損
	30	久保田氏宅調之事故承候	2月12日	浜尾 新	高橋健三	書簡	179×367		幸便 封筒計算書あり しみ変色
	31	至急御面談仕度件も有之過刻参場可仕存候、合川氏之事配慮致候ても不得已儀に付	4月9日	浜尾 新	麹町区元衛町1号官舎 官報局長(健三)	書簡	181×616		幸便 封筒上書「専・ 急便」 文部省用封筒 しみ変色 折目もろけ
	32	木村匡現今宮城及山梨新聞の記者に付文書局等適応の位置も有之候は、御配慮被下度	4月21日	浜尾 新	文書局 上二番町 高 橋書記官(健三)	書簡	161×621		幸便 封筒上書「木村 匡氏持参」 封筒下部
	33	貴稿按の件今晚中特に謄写御入印に被下候に不及候	5月1日	小石川金富町 浜尾 新	木挽町 高橋健三	書簡	169×345		幸便 しみ変色(カビ)
	34	合川氏之事其後如何、佐野氏井上氏は不快の由にて面会相見合に付、不日両氏に面会に付(法典論争)	5月3日	浜尾 新	高橋官報局長(健三)	書簡	174×726		幸便 封筒上書「専・ 急便」 文部省用封筒 しみ変色 虫損 折目 もろけ
	35	西川氏之事に付御書翰の趣承知候、文部省へ具陳仕候処承領被致好都合、明日にも上申書被差出候様御取計被下度	5月4日	文部省 浜尾 新 小石川金富町 浜尾 新	高橋書記官(健三)	書簡	163×583		幸便 封筒上書「別封 添」 変色
	36	別紙之通り回答有之候間御一覽に供し候 第13年改御入用之趣に付決済後手分致しに付 今後の御需には応し兼候	(明治13年)5月16日 (明治13年)5月16日	小林小太郎	木挽町 高橋健三 広尾専門学務局長	書簡 書翰	167×300 166×244		幸便
	37	写字生御入用に候は、岡田を呼寄相成、杉浦へも校訂等御托相成度	6月30日	浜尾 新	木挽町 高橋健三	書簡	164×550		変色 しみ 糊剥離
	38	合川氏之事御同様心配致度御申越之通、今回農商務大臣新任に付佐野子には内托申込存	7月12日	浜尾 新	官報局 高橋局長(健三)	書簡	181×570		幸便 文部省用封筒 しみ変色
	39	秋元子爵より御案内を蒙、小生他に差支有之次第に付遅刻早退御許容相成様御取計被下	7月23日	(浜尾)新	高橋健三	書簡	186×695		幸便 文部省用封筒 糊剥離 虫損小
	40	過般御はなしの件は既に九鬼氏へ相談、久保田氏へも相談之儀も有之候	7月31日	浜尾 新	高橋健三	書簡	178×428		幸便 変色 しみ(カビ) 糊剥離
	41	御動静如何哉、一ポジション其辺に付御内話致度存候	10月24日	(浜尾 新)	高橋(健三)	書簡	164×367		幸便 しみ 変色

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
42		□□明朝御廻し被下候は、都合よく、御出勤掛にて鳥渡文部省迄御立寄被下候は、幸甚	11月8日	文部省 浜尾 新	木挽町 高橋健三	書簡	163× 457		幸便
43		例の件既に御内諾相成候哉、生より局長・課長へ相話候義は容易に候へとも被断候は、夫	11月18日	文部省 浜尾 新	農商務省商務局 高橋健三	書簡	167× 328		幸便 虫損
44		御来局之処生憎緊急の取調に掛に付、別紙久保田鼎氏の為調両法書一覽御返戻仕候	12月12日	小石川金富町 浜尾 新	官報局官舎 高橋健三	書簡	164× 576		幸便 しみ 変色 上部もろけ
45		岡倉氏の件近日申上置候次第にて、本年も費途多端にて300円位は出来候哉と存候に付 … 三伸□□案は可成金之あり目方有る方可	12月24日	小石川金富町 浜尾 新	官報局官舎 高橋健三	書簡	180× 590		幸便
46		岡倉氏の金の分昨日出来に付久保田に回送いたし度に付、商業学校の件一寸承候向に付	12月29日	文部省 浜尾 新	商務局 高橋健三	書簡	172× 603		幸便 しみ変色 虫損 折目もろけ 糊剥離
47		Amos' Science of Low 右御廻し申上候、他の2書は無之に付穂積氏へ申送候	2日	文部省 浜尾 新	木挽町 高橋健三	書簡	179× 269		幸便 しみ 変色(カビ) 糊剥離 封筒上書「洋書一冊添」
48		学習院研修科課程催促被致候間月曜日暫時御出荷被下度	2日	(浜尾)新	高橋健三	書簡	159× 272		幸便 朱墨 付箋157×30此の書簡と関係なしか
49		本日よりクロート氏教育学講義を相始候間聴講相成ては如何、例の御取調物は相帰候哉	2日	浜尾 新	高橋書記官(健三)	書簡	159× 354		幸便 糊剥離
50		例の再駁書御取調之模様は如何哉、上局にて心配仕られ御尋いたし呉様少輔より被申	2日	文部省 浜尾 新	木挽町 高橋健三	書簡	178× 465		幸便 しみ 変色(カビ) 朱墨
51		高等商業学校会合談儀之儀貴兄は御差支無之哉	4日	浜尾 新	官報局長 高橋健三	書簡	172× 586		幸便 文部省用封筒 しみ 変色
52		例之御調案本日御持参可相計候哉、写字生之事は御都合如何哉	5日	浜尾 新	高橋健三	書簡	162× 210		幸便 しみ 変色 朱墨
53		御取調の商務を少輔及穂積氏と相談之上為極め致旨少輔より被申候に付	5日	文部省 浜尾 新	木挽町 高橋健三	書簡	176× 319		幸便 しみ 変色
54		中央衛生会入会の儀に付	6日	浜尾 新	高橋官報局長(健三)	書簡	174× 391		幸便 封筒上書「専・急便」文部省用封筒 封筒上部欠 折目もろ
55		九鬼少輔石川・新潟両県下巡視として出発に付送別会相催度、貴兄幹事に付御承知可被下	7日	浜尾 新	駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	159× 561		幸便 朱墨
56		例之件に涉り少輔には退省被見合候間即刻御出省相成度候	8日	文部省 浜尾 新	木挽町 高橋健三	書簡	161× 250		幸便 封筒上書「御在宅之有無も御報有之度候也」
57		御不在之旨承知、明朝御出省の節原稿御持参相成度旨少輔より被申候	8日	文部省 浜尾 新	木挽町 高橋健三	書簡	161× 299		幸便 しみ変色 虫損
58		写字生之事例の書物は間合候へとも何国人の著に候哉も不相知候間今日にも取調旨申越候	10日	浜尾 新	高橋健三	書簡	163× 485		幸便 しみ 色移り
59		明夜参館仕候、例の事辻氏は一昨日参事院に福岡議長面会、稍不審にも被存に付為念申上	12日	浜尾 新	官報局官舎 高橋健三	書簡	161× 478		幸便 しみ変色 虫損 文部省用封筒
60		例の件局長辺へ御内談之模様如何哉	15日	文部省 浜尾 新	農商務省商務局 高橋健三	書簡	164× 326		幸便 変色
61		20日午後5時より御来遊被下度、杉村虎一氏・陸実氏へも御送置に付	17日	小石川金富町 浜尾 新	麹町区元衛町官報局官舎 高橋健三	書簡	181× 608		消印有 しみ 書翰折目もろけ 一部欠損
62		御回報之趣敬承候、先以御内談相成模様之由、貴兄より局長に御咄相成候ても可然存候	19日	文部省 浜尾 新	農商務省商務局 高橋健三	書簡	168× 492		幸便 しみ 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	63	続稿は明朝9時半迄に該社へ送らするを得ずる儀に付可成速く御送致被下度	20日	文部省 浜尾 新	木挽町 高橋健三	書簡	162× 464		幸便 しみ変色 封筒 破損大
	64	別冊一覽大抵宜敷可然御取捨被下度、生は諮問会陳述の様一覽のため臨席可致候	20日	浜尾 新	高橋健三	書簡	161× 675		幸便 しみ 封筒上書 「大至急」
	65	昨夜は徹夜御取調之趣、明日の分も脱稿相成度、米国学校法は御覽相成候事有之候哉	21日	浜尾 新	高橋健三	書簡	162× 789		幸便 封筒虫損 糊剥 離
	66	明日御解艦の事、4時過に新橋迄出向、今晚横浜迄出向可申し存知候、止宿所御示被下度	22日	浜尾 新	麹町区紀尾井町官舎 高橋官報局長(健三)	書簡	178× 386		幸便 封筒上書「専・ 急便」文部省用封筒 しみ変色(カビ)
	67	御話之件は明後日の会議にて、生に於て齟齬致し居り、話の要略は了承仕候	22日	浜尾 新	官報局官舎 高橋次長 (健三)	書簡	161× 344		幸便 虫損小
	68	結末之稿生一覽の上相廻し返戻に付二三氣付有之に付至急御面話いたし度御出省被下度	23日	文部省 浜尾 新	木挽町 高橋健三	書簡	178× 367		幸便 しみ変色
	69	本夕別約有之、一兩日公私用向有之候へは可成繰合可申上存候	23日	浜尾 新	高橋官報局長(健三)	書簡	173× 353		幸便 封筒上書「専・ 急便」文部省用封筒 しみ変色 虫損小 も
	70	室田氏文稿類至急入用之趣申来候間速に御返戻被下度、御はなしの件御面話可仕候	25日	文部省 浜尾 新	太政官文書局 高橋書 記官(健三)	書簡	173× 340		幸便 しみ変色(カビ)
	71	昨夜御内話の件一先御返戻一兩日中御廻被下度	25日	浜尾 新	木挽町 高橋健三	書簡	164× 439		幸便 汚れ
	72	御申越之趣知人の事故其他公私無余儀次第も有之隙を得ず、今晚は6時過には帰宅可致候	27日	浜尾 新	高橋官報局長(健三)	書簡	171× 450		幸便 封筒上書「専・ 急便」文部省用封筒 しみ変色 虫損小 糊
	73	老兄において御都合宜敷候は、明晩は繰合御待可申上候	28日	浜尾 新	高橋官報局長(健三)	書簡	178× 357		幸便 封筒上書「専・ 急便」文部省用封筒 しみ変色 虫損小 糊
	74	政党団結等明日御話申候、修正案出来穂積氏の付策も有之御出頭相成度		浜尾 新	高橋健三	書簡			幸便 しみ変色(カビ) 糊剥離
	75	舌代内陳(諸議の末先つ御用掛として採用之上本官に任する様被決次第も有之に付)				書簡	161× 478		封筒欠 しみ色移り 朱墨
467		浜岡光哲書簡						1	
		東上の砌御談話之官報之件、何時頃取扱規則御発布之御予定に御座候哉	明治21年12月25日	京都府上京区第廿一組 春常組 浜岡光哲	麹町区紀尾井町第一号 官舎 高橋健三	書簡	192× 724		消印 東京明治21年 12月27日 しみ 汚れ 虫損 糊剥離
468		浜田健次郎書簡						10	
	1	上願書(今般課長の任を辞し一課員となりて勉強致し度、願意御聞届の程奉願上候)	明治22年5月25日	浜田健次郎	高橋健三(内閣官報局 長)	状	278× 397		幸便 内閣用封筒 虫 損 汚れ
	2	家政改革を執行致し度、課長を辞して一課員となりて勉強致し度	明治22年5月25日	浜田健次郎	高橋健三	書簡	163× 1425		幸便 封筒上部欠 糊 剥離
	3	奨商会発行の商業雑誌編纂上貴蔵に係る「商人氣質」等の書籍拝借致し度由同会員中より申出候、御貸渡之程希望仕候	1月17日	神田区錦町東京商業学 校 浜田健次郎	高橋健三	書簡	159× 499		幸便 私立東京商業 学校用封筒 封筒上 書「托中村孝太郎氏」
	4	御問合せの訳語の儀「耕作限界」「最下等耕地」「最下等生産力」の語を用い顯すを得へき	3月5日	浜田健次郎	高橋健三	書簡	162× 1003		幸便 汚れ しみ
	5	翻訳料金21円拝受候、御礼受領証まで	5月5日	浜田健次郎	高橋健三	書簡	173× 586		幸便 書簡上部欠 糊 剥離
	6	例の件に就き石川氏より書状到着致し候、御一考費下度	6月27日	浜田健次郎	高橋健三	書簡	163× 635		幸便 封筒上部汚れ 内閣用封筒 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		周旋人と談判に及び期限を短縮して手数を減ずるを否むものと存候に付用否之御返事相成	(6月)26日	(石川)巖	浜田健次郎	書簡	233×173		日本橋区兜町商業電報社用箋2枚
	7	人名辞書文庫より返却請求に付御返納被下度、川田氏所用の分一両日中に取寄せ差廻す	9月13日	浜田健次郎	高橋次長(健三)	書簡	163×421		幸便 内閣用封筒
	8	井上円成氏より官報局民間広告拡張と一手取扱人採用切望に付御意見御諭示被下度	明治23年11月21日	神田区小川町 浜田健次郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	163×935		しみ 変色
	9	病気のため事務勉勵致兼公務上不都合に付辞表を呈することと為せり、代には大島氏適任	(明治23年)12月24日	浜田健次郎	高橋健三	書簡	162×1208		幸便 しみ 変色
469		早川権太郎書簡						1	
		法典実施延期意見書入用に付10部計り御遣し被下度	明治25年5月5日	京橋区日吉町 増島法律事務所 早川権太郎	高橋健三	書簡	252×180		幸便 しみ カビ 増島法律事務所印・事務用箋 法典延期関係
470		林 安宅書簡	明治25~30年	林 安宅				10	
	1	小生法学院に在りし也、拝眉の榮を賜らんを希望す	(明治25年)5月28日	神田三崎町市林方 林 安宅	神田橋内官報局前にて 高橋健三	書簡	222×306		
		過日願上置候事執事氏より出来得へからずとの事、今一度御賢慮成し下さる事出来間敷候	13日	林(安宅)	高橋先生(健三)	書簡	166×540		切封
		2個の希望先生の眷顧みに頼り達するに日あらん、杉浦先生への紹介書拝受せんとす	20日	林 安宅		書簡	146×834		
		扇子一對献上仕候、御願申上候事に付拝眉給はらんことを希望す	28日	林 安宅	高橋先生(健三)	書簡	162×352		切封
		高説ニ対スル私見				冊	223×153		2丁
	2	草稿は小生が草録せし所即ち教を乞はんとする其物なり(高説…のことか)	(明治25年10月)17日	神田三崎町市林方 林 安宅	高橋健三	書簡	166×397		幸便 虫損小
		優待を受け感謝奉候、研究の上今一度拝眉を願ひ度	(明治25年10月)10日	神田三崎町市林方 林 安宅	神田橋内官報局前 高橋健三	葉書	140×90		
	3	仕官は今回始めての事検事正の力に頼り無事奉職致居候、御病気御撰養速も全快を希望に	明治28年5月25日	北海道函館区裁判所検事局 林 安宅	大阪中ノ島 高橋健三	書簡	179×710		消印 大阪 明治28年5月29日 糊剥離
	4	興津へ御転住の趣御療養被遊度	明治29年8月20日	青森県鰺ヶ沢区裁判所検事局 林 安宅	大阪中の島 高橋健三	書簡	170×503		消印 大阪明治29年8月24日 しみ 変色
	5	御病気は奈何に御座候哉、今般依願御免官之惜事に御座候	(明治30年)10月19日	磐城平区裁判所 林 安宅	麹町区永田町 高橋健三	書簡	182×720		水濡れ 色移り
471		林 有章書簡						1	
		木場氏宅へ拝趨仕面会の上御懇請仕置候に付御礼奉申上候	明治21年5月11日	神田猿樂町 林 有章	麹町区紀尾井町内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	174×568		封筒上部汚れ
472		林 覚蔵書簡						8	
	1	御申付の古画備考3冊丈御出発前御手許へ可成差出之旨承知仕候に付	明治25年12月9日	芝愛宕町 林 覚蔵	北豊島郡日暮里村 高橋健三	書簡	180×798		
	2	賤者考其他は此上3週間位を要し、小包郵便を以て送付に付、古画備考謄写料の件	明治28年10月29日	芝桜田本郷町 林 覚蔵	駿河国興津町千歳家 高橋健三	書簡	162×975		糊剥離
		概算書(28年10月29日精算現在預り)	明治28年10月29日			状	148×343		糊剥離
	3	是非一応御見舞の為罷出度と存候、古画備考校合に付美術学校の原書に引合せの件	明治30年9月20日	麹町区元衛町 林 覚蔵	相模国小田原町鈴木方 高橋三	書簡	170×448		しみ 変色 色移り
	4	昨日小秋元君過訪被下容体快方安堵候、古画備考原本借用校合に従事に付	明治30年9月23日	麹町区元衛町 林 覚蔵	相模国小田原町鈴木方 高橋三	書簡	172×475		しみ 変色 色移り

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	5	医師の件は佐々木博士へ紹介相成候筈に相運申候に付	明治30年10月5日	麹町区元衛町 北 覚蔵	相模国小田原町鈴木方 高橋健三	書簡	174×557		
	6	此度辞表呈出相成候趣、所説一様ならず、一寸御報知申上候	明治30年10月8日	麹町区元衛町 北 覚蔵	相模国小田原町鈴木方 高橋健三	書簡	174×876		
	7	此度芝区今入町立石方へ転居仕候	5月12日	林 覚蔵	高橋(健三)	書簡	173×278		封筒欠
	8	筆御入用之趣被伝聞候に付別封4本相求御手許迄差出申候	9月14日	銀座 林 覚蔵		書簡	150×428		幸便 虫損 糊剥離 封筒上部欠 封筒上書「別封相添」
473	林 茂淳書簡							2	
	1	昨夜辻君に面接、例の一条は明日森島氏の意見聞きたる上の事に致度との事に付	明治21年8月3日	神田区猿楽町 林 茂淳	麹町区紀尾井町内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	168×383		
	2	今回速記試験の事山口欽太郎・奥轍両氏を採用に付	(明治23年)10月28日	林 茂淳	高橋健三	書簡	177×510		幸便 しみ 変色 貴族院用封筒 計算書き込みあり
474	林 肇太郎							1	
		義兄の旧識なるを以て盤根錯節の位置を授けて之を試みざる様衷隣を垂れ給わん	3月2日	林 肇太郎	高橋健三	書簡	156×790		幸便 汚れ 虫損 封筒ためし書込みあり
475	林 敏太郎書簡							1	
		御起居如何被成入候哉	明治31年3月20日	芝中門前 林 敏太郎	相州小田原 高橋健三	書簡	171×471		幸便
476	林 直庸書簡			林 直庸	高橋健三			2	
	1	使之者差出候間此文箱へ御入れ御持せ被下度	(明治21年) 月30日			書簡	186×286		幸便 虫損 封筒計算書込みあり
	2	19年中御用立候金子御返却被下度明日使之者差出候に付	(明治21年)	赤阪区赤阪口町 林 直庸	官報局官舎 高橋健三	書簡	186×356		幸便
477	速水 信書簡							1	
		官報約束通便一条之通信次官へ照会案一覽致に付	7月8日	速水 信	高橋官報局長(健三)	書簡	187×520		幸便 虫損 内閣用封筒
478	原 胤昭書簡							1	
		出獄人保護の任に付別紙趣意書之通り費用を仁人志士の義捐を仰ぎ度	明治30年2月5日	神田区南神保町 美以教会内 原 胤昭	麹町区永田町 高橋健三	書簡	169×588		
		出獄人保護并に寄宿舎設立の趣意	明治30年2月	原 胤昭外2名		状	230×385		印刷物
479	原田兼吉書簡							1	
		小秋元三八吉の儀今回詳細の御書面拝読意外の大患に御世話様被下難有御礼申上候	明治24年7月4日	西筑摩郡福島分 原田兼吉	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	158×867		消印 東京明治24年7月8日 虫損 切封 糊剥離
480	原田 晋書簡							4	
	1	御配慮相蒙候段、此度の事に由て更に入御芳志の程感銘致候	明治28年1月13日	大阪市北区中之島大阪朝日新聞社 原田 晋	木挽町水明館 高橋健三	書簡	166×1055		しみ 色移り 大阪朝日新聞社用封筒
	2	参謀総長殿下御病状御危篤を新聞紙等に記す件に付内訓有之旨大阪府警察部長より伝へ	明治28年1月16日	大阪市北区中之島大阪朝日新聞社 原田 晋	木挽町水明館 高橋健三	書簡	182×1164		しみ 虫損 大阪朝日新聞社用封筒
	3	其後少く御蹉躓の気味焦慮致候、時候御見舞兼ね新年に際し御礼申述候	明治31年1月5日	大阪朝日新聞社構内 原田 晋	東海道小田原字山王原 高橋健三	書簡	180×1714		糊剥離
	4	感冒なども無之候状、御出勤御鞅掌の趣可慶儀候、邨山上野氏以下平安に候、時候御見舞	11月13日	原田 晋	先生(高橋健三)	書簡	180×1050		幸便
481	阪東賢雄書簡							1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		川那辺君より文章起草すべき旨沙汰に付上野君へ面会致小生の希望申述候、速に運候様後尽力願度	明治28年1月23日	京都川東頂妙寺 阪東賢雄	京橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	243× 330		消印 東京明治28年1月30日
482		檜垣銀平書簡						2	
	1	金子10円髓に11月17日受取申候、御見舞旁御礼	明治30年12月18日	伊予越智郡波止浜 檜垣銀平	神田駿河台東紅梅河岸 高橋様	書簡	159× 420		消印 東京明治30年12月15日 高橋奥様
	2	此度の東京御発足にろく儀御召連被下度	9月3日	伊予越智郡波止浜 檜垣銀平	大阪市中の島 高橋様 ご主人(高橋健三)	書簡	261× 379		幸便
483		樋口捨五郎書簡						1	
		先生の御尽力を以て我県知事に御紹介状御送被下度	明治24年6月21日	青森県青森町大字柳町 宮本方 樋口捨五郎	神田区錦町 東京商業 学校内 高橋健三	書簡	181× 670		消印 東京明治24年6月24日 虫損少
484		彦坂昌平書簡						1	
		愚妻の弟林なる者御局内に勤務之由不調法者之議御引立宜敷奉願候	明治21年3月1日	曾我口村 彦坂昌平	高橋健三	書簡	161× 577		幸便
485		久松定憲書簡						1	
		連日御送被下候論文の掲載体裁の件、清国山東省の地理に関する書物の件	明治28年1月19日	大阪中之島 大阪朝日 新聞社 久松定憲	京橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	169× 1311		消印 東京明治28年1月21日
486		土方 寧書簡						4	
	1	代理法講義綱要入用に付至急大学まで御届被下度	明治17年10月17日	本郷追分町 土方 寧	京橋南紺屋町 高橋健 三	書簡	172× 388		糊剥離
	2	タイムスへ達する手紙草稿裏面の通り相認送致置候、明日・明後日の都合に付	1890(明治23)年7月4日	リッチモンド 土方 寧	ロンドン 高橋健三	書簡	178× 225		
	3	明朝11時半頃参館致し議会議傍聴後同伴致し候、タイムスより返事有之候哉	1890(明治23)年7月7日	リッチモンド 土方 寧	ロンドン 高橋健三	書簡	178× 227		
	4	メゾンホテルに止宿中の近藤氏を尋ね外出中に電報参り候に付参館致し不申上ざりし次第	1890(明治23)年7月11日	(土方)寧	高橋(健三)	書簡	178× 226		封筒欠
487		土方久元書簡						4	
	1	皇子教育書翻訳相成候旨を以御廻被下落手仕候、佐々木氏へ相廻参考相成廉不少満足致	明治20年8月2日	駿河台 土方久元	麹町区紀尾井町第1号 官舎 高橋健三	書簡	174× 525		
	2	外国新聞過日伊藤大丞請求致置候末別冊御回被下落手仕候	4月7日	土方久元	高橋健蔵	書簡	181× 457		幸便 糊剥離
	3	昨日御回被下候翻訳書頗満足候、益之書御回被下度渴望之至に候	4月8日	土方久元	高橋官報局次長(健三)	書簡	181× 472		幸便 糊剥離
	4	波得大帝事蹟訳落手仕候	4月22日	土方久元	高橋官報局長(健三)	書簡	178× 336		
488		菱田重禧書簡						1	
		小生鳥取・島根へ巡回被命に付河村重固・羽鳥富三随行被命度旨内申仕候に付許容被下	9月17日	菱田重禧	高橋健三	書簡	164× 483		幸便 汚れ
489		肥田五郎書簡						1	
		法学院在学中は御引立に預り厚謝候、閣下名義にて金員調達方有之候由に付小生へ御相	明治24年12月24日	下谷徒士町 肥田五郎	麹町区元衛町官報局課 高橋健三	書簡	173× 528		封筒汚れ 虫損小
490		日野靈口書簡						1	
		例月深浄院殿御忌日読経罷在候、其後御霊牌御廻し之旨御申置候処今以て到着無之に付前田御尋訪申上候	9月6日	名古屋市赤塚町心河寺 住職 日野靈口	麹町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	162× 380		幸便「9月13日前田利通持参」変色 色移り カビ 糊剥離 封筒
491		日向英行書簡						2	
	1	野生本年暑中暫時上京仕候節拜顔御礼申上心底の処奈良出張御不在に付	明治21年11月18日	山形始審裁判所 日向英行	麹町区紀尾井町第一号 官舎 高橋健三	書簡	172× 941		消印 東京明治21年11月21日 汚れ 糊剥

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
492	2	謹賀新年 平井 正書簡	明治23年1月1日	山形始審裁判所 日向英行	麹町区紀尾井町第一号 官舎 高橋健三	書簡	194× 256		消印 東京明治23年1 月3日 汚れ しみ 虫
	1	被仰越候義實際通過致し候者に間合せ別紙 略図を製し御廻し申上候 (甲府より箱根八湯まで旅程略図)	明治20年12月13日	山梨県甲府中学校 平 井 正	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	170× 396		消印 東京明治20年 12月14日 糊剥離 不定形のため計測せず
	2	此程御帰朝相成候趣慶賀候、生義7月新潟県 へ転任に付	明治23年9月28日	新潟県下柏崎出張先よ り 平井 正	麹町区紀尾井町第1号 官舎 高橋健三	書簡	161× 481		消印 東京明治23年9 月29日 封筒上部欠 糊剥離
	3	駿河台御伺候処其地へ御旅行之由、当地へも 御立寄の予定御伺候	明治29年8月21日	新潟県下新潟市上旭町 平井 正	秋田県警察本部 小林 修気付 高橋健三	書簡	172× 302		消印 秋田明治29年8 月26日 しみ もろけ
493		平岡定太郎書簡						7	
	1	昨日は御雅会御催有之趣に参席仕様被仰下 難有存候	明治25年1月22日	帝国大学寄宿舍 平岡 定太郎	神田区神田橋内 高橋 健三	書簡	161× 446		変色 虫損
	2	本日仰に随伺申上候処先日来の疾甚敷候 に付他日を期し呉度との事に付過日再度御伺	明治25年6月19日	帝国大学寄宿舍 平岡 定太郎	神田区神田橋内 高橋 健三	書簡	182× 627		汚れ 虫損
	3	江木様病勢依然たれば、先生より猶宜布御取 持願上度候	明治25年6月26日	本郷 平岡定太郎	神田区神田橋内 高橋 健三	書簡	178× 699		虫損 糊剥離
	4	江木様御在宅には有之候得共多忙に付面会 できず、古市様との話も有之面会之必要なしと	明治25年7月3日	平岡定太郎	神田区神田橋内 高橋 健三	書簡	163× 562		封筒上部欠 糊剥離
	5	古市氏に昨夕参館、佐藤氏白根氏に再度注意 を催しに付此2、3日中には確定なるべしとの事	明治25年7月9日	本郷 平岡定太郎	神田区神田橋 高橋健 三	書簡	181× 1140		虫損 糊剥離
	6	古市様より一書参り明日中に小生の履歴書差 出可申との仰せに有之に付	(明治25年)10月11日	本郷 平岡定太郎	神田区神田橋内 高橋 健三	書簡	183× 404		幸便
494	7	小生義家族を残し昨日単身赴任仕り候、着之 御報を兼御礼申上候	明治28年5月25日	栃木県庁 平岡定太郎	大阪中之島 高橋健三	書簡	181× 481		消印 大阪明治28年5 月26日 封筒汚れ、計 算書あり
		平岡萬次郎書簡						15	
	1	増島様の御考も前日とは御変候事致居候、未 た何之決定も不申先は御教示被下度	明治19年3月6日	石川県金沢区油車 平岡萬次郎	下谷区金杉村 高橋健 三	書簡	153× 1464		消印 東京明治19年3 月9日しみ 変色 もろ け 特に書簡下部大 糊剥離
	2	小生辞職の儀武部松垣両君の配意に依り承 諾可致旨御申間に相成候、小生身上御引立可	明治20年9月9日	石川県金沢区油車 平岡萬次郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	168× 1453		消印 東京明治20年9 月12日 糊剥離
	3	道中無事着阪被遊候段奉大賀候	明治25年12月26日	京橋区弥左衛門町 平岡萬次郎	大阪中之島花屋 高橋健三	書簡	183× 590		消印 大阪明治25年 11月27日 糊剥離
	4	故合川先生墓誌等御書記之儀陸氏起草の別 紙封入仕候に付御訂正願度	明治28年6月23日	京橋区弥左衛門町 平岡萬次郎	大阪中之島 高橋健三	書簡	170× 985		消印 大阪明治28年6 月25日 封筒汚れ 書 簡内宛先先生・奥様
	5	故合川先生墓碑建設費の方へ御寄附金受取 証別紙封入に付御查收被成下度	明治28年10月26日	京橋区弥左衛門町 平岡萬次郎	大阪中之島 高橋健三	書簡	172× 1006		消印 大阪明治28年 10月27日 封筒計算 書込みあり 虫損 糊
	記(故合川正道君墓碑建設費寄附領収)	明治28年10月20日	発起人 諏訪頼敏	高橋健三	状	250× 171			
6	先生速かに御全癒之程祈願罷在候	明治30年9月10日	京橋区弥左衛門町 平岡萬次郎	相州小田原万年町鈴木 方 高橋健三	書簡	176× 1086		水濡れ 色移り カビ 糊剥離 宛先高橋健 三・令夫人	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	7	宮本様は一両日中に御診察に御出被成候、佐々木国年御診察の事は宮本様も御同意に付、深田君は試験御止めに相成に付	明治30年10月5日	京橋区弥左衛門町平岡萬次郎	相州小田原万年町鈴木方 高橋健三	書簡	176×883		消印 小田原明治30年10月6日 しみ 糊剥離 宛先高橋健三・
	8	御伝言陸様へ伝申候、神鞭氏は代理の方御出に相成、報知新聞台湾法官問題は相伝、辞任の事本日決定に付並木氏御出相談申候	(明治30年)10月8日	平岡萬次郎	高橋先生(健三)	書簡	165×684		幸便 水濡れ 色移り
	9	陸氏の御話は、自由党非提携に決せし今日山田様の辞表に付明日先生御訪可申上候	(明治30年)11月22日	平岡萬次郎	高橋先生(健三)	書簡	175×1217		幸便 水濡れ 色移り 虫損 「城田君二托ス」
	10	神宮支庁へ参り明治31年曆相購入申候	(明治30年)11月25日	平岡萬次郎	高橋先生(健三)	書簡	175×1038		幸便 水濡れ 色移り 封筒右側破損大「明治三十一年曆相添」
	11	此度は全区一致したるも伊藤氏の尽力に付伊藤氏へ一書御贈り被下度	明治31年3月2日	播磨印南郡志方村平岡萬次郎	相州小田原山王原高橋健三	書簡	164×1183		宛先高橋健三・令夫人
	12	小生病気全快仕候、検温器御返上申上候	1月22日	平岡萬次郎	高橋先生(健三)	書簡	183×1690		幸便 封筒破損 書簡内宛先高橋先生・奥様
	13	4月3日歌舞伎座御光臨の際棧敷約束の為高土間に付御勘弁被下度	3月29日	平岡萬次郎	高橋先生(健三)	書簡	159×764		幸便 封筒宛先高橋先生・御奥様
	14	窪田氏より別封御申置相成、明後5日までは安心之様に付	2月3日	平岡萬次郎	高橋(健三)	書簡	162×573		封筒欠 虫損 後半上部破損
		5日までに該利金差入可申残りは月末まで延期の手筈に付	2月3日	口藤卯三郎	平岡先生(萬次郎)	書簡	161×875		しみ 虫損 糊剥離 上部一部欠損
	15	(封筒断片、下半分)		弥左衛門町 平岡萬次	[]衛町 (高橋)健	封筒			封筒汚れ 上半分欠
495		平賀茂員書簡・葉書						1	葉書含む
		話有之候書物当地は無之由、一週間内に取よせ呉れ候旨返電有之に付	明治28年6月16日	平賀茂員	朝日新聞社内 高橋健三	書簡	178×331		汚れ
496		平坂 閑書簡						3	
	1	西川氏の信書御回送被下拜読仕候、近日相認め御依頼可申候、信書返呈	明治13年2月22日	神田美土代町 平坂 閑	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	154×390		
	2	早朝秋元家扶井文部の西邸等尋来、墓地は天王寺に相定め申候	(明治25年)8月6日	平坂 閑	高橋健三	書簡	181×410		幸便 水濡れ 色移り カビ
	3	過日御依頼の件坪井君不在の趣に付心配罷在候、本日閑様より貴君月報抵当は可相成也	明治14年6月2日	神田美土代町 平坂 閑	京橋区木挽町 高橋健三	葉書	142×91		
497		平田 豊書簡						2	
	1	御依頼相成候一件之儀に付応相談候て可然旨被申聞候	10月6日	事務局管船課 平田 豊	木挽町 高橋健三	書簡	278×397		幸便 汚れ 農商務省 罫紙
	2	御尊父様之法会参趣仕兼候に付、御依頼の金円昨夜令聞迄御渡申候	10月8日	平田 豊	木挽町 高橋健三	書簡	161×453		幸便 汚れ
498		平田東助書簡						1	
		本日は内務卿を送り横浜まで罷越唯今帰宅仕候故出局不仕失承の至奉存候	4月6日	平田東助	上二番町 高橋書記官(健三)	書簡	176×575		幸便 しみ 虫損
499		平野和三郎書簡						1	
		年甫御祝詞申上候	明治20年1月1日	大坂日本郵船会社 平野和三郎	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	179×366		消印 東京明治20年1月5日 しみ 色移り
500		平野新八郎書簡						1	
		事件關係に付渡辺小太郎より渡候金件取調候処別紙の通に候	明治30年7月6日	神田錦町 平野新八郎	永田町内閣書記官長官舎 高橋健三	書簡	275×398		幸便 しみ 汚れ 虫損
		記(明治25年6月10日小林政隆へ相渡候儀相違無之、可然御救助方希望候也、写し)	明治30年7月2日	渡辺小太郎	平野新八郎	状	275×398		

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
501		広沢鉄郎書簡						1	
		榎本義路君より御罹病承候、病氣御見舞申上度	明治28年5月13日	京都府上京区下立売通 広沢鉄郎	大阪府北区中之島 朝 日新聞社 高橋健三	書簡			消印 大阪明治28年5 月14日 糊剥離
502		(広瀬)進一書簡						1	
		貴族院の候補者に御書加被下度奉願候	7月17日	(広瀬)進一	高橋(健三)	書簡	179× 1203		幸便 封筒上紙破損 他の切手張り付いて いる 糊剥離
503		広田忠蔵書簡						1	
		生の信用先生の胸中に幾分を占め居るやをト せんと欲するなり	(明治21年)3月11日	岩手県 広瀬忠蔵	高橋健三	書簡	240× 329		幸便 虫損 封筒上部 欠 色移り
504		深井与吉書簡						1	
		昨年東京法学院を卒業、今回法典修正の挙あ るに付可然委員に御周旋あらん事を	明治25年7月6日	静岡県庵原郡興津町 大野方 深井与吉	内閣官報局官舎 高橋 健三	書簡	266× 340		しみ 変色 虫損
506		深田源次郎書簡						1	
		豚児(深田鶴松)帰省すへき様催促仕候得共 返事不仕、先生へ依願申上候	明治21年11月8日	福岡県遠賀郡 深田源次郎	麹町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	161× 775		消印 東京明治21年 11月14日 封筒下部
507		深田靄松書簡						2	
	1	昨夜渋谷講師より先生の思召を承り致感泣 候、罪過御海容被仰付度奉懇願候	明治21年4月1日	神田美土代町杉浦方 深田鶴松	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	166× 655		糊剥離 折目もろけ
	2	先生閣下に御詫可申上候事有之候に付	8月2日	深田靄松	高橋先生(健三)	書簡	165× 610		幸便 封筒に計算書あ り
508		福嶋淳吉書簡						1	
		御約束のもの甚だ遅延に及相済儀に御座候、 御詫迄	明治28年5月13日	金沢鍛冶町 福嶋淳吉	大坂朝日新聞社内 高橋健三	書簡	168× 532		糊剥離
		碧眼東視録 勝後の日本「ル・シニヤル」所載				冊	234× 174		虫損 3丁
509		福地復一書簡						1	
		目録之儀目下整理中にて且取調中にも有之、 御閱了之上は御返附被下度	11月8日	帝国博物館 福地復一	麹町区元衛町 高橋健 三	書簡	187× 566		幸便 虫損
510		福富孝季書簡						1	
		其節御談いたし候件に付御配意の趣、本日陸 氏了承仕り安心仕候、紙上御礼申上候	4月2日	小石川水道町 福富孝 季	紀尾井町 高橋健三	書簡	165× 580		幸便 封筒上部欠 変 色虫損
511		福富孝成書簡						1	
		弟孝季十日祭に相当仕りに付祭典相堂に付御 来駕被下度	明治24年4月17日	小石川水道町 福富孝 成	麹町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	165× 442		転居票あり「元衛町官 報局官舎」糊剥離
512		福羽美静書簡						1	
		明後24日拙宅に御来話被下度相願候	明治18年12月22日	東京下六番町 福羽美 静	北豊島郡金杉村 高橋 健三	書簡	168× 312		水濡れ 色移り 変色 カビ 書簡は封筒に貼 りついた状態
513		福本 誠書簡						8	
	1	不堪歎喜詩一篇(漢詩)	明治19年7月27日	小石川区武部町齊藤方 福本 誠	金杉村 高橋謙造	書簡	180× 219		しみ 虫損 封筒上 部一部欠損
	2	明後日は協会報告成り候に付国華社に会合し 取きめ候間御臨席願度	明治24年6月1日	神田 福本 誠	神田橋内内閣官報局官 舎高橋健三	書簡	167× 739		
		地図中海国の部の差出置候校正其人へ御付 し被下度、出版月評別紙の分同社に差出置可 東方協会の図刷出せん分本日中に御廻被下 度	(明治24年5月11日)	福本(誠)	高橋(健三)	書簡	173× 483		
3		(明治24年)6月1日	福本 誠	神田橋内 高橋健三	書簡	167× 373		幸便	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	4	昨24年9月30日御連印を願上候もの結了致に付御印影御返通申候	明治25年11月	福本 誠	神田橋内内閣官報局官舎高橋健三	書簡	163×539		封筒汚れ・虫損・上部欠
	5	別紙稲益一義氏より封入成り候に付通送申上候	明治25年12月3日	神田雉子町日本新聞社福本 誠	北豊島郡日暮里村高橋健三	書簡	163×317		日本新聞社封筒 しみ
	6	御保証願置たる宮本へ発する250円今度消却致しに付貴印影御返申上候(印影同封)	明治31年3月2日	神田中猿楽町 福本 誠	相模小田原駅東端字三王原 高橋健三	書簡	176×830		消印 小田原明治31年3月3日
	7	官報両月分返納申上候、「口雑駁」御恩借願度	8月20日	小石川区大和町福本 誠	高橋(健三)	書簡	173×743		幸便 しみ大
514		藤井守馬・加賀美光賢書簡						1	
		佐々木高行養母千代子会葬礼状	明治30年10月19日	藤井守馬・加賀美光賢	麹町区永田町 高橋健三	書簡	135×141		封筒しみ・虫損
515		藤川陟能書簡						2	
	1	滞京中御厚情に預り報謝候、当地法学院支局入学者の可なり可有之と奉存候	明治25年9月16日	神戸市下山手通藤川陟能	麹町区元衛町官舎高橋健三	書簡	180×766		消印 東京明治25年9月17日 糊剥離
	2	旧主人奥田直弘長男直暢此度学習院へ入学の目的にて上京、直暢入学中御世話被下度奉	6月1日	東京ニテ 藤川陟能	高橋健三	書簡	158×993		幸便 封筒上書「托川瀬氏」
516		藤崎三四郎書簡						1	
		原稿御見出被成候は、使の者へ御渡被下度	8月6日	南鍋町 藤崎三四郎	木挽町 高橋健三	書簡	228×124		幸便 封筒上部・裏面一部欠損
517		藤島長和書簡	明治30年9月		高橋健三			3	
	1	兄勇三郎御拝顔不申上、私事拓殖務省廃省後無礼申上候処転療被遊候趣拝承に付御伺い	(明治30年)9月16日	麹町区飯田町 布施方藤島長和	神奈川県小田原別荘高橋健三	書簡	165×948		水濡れしみ・カビ汚れ色移り 切手剥離
	2	昨日は長時間の御拝顔誠惶欣慶至極に奉存候に付	明治30年9月25日	麹町区飯田町 布施方藤島長和	神奈川県小田原万年町鈴木内 高橋健三	書簡	176×886		水濡れ・しみ・色移りもろけ 虫損
	3	御配下の御方へ御照会の御名刺にても頂戴相成申候得は無此上仕合に御座候	明治30年9月28日	麹町区飯田町 布施方藤島長和	神奈川県小田原万年町鈴木内 高橋健三	書簡	176×1140		消印 小田原明治30年9月29日水濡れしみ・カビ汚れ 色移り
518		藤島勇三郎書簡						1	
		2,3日前来京仕居り候得共御無礼仕候、御身御大切に御愛養奉祈候	明治25年4月14日	麹町下二番町藤島勇三郎	麹町官報局官舎 高橋健三	書簡			しみ カビ
519		藤田四郎書簡			高橋健三			17	
	1	小生事帰朝を命せられ御同行相願申度、独逸船出発の様等記載に付、差支無之は切符等御引受に付	1890(明治23)年7月4日	ベルリン 藤田四郎	ロンドン 高橋健三	書簡	284×210		罫紙2枚
	2	友人鶴田磐之助振垂論に熱心に付東邦協会に加入致度由に付	(明治24年)12月10日	逓信省官舎 藤田四郎	神田橋内官報局官舎高橋健三	書簡	179×524		下部しみ変色 カビ虫損 もろけ 一部欠損 糊剥離
	3	明23日御カルタ会御案内被下万謝候、同日後藤伯に頼て当省高等官・地方局長招き世話等	(明治25年)1月22日	逓信省官舎 藤田四郎	神田橋内官報局官舎高橋健三	書簡	179×524		汚れ しみ 虫損
	4	明12日貴宅に於て晩食於案内被成下深謝候、参上に付了承被下度	明治25年7月10日	逓信省官舎 藤田四郎	神田橋内官報局官舎高橋健三	書簡	178×428		汚れ しみ 虫損
	5	昨日は愉快馳走に預り万謝、不敢取御礼迄	明治25年7月13日	逓信省官舎 藤田四郎	神田橋内官報局官舎高橋健三	書簡	178×485		汚れ しみ 色移り 虫損
	6	湯川・松永両氏東邦協会直に加入之件及推挙候に付可然取計有之候	明治25年8月24日	逓信省官舎 藤田四郎	神田橋内官報局官舎高橋健三	書簡	173×482		封筒下部破損
	7	高垣氏本月より東邦協会に加入致度に付及照会候に付可然御取計有之度	明治25年8月24日	逓信省官舎 藤田四郎	神田橋内官報局官舎高橋健三	書簡	179×604		

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	8	文学士小川忠武氏事過日出京之由にて来訪地位を求め居候に付一寸御伺申上候	(明治25年)10月1日	農商務省 藤田四郎	神田橋内官舎 官報局長高橋健三	書簡	176× 572		幸便 しみ変色 虫損
	9	小川氏差上候間御面話を乞ふ	(明治25年)10月4日	(藤田)四郎	高橋(健三)	書簡	176× 261		幸便 しみ変色 虫損
	10	小子過般転宅仕候に付19日疎飯差上度御案内候	(明治25年)11月14日	京橋区木挽町通信省官舎第1号 藤田四郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	188× 391		幸便 汚れ 糊剥離
	11	先刻御話申上候件は総理大臣へ談示許諾相成居候事に有之候に不	(明治25年)11月15日	藤田四郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	187× 320		幸便 しみ変色 虫損
	12	奥田氏も老台之御尽力に依りあまり悪き感觸も無之極く従前之通りの友誼は全ふする事を	明治25年11月19日	藤田四郎	神田橋内官舎 高橋健三	書簡	175× 495		しみ変色 虫損
	13	瀧和亭・野口函谷両氏居所至急御一報相煩はし度	明治25年11月23日	藤田四郎	神田橋内官舎 高橋健三	書簡	180× 329		しみ変色 虫損
	14	特許局の方へ満員俸給の残り無之に付奥田氏と相談之上特許の人を官報に送っても差支	明治25年12月8日	藤田四郎	府下日暮里村字金杉村 高橋健三	書簡	188× 630		封筒右下部欠損「官房秘便廿三号」糊剥
	15	昨今繁にて尽力も疎々不致感口之至に有之候	(明治25年) 月12日	通信省官舎 藤田四郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	178× 266		幸便
	16	御申越之書籍問合せ候処部数少なき為め交付出来ぬ事秘書官へ申聞候由に付	明治28年1月30日	藤田四郎	京橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	176× 710		
	17	先刻の件井上伯へ申上候処一兩日して官舎へ直接御出ありては如何との事に有之候	10月14日	(藤田)四郎	高橋(健三)	書簡	179× 430		封筒欠 右端汚れ
520		藤田達芳書簡						1	
		御意見の趣逐一神鞭兄外諸兄へ相達置申候、陸実君本日着都の来電ありたり	明治28年5月2日	京都川端東丸太町 柵屋分店 藤田達芳	大坂朝日新聞社側 高橋健三	書簡	178× 1102		封筒まわり汚れ 糊剥離
521		藤田隆三郎書簡			高橋健三			53	
	1	新年奉拝賀候、城多邸に一泊の節貴兄へ習字本残し御落手相成候や、仮名交りの文揮毫被	明治13年1月1日	横浜宮崎町 藤田隆三郎	木挽町 高橋健三	書簡	151× 441		
	2	法律討論会の義に付御通知被下奉万謝候、当日都合有之に付今回は不参仕候	明治13年1月22日	横浜宮崎町 藤田隆三郎	木挽町 高橋健三	書簡	167× 862		しみ 虫損
	3	昨日は拙稿に御加筆被下御蔭を以て大分文意明瞭に相成奉謝候、原文の分は昨日御郵送	明治13年5月15日	横浜宮崎町 藤田隆三郎	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	150× 425		
	4	才判所は項日は事務多端にて困り入り申候、増島君より五月分法学会費に付来簡に付	明治13年6月27日	横浜宮崎町 藤田隆三郎	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	173× 625		糊剥離
	5	厄介の義御承引被奉万謝候、気の毒千万に奉存候、18日8時15分発汽車にて召連に付在宿	明治14年4月17日	横浜宮崎町 藤田隆三郎	木挽町 高橋健三	書簡	244× 334		
	6	御局にニューヘッドの出来候は過日来御計画の許可の準備にも可然候やと推測致居候処陰悪すべき内情起因致し居り候に付断行は見合	明治21年2月17日	金杉村 藤田隆三郎	麹町区紀尾井町官舎 高橋健三	書簡	163× 540		
	7	5月6日拙宅に於て晚餐物共応仕度御案内申上候	明治21年4月30日	北豊島郡金杉村 藤田隆三郎	麹町区紀尾井町 高橋健三・令夫人	書簡	179× 503		しみ 色移り 虫損
	8	当県平山書記官兵庫へ転任に付其跡に借家候事に約定、本年未饗庭・岡倉両氏当地方漫遊の企てに付大兄にも田舎にて御保養相成度	明治23年10月16日	奈良今小路町 藤田隆三郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	188× 885		消印 東京明治23年10月18日 しみ 虫損 糊剥離
	9	気管支かたるの大患に御罹被成候由、御養生の上御元氣御回復被成候、小生義管内巡回到处で響応を受け飲酒を過胃病を引き起こしに付	明治23年12月16日	奈良高畑 藤田隆三郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	181× 813		消印 東京明治23年12月18日 しみ 虫損 封筒破損大
	10	流行性感冒の重症に御罹被成候旨目下如何の御容体に御座候哉、奈良に御出遊懇願至御	明治24年2月3日	奈良高畑 藤田隆三郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	181× 943		消印 東京明治24年2月4日 汚れ しみ

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	11	露国皇太子に関する事変恐入たる次第に有之候、日本新聞購読相成候処毎月代金の催促五月蠅く送付の件兄より御申込被下度	明治24年5月13日	奈良池入町 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	182×879		消印 東京明治24年5月14日 封筒切取のあとあり
	12	岡野義御厄介相懇奉謝候、同人身上は当地へ御呼被下度、費金不足有之候得は御立換被下	明治24年7月12日	奈良池の町 藤田隆三郎	麴町区元衛町官報局官舎高橋健三	書簡	179×803		しみ 汚れ 虫損 糊剥離
	13	先刻封入の負債高書出しを北畠迄送り候処返済方法に付委敷取極め可差出旨被申間に付	明治24年7月13日	奈良池ノ町 藤田隆三郎	麴町区元衛町官報局官舎高橋健三・松野貞一郎	書簡	179×409		消印 東京明治24年7月15日 しみ汚れ カビ 虫損
	14	負債の件多額に付数口に纏め度別紙負債記を送り北畠に依頼し右之手順で伊達家にも依頼を試みる積もりに御座候	明治24年7月13日	奈良池ノ町 藤田隆三郎	麴町区元衛町官報局官舎高橋健三・松野貞一郎	書簡	179×946		消印 東京明治24年7月14日 しみ汚れ もろけ 虫損
		負債証(9口合計金4875円)		藤田隆三郎		冊	223×152		2丁
	15	貴電書の内郵書拝読仕候、負債一条に付鳴謝候、北畠に依頼致し、注文別紙の如に付貴覧	明治24年7月17日	奈良地方裁判所 藤田隆三郎	麴町区元衛町官報局官舎高橋健三	書簡	177×808		消印 東京明治24年7月18日 しみ 虫損大
	16	負債高を甲乙に通知する事に付北畠よりの注意の件	明治24年7月17日	奈良池の町 藤田隆三郎	麴町区元衛町官報局官舎高橋健三	書簡	161×1120		消印 東京明治24年7月19日 封筒しみ・虫
	17	東京法学院より書留状相達に付19日大阪発にて上京に付、北畠に屈従快からず他に手段を	明治24年7月18日	奈良町池ノ町 藤田隆三郎	神田橋内元衛町官報局官舎 高橋健三	書簡	166×585		消印 東京明治24年7月19日 しみ 虫損
	18	小生身上の義に付松野氏と供に配意に預り感謝候、万国公法の講義著述出版の件に付	明治24年9月15日	奈良池ノ町 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	166×1625		消印 東京明治24年9月17日 封筒左欠損
	19	債主小川健三は小生の負債を引受に付前記の諸氏へ貴兄より御依頼被下度、債主出京の件に付	明治24年10月19日	奈良地方裁判所 藤田隆三郎	麴町区元衛町官報局官舎高橋健三	書簡	180×1621		消印 東京明治24年10月20日 しみ 汚れ 虫損 「書留」
	20	債主小川義両三日中出京致答、直に貴宅に伺と可申候に付宜敷申上候	明治24年11月1日	奈良県奈良町大字中筋 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	180×508		消印 東京明治24年11月5日 封筒しみ・虫
	21	大国・小川両氏昨夕着阪に付、連印者の内両三名故障有之候由、如何成り行か案じ候	明治24年11月16日	大阪宗右衛門町伊田方 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	157×850		消印 東京明治24年11月18日
	22	書留を以て証書数通送付被下落手候、万国公法の件、小川帰京の件、井内と牒合の件	明治24年12月23日	奈良地方裁判所 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	183×877		消印 東京明治24年12月25日 しみ 虫損
	23	御心配に預り候家計一条も予算通相運び安心仕候	明治25年2月7日	奈良町中筋 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	181×846		しみ 汚れ 虫損
	24	荆妻義男子分娩の処死産に付、妻身体には障りなく御安神有之候	明治25年3月30日	奈良町中筋 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	171×445		消印 東京明治25年3月31日 しみ 汚れ カビ もろけ
	25	10日は大火の由、貴宅は御無事に御座候哉、御一報を煩わし度	明治25年4月12日	奈良 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	168×461		消印 東京明治25年4月13日 しみ 虫損
	26	弄花事件も一段落賀す可き事に御座候得共其善後策如何、司法部の波瀾一層勢を増事なら	明治25年7月16日	奈良町中筋 藤田隆三郎	神田橋内内閣官報局官舎高橋健三	書簡	167×900		消印 東京明治25年7月17日 しみ カビ
	27	小生禁治産同様身動きのならぬ為体出京も心底に任せず候、御発途の日限り次第電報被	明治25年8月4日	奈良町中筋 藤田隆三郎	麴町区元衛町官報局官舎 高橋健三	書簡	183×1278		消印 東京明治25年8月5日
	28	小川との談判も好都合に相運び小川より別紙書面の通達約申出卑劣千万に候得共致し方無之に付	明治25年8月24日	奈良町中筋 藤田隆三郎	麴町区神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	181×884		消印 東京明治25年8月25日 「書留」 しみ 糊剥離
		高橋様より御相談の公債の件五ヶ年以上に相成、証券差入大に困難に付御断奉候	明治25年8月23日			書簡	144×743		
	29	昨日小川変心の一途御通知申上候処、同人より先日小川の約束通りとの願いに付	明治25年8月25日	奈良町中筋 藤田隆三郎	麴町区神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	181×482		消印 東京明治25年8月26日 虫損小

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	30	小川の変心に付書面を以て疑惑の廉々問合候処拙宅来訪大國列席にて大要相談置候	明治25年8月30日	奈良町中筋 藤田隆三郎	麴町区神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	182× 677		消印 東京明治25年9月1日 しみ もろけ 糊剥離
	31	小嶋翁御訪問被下候由委細承知候、談判は容易に調い候とは思考不仕時機見計取計被下度	明治25年9月19日	奈良町中筋 藤田隆三郎	麴町区神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	175× 405		消印 東京明治25年9月20日 しみ小 糊剥
	32	法典問題の選挙に付御心配の事と奉案候、司法省も目今多事の有様、高木操事、国華に関する金員の件	明治25年10月6日	奈良地方裁判所 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	175× 460		消印 東京明治25年10月7日 封筒虫損・しみ・カビ 糊剥離
	33	後任者選定春木検事総長は目下司法部内に勢力有之に付同氏の賛助を得は成効の一助	明治25年10月11日	奈良地方裁判所 藤田隆三郎	麴町区元衛町官報局官舎 高橋健三	書簡	171× 525		消印 東京明治25年10月12日 封筒しみ・
	34	小生転所の義に付御配意被下候趣奉謝候、小生横浜の他に転所望のヶ所無之非常に落端	明治25年10月15日	奈良町中筋 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	171× 804		上部しみ・カビ 書簡 宛先「高橋兄・松野兄」
	35	同学士中夫々榮転に拘らず小生のみ片田舎に残され候は余り面白き事にも無之候	明治25年10月16日	奈良町中筋 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	171× 870		消印 東京明治25年10月18日 封筒しみ力
	36	電報を以て御問合に預り奉万謝候、小生地方所長の職を奉して依頼他の職に転するは得策を思われずに付、場所の義は神戸・大阪の内	明治25年10月29日	奈良地方裁判所 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	170× 1094		消印 東京明治25年10月30日 封筒虫損小
	37	昨夜の電報不審に有居候処藤井よりの電報で了解仕候、如斯き手段には乗らざる様要心肝	明治25年10月30日	奈良町中筋 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	172× 771		消印 東京明治25年10月31日 よごれ
	38	大阪・神戸の(所長人事の)風説に付此際油断なく神戸・大阪の方を聞かせ呉候様御依頼被	明治25年11月1日	奈良町中筋 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	171× 851		消印 東京明治25年11月3日 封筒上部欠
	39	小川の方父偏屈人故本人を説き付け候事肝要と考候	明治25年11月9日	奈良町中筋 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	171× 1110		消印 明治25年11月10日 糊剥離
	40	横浜へ転職の義成不仕如何の見込に御座候哉、12日近傍の所長大阪に会し院長に予め打合に付横浜の件周旋依頼または黙し居か御高	明治25年11月10日	奈良地方裁判所 藤田隆三郎	麴町区元衛町官報局官舎 高橋健三	書簡	171× 667		消印 東京明治25年11月11日 封筒下部 変色・カビ
	41	利子を6朱に増す事本日大國同道八尾へ参り候処小川存外容易に承引致呉候に付	明治25年11月11日	奈良町中筋 藤田隆三郎	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	171× 698		消印 東京明治25年11月13日 封筒上下
	42	転所詳細事情御報被下難有拝読候、箱根地方へ転地療養の名目を出京に付伊達家の方は土地抵当年6朱にて承認相成に付	明治25年11月14日	奈良地方裁判所 藤田隆三郎	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	171× 1620		消印 東京明治25年11月15日 糊剥離
		書状落手候、御身分の義に付寸効無之恐入候、委曲波多野氏へ談じ置充分尽力可致覚悟	明治25年11月12日	藤井	藤田(隆三郎)	書簡	174× 431		
	43	例の件に付種々御談合被下奉謝候、朝日新聞で辞表差出の事承知、抵当の件に付、小川の方は公債を出す事は非常に迷惑に感じ候に付	明治25年11月18日	奈良町中筋 藤田隆三郎	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	171× 1494		消印 東京明治25年11月19日 封筒上部 変色
	44	御転宅先は根岸と承り候、伊達家の一条其後如何の模様は御座候哉、後便大要御示し被下度	明治25年12月2日	奈良地方裁判所 藤田隆三郎	北豊島郡日暮里村(元根岸旧釣堀) 高橋健三	書簡	174× 387		消印 東京明治25年12月4日 汚れ 虫損 大 糊剥離 封筒上部
	45	同窓会に出席致さず失礼仕り候、小川より殘金発送の電報遣し候由御都合御示被下度	明治28年1月29日	牛込天神町 藤田隆三郎	京橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	181× 164		
	46	小川へ引合の義に付御示談被下御礼申上候、拙家21日転宅致に付	明治28年6月27日	下谷区上根岸 藤田隆三郎	大阪北区中の島 高橋健三	書簡	182× 760		消印 大阪明治28年6月28日
		私方転宅致し何かと取込失礼仕候、此度の家の事、旦那様御あんし申上候	明治28年6月27日	(藤田)類子	高橋(清)	書簡	183× 610		切封
	47	次の土曜又は日曜に相伺ひ候、山田より奥田へ法学院幹事に成り度旨申出に付、故野村氏醸金の義法学院事務員に托し募集に付	明治30年11月26日	下谷区中根岸町 藤田隆三郎	相州小田原万年町鈴木 善左衛門方 高橋健三	書簡	179× 717		消印 小田原明治30年11月28日 水濡れ 色移り 虫損

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	48	患息病氣に付御見舞い状奉謝候、小生腸胃の 具合悪敷に付3週間の転地療養を願いに付、 秋山は弁護士となる為退職候	明治31年3月22日	中根岸町 藤田隆三郎	相州小田原山王ヶ原 高橋健三	書簡	177× 1068		消印 小田原明治31 年3月23日
	49	倅の病状佐々木氏の診察を受け肺病なりとの 診断にて失望を極め候	明治31年3月29日	中根岸町 藤田隆三郎	相州小田原山王原 高橋健三	書簡	181× 971		消印 小田原明治31 年3月30日 糊剥離
	50	昨日電報に接し名古屋に御一泊の御予定の由 承知仕候、例の一条先づ先の三口支払い被下	8月5日	(藤田)隆三郎	高橋(健三)	書簡	177× 771		封筒欠 しみ 虫損 糊剥離
	51	菊岡の件都合よく落着致候段奉謝候、弊家去 月以来経済向を引締りの件、万国公法出帆月 評て批評願ひ度	12日	(藤田)隆三郎	高橋(健三)	書簡	161× 1351		封筒欠 しみ 糊剥離
522		藤波重雄書簡						1	
		29日東京商業学校第一回卒業生懇話会相催 に付御案内申上候	明治23年12月27日	錦町 東京商業学校 藤波重雄	麹町区紀尾井坂町 高橋健三	書簡	171× 483		しみ 封筒に計算書あ り 委員中村重惇・藤 波重雄連名
523		藤本次右衛門書簡						4	
	1	御幸駕奉謝候、其節御頼申上候広告等御草稿 御郵送被下度	明治16年4月4日	藤本次右衛門	駿河台紅梅川岸 高橋健三	書簡	161× 280		
	2	予約書類・草稿御回被下拝見仕候、新聞広告 等の義予め引合仕り度時間御報奉願度	明治16年4月13日	藤本次右衛門	駿河台紅梅川岸 高橋健三	書簡	151× 448		しみ 虫損
	3	御相談申上候原書の義先方も預りものに付御 心当り御問合せ被下度段申越候	明治16年5月3日	藤本次右衛門	駿河台紅梅川岸 高橋健三	書簡	161× 487		汚れ 虫損小 封筒下 部欠
	4	八尾店を退き候に付本月31日或は6月1日出阪 拝謁百事可申上心得に候	明治28年5月25日	浅草大代地 金守忠次 郎方 藤本次右衛門	大阪中ノ島 高橋健三	書簡	177× 431		消印 大阪明治28年5 月26日 汚れ 糊剥離
524		布龍義天書簡						1	
		閣下御令弟遠藤福寿君播磨国真淨寺に滞在、 同寺住職外国事犯の嫌疑ノ事件で姫路警察署 へ拘引、令弟も被致自首候に付通知致候	明治18年12月24日	兵庫県下揖東郡吉見村 西照寺 布龍義天	麹町区 高橋健三	書簡	172× 852		消印 東京明治18年 12月28日 しみ 虫損 もろけ
525		古川 昂書簡						1	
		御見舞旁御伺迄	明治30年9月9日	麹町区永田町 古川 昂	相州小田原万年町 鈴 木善左衛門方 高橋健	書簡	171× 637		封筒しみ・カビ 糊剥 離
526		古川口一郎書簡						1	
		御見積書到達致候処不廉之様に相見に付御 高覧置候	明治21年11月2日	牛込筆筒町 古川口一 郎	麹町区紀尾井坂上官報 局官舎第一号 高橋健	書簡	170× 430		
		記(普請用材・手間賃見積書)		大松		状	163× 832		
527		古木 傑書簡						1	
		御取調に付御手伝可致旨局長より申越、御都 合如何に候	(明治16年)23日	古木 保	高橋健三	書簡	156× 546		幸便 水濡れ 色移り カビ 虫損
528		古莊嘉門書簡						4	
	1	郵書拝見仕候、先頃御依頼申上候次第も有之 乍不本意失敬仕候、一両日中罷出御話申上候	明治23年11月24日	芝愛宕 古莊嘉門	四ツ谷目付内官報局隣 家官舎 高橋健三	書簡	178× 564		封筒上部しみ・もろけ カビ
	2	一昨夜度々御談話中の事に付同志仲間へも 未だ話合出来兼候に付	明治23年11月30日	牛込砂土原町 古莊嘉 門	四ツ谷目付内官報局官 舎 高橋健三	書簡	180× 800		封筒上部欠 しみ
	3	阿蘇郡の内小網満願寺所蔵の北条時宗の古 画の件に付	2月14日	古莊嘉門	高橋健三	書簡	170× 348		幸便
	4	本日正午過より一時二時間の内罷出拝話可申 上候	11月28日	古莊嘉門	高橋健三	書簡	167× 870		幸便 封筒上部欠 糊 剥離
529		古田 久書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
530		過刻御送付仕候辞令文言不明瞭の趣にて御質問拝承仕候、別段の脱字等は無之に付 古立備鉄書簡	明治14年8月25日	商務局庶務課 古田久	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	156×524		しみ 中損 糊剥離
		同郷人小野崎通亮貴極に列するの栄又は叙位の内に御加被成下候は秋田県人の光栄に 星 喜三太書簡	明治30年10月6日	京橋区南鍛冶町 石川旅店 古立備鉄	麴町区永田町 高橋健三	書簡	181×1389	1	水濡れ 色移り 変色カビ
531								2	状含む
	1	拓本(漢詩 嘉永辛亥 筒井憲)	明治27年5月30日	福島県菊田郡錦村 星 喜三太	大坂市中ノ島 高橋健三	状	1108×635		消印 大阪明治27年6月1日 封筒しみ・変色・虫損 拓本
		拓本(和歌 正四位下賀茂藩主季口)	明治27年5月30日	福島県菊田郡錦村 星 喜三太	大坂市中ノ島 高橋健三	状	1120×630		拓本 しみ 変色 折目もろけ
	2	倅星一儀御地へ参着致厚御哀情を蒙り御礼申上候 別に関碑摺進呈仕候	明治27年5月27日	福島県菊田郡錦村 星 喜三太外3名 星 喜三郎	大坂市中ノ島 高橋健三・奥 高橋健三	書簡 書簡			消印 大阪明治27年6月1日 しみ 変色 しみ 変色 もろけ
532		星 亨書簡						1	
		30日東京法学会の開会之由御報知に預り候処同日地方協会総会出席の為法学会には出	明治14年10月25日	京橋区三拾間堀 星 亨	木挽町 高橋健三	書簡	167×544		幸便 虫損
533		星 一書簡						1	
		野生儀無事旅行を相進め居り候間御安神被下度	6月3日	長崎港にて 星 一	大阪市中之島高橋健三	書簡	181×747		幸便 糊剥離 しみ 虫損
534		穂積陳重書簡						2	
	1	先日御下囑に相成大学院御入籍の件に付総長・評議員の意見を聞候に付、願書差出有之出版月評殊の外見事に出来御祝書申上候、	明治19年6月18日	法科大学 穂積陳重	根岸金杉村 高橋健三	書簡	171×744		しみ 変色 虫損
	2	「出版の徳義」と題せる短文起稿致し置候に付	明治20年〇月10日	深川福住町 穂積陳重	麴町区紀尾井町官報局 高橋健三	書簡	166×730		汚れ 虫損
535		穂積八束書簡						2	
		法学新報之義に付御申越の件委細承知仕、維持員の末序に相加候に付此段御返事申上候 小生儀此度婚姻仕り候、早速結構なる御品を以て御祝被下難有奉存候	明治25年9月18日 明治25年10月1日	穂積八束 穂積八束	麴町区元衛町 高橋健三 麴町区元衛町 高橋健三	書簡 書簡	181×408 168×340		封筒しみ 消印 東京飯田町明治25年10月1
536		堀 富太郎・近藤千吉書簡						1	
		兼て御願申上候一件如何相運居候哉、赴任前小生方も面謁致置度	8月14日	本郷区森川町斎藤方堀 富太郎・近藤千吉	高橋健三	書簡	181×713		幸便 封筒上部虫損
537		堀江菊次郎書簡						1	
		可成期日遅延不相成様御履行可相願、先月迄の一括停滞相成候分御払入被下度	明治25年9月3日	銀座 堀江菊次郎	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	177×736		しみ 色移り 虫損
538		Jno. W. Hall書簡						2	
	1	英文	明治21年4月2日	横浜 Jno. W. Hall	内閣官報局 高橋健蔵	書簡	202×256		消印 東京明治21年4月2日
	2	英文	明治21年5月2日	横浜 Jno. W. Hall	麴町紀尾井町 高橋健三	書簡	202×256		消印 東京明治21年5月4日
539		本多足国書簡						1	
		文部省編輯局の送仮名会法義御手許に御座候は、拝借仕度	1月24日	本多足国	高橋(健三)	書簡	158×823		封筒欠しみ もろけ
540		本多市良書簡		玄海丸 本多市良	高橋健三			3	
	1	神戸にて先生御重病の由記載罷在に付電報を以て御見舞、最早御快気の趣返電に預り安心仕候	明治30年7月20日	神戸港日本郵船会社玄海丸 本多市良	麴町区永田町 高橋健三	書簡	181×939		消印 東京明治30年8月1日 水濡れ色移り 虫損 書簡宛先「御奥

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	御地去る9日大暴風諸々損害との事書中御見舞申上候、先生御病身加養專一と奉存候	明治30年9月15日	朝鮮釜山浦玄海丸 本多市良	麹町区永田町 高橋健三	書簡	178× 878		消印 東京明治30年9月19日 しみ 変色 書簡宛先「先生御奥
	3	新聞紙上にて先生の御辞職被遊療養の為御転地相成の由、御見舞迄	明治30年10月27日	朝鮮仁川港玄海丸 本多市良	麹町区内幸町 高橋健三	書簡	182× 1046		消印 東京明治30年11月4日 水濡れ かび 虫損 書簡宛先「先生御奥様」
541		本田直生書簡						1	
		小生昨冬判事登用試験に及第の上12月31日判事試補拜命、先生の御徳沢に由る儀と奉鳴	明治21年3月8日	高崎治安裁判所 本田直生	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165× 978		
542		本多正憲外2名書簡						1	
		23日麹町星ヶ岡茶寮に於て御閑話相願度御來車奉希候	7月19日	本多正憲外・佐竹儀理・ 松平乗承	高橋健三	書簡	162× 523		封筒上紙剥落 水濡れ 変色 虫損
543		本田 龍書簡						2	
	1	本郡書記今泉国太郎文官普通試験優秀に及第致し、更に高等文官試験を受ける準備中、7級俸にて御採用相成度	明治30年2月16日	山形県 本田北村山郡長(龍)	内閣にて 高橋内閣書記官長(健三)	書簡	178× 2313		消印 東京明治30年2月18日 糊剥離「書留」
	2	本郡書記官今泉国太郎御採用申上候は、仕合之至に有之に付諾否御示願度	明治30年2月27日	山形県にて 本田北村山郡長(龍)	内閣にて 高橋内閣書記官長(健三)	書簡	176× 905		消印 東京明治30年3月1日 封筒汚れ 糊
544		前島栄太郎書簡						2	
	1	過日御願申置候熊谷氏御紹介の件御配意の段奉謝候	明治14年8月18日	横浜弁天通 前島栄太郎	木挽町 高橋健三 神田区駿河台東紅梅河岸 高橋健三	書簡	172× 650		水濡れ 色移り しみ 虫損 封筒に計算書
	2	昨年文部省へ御昇進被相遊候由大賀候	明治16年1月11日	横浜 前島栄太郎	神田区駿河台東紅梅河岸 高橋健三	書簡	272× 195		茂木商店便箋
545		前田朝祐書簡						1	
		国華社より在社中の慰勞として金子恵与に預り拝受仕候	明治24年6月18日	本郷区弓町 前田朝祐	麹町区大手町 高橋健三	書簡	167× 682		糊剥離 書簡中「里見事 前田朝祐」とある
546		牧 東馬書簡						2	状含む
	1		明治18年3月26日	神田区駿河台袋町 牧 東馬	麹町区上貳番町 高橋健三				封筒のみ179×55
	2	今一期御返済無之節は(金利計算書2通)	明治18年4月6日	神田区駿河台袋町 牧 東馬	麹町区上貳番町 高橋健三	状	171× 157		糊剥離
		元利分ノ金百〇三円三十三錢三厘				状	171× 132		
	3	本年9月中迄之滞り分は惣計金28円91錢6厘之処へ28円御差遣し落手、差引91錢6厘不足	明治18年10月10日	神田区駿河台袋町 牧 東馬	麹町区上貳番町 高橋健三	書簡	162× 320		しみ 色移り カビ 切封
547		牧野伸頭書簡						1	
		来る5日夕景御都合伺度候	明治24年12月2日	牧野伸頭	神田橋内官報局 高橋健三	書簡	169× 736		
548		正岡常規書簡(正岡子規)						1	
		新年之御祝儀芽出度申納候、此頃は発熱といふを知らず…	明治31年1月1日	下谷上根岸 正岡常規	相模国小田原山王原 高橋健三	書簡	180× 741		
549		増島一竹書簡						1	
		きよ義快氣に趣き本服次第罷出候に付御奥へ御披露被成下度	明治24年11月22日	神田錦町 増島一竹	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	166× 370		切封
550		増島六一郎書簡						13	
	1	法学会加入人員、役員選挙会に付御示諭に預り、小生も拜眉希望に付、申込人名(2名)	明治13年2月13日	京橋区元数奇や町 増島六一郎	駅通局 高橋健三	書簡	159× 779		虫損小

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	法学会員姓名を新刻の条例冊末へ刊行の義相止め申度其理由の件、広瀬進一氏退社に付	明治13年3月30日	京橋区元数奇屋町増島六一郎	木挽町 高橋健三	書簡	165×785		しみ 虫損 糊剥離
	3	創業費は総人数73名、納済の都合に付委員へ打号の上余金は相預候様取計に付、井上氏遺稿刊行の金子の件	明治13年5月1日	京橋区元数奇屋町増島六一郎	木挽町 高橋健三	書簡	166×632		書簡内日付「4月1日」糊剥離
	4	拝眉相願度義は貯金一件なり、集金の分30円余有之に付預け度存候、8月には諸事整頓仕度、大学生補助金に付相談仕度	明治13年6月20日	南甲賀町 増島六一郎	木挽町 高橋健三	書簡	164×945		書簡内日付「7月31日」封筒「京橋区日吉町東京法学会幹事」印刷し
	5	英吉利法律学校創立の義に付御相談相願度4月5日高橋一勝方小生仮寓迄御一報相成度奉	明治18年3月27日	日本橋区浜町 高橋一勝方 増島六一郎	麹町区上二番町 高橋健三	書簡	246×165		弘毅堂蔵文通用紙2枚
	6	御咄の会社法及会社条例は高橋一勝方に、貨物付託法は元田肇方に有之、御貸置候小説の	明治19年4月27日	日本橋区松物町増島六一郎	下谷根岸金杉村 高橋健三	書簡	241×167		しみ 色移り カビ 虫損 弘毅堂蔵文通用
	7	我日本の人情形勢等を視察の為米国より渡来のなつぶ氏の御高説を候為星岡茶寮へ御参会相願度	明治21年4月16日	日本橋区松物町増島事務所 増島六一郎	麹町区紀尾井町官舎 高橋健三	書簡	173×483		汚れ 封筒に計算書あり
	8	過日來より御尽力の件如何御運びに相成候哉拝承仕度	明治25年5月22日	増島六一郎	高橋健三	書簡	175×350		幸便 しみ カビ 封筒下部欠
	9	敬業社延滞金別紙の通619円52銭7厘5毛有之、弁償方の御説諭相願度	(明治25年)7月27日	増島六一郎	高橋健三	書簡	175×378		幸便 使用済封筒裏を使用 封筒左欠損
		裁判粹誌焼失高明細表・法律正紀焼失高明細表				冊	249×169		8丁 虫損 右上欠損
	10	12日夕為晩食御來車願度、御会合御望の御人あらは御誘被下度	(明治28年)1月8日	麻布 増島六一郎	木挽町水明館 高橋健三	書簡	239×167		幸便
	11	本日杉浦より委細御話申上へく候間延期運動に付御高配被下度、柴四郎へも面会依願遣に	4月30日			書簡	172×336		幸便 しみ カビ 下部欠損
	12	御見舞物賜り御礼申上候、延期件に付ては御尽力被下感謝候、全癒の上は応分の奔走致度	5月30日			書簡	256×169		封筒欠 2枚 左虫損による欠損
	13	後藤伯と法典論に付面会の約有之の処大阪行に付貴兄同人御尋の上大体御話願度	7月28日	日本橋区		書簡	175×649		幸便 しみ 虫損小
551		益田英作書簡						1	
		当地の芝居御見物御思立の由に付同伴人として御見立被下候趣恐縮之至に奉存候	明治23年7月1日	(倫敦三井物産会社支店)益田英作	高橋健三	書簡	246×169		封筒欠 倫敦三井物産会社支店置紙
552		増(?)藤□□葉書						1	
		此書閣下へ御伺拝謁御差許被下候は、何日何時に伺候可仕哉御回答奉願上候	明治30年5月4日	神田小川町尾張屋大石トミ方 増(?)藤□□	麹町区永田町 高橋健三	葉書	141×90		糊剥離 虫損小
553		間瀬 薫書簡						1	
		病氣に付秋元様等へ營業資本として15円御助力の義御取扱被下度	明治23年3月5日	神奈川県八王子 坂本市三郎方 間瀬 薫	麹町区紀尾井町官報局官邸 高橋健三	書簡	160×1055		
554		股野 琢書簡						1	
		此頃に至り漸く株会社設立、社業改更之目的会立候、從來之不仕末は無之極々内々に御依	明治25年5月	赤坂仲之町 股野 琢	麹町区元衛町第壹号官舎 高橋健三	書簡	165×1094		糊剥離
555		松井民治郎書簡						5	
	1	小生出発に際し拝顔を不得残念、爾來本社に従事いたし居候	明治24年9月19日	北海道札幌区札幌製糖会社々宅 松井民次郎	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	166×939		
	2	恭賀新正	明治25年1月15日	北海道札幌苗補村社宅 松井民治郎	神田橋内 高橋健三	書簡	195×260		消印 東京明治25年1勝ち21日
	3	商情視察の為本日上海に向け出発候、滞在は4年間之見込、昨日朝日新聞横沢二郎氏に	明治28年6月17日	松井民治郎	大坂市大阪朝日新聞社 高橋健三	書簡	180×1249		消印 大阪明治28年6月19日 しみ

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	4	便船神戸に寄港いたし候に付是非御訪問可申上考に有之処汽車の都合で拝眉致兼遺憾に	明治28年6月18日	神戸にて 松井民治郎	大坂中之島朝日新聞社 高橋健三	書簡	167× 898		
	5	各開港場巡察に同行いたし諸般之調査に従事に付調査記事などに経費の半額を御投惠被下	(明治28年)10月1日	上海英租界日清公司内 松井民治郎	高橋(健三)	書簡	246× 351		封筒欠
556		松岡又五良書簡						1	
		内閣文庫図書目録御急用之趣に付、新蔵の分は仙田君迄届置候に付	10月11日	官報局 松岡又五良	神田駿河台紅梅河岸 高橋健三	書簡	282× 197		幸便「内閣文庫目録添」官報局封筒 内閣便箋
557		松岡友之助書簡						1	
		謹奉賀新正 又五郎の義8月以来閣下之門学校へも通学罷在候御厚情之段感謝の至御座	明治25年1月3日	秋田県平鹿郡角分川村 松岡友之助	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	166× 1257		消印 東京明治25年1月6日 虫損
558		松岡文口(播か)書簡・葉書						2	葉書含む
	1	書簡拝見仕候、該件は御延引相成候様致度に付	明治24年12月11日	松岡文口	神田橋内官報局御官舎 高橋健三	葉書	141× 89		汚れ大
	2	御窺申上候件は先方へ示談を遂げ候処皆了承仕り候間御取引之義は明日ても不苦候由に	12月10日	松岡文口	高橋健三	書簡	172× 970		封筒欠
559		松方正義書簡						5	
	1	22日芝紅葉館に於て御話申度候間御来車被下度	明治24年11月18日	伯爵 松方正義	官報局 高橋健三	書簡	195× 452		幸便 内閣用封筒 虫損
	2	御出京之由夜分にても御光臨被下度御清話申承度御座候	明治28年1月20日	柴三田 松方正義	木挽町水明館 高橋健三	書簡	181× 470		
	3	明日午前十時御埋棺祭に不内閣連中罷出居方可然と存候間官舎より大隈・清浦へ伝話可	(明治30年)2月8日	松方正義	高橋書記官長(健三)	書簡	188× 928		幸便
	4	過刻は御出面新聞2部云々の御事其儘御打捨置被下候、御心頭に被懸候段は萬謝	(明治30年)2月19日	松方正義	高橋健三	書簡	183× 580		幸便 内閣用封筒
	5	今朝宮内大丞より之電報によれば陛下20日御還幸と御決定相成候よし外務大丞に通知有之	(明治30年) 月13日	外務省 松方正義	永田町 書記官長	書簡	178× 631		幸便 外務省用封筒 汚れ 変色 虫損
560		松方幸二郎書簡						1	
		謹賀新年 今夕5時より永田町に於て琵琶会相催候	明治24年正月5日	松方幸二郎	高橋健三	書簡	204× 466		幸便 汚れ 虫損 糊剥離
561		松木平吉書簡						1	
		製本之義昨日中可申上筈之とて止不得組合用にて帰宅延刻仕候、綴方の手間に付	明治22年9月16日	両国吉川町 松木平吉	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	161× 656		しみ カビ 虫損
562		松下丈吉書簡						2	
	1	書籍の義は英語学校へ相願候様運、2日宮崎君貴兄へ面会致度趣に付御打合可申候	明治21年7月31日	神田猿樂町 松下丈吉	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	178× 438		変色
	2	御申越之趣了承、十分に相叩き延期賛成之方へ引付方相試可申候	6月3日	富士見町 松下丈吉	高橋健三	書簡	163× 248		幸便
563		松島松石書簡						1	
		奈良博覧会社長鳥居氏14日奈良公園改良祝賀会開設に就き打合会旁出社、面会被遊度に	(明治28年)10月7日	奈良下御門 松島松石	大阪朝日新聞社々邸 高橋健三	書簡	187× 129		幸便封筒上書「托鳥居君」罫紙2枚
564		松田龍方書簡						1	
		本年8月よりの勘定書差出候間御覧の上差引残御遣被下度	明治14年10月28日	今川小路 松田龍方	木挽町 高橋健三	書簡	165× 210		汚れ 虫損小
		記(金1円13銭2厘御差出被下度)				状	165× 307		虫損小 糊剥離
565		松涛 書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
566		外交問題に付近日御出京の御計画邦家之為大希望を表する所に御座候 松野貞一郎書簡	明治26年12月3日	東京一番町 松涛	大阪市中之島 高橋健三	書簡	164×1224		しみ もろけ 虫損 糊剥離
	1	当方別に異状も無之、専修学校諸彦へ御面会之節伝声を乞ふ、返金一条に付通知被下度	明治18年3月4日	神戸始審裁判所 松野貞一郎	太政官文書局官報掛り 員高橋健三	書簡	158×750	3	消印 東京明治18年3月6日 封筒右上欠損
	2	春木町万木より又督促到来甚だ困却致候、暫時猶予致す様万木に御談判願度	明治18年4月23日	神戸裁判所 松野貞一郎	麴町区上二番町 高橋健三	書簡	154×606		消印 東京明治18年4月26日 汚れ しみ 糊剥離
	3	所々散策結末向島奥の植半に宿泊候、明朝御用済次第奥田同道御出向奉待候、明日は終日同所に在り	明治25年9月2日	向島奥植半 松野貞一郎	[]神田橋内 高橋健三	書簡	171×839		封筒右上欠損「山田喜之助代筆」虫損 糊剥離 書簡内差出人松野外3名
567	松原且次郎書簡							1	
		小生去月25日恙なく着港仕に付	明治21年8月30日	兵庫県下神戸下山手通 松原且次郎	麴町区紀尾井町第一号 官舎 高橋健三	書簡	162×687		消印 東京明治21年9月1日
568		松村席雄書簡						4	
	1	米国渡航揺器製造之義に付御添書を賜はり奉多謝候、其後脚氣病に罹りに付20円御恩借被	明治24年11月16日	麻布区本村町 松村席雄	高橋健三	書簡	167×1000		幸便 しみ・虫損小 糊剥離
	2	愚書を以て御懇願候通困窮を極め仕候故一時御融通被成下度	明治24年11月17日	麻布区本村町 松村席雄	高橋健三	書簡	163×393		幸便 しみ・虫損小
	3	御聞済被成下金5円御貸与慥に落手奉鳴謝候	明治24年11月19日	麻布区本村町 松村席雄	高橋健三	書簡	163×693		幸便 しみ・虫損小 糊剥離
		借用証 金10円	明治24年11月19日	麻布区本村町 松村席雄	高橋健三	状	163×318		しみ小
4	金10円之高に相成候様御恩借之程奉願候	明治24年11月20日	麻布区本村町 松村席雄	高橋健三	書簡	163×329		幸便 しみ・虫損小	
569		松本幹一書簡						17	
	1	14日御招待を蒙り御厚情之程感謝候	明治24年12月13日	築地 木村方 松本幹一	神田橋内元衛町官報局 官舎 高橋健三	書簡	227×160		水濡れ 色移り
	2	21日帰阪仕候、兼て御熟談申上置候一件は上野氏に説き置候、来春に相成候に付御承知被下度	明治24年12月24日	大阪市中之島淀屋橋北 詰西入浜側 松本幹一	麴町区元衛町 高橋健三	書簡	186×719		消印 東京明治24年12月26日 水濡れ 色移り 糊剥離
	3	村山氏より御熟談申上候事に付御内意は上野氏までは申入、村山氏へは打明け話し不申、村山氏上京までに上野氏と協議決定可致と存	明治25年1月11日	大阪市中之島淀屋橋北 詰西入浜側 松本幹一	神田橋元衛町 高橋健三	書簡	185×761		消印 東京明治25年1月13日 水濡れ 色移り 糊剥離
	4	御伺申上置候件は如何御座候哉、村山氏帰京の期迫り居候間御返書を得度	明治25年1月19日	大阪市中之島淀屋橋北 詰西入浜側 松本幹一	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	156×450		消印 明治25年1月21日 しみ 変色 カビ
	5	過日の大火御関係の学校類焼に罹り奉恐察候、芦雪画幅の件、国華逐号精算に至に附	(明治25年)4月27日	大阪市中之島淀屋橋北 詰西入浜側 松本幹一	神田橋内 高橋健三	書簡	187×1109		幸便「附書 小川定明氏芦雪画幅添」
	6	兼て御示諭の西川一件小生は負債片付に金策に奔走中、西川は危篤と書簡到来で承知仕	明治25年9月15日	大阪市中之島淀屋橋北 詰西入浜側 松本幹一	神田橋内 高橋健三	書簡	182×1403		消印 東京明治25年7月17日
	7	出京の儀は今月末にて、其節御高慮御伺申上候に附	明治25年9月22日	奈良餅飯殿町 共盛舎 にて 松本幹一	神田橋内 高橋健三	書簡	181×814		消印 東京明治25年9月23日 書留
	8	生義仕舞汽車にて帰阪、着之上は上野氏を相探り御報可申上候、それまでに村山氏に御逢	明治25年10月8日	築地 木村方 松本幹一	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	181×703		汚れ 虫損 封筒上部欠損 糊剥離
9	一昨夜帰阪、御示諭の件上野氏へ熟談及び異議なき模様は附村山氏に面談被下候はば好都	明治25年10月11日	大阪市中之島淀屋橋北 詰西入浜側 松本幹一	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	181×748		消印 東京明治25年10月12日 封筒上部	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	10	村山氏帰京延引の件、国華代段々延引相成り恐縮の至存候	明治25年11月4日	大阪市中之島淀屋橋北詰西入浜側 松本幹一	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	181×1194		消印 東京明治25年11月5日
	11	両回の御示諭にて御近状委曲拝承候処小生の素懐を相遂欣喜に過ぎず候	明治25年11月12日	大阪市中之島淀屋橋北詰西入浜側 松本幹一	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	181×769		消印 東京明治25年11月14日
	12	一件程よく御協議相纏り上野氏より送金致し候由にて安堵仕候、御来阪の件御消息相待居候	明治25年12月15日	大阪市中之島淀屋橋北詰西入浜側 松本幹一	北豊島郡日暮里村字金杉 高橋健三	書簡	182×762		消印 東京明治25年12月17日
	13	御辞職断行に就ては驚かれ候事に存候、村山氏より申来り候上にて発表致し度	明治25年12月30日	大阪市中之島淀屋橋北詰西入浜側 松本幹一	北豊島郡日暮里村 高橋健三	書簡	181×1211		消印 東京明治25年12月3日 書留
		編輯係員(人名一覽)				状	181×477		
		英書目録				状	172×906		
	14	京都稲荷山松茸到来に附軽微に候得共呈上候	10月23日	日本橋区両国吉川町 国華社 松本幹一	高橋健三	書簡	162×513		幸便 国華社封筒
	15	弊社に高等官員之写真入用に付御手許にて御都合相成不申候哉	12月11日	松本幹一	高橋健三	書簡	184×470		幸便「榎本義路氏携帯」しみ 変色
	16	日本新聞用紙之儀に付西川氏閣下に面会の上千寿製紙の件御話申上度に付	12月16日	松本幹一	高橋健三	書簡	169×389		幸便「西川芳之助氏携帯」しみ 変色
	17	御示諭随ひ午後3時頃拝趨に仕候	21日	大阪市中之島淀屋橋北詰西入浜側 松本幹一	高橋健三	書簡	183×320		幸便 封筒汚れ
570	真中直道書簡						2		
1	横浜郵便局に於て英語に達し之者入用有之に付英語に通じ官途有望の人御周旋被下度	明治14年12月12日	横浜郵便局 真中直道	築地 高橋徳右衛門内 高橋健三	書簡	162×234		汚れ 虫損小	
	2	外国御遊之由御旅中御恙無之御帰朝之程申上候	(明治23年)2月22日	小石川関口台町 間中真道	紀尾井町 高橋健三	書簡	173×546		幸便 虫損小
571	間部義一郎書簡						1		
	御面倒相願おき候原稿如何相成居候哉	明治28年10月15日	大阪市東区瓦町 明教 保険株式会社 間部義	神田区駿河台紅梅川岸 高橋昌長方 高橋健三	書簡	172×997		糊剥離	
572	丸岡莞爾書簡						2		
1	羅馬古代之塑像模造品御惠贈不相変御厚情之程感謝仕候	(明治23年)12月	丸岡莞爾	高橋健三	書簡	172×860		幸便 封筒上書「腕枕画幅及丸盆添」糊剥	
	2	此品は拙作に候得共土産に任せ進呈候、昨年頂戴用灯之御礼に付	7月2日	丸岡莞爾	高橋健三	書簡	168×420		幸便 しみ 虫損小
573	Jeanne Martin書簡						3		
1		明治24年2月20日	パリ Jeanne Martin	官報局 高橋健三	書簡	175×219		外国郵便 フランス語 便箋2枚	
	2	明治24年5月16日	パリ Jeanne Martin	官報局 高橋健三	書簡	167×210		外国郵便 フランス語 虫損	
	3	明治24年6月12日	パリ Jeanne Martin	官報局 高橋健三	書簡	178×226		外国郵便 フランス語	
574	三浦大之助書簡						2		
1	石井君御上京の好機に接し詳細之事陳情仕置候間御配慮被成下候は、大幸之至りに御座	明治28年5月29日	牛込区弁天町 三浦大之助	高橋先生(健三)	書簡	168×903		幸便 糊剥離	
	2	東京法学院の庶務に従事罷在候へど私相応の処と思召す箇所へ御取立被成下度奉懇願	明治28年10月14日	牛込区弁天町 三浦大之助	駿河台紅梅町高橋内 高橋健三	書簡	172×1105		幸便 糊剥離
575	三崎亀之助書簡						2		
1	去月27日不慮の難に遭逢候節は御見舞御厚情奉深謝候、爾来殆ど平癒に付	明治24年3月6日	小石川区原町 三崎亀之助	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	176×296		封筒上部汚れ	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
576	2	公法刊行之儀先方へ掛合被下奉謝候書肆八尾へ御面会の節は京橋区滝山町へ参る様命水沢謙治書簡	明治25年3月25日	小石川区原町 三崎亀之助	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	181×544		虫損小
		崖鉱鉄道会社志願之義に付御周旋を煩し度水島鏡弥也書簡	明治25年7月24日	飯田町 芹沢方 水沢謙治	麹町区元衛町官報局官舎 高橋健三	書簡	182×1236	1	封筒上部汚れ小 糊剥離
577		高山氏件後任伊庭貞剛招聘之事に取極居候に付高山氏へ御内報被成下度	明治21年10月4日	大阪西区江戸堀南通商業学校 水島鏡也	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	172×868	2	消印 東京明治21年10月7日
	2	高山氏当校へ御成任之儀本日裁可相成候に付ては電報を以て通報申上候通に付	明治21年10月16日	大阪府商業学校 水島鏡也	内閣官報局 高橋健三	書簡	154×750		消印 東京明治21年10月19日 汚れ 虫損
578		水野信三郎書簡		深川区三好町 水野信三郎	(高橋健)三	書簡	?×490	1	上部欠
		水野 遵書簡						1	
579		参事員書記梶川氏官報之件に付拝眉願度旨に付御一面を賜り度	10日	水野 遵	高橋健三	書簡	172×398		幸便 封筒上書「梶川口次郎持参」衆議院用封筒
		水野彌與次書簡						1	
580		不肖こと御試験の上相当の場所へ御採用被下候は、粉骨碎身以て実効を奏さん	明治25年1月4日	神田区猿樂町 馬場栄方 水野彌與次	内閣官報局 高橋健三	書簡	250×340		幸便
		道家三郎書簡						2	
581	1	官舎規則は議論多様に奉存候に付速急発表の運には御座無と愚考候段回答迄	4月16日	道家三郎	高橋官報局長(健三)	書簡	182×590		幸便 内閣用封筒 封筒計算書あり 糊剥離
	2	小生懇意の者別記の廉相分間敷哉否依頼致候、御差支無之は依頼の儘申上候	8月21日	内閣 道家三郎	官報局 高橋健三	書簡	185×445		幸便 内閣用封筒 虫損糊剥離
	3			内閣 道家書記官	高橋官報局長(健三)	封筒			封筒のみ200×80
582		皆川口口書簡						1	
		口上(奥様より御伯母上様へ小遣3円先生より受取可相渡す旨被仰越候に付)	明治21年8月27日	皆川口口	高橋(健三)	書簡	165×1190		糊封 幸便
583		南 弘書簡						2	
	1	昨日山田衆議院議長より小生かこと田氏に御依頼被下候由、御病気見舞旁御礼まで	明治30年10月2日	麹町区永田町 南 弘	相州小田原万年町鈴木方 高橋健三	書簡	191×646		消印 小田原明治30年10月3日 書簡虫損
584	2	小生本日内閣書記官に任命相成りに付御礼申上御報道まで	明治31年3月16日	麹町区永田町 南 弘	相州小田原三野原 高橋健三	書簡	177×589		消印 小田原明治31年3月17日 糊剥離
		嶺 八郎書簡						2	
585		御願申上候門標の義別紙雛形の通御揮毫被下度奉懇願候	10月10日	嶺 八郎	高橋健三	書簡	185×456		しみ 封筒上書「林子平先生肖像添」糊剥
		過日御願申候門標御揮毫の件如何、林先生の自画肖像を得、先生へも一葉進呈申上候に付	10月24日	西紺屋町 嶺 八郎	高橋健三	書簡	171×623		
586		三宅恒徳書簡						1	
587		小生儀頃日友人小川より非常之迷惑を蒙り候間即時先方へ参り和解決定仕候に付	明治20年6月8日	牛込区天神町 三宅恒徳	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	158×414		虫損小
		呼出状	明治20年6月7日	麹町区治安裁判所	麹町区紀尾井町 高橋健三	状	248×174		
587		三宅雄二郎葉書						1	
		恭賀新年	明治25年1月5日	メルボルン 三宅雄二郎	神田橋内 高橋健三	葉書	130×88		

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
588		都太夫一書簡						1	
		矯風会の義8日鹿鳴館に於て相開らき候事に取極り候に付来駕願度	明治21年7月4日	日本橋区蛸殻町 都太夫一中	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	173×627		汚れ 糊剥離
589		宮崎道三郎書簡						3	
	1	先日来数度御拜駕被成下失敬候 多忙中に付御断申上候	明治14年8月20日	銀座 宮崎道三郎	農商務省 高橋健三	書簡	158×497		
	2	昨夜不二見軒に於て門鑑壹個遺却有之候趣に付貴下所持の品に義座候はゞ請取被下度	明治21年11月13日	四谷左門町 宮崎道三郎	麹町区紀尾井町第1号 官舎 高橋健三	書簡	165×345		
	3	大学一覽・手本1冊御使相托候に付落手被下度	8月12日	宮崎道三郎	高橋健三	書簡	165×437		幸便 水濡れ色移りカビ
590		宮崎道正書簡						4	
	1	東京電報之件当方にて引受候事に相成候、活版所も繁用に相成り入費も増加し何とか工夫	明治21年6月5日	小石川久堅町 宮崎道正	紀尾井町官報局 高橋健三	書簡	173×501		虫損
	2	15日例会後御相談願度義有之候に付御来会奉希上候	明治21年6月11日	小石川久堅町 宮崎道正	麹町区紀尾井町官報局 高橋健三	書簡	194×259		汚れ しみ
	3	活版所流用金千円余を要し候に付機械抵当に金額借受の件可然御指示被下度	明治21年7月25日	小石川久堅町 宮崎道正	麹町区紀尾井町官報局 高橋健三	書簡	173×486		糊剥離
	4	平賀・谷口両氏帰朝相成迄杉浦氏熊本行に付10月1日例会催し度	明治21年9月29日	小石川久堅町 宮崎道正	麹町区紀尾井町官報局 高橋健三	書簡	166×423		封筒上部欠 糊剥離
591		宮嶋鋼三郎書簡						2	
	1	10日東京を発し陸路神戸へ、28日神戸より乗船し長崎着、后来以前の通御引立被下度奉願	明治21年1月30日	長崎県長崎区本紺屋町 松雪方 宮嶋鋼三郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	161×545		消印 東京明治21年2月8日 しみ カビ 糊
	2	当裁判所訴訟事件極めて少なく吞生の研究主義の本には却て不幸の様に思われ候、仙田氏	明治21年6月14日	長崎県西彼杵郡下長崎村 宮嶋鋼三郎	麹町区紀尾井町第1号 官舎 高橋健三	書簡	160×1021		消印 東京明治21年6月19日 糊剥離
592		宮嶋於貴彦書簡						1	
		御用達申上置候金御皆済被下候に付元利仕分書差上申候	明治28年1月	本郷区真砂町 宮嶋於貴彦	日本橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	181×548		
593		宮田部梅吉書簡						3	
	1	尊翰議場に計り草案調査之為7名之委員を選挙致し、16名の特別調査員出来貴台へも御依頼申上げたる事に御座候	(明治24年)6月9日	商業学校 宮田部梅吉	官報局 高橋健三	書簡	174×676		幸便 しみ
	2	学校に於ても都合よく可相運模様に御座候、石川氏の事尊兄より浜尾氏へ御心付被下度	明治24年7月28日	神田南甲賀町 宮田部梅吉	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	175×678		封筒上部もろけ しみ 虫損小
	3	学校御見限り遺憾無此上、今後も校務上御具言被下度奉願候	(明治24年)9月2日			書簡	176×460		幸便 しみ 虫損小
594		宮本 仲書簡						12	
	1	御見舞之状頂戴奉謝候、小生一兩日中に必繰合参診之都合に心掛可申候	明治24年8月)12日	大阪曾根崎村 宮本 仲	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	172×774		しみ 虫損 糊剥離
	2	立奈良行任、藤田・奥様・河瀬の皆様の厚遇にて大愉快、奥様を診察致候処軽快にて御安意有之度	明治24年8月16日	大阪西成郡曾根崎村 宮本 仲	[]内閣官報局官舎 高橋健三	書簡	171×732		消印 東京明治24年8月17日 しみ 虫損 糊剥離
	3	口上(結構のかたびら頂戴御礼申上度候)	(明治24年) 月23日	宮本(仲)	高橋(健三)	書簡	175×282		幸便 しみ 変色 カビ 糊剥離
	4	合川氏診察之御報告、乞御内定	(明治25年) 月19日	きじ町 宮本 仲	元衛町 高橋健三	書簡	162×993		幸便
	5	朝日新聞御送付被下一読候処予て軍夫解備之事掲載被下難有御座候、小生儀出張被命に	明治28年5月17日	神田雉子町 宮本 仲	大阪中の島 高橋健三	書簡	182×625		消印 大阪明治28年5月18日 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	6	過般中は御不快に入れ其後如何に御座候哉、小生儀本日帰京仕候に付	明治28年10月27日	宮本 仲(代筆)	静岡県興津町 千歳屋方 高橋健三	書簡	173×416		消印 興津明治28年10月28日 封筒落書き
	7	興津には何日頃迄御滞在之御見込に候哉、「ツベルクリン」注入云々の事	明治28年10月31日	神田雉子町 宮本 仲	静岡県興津町 千年屋高橋健三	書簡	176×986		消印 興津明治28年11月1日 糊剥離
	8	電報にて御申越のキニーネ以小包郵便御送申上に付、該薬之用法、興津転地の件に付	明治30年9月7日	神田雉子町 宮本 仲	相州小田原万年町鈴木氏内 高橋健三	書簡	180×683		消印 小田原明治30年9月8日水濡れ色移
	9	瀧様より御状を賜り止咳に「塩酸コデイン」「塩酸モルヒネ」調達可申仰越し承知仕り候、奥様頭痛の丸薬・散薬に付	明治30年9月18日	神田雉子町 宮本 仲	相州小田原万年町鈴木方高橋健三	書簡	175×1272		消印 小田原明治30年9月19日 しみ カビ 糊剥離 書簡「高橋・
	10	薬剤の義松野君に散剤旧方のもの差上に付、奥方様の薬は水散兼用軽重に応じ御斟酌被下度、丸薬の使用法並び養生法に付	明治30年9月28日	神田雉子町 宮本 仲	相州小田原万年町鈴木方高橋健三	書簡	175×1147		消印 小田原明治30年9月29日 しみ 色移り かび 糊剥離
	11	小包郵便御送り申上候間御落手被成下候、差上候炭酸クレオソートの効用に付	明治30年10月18日	神田雉子町 宮本 仲	相州小田原万年町鈴木方高橋健三	書簡	243×334		消印 小田原明治30年10月19日 色移り
	12	頓服薬は即刻発送申上候、前回の分は御地の局を御調べ被下度、クアヤコールの薬功に付	(明治30年10月)20日	宮本(仲)	高橋(健三)	書簡	180×3929		幸便 汚れ 糊剥離
595		宮本 央書簡						3	
	1	尊公及陸、青山之諸君へ御用立候金円明後日中御完済被成下度	明治24年5月8日	下谷区練堀町 宮本 央	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	172×429		汚れ 虫損
	2	彼ノ金件に付奥田君御差支之由候得共瀧先生特約保証御頼被下候ハ御用弁可申上候	明治24年10月23日	麹町区紀尾井町 宮本 央	麹町区大手町官報局官舎高橋健三	書簡	162×890		
	3	御用立申上候利子領収券参上仕候処風邪にて引籠に付中村に御下付被成下度	11月11日	麹町区紀尾井町 宮本 央	高橋健三	書簡	158×527		幸便 封筒上書「仲村正義氏持参」しみ 虫損 糊剥離
596		宮本三平書簡						1	
		御用立之金160円本月17日迄之約定に付御通知候	明治17年7月13日	錦町 宮本三平	神田区駿河台紅梅川岸高橋健三	書簡	160×257		しみ 変色 カビ 書簡 中宛先 高橋健三・大木房英・鶴能一・河村
597		宮本良太郎書簡						1	
		御尽力を以て当地へ事務局設立之幸を得小生欣喜不斜偏に閣下之賜とろ勞を謝する所に有	明治25年9月10日	兵庫県官税署 宮本良太郎	内閣官報局 高橋健三	書簡	166×1133		消印 東京明治25年9月11日 下部変色・虫
598		欠番							
599		牟田豊書簡						4	
	1	養生届別添差上候に付御取被下度、小林君よりの返書別紙到来に付	明治13年10月28日	芝飯倉片町 牟田 豊	駅逓局管船課 高橋健三	書簡	162×685		住所朱書「木挽町」
		商船律中船長之部御引受相成度趣差支無之に付御願候	(明治13年)10月27日	小林	牟田(豊)	書簡	174×361		虫損小
	2	世界進歩論御返却の義大隈参議取次人の誤解により擯斥の件、西洋形船減税之義に付	明治14年8月1日	飯倉片町 牟田 豊	木挽町 高橋健三	書簡	159×548		
	3	昨年父より御取替仕置候残金の義至急御返戻被成下度に付	明治15年12月24日	芝菜町 牟田 豊	駿河台紅梅河岸瀧和亭方高橋健三	書簡	163×551		色移りあり
600		村田峯次郎書簡						3	
	1	還幸21日発輦24日御帰京と内決相成よし、滋賀県庶務課阪元等と京都府知事に面語、官報局に著名の事物報告の策を画置候	明治20年2月13日	京都柳馬場蛸薬師北へ入内閣属 村田峯次郎	内閣官報局次長 高橋健三	書簡	165×826		消印 東京明治20年2月16日 しみ 色移り

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	還幸官報報告一条は武豊発艦以後は宮内官吏24日着京之上は宮内省より報知之事に相談申候	明治20年2月19日	京都柳馬場蛸薬師北へ入内閣属 村田峯次郎	内閣官報局次長 高橋健三	書簡	165×1011		消印 東京明治20年2月26日 太政官用封筒 汚れ 虫損 カビ
	3	印刷手続申込候処9時に印刷出来、3000部位は10時半位に郵便局へ廻申候	9月20日	印刷局出張員文書局 村田峯次郎	太政官文書局書記 高橋健三	書簡	177×2605		幸便 しみ 汚れ 虫損 文書局出張所封
601		村田命清書簡						1	
		大浦御通行の御態々御来訪被下奉万謝候、其節不在にて残念至極に付	明治21年8月30日	佐賀県佐賀郡松本村 村田命清	麹町区紀尾井町第一号 官舎 高橋健三	書簡	181×1033		消印 東京明治21年9月1日 糊剥離
602		村田命道書簡						1	
		時公御容体如何に御座候哉	明治29年8月9日	京都市一条通新町西 村田命道	大阪市中之島 朝日新聞社内 高橋健三	書簡	160×551		変色 もろけ カビ
603		村山龍平書簡						16	
	1	願置候一件御運び被下奉深謝候、先方より御請求之趣承諾仕候、一日も早く御従事願度に拝話仕置候一条大阪表へ申遣に付帰阪同志にて協議候上御返事可申上候	明治23年11月29日	村山龍平	高橋健三	書簡	165×748		幸便 東京朝日新聞社封筒 封筒上部欠
	2	御内話申上置候売捌一条彼等へ申談候処乍残念御断申上度旨申出候に付	(明治25年)1月6日	銀座 村山龍平	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	175×644		虫損
	3	16日一番汽車にて出発仕候、一応相窺可申筈に付	明治25年5月3日	村山龍平	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	175×770		
	4	社業上に付ては御出力被下との義難有奉存候、付取敢御挨拶迄	明治25年10月15日	銀座 村山龍平	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	183×631		
	5	清国講和便云々御内報被下難有奉存候	明治25年12月28日	在東京 村山龍平	大阪中之島花屋方 高橋健三	書簡	185×711		消印 大坂明治25年12月30日
	6	大阪より来電之趣拝承、小生方へも同様打電越候	(明治28年)1月7日	村山龍平	高橋健三	書簡	182×366		幸便
	7	西川通徹君儀近衛従軍者として約束整候に付御面会被下度、近衛軍人中に御総会等相願度今朝西川氏御面会被下候事と推察候、府下講釈席読物の義取調別紙出来に付	(明治28年)1月7日	村山龍平	高橋健三	書簡	163×336		幸便
	8	別紙時報接手仕候、彼のフオスター今朝横浜に着致し候	(明治28年)1月11日	村山龍平	高橋健三	書簡	180×751		幸便 封筒上書「西川通徹君持参」 糊剥離
	9	兼て承り置候調べ物別紙之通出来候に付、諸公債類第二軍公債の影響を受しも諸株式は反拝見仕候第四回博覧会云々のこと掲載方承知仕候	(明治28年)1月11日	村山龍平	高橋健三	書簡	180×535		幸便 封筒汚れ
	10	大坂送り書物入手今夜の便に御送り可申候、軍用写真隊の原稿難有奉存候	(明治28年)1月21日	村山龍平	高橋健三	書簡	180×430		幸便
	11	昨朝着京致し、時間無之面会得ずして今夜帰阪致し候、速記者某一条・国華社上阪之一条本日中に相窺申上置候処頭痛を覚候に付御断申上候	(明治28年)1月22日	村山龍平	水明館 高橋健三	書簡	179×430		幸便 封筒破損大 水濡れ変色
	12	今夕7時頃には帰宅致居候間7時過より御来臨被下候はば好都合に奉存候	(明治28年)1月23日	村山(龍平)	高橋(健三)	書簡	182×435		幸便 糊剥離
	13	目加田種太郎書簡	1月23日	村山(龍平)	高橋(健三)	書簡	181×505		幸便 書簡上部しみ
	14	明治会堂2階1室土曜日は不都合の由、法学会の都合如何のものに候也相伺候、日独書売渡の件、専修校何か講せられ候也	(明治28年)10月4日	村山龍平	高橋健三	書簡	180×1434		幸便 糊剥離
	15		11月29日	村山龍平	高橋健三	書簡	182×747		幸便 糊剥離
	16		12月20日	村山龍平	高橋健三	書簡	182×931		幸便 汚れ 虫損
604		目加田種太郎書簡						6	
	1	明治会堂2階1室土曜日は不都合の由、法学会の都合如何のものに候也相伺候、日独書売渡の件、専修校何か講せられ候也	明治14年10月14日	中六番町 目加田種太郎	木挽町 高橋健三	書簡	161×910		汚れ 虫損 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	堀田氏の事19日治罪法講義に出現せず何か行違ひ候哉、同氏へ照会被下度	明治14年10月21日	中六番町 目加田種太郎	木挽町 高橋健三	書簡	161× 614		封筒表破損あり、虫損
	3	別紙之通申来候間可然御取計奉願上候	明治17年9月2日	小石川原町 目加田種太郎	京橋区南紺屋町 高橋健三	書簡	162× 368		
		在中書付之事に付遣候儀故右件御不在ながら御取計被可成度	(明治17年9月)3日	目加田種太郎	高橋(健三)	書簡	161× 648		
		貴家の家屋税の納方の儀区役所より小生方へ申来り候に付6日8円40銭差出置申候に付	(明治17年9月)11日	目加田(種太郎)	高橋(健三)	書簡	177× 674		
4	参局の節御話致候書類先以必要と存じ候もの別冊及御送致候	明治25年7月21日	横浜 目加田税関長(種太郎)	東京官報局長官 高橋健三	書簡	183× 688		しみ 虫損 封筒表破損あり	
605		元田 肇書簡		元田 肇				4	
1	小生選挙一条にて帰郷の事に相可成に付、追て学士先輩諸兄の法典に関する御養見出来の由議會御指揮宜願上候	明治25年4月27日	銀座 元田 肇	神田橋内官報局 高橋健三	書簡	177× 1074			しみ 糊剥離
	小生帰郷の上代言組合選挙に奔走、彼の延期案は是非徹底仕度一顧に有之候間御承知被	明治25年5月4日	麹町区紀尾井町 元田 肇	神田橋内官報局 高橋健三	書簡	161× 549			色移り 虫損 糊剥離
	御配慮にて証書御取被下忝御礼申上候、200円と別に書類差出候に付	3月19日	麹町区紀尾井町 元田 肇	官報局 高橋健三	書簡	165× 893			幸便 糊剥離
	今日受領証書写等々々御届被下御丁寧の至御座候、県口候補一条話にならぬ事多く小生断念せんと存知居候	3月22日	麹町区紀尾井町 元田 肇	高橋健三	書簡	181× 1052			幸便 色移り 糊剥離 3月19日付書簡と関連
606		森田文蔵(思軒)書簡		森田文蔵(思軒)	高橋健三			4	
1	奈良より御帰郷の由、岡倉学士も帰郷の報あり、一場の清談相催し候ては如何、御都合次	明治21年8月30日	本所横綱町 森田文蔵	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	166× 581			虫損小 書簡内署名「思軒」
	芝居の方唯今直談致し候処なかなかの景気如何にも無止勢と被為候	明治21年10月5日	日本橋区築研堀町 報知社 森田文蔵	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	158× 506			書簡内署名「思軒」
	川田書生のお頼みの事小生の小説を休み其余白に投書載候様注文致候、明朝配達の紙面	明治21年10月10日	本所横綱 森田文蔵	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	167× 899			書簡内署名「思軒」 糊剥離
	必ずしも月評に登されん事を望むるも居らねど	7日	森田思軒(文蔵)	京橋検(紺)屋町出板月評社 高橋健三	書簡	181× 614			幸便 封筒上書「月評用」糊剥離
607		森脇 籌書簡						7	
1	小生20日出立後諸事好都合にて今日無事帰郷仕候、一心保養に従事し明歳出京決心致候	明治15年9月24日	山口玖珂郡錦見村大明小路 森脇 籌	神田区駿河台東紅梅河岸 高橋昌長方 高橋健三	書簡	164× 1039			消印 東京明治15年9月29日 汚れ 糊剥離
	奉願は一日も早く出京仕度に付、頃日専修学校は如何に候哉益盛大と奉察候	明治16年4月14日	山口玖珂郡錦見村大明小路 森脇 籌	神田駿河台東紅梅町高橋昌長方 高橋健三	書簡	160× 1017			消印 東京明治16年4月20日
	謹賀新婿 何か御心当り御座候へは御周旋被下度、一日も早く出京仕度	明治19年1月25日	山口玖珂郡錦見村大明小路 森脇 籌	麹町区上二番町 高橋健三	書簡	159× 1064			消印 東京明治19年1月30日 しみ
	テリ一氏法律原論・アンソシ契約法製本之件、本校講義録の体裁の件、用紙購求の件ほか御伺申上度	明治21年10月12日	神田区錦町英吉利法律学校 森脇 籌	麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	250× 169			英吉利法律学校用封筒英吉利法律学校用箋6枚 虫損小
	計算書は今晚又は明朝にかけて為持上候に付御聞置奉願上候	明治23年10月31日	神田錦町東京法学院 森脇 籌	麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	165× 574			東京法学院封筒 虫損 しみ カビ
	御尋之趣了承候、8月25日発行之雑誌へ掲載を願ひし広告料の義は支払未済に付	明治15年10月10日	森脇 籌 (岸小三郎)	高橋健三 (東京法学院 森脇籌)	書簡	247× 171			幸便 「岸小三郎事務所用紙」罫紙 変色
	知人の話の内閣書記官長を病氣之為に辞職云々御身一層御自愛被遊度、増島・松野・菊池先生の事	明治30年10月17日	周防国玖珂郡神代村城ヶ崎 森脇 籌	麹町区内幸町 高橋健三	書簡	248× 346			便箋2枚
608		八木秀太郎書簡						3	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考	
	1	先日御願申上置候浅井安倫の一件御決着相成候哉本人差出に付	(明治21年)7月24日	八木秀太郎	高橋健三	書簡	167×602		幸便 封筒上書「浅井安倫氏持参」糊剥離	
	2	浅井安倫儀何卒相応の用途御按出被下候様御依頼申上候	(明治21年)8月21日			書簡	166×523		幸便 封筒上書「浅井安倫氏持参」糊剥離	
	3	浅井安倫身上の儀更に御配意を相煩し申上候、14日芝能楽堂別紙番付御欄之上御出懸被能組(プログラム)	明治21年10月2日 明治21年10月14日興行	市谷砂土原町八木秀太郎 債主:能楽社	紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡 状	177×1250 179×260		封筒上部欠 虫損小 印刷物 虫損	
609	安井鉦之助書簡							1		
610		先般御願申上候義に付御尽力被下度候	明治14年8月4日	神田猿楽町 安井鉦之助	京橋区木挽町 高橋健三	書簡	165×460			
		安岡恒次郎書簡						2		
611		過日御依頼之趣に関し既に他に編者取極候由博文社長の書面相添申越の趣委細承知仕候不都合の儀出来仕り候に付註釈者は片貝正吾氏に相定め度奉存候、相談之義は御取消相	明治21年5月11日 (明治21年)5月8日	牛込区白銀町 安岡恒次郎 京橋区銀座博聞本社 長尾景弼	麹町区紀尾井町 高橋健三 麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡 書簡	172×850 158×1042		糊剥離 幸便 博聞本社用封筒	
		安川繁成書簡						1		
612		仏国へ御派遣之趣拝承、本院長渡辺子より聊之包物仏国迄相願度御聞濟被下度に付	明治23年2月17日	安川繁成	麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	208×577		幸便 「会計検査院用紙」汚れ しみ	
		安川 亨書簡						5		
612	1	千葉県下之有志成嶋(県会常置委員)明朝8時半頃に同伴相伺い申上に付	明治21年9月19日	安川 亨	麹町区紀尾井町内閣官報局 高橋健三	書簡	176×373			
	2	鈴木一郎殿本所之寓居より拘引、千葉表に入檻之趣別紙氏の甥より申参候に付其後御病氣如何に候哉、入檻間際に相成無油断御加養專一に奉祈候	明治28年6月6日 明治28年6月2日	芝区桜田本郷町 安川亨 千葉県東葛飾郡法典村 安川 一	大坂市中ノ島 大坂朝日新聞社 高橋健三 芝区桜田本郷町 安川亨	書簡 書簡	181×878 162×387		消印 大阪明治28年6月7日 糊剥離 消印 東京本所明治28年6月5日	
	3	議員輩参向之筈に候処中に感冒にて平臥罷在候者出来本日は何得不申候	11月22日				書簡	169×255		幸便 封筒上半分欠損 糊剥離
	4	昨日高島氏へ問合する筈に候処仲裁にして話す事の時日を定め候丈けの事筋違に付問合	6日	安川 亨	高橋健三	書簡	158×454		幸便 汚れ 虫損小	
	5			安川 亨	高橋昌長・瀧和亭・高橋健三	封筒				封筒のみ しみ カビ 虫損小
613	安川 一書簡							1		
614		岡本氏生家鈴木家家事上に係り紛議相生じ法廷を煩わし候場合にも相成懸念も有之候に付御教示を蒙り度次第に御座候	(明治27年)11月10日	安川 一	高橋健三	書簡	161×486		幸便 封筒に「21年か」とあるがNo.612関連で明治27年とした	
		安田 直書簡		安田 直	高橋健三			2		
615	1	過般大病の節は御救助を戴き御庇護に依り全く旧に復し候に付御礼	明治24年4月14日	札幌製糖会社内 安田直	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	247×167		消印 東京明治24年4月21日 札幌製糖会社罫紙2枚	
	2	同窓会の第3報により御病氣も漸次軽快に赴かせらるる趣安神、御見舞小包郵便にて奉送	明治31年1月17日	台湾鳳山県庁内 安田直	神田区東紅梅町 高橋健三	書簡	182×904		消印 東京明治31年1月30日	
615	安武千代吉書簡							1		
616		小生故山に入り営業仕り候決心にて帰郷仕候、独立に当り向來一入御垂訓被成下度奉願上候	明治25年12月22日	熊本市紺谷今町 安武千代吉	神田区錦町 東京法学院 高橋健三外9名	書簡	183×1336		消印 東京明治25年12月26日 虫損 糊剥離 宛先法学院教師10名の名あり	
		安場保和書簡						1		

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
617		別紙広告之通発起致候、御賛成を希ふ為廣告紙相添得貴意候に付 安原富次書簡	明治21年6月10日	福岡県 安場安和	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	275×400		消印 東京明治21年6月19日 印刷物 封筒
		月評の義に関し薄が所見を陳す 谷田部梅吉書簡	明治23年12月9日	芝南佐久間町 安原富次	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	227×299	1	虫損小 便箋3枚
619	1	昨午後接待掛り4人と安藤・石藤両氏と商議、上野精養軒で時宜により募金と決定に付	(明治13年)9月22日	谷田部梅吉	高橋健三	書簡	165×688	2	封筒欠 糊剥離
	2	万端御心労被下奉深謝、人名簿郵送仕候、中久木信順・伊沢修二へ通知状差出し被成下候	明治13年9月28日	神田区北甲賀町 谷田部梅吉	木挽町 高橋健三	書簡	150×331		幸便 しみ
620		矢田部良吉書簡						2	
	1	羅馬学会雑誌発行之件24日東京大学理学部に於て同会事務委員集会致に付御来臨被成	明治18年4月21日	富士見町 矢田部良吉	上二番町 高橋健三	書簡	162×510		
621	2	御申越之件相談之上取極候間山田より願書相認め貴君へ差上げ候事に致し度	明治18年5月5日	東京大学理学部 矢田部良吉	上二番町 高橋健三	書簡	167×406		封筒しみ・汚れ 糊剥離
	1	矢野二郎書簡 此書持参の者は岡山紡績會社社長谷川連海に御座候、県下官報売捌掛之義に付伺度申事御座候	(明治24年)3月22日	矢野二郎	高橋健三	書簡	179×513	3	幸便 封筒上書「谷川連海持参」しみ 色移り 糊剥離 虫損
622	2	11日は日曜日に付老兄御都合とならば御待申上度と存居候	9月	矢野二郎	高橋健三	書簡	166×1095		幸便 封筒上部欠損 糊剥離
	3	合川氏之事御手数被成下感謝之至に存候、一日も早く運せ度存候間早々拝眉相願候て打合	14日	矢野二郎	高橋健三	書簡	168×924		幸便 糊剥離
622	1	矢野武雄書簡 弊学校内に幼年舎を儲け官立の諸専門学校に入学し得へき学科を教授に付志願者御吹聴	明治17年4月	芝愛宕町 矢野武雄	京橋区南紺屋町 高橋健三	書簡	171×362	3	しみ 変色 色移り 力ビ 印刷物
		三田英学校幼年舎規則概略	明治17年	芝区愛宕町 三田英学校幼年舎		状	308×515		印刷物
	2	本月下旬英国へ向出発痛候、此段御通知申上素	明治18年5月3日	京橋区水谷町 矢野武雄	麹町区上二番町 高橋健三	書簡	182×218		しみ 汚れ 虫損
	3	参館可仕筈之処夕方ならては帰京仕兼に付明後27日迄御延引被下度奉願候	5月24日	京橋区日吉町 矢野武雄	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	157×754		
623		矢野文雄書簡						1	
		御退官の由御病身故との事驚入候、御加養專一に御見舞呈書候	明治25年11月23日	赤坂表町 矢野文雄	神田橋内官報局官舎 高橋健三	書簡	191×543		虫損
624		藪 禎光書簡						1	
		政況は如何、佐々よりも頓と返信も無之、新浪華に時々社説執筆仕候間御一覽の上御叱正	明治28年1月26日	大坂新浪華社 藪 禎光	京橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	180×1073		消印 東京明治28年1月27日
625		山内愚仙(貞郎)書簡		山内愚仙(貞郎)	高橋健三			2	
	1	堤丹儀今朝9時死去候に付御報申上候	明治28年1月17日	築地 山内貞郎	水明館 高橋健三	書簡	176×580		幸便
626	2	謹而奉賀新嬉 山岡義五郎書簡	明治31年1月14日	大阪西成郡鷺洲村大仁 山内愚仙	相州小田原万年町 高橋健三	書簡	198×527		消印 小田原明治31年1月17日
	1	法学会条例四部心当の者へ配当仕置候得共小生風邪にて出勤不仕為御報知延引仕候	明治13年2月12日	駒込西片町 山岡義五郎	高橋健三	書簡	166×394	4	
	2	小生の一身上に付少々御相談申上度事有之候に付何時御在宅に有之御報願度	明治14年6月1日	駒込西片町 山岡義五郎	木挽町 高橋健三 京橋区木挽町 高橋健三	書簡	243×327		汚れ 虫損

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	3	御礼旁々安着之御報迄	明治25年10月11日	神戸市山手通 山岡義五郎	神田橋内官報局 高橋健三	書簡	164× 661		消印 東京明治25年 10月14日 封筒破損 大しき もろけ 虫損
	4	生義当地税関検査官に転勤の事に決心し大蔵 省に於ても採用決定に付御推薦之程奉願上候	明治30年10月6日	神戸市山本通 山岡義五郎	麹町区永田町 内閣官 舎高橋健三	書簡	184× 875		消印 東京明治30年 10月7日 色移り 糊
627		山縣有朋書簡						1	
		過日御約束之法令全書御送被下御厚情之段 感佩之至に付	1月16日	山縣有朋	高橋官報局長(健三)	書簡	179× 520		幸便 封筒汚れ 虫損 小
628		山形雀窠書簡						1	
		茂病氣に付ては百事御配慮被下奉感謝候	明治25年2月13日	南中郷村上桜井 山形 雀窠	神田橋内元衛町 高橋 健三	書簡	155× 483		消印 東京明治25年2 月13日 色移り
629		山口正毅書簡						1	
		着塚の御報を兼ね御礼申述候	明治21年1月18日	堺治安庁 山口正毅	麹町区紀尾井町内閣官 報局官舎 高橋健三	書簡	153× 894		消印 東京明治21年1 月23日
630		山崎誠治書簡						1	
		彼の一条本月は期限なるを以て御伺申上候	明治25年3月22日	神田小川町 山崎誠治	麹町区元衛町 高橋健 三	書簡	160× 283		封筒汚れ・上部欠
631		山崎彦之進書簡						1	
		神田大火驚入申候、小生公命にて九州沿岸海 軍大演習に出張被仰付に付	明治25年4月18日	長崎県佐世保軍港水雷 艇小鷹 山崎彦之進	下麹町区神田橋内官報 局官舎 高橋健三	書簡	181× 1086		消印不明
632		山下寛太書簡						1	
		全国枢要の新聞社に九州一円之状況を通信 仕候者に付貴社にても通信御委託被成下候儀 は相叶間敷や	明治29年8月9日	佐賀市松原町 山下寛 太	大阪朝日新聞社 高橋 健三	書簡	180× 966		封筒上紙剥落 水濡 れしき もろけ 糊剥 離
633		山田猪太郎所管						6	
	1	22日の会合は陸氏要用に付午前9時と致度申 入に付、会場は東邦協会事務所	明治24年11月21日	一番町 山田猪太郎	神田橋内内閣官報局官 舎高橋健三	書簡	177× 603		糊剥離 書簡内差出 人「高橋生・山田生」
	2	弥次馬中に立ち入り日々運動を試み居り候、 形勢も定まり候へは着実なる尾報道も出来可 申と考候に付諫者を御窮し被下度	明治26年12月2日	一番町 山田猪太郎	大阪市中ノ島 高橋健 三	書簡	165× 1072		消印 大阪明治26年 12月4日 変色 もろけ 糊剥離 書簡は松濤
	3	何事に付け心配に堪へぬ此度の朝鮮なるべ し、此際彼の地に実況を視察将来の政策を考 貴地御療養後の情況は毎々鞏南兄に因て伝 候漸次御軽快之由近日御見舞を兼拝趨可致	明治28年5月12日	麹町区一番町 山田猪太郎	大阪市中ノ島 高橋健 三	書簡	177× 1325		消印 大阪明治28年5 月13日 糊剥離
	4	昨日御紹介に及候伊藤伊吉可然御世話被下 度	明治30年10月27日	麹町区一番町 山田猪太郎	相州小田原万年町 鈴 木方 高橋健三	書簡	178× 1048		消印不明
	5	先日来願置候画帖本人へ返附致度候に付一 先ず御返し被下度	7月22日	一番町 山田猪太郎	官報局官舎 高橋健三	書簡	184× 739		幸便 虫損小
	6		8月8日	一番町 山田猪太郎	官報局官舎 高橋健三	書簡	180× 706		幸便 糊剥離
	7			東邦協会 山田猪太郎	官報局官舎 高橋健三	封筒			封筒のみ189×70
634		山田一郎書簡						2	
	1	本日隈伯之話に依れば愈よ確定、不日沙汰有 之との事御目出度之事御座候	明治30年9月10日	鍛冶橋中央旅館 山田一郎	相州小田原万年町 鈴 木方 高橋健三	書簡	179× 956		消印 小田原明治30 年9月11日 水濡れし き 色移り カビ 虫損 もろけ 糊剥離
	2	松井氏罷出御話申上候山喜氏祝宴会之儀山 喜氏一人を招く事となし通知手続取h計申候	明治30年10月3日	京橋区中央旅館 山田一郎	相州小田原万年町 高橋健三	書簡			消印 小田原 明治30 年10月4日 しき
635		山田喜之助書簡						10	「穢多郎」記述あり

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	1	大学教授テリ一氏帰国送別会相催しに付御賛成の程奉希望候、諾否は14日迄山田喜之助迄	明治17年5月10日	駿河台袋町 山田喜之助	文部省 高橋健三	書簡	166×423		糊剥離
	2	12日の会合差支無之候間承引被下度候	(明治30年)2月10日	山田喜之助	高橋健三	書簡	178×575		幸便
	3	御状之趣早速元田へ交渉御返事差上候	(明治30年)2月10日	山田喜之助	高橋健三	書簡	181×324		幸便
	4	本月1日帰京、兼て御配意の件にて神鞭氏之注意により旅行見合わせ、本日任官之辞令の為接謝候	明治30年9月11日	麹町区内幸町 山田喜之助	神奈川県小田原町鈴木方高橋健三	書簡	181×573		消印 小田原明治30年9月12日 封筒左側欠損 しみ 色移り 虫
	5	老兄御住居之件に関し松井君心配、他の諸事は万事重を置かず専ら御養生に適はず様決意可然と存候	(明治30年)10月10日	山田喜之助	高橋健三	書簡	180×1250		幸便 しみ 色移り 封筒上書「松井君持参」糊剥離
	6	辞職に就ては御相談すべき筈なれ共不得其暇残念、独国軍艦清国の一部を占領に関する卑	明治30年11月28日	山田喜之助	相州小田原町鈴木方高橋健三	書簡	165×2075		消印不明 水濡れ色移り 衆議院用封筒
	7	帰後友人と相談之上今般府下京橋区衆議院候補者に列出の決心致し候、御援勢相願度	明治31年1月6日	山田喜之助	相州小田原サンノウハラ 高橋健三	書簡	170×601		消印 小田原明治31年1月7日 糊剥離
		今回の競争何等之準備なく始むるも危険之次第に御座候、彼我之形勢を対照するに大略	明治31年1月10日	(山田)喜之助	高橋(健三)	書簡	171×1698		糊剥離
	8	目下の処にては形勢も宜敷方にて先々勝算と存候、富田・神鞭の芳情は感銘之外無之、庵号に付	(明治31年)1月28日	(山田)喜之助	高橋(健三)	書簡	179×1298		幸便 しみ 糊剥離 封筒上書「木印1枚添」文中「穢多郎」記述あり
	9	友人岡部広氏御召介仕候間御面会被成下度	10月11日	(山田)喜之助	高橋(健三)	書簡	178×259		幸便 封筒破損大 封筒上書「召介状、岡部氏持参」しみ 虫損
636		山田成一書簡						1	
		7日着致候御安神費下度、着翌日より腸カタルを起し難渋致し候、昨日知事へ面会致し候に	明治21年7月20日	福岡県博多行町 九州鉄道会社内 山田成一	内閣官報局 高橋健三	書簡	164×802		消印 東京明治21年7月26日
637		山田 宣書簡						1	
		出京以来困難相窮瓦解同様に立至り候、御明察も有之候へは諸氏より御召喚相成候義奉懇	明治23年10月15日	小石川区水道町 山田 宣	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	173×441		幸便 糊剥離
638		山田孝能書簡						1	
		中山之一条本月17日頃に通済仕度候間貴兄之御都合はいかに候哉御尋申上候	明治17年9月1日	錦町 山田孝能	京橋区西紺屋町 高橋健三	書簡	164×998		封筒汚れ 糊剥離
639		山田烈盛書簡						2	
	1	此程は近日御快方相成候事何より大慶の至奉存候	明治28年5月2日	神田雉子町 山田烈盛	大坂北区中の島朝日新聞社 高橋健三	書簡	177×823		消印 大阪明治28年5月4日 封筒汚れ
	2	御近状は該友より伝来仕り候はば唯々御撰養専一御快方之事祈念罷在候	明治31年7月10日	下根岸 山田烈盛	小田原町山王原 高橋健三	書簡	176×808		消印 小田原明治31年7月11日
640		山田雪助書簡						1	
		山尾常治御採用一件御局員坂根氏に面会依頼置候次第、此際一応御採用相成候様御配慮	明治19年8月16日	東京郵便局長 山田雪助	官報局次長 高橋健三	書簡	170×1188		しみ 変色 もろけ
641		山中吉郎兵衛書簡						1	
		書画展観 珍品陳列(案内状 印刷物)		山中簪篋堂 山中吉郎兵衛	朝日 高橋(健三)	状	193×95		幸便 封筒虫損
642		山本謙三書簡						7	
	1	過般差上申候反訳之料は当月末日迄に御下付相成候様御配意被下度	(明治21年)7月23日	下谷北稲荷町 山本謙三	麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三	書簡	186×566		封筒汚れ・虫損

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	池の端□□原より御用達申候残金60円之分別紙の通申来候に付皆済被下度	1月25日	(山本)謙三	高橋(健三)	書簡	162×402		封筒欠 色移り 破損大
		兼て御用立申置候金円今回は御返金有之度	1月25日	□□原	山本(謙三)	書簡	160×374		色移り
	3	御令嬢御病氣如何に候哉、御咄申上候件に付、一勝君方破談の件、瀟山よりの30円の件	2月6日	山本謙三	高橋健三	書簡	154×732		幸便 しみ 変色 もろけ糊剥離 破損大
	4	御令嬢御衰弱之気味御心痛奉恐察候、10日迄云々之件先方へ談4、5円御廻被下度	2月8日	(山本)謙三	(高橋)健三先生	書簡	155×737		幸便 しみ 変色 カビもろけ糊剥離 破損大
	5	今夕5時頃尊宅へ東馬氏罷出異度旨申送に付一件のもの持参罷出候間御在宅御応接被下	10月30日	(山本)謙三	(高橋)健三	書簡	165×615		封筒欠
	6	今夕御通夜可申上処差支有之事に由れば(失)敬可仕奉存候、御菓子靈前へ御供へ被下	15日			書簡	139×419		封筒欠 しみ カビ もろけ 上部欠損
643		大和屋松之助書簡						2	
	1	独逸海上保険法之儀御申越之儀拝承候、両3軒問合候処有不分一先申上置分り次第呈	明治16年3月29日	大和屋松之助	駿河台紅梅川岸 高橋健三	書簡	158×635		
		莫花字典は藤本様へ申上翌日代金26円50銭にて差上申候、莫和字典の儀は繰合入覧候に	明治16年5月9日	大和屋松之助	駿河台紅梅川岸 高橋健三	書簡	149×379		糊剥離 色移り
644		横井鋏太郎書簡						2	
	1	14日無事帰省に付近況御見舞申上候	明治21年8月22日	伊勢国津西新町 横井鋏太郎	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	166×774		消印 東京明治21年8月25日 封筒汚れ
		是非とも拝趨仕候度本意に候処年末多忙に付寸指呈仕候、昨日差上の五神錠御携被下度	明治21年12月30日	神田観音坂下 横井鋏太郎	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	187×550		しみ 糊剥離
645		横田仲次郎書簡						5	
	1	20日夕都合好く帰朝被為在候奉敬寿候	明治23年9月24日	津市西新町 横田仲次郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	163×676		消印 東京明治23年9月26日 糊剥離
		長途の航海御障りもなく御帰朝恐賀奉存候、私儀脚氣にて帰国加養、快方に赴き上京に付	明治23年9月24日	横田鍵蔵	高橋(健三)	書簡	164×610		
	2	15日結納式無滞為御済費下候段俣より申参り奉謝候	(明治23年)11月20日	横田仲次郎	高橋(健三)	書簡	157×414		幸便 封筒下部欠
		15日日柄もよろしく結納も都合よくお済せいただき大に安心致し存候	(明治23年)11月20日	横田 内	高橋奥様(清)	書簡	157×658		切封
3	今般就職仕候段御光庇難有奉存候心得違ひ有之候はば御譴責被下度	(明治24年)9月16日	横井鋏太郎父 横田仲次郎	高橋(健三)	書簡	168×684		幸便 封筒下部変色・カビ 糊剥離	
4	俣の儀快方に付次男鍵蔵同道上京万事先生之仰教示を奉願度存候	(明治24年)11月12日	横田仲次郎	高橋(健三)	書簡	160×1617		幸便 しみ 虫損	
646		欠番							
647		横山駒蔵書簡						1	
		司法省係官へ一書遣し書記採用仰に候処一両日中に採当の噂有、採用相成候様御取計被	明治23年(12月23日)	神田区小川町 大倉方 横山駒蔵	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	166×895		
		吉井友実書簡						1	状含む
		(解読不能)	明治22年 月24日	吉井友実	官報局長 高橋健三	状	271×197		宮内省罫紙 コンニヤク版 しみ カビ もろけ 破損大
		出場者心得				状			印刷物 184×276
		赤阪離宮出入鑑・高橋健三名刺	(明治22年5月)			状			印刷物 2枚
649		吉川慎一郎外3名書簡					1		
		吉川泰二郎12日死去に付御通知申上候	明治28年11月13日	吉川慎一郎・吉川政之助・小幡篤次郎・草郷清	新聞社 高橋健三	書簡	155×107		消印 大阪明治28年11月17日 汚れ しみ

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
650		吉川泰二郎書簡						1	
		小木直太郎氏の義本社船に乗組は差支を生じ到底難罷行事に付、当方の意見御承知被成下	7月22日	郵船会社 吉川泰二郎	官報局 高(橋健三)	書簡	180×835		封筒宛先面欠損 しみ色移り カビ 虫損
651		吉田謹蔵書簡						2	
	1	先生一顧の勞を取り玉はらば生のこうふくは延て家庭と朋友とに及ばん	明治23年1月15日	神田区錦町 田辺方 吉田謹蔵	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	241×330		罫紙 虫損
	2	来月初旬には帰郷の心組に候間可成本月中に御配慮相願度	明治23年1月20日	神田区錦町 田辺方 吉田謹蔵	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	169×832		しみ
652		吉田斯民書簡						1	
		郷里の父母に対し申訳のしるし迄も何卒台湾行に就き御引立被下度懇願奉候	明治28年6月7日	名古屋市高岳町 吉田斯民	大阪北区仲之島 大阪朝日新聞社 高橋健三	書簡	164×623		
653		吉田 裕書簡						1	
		郵便物の肩書に其配達郵便局名を加記する風習養成度別紙心得書配布に付御助成の程希望候	明治30年7月	神戸郵便電報局兵庫郵便電信支局 吉田裕 神戸監督局宮内三等郵便局協議会	麹町区永田町 高橋健三	書簡	231×324		消印 東京明治30年7月9日 しみ色移り 虫損 コンニャク版
		郵便物差出人の心得				状	123×163		4枚 印刷物
654		善藤成純書簡						1	
		日本頂戴難有奉鳴謝候、当地友人に望之者有之に付2葉程御恵に預度	6月19日	備後福山西町 善藤成純	大阪市北区中ノ島町朝日新聞社 高橋健三	書簡	183×383		消印 解説不能 封筒左破損 しみ
655		吉村市三郎書簡						1	
		姉のぶ昨年来御館に御奉公処、母義病氣に付御暇を申受帰郷之運びに付御厚情を蒙り奉万	明治23年6月11日	長野県西筑摩郡福島吉村市三郎	麹町区紀尾井町 官報局長 高橋(健三)	書簡	159×460		消印 東京明治23年6月13日
656		吉村広太郎書簡						1	
		今朝御相談申上候正誤の分は印刷に間に合い不申其儘に致置き可申候	(明治16年)12月6日	吉村広太郎	高橋健三	書簡	172×989		幸便 しみ 変色 カビ 虫損
657		依田百川書簡						2	
	1	出版月評御発行に付小生にも同意に候哉との御尋拝承に付、早々御発行相成候様仕度渴望	明治20年8月1日	依田百川	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	163×730		
	2	出版月評御送付被下拝見仕候処随分立派な製本にて感服仕候、小生毎号受持に致候ても	明治20年9月11日	小川町 依田百川	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	164×359		
658		若林 栄書簡						2	
		当節転地御療養被遊候趣其後如何被為在候哉御見舞旁御様子伺度	明治30年9月8日	神田区淡路町 若林栄	相州小田原万年町 鈴木方 高橋健三	書簡	175×437		消印 小田原明治30年9月10日 しみ 糊
		御主人様当地転地御療養被遊候趣其後如何に被為在候哉	明治30年9月8日	(若林)のぶ	高橋御奥様(清)	書簡	175×739		しみ 虫損 糊剥離
659		若林高孝書簡						6	
	1	御出発の節横浜にて御見立も可仕候処隣区碧海郡協同会に約定相成に付、三河の形勢(第9	明治23年3月29日	若林高孝	(仏国巴里大日本帝国公使館)高橋健三	書簡	157×2550		封筒二重
	2	香港まで御安着拝承賀賀候、当地の事情は粗陸・仙田君へ申送り有之に付御承知置被下度	(明治23年)9月15日	若林高孝	高橋健三	書簡	166×85		幸便 しみ
	3	地面之義古橋一手に引受同人弟陸君に就き相談申上添書相副申候其後如何の順序相成	明治23年12月31日	三河岡崎六供 越水方 若林高孝	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	167×1236		消印 東京明治24年1月1日 しみ 虫損
		謹賀新年	明治24年1月1日	若林高孝	高橋(健三)	書簡	175×178		しみ 虫損
4	佐田完一に面会候処広吉一件に付御面御相懸候趣御厚礼申上候、差支なき限りに於て宜	明治24年4月4日	本所区外手町 若林高孝	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	160×546		封筒汚れ 虫損	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
660	5	木曾支庁の小寺氏より4日漆林の件に付相談 すべく申談に付漆林在京にて相調度御一考費 若山儀一書簡	明治24年5月12日	神奈川高島嘉右衛門方 若林高孝	麹町区元衛町 高橋健 三	書簡	158× 884		しみ
		今般商標条例草案諮問委員を被命に付条例 草案の事に付得拜話度明後日は御出省相成 鷺塚 清書簡	明治14年8月27日	若山農商務省権大書記 官 (儀一)	京橋区木挽町 高橋健 三	書簡	160× 458		封筒二重 しみ カビ 糊剥離 虫損
661		本月23日大坂地方へ罷出柿崎法学士及其他 の院友諸君に面談、事務局設立の次第陳候処 大賛成被下候に付御報迄	明治25年8月25日	神戸区才判所検事局 鷺塚 清	神田錦町 法学院 高橋健三	書簡	181× 550		消印 東京明治25年8 月26日
662		和田維四郎書簡		和田維四郎				3	
	1	大橋鐵太郎書簡(過日申上候件に付申すも 耻ヶ敷次第糊口之途御隣察被下度)	6月28日	牛込区市谷左内坂町 和田維四郎	官報局官舎 高橋健三	書簡	250× 335		幸便 No.104大橋と同 一人物
	2	九鬼氏不在、奥田と大坂自由亭に宿泊候間肝 要の出来事は左の暗号にて御通報願上候	7月1日	牛込区市谷左内坂町 和田維四郎	高橋健三	書簡	185× 641		幸便 糊剥離
	3	明朝一番汽車で大坂へ向け出立候、更迭若く は法典の成行に御聞込之件は応虫に御報被	7月1日		官報局官舎 高橋健三	書簡	183× 567		幸便 封筒上部しみ 虫損 662-2と同日
663		和田萬吉書簡						2	
	1	蕪稿大略出来に付岡倉先生迄少々差出申度、 尊先生よりは西京表へ御廻附御手数相懸恐縮 拙作日の出新聞へ投稿の義に付御配慮被下 御芳情の程不堪感銘候、小説あさか山に付	明治21年12月9日	本郷区駒込西片町 和田萬吉	麹町区紀尾井町 官報 局第一号官舎 高橋健	書簡	159× 655		
664		和田垣謙三書簡						2	
		福井一寿と申す者の住所の件、別紙の通り申 居候に付 新年奉賀候、20年以来心苦仕候、何分後々奉 御窺候	明治19年1月12日	四谷須賀町 和田垣謙 三	根岸金杉村 高橋健三	書簡	172× 258		しみ
665		渡邊 清書簡						3	状含む
	1	恭賀新正(群馬県書記官従六位渡邊清)	明治19年12月31日	群馬県 渡邊 清	麹町区紀尾井町第一号 官舎 高橋健三	状	101× 49		消印 東京明治20年1 月2日 名刺 しみ色
	2	貴兄今般仏国行被命之由祝賀申述度、愚息義 来年より大阪府立商業学校へ入度心算に付	明治23年2月20日	徳島県徳島市徳島町 渡邊 清	麹町区紀尾井町官舎 高橋健三	書簡	180× 484		消印 東京明治23年2 月22日 封筒汚れ カ
	3	戸田家の政上之件相続人無之に付小生引受 世話致居本月中に金銭貸借上の件は片付候	明治31年1月21日	四谷区大番町 渡邊 清	相州小田原山王原 高橋健三	書簡	178× 857		消印 小田原明治31 年1月22日
666		渡部二郎・一川直之書簡						1	
		(一川研三会葬礼状)	明治21年8月10日	渡部二郎・一川直之	麹町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	177× 222		
667		渡邊義雄書簡						4	
	1	昨夜は種々高配を蒙り早速出来難有草々印刷 に付し配布可仕候、加藤高明氏之義は御心配 被下度	明治25年1月21日	神田区美土代町 渡邊義雄	高橋(健三)	書簡	179× 336		カビ 渡邊義雄は岐阜 県平民
	2	神田区府会議員三名改選之期に際し従来区 役所派と目せられる者は再選せらる様致度夕 方迄に選挙人へ配布了りたる次第に付	(明治25年)1月26日	渡邊義雄	高橋健三	書簡	162× 630		幸便 封筒虫損 二白 (162×240)
	3	投票数取調之義今日迄之如勝利之様被思候 得共今一日の尽力にて少しく好結果あるべしと 右は全く構造せし事に付取消方掛合に及候に 付御安心可被下候	(明治25年)2月14日	渡邊義雄	高橋健三	書簡	173× 404		幸便
668		書簡	尽日	渡邊義雄	高橋(健三)	書簡	251× 339	1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		(開封不能)	明治17年2月		京橋区木挽町 高橋健三	書簡			水濡れ 色移り 開封不能 封筒172×64
669		書簡						1	
		官報事務を敏捷たらしむる趣意書に付官報掛廃止不都合之至り、御英断を被為廻度奉希望	明治19年1月18日	強	高橋(健三)・青木	書簡	157×630		封筒欠
670		一寒書簡(先生の御出講無きに付)						1	
		私は講義録のみにて勉強仕者也、1月以来御出校あらざるは御不例の為なるや事務の執掌	明治22年3月1日	一寒	糺町区紀尾井町 高橋健三	書簡	166×750		しみ 変色 虫損
671		欠番							
672		書簡						2	
	1	機械之義は大にはかとり官報局の分一台は14、5日に出来致申候、一昨日第一の伝習了	明治23年7月8日	パリ □田寅二郎	ロンドン 高橋健三	書簡	240×333		罫紙4枚
	2	官報局の分一台は大半出来帰巴之頃試運転御検閲相成度	明治23年7月13日	パリ □田寅二郎	ロンドン 高橋健三	書簡	240×333		罫紙2枚
673		書簡						1	
			明治23年8月10日	マルセイユ		書簡	213×272		封筒欠 しみ 変色 虫損 仏文
674		書簡						1	
			明治25年3月2日	京橋区山城町亀山にて	内閣官報局 高橋健三	書簡	178×444		虫損 糊剥離
675		欠番						1	
676		書簡						1	
		平野活版所主人代言人以て示談申込み不整、目下訴訟手続きに運候由初審後答弁書差出	明治28年10月8日		高橋健三	書簡	246×335		封筒欠 内国通運会社罫紙2枚
677		欠番							
678		書簡						1	
		昨日当地に転地療養罷在候、「日本人」は三宅雪嶺熱心勉勵致候、畑山は全快困難なるべし	明治30年9月11日	塔ノ沢 鈴木[] □川悦次	高橋健三	書簡	173×1484		幸便 水濡れ しみ カビ もろけ 虫損
679		書簡						1	
		8日御地意外の被害、別段之御障も無之候哉御伺申上候	明治30年9月12日		麴町区永田町 高橋健三	書簡	180×564		封筒・書簡とも欠損大 虫損 消印「大坂高麗橋」局
680		書簡						1	
		例の連印は遂に破裂、昨日執達吏の襲う所となり川瀬・青山と相談、三分の一負担の決心に	5月19日	羽山居士	(高橋)健三	書簡	173×2260		封筒欠 糊剥離
681		書簡						1	
		陸氏より小生秋田県庁奉職一件にて御配慮方申上候に付	7月26日	□助	(高橋健三)	書簡	162×621		封筒欠 糊剥離
682		書簡						1	
		残金の件先方商業上組合入用候義に付督促申参候に付明朝迄に御送致被下度	8月15日		(高橋健三)	書簡	157×514		封筒欠(切封か)
683		書簡						1	
		法学新報契約書の件、国華挿画一件通信社と列挙に御販売被仰付候はば望外事に御座候	9月29日	新助	高橋(健三)	書簡	170×1066		幸便 下部変色 虫損 糊剥離
684		書簡						1	
		御贈の国華拝見至極の好評に御座候、矢野氏へ御回付の分御届候、尚一冊御贈致被下成度	10月29日	□□修太郎	麴町区紀尾井町官報局 高橋健三	書簡	180×1330		水濡れ 変色色移り カビ 虫損 糊剥離
685		書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
687		葬送も相被済、池之端へ相向け云々は同氏方入用有之、口書差上候間御調印の上御返付被欠番	11月19日		(高橋健三)	書簡	164 × ?	2	封筒欠、錯簡、変色もろけ
688		(残暑実に凌ぎ難く、下書き一括)				書簡		1	封筒欠 2枚となっているが1点とみなす
689		(封筒のみ)				封筒		1	一部破損大 5枚 1点とみなす
690		(転送用符箋 封筒から剥離したもの)				状		1	8枚 1点とみなす

2、機関から高橋健三宛

番号	枝番	資料名	年代	差出人(封筒)	受取人(封筒)	形態	数量	備考
1		英吉利法律学校生徒書簡					1	
		飛鳥山にて運動会開催に付案内	明治21年4月19日	英吉利法律学校生徒運動会委員 立原卓蔵・栗生誠太郎	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	181× 245	立原卓蔵は花井卓増しみ 一部色移り 虫損
2		英吉利法律学校書簡					1	
		無尽講掛け金停滞分本月分御廻被下度	明治22年4月30日	神田区錦町 英吉利法律学校	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	167× 379	しみ変色 汚れ カビ 英吉利法律学校封筒
3		大阪朝日新聞社書簡					2	
	1	手違いにより組入れ間合なく次号へ譲るに付承知置被下度、	明治28年1月16日	大阪朝日編輯課	京橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	180× 571	消印 東京明治28年1月17日 封筒虫損
	2	参謀総長殿下死去に付	明治28年1月17日	大阪市北区中之島大阪朝日新聞社	京橋区木挽町 水明館 高橋健三	書簡	182× 356	しみ
4		岡山法律事務所書簡					1	
		岡山兼吉死去に伴い事務所閉鎖に付通知	明治30年2月	日本橋区西河岸町 岡山法律事務所	内閣書記官長官舎 高橋健三	書簡	182× 494	消印明治30年2月15日
5		共立女子職業学校書簡					1	
		生徒執業・製作品御一覽に供し度御案内	明治21年11月2日	神田一ツ橋通町 共立女子職業学校長 服部	麴町区紀尾井町五官報局構内 高橋健三	書簡	182× 247	印刷物 虫損小
6		錦城学校同窓会書簡					2	
	1	第1回同窓会開催通知	明治24年4月9日	東京神田区錦町 錦城学校同窓会発起人6名	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	177× 311	コンニャク版 錦城学校は旧予備校三田英
	2	御臨席被成下御礼に付	明治24年4月20日	東京神田区錦町 錦城学校同窓会発起人一同	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	164× 396	転居通知状添附 消印明治24年4月21日
7		鷄林獎業団書簡					1	
		(解読不能 字薄れ)	明治30年9月8日	在朝鮮国仁川港 鷄林獎業団本部	麴町区永田町 高橋健三	書簡	240× 319	コンニャク版 封筒日付明治30年9月11日 しみ変色
8		見光社書簡					1	
		本月2日発刊の燈新聞雑報中官報局長風説に付編輯人召喚の件に付上申	明治19年7月3日	京橋区銀座 見光社編輯局	内閣官報局 高橋健三	書簡	276× 398	しみ変色 色移り 虫損
9		麴町区公民会書簡					1	
		衆議院議員選挙に関し御注意申上げ置候	明治25年1月22日	麴町区公民会役員	高橋健三	書簡	182× 252	虫損小 印刷物 幸便
10		工手学校書簡					1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
11		商工徒弟講習所内商工会に於て工手学校開校に付案内	明治21年2月3日	工手学校特撰管理長 渡辺洪基	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	179×470		消印 明治21年2月4日 しみ色移り
		高等商業学校書簡						1	
12		晚餐を呈し度案内の件 好友会書簡・葉書	明治24年3月28日	高等商業学校長 矢野次郎	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165×255	2	コンニャク版 矢野二郎？
13	1	23日上野桜雲台にて観桜会開催通知	明治25年4月17日	好友会世話人 高田早苗外6名	麹町区大手町官報局内 高橋健三	書簡	171×412		消印明治25年4月18日 印刷物
	2	観桜会24日に延期通知	明治25年4月18日	交友観桜会世話人 神田区北神保町 鈴木万	麹町区大手町官報局内 高橋健三	葉書	140×90		消印明治25年4月19日
13		国華社書簡						6	
	1	①小川一真印刷所からの社状に付(開封不能) ②観音ノ図六十枚計り印刷済二付(松原印刷所→国華社御店)		東京日本橋区両国吉川町 国華社	()紀尾井町 高橋健三	書簡			破損大 開き不可 消印 明治22年11月21日
				小川一真印刷場	国華社	書簡	243×288		消印 明治22年11月21日
	2	雑誌代金受領内訳の件	(明治24年1月16日)	東京日本橋区両国吉川町 国華社	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	169×711		消印 明治24年1月16日
	3	Export-journal注文	明治25年4月14日	EXPORT JOURNAL G. HEDELER, LEIPZIG	両国吉川町 国華社	書簡	286×223		高橋宛ではないが注文表 消印 東京明治25年4月19日
		Advertisemennto Order				状	76×147		返信用封筒あり
14	4	築地活版所より負債催促に付甚だ迷惑致居候間何分之御取計被下度	9月5日	東京市日本橋区両国吉川町 国華社	高橋先生	書簡	180×456		幸便
	5	謹賀新年		国華社		書簡？			上半分欠損 しみ変色 書簡ではないか？
		国文社書簡						1	
15		(解読不能) 十善会書簡	明治14年8月21日	神田万世橋 国文社本店	木挽町 高橋健三	書簡	242×327		解読不能 インクしみ 出色移り 幸便 虫損
	1	総会議決之通委員御勤被成下度	明治25年5月25日	小石川区関口駒井町 十善会事務所	神田橋内官報局 高橋健三	書簡	246×338		消印 明治25年5月26日
	2	十善宝窟発行を目白僧園に引渡し発行に付	明治25年5月	十善会		状	150×121		①に同封 印刷物
16		神宮教院書簡						1	
17		神殿等修築竣工に付遷座式執行案内	明治30年2月	東京日比谷 神宮教院 (事務取扱 大教正 篠田時化雄外1名)	麹町区永田町 高橋健三	書簡	198×528		消印 明治30年2月17日 印刷物 未使用ハガキ1枚同封
		政義社書簡						1	
18		雑誌「政議」発行に付購読願	6月9日	京橋区惣十郎 政議社 (井上角五郎・和田彦十郎)	高橋健三	書簡	167×422		糊剥離 幸便
	1	専修学校書簡 昨日議定せし事項は別紙にて御承知被下候、試験日は29日に致置に付10題19日迄に返送 6月3日議定せし事項	明治21年6月4日	神田区今川小路 専修学校	麹町区紀尾井町官報局 官舎 高橋健三	書簡	165×408	2	しみ 虫損 消印 明治21年6月5日
						状	242×331		

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	故合川正通君墓碑建設費計算報告書	明治28年10月	東京神田区今川小路 専修学校(発起人相馬 永胤外7名)	駿河台西紅梅町 高橋 健三	状	200× 261		印刷物 消印 明治21 年10月13日
19		僧園書簡						1	
		僧園設立の趣旨に賛成誘契被成度	明治24年7月	小石川区関口駒井町 僧園発起者(岩崎半右 衛門外9名)	麴町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	177× 925		虫損 変色色移り カ ビ 消印 明治24年7 月13日
20		泰錦堂書簡						7	
	1	亜細亜全図注文に付着手の件	明治24年4月18日	東京々橋区元数奇屋町 石版印刷所 泰錦堂	高橋健三	書簡	245× 328		幸便
	2	①亜細亜全図版下猶3日間猶予の儀	明治24年4月27日	東京々橋区元数奇屋町 石版印刷所 泰錦堂	神田橋内 高橋健三	書簡	244× 163		消印 明治24年4月27 日汚れ 虫損
		②航路線再校正願度	5月29日	泰錦堂	高橋健三	書簡	181× 341		虫損小
	3	①亜細亜図送付、製作料内金請求の件、請求 書共	明治24年12月20日	泰錦堂 小島長蔵	高橋健三	書簡	182× 436		幸便 封筒上書「亜細 亜図巻葉添」 虫損小
		②記(20円請求仕候)	明治24年12月20日	京橋区元数奇屋町 石 版印刷所 泰錦堂	高橋健三	状	246× 330		
	4	亜細亜地図原稿廻付願	明治25年2月6日	京橋区元数奇屋町 石 版印刷所 泰錦堂(小島 長蔵)	高橋健三	書簡	182× 318		幸便
	5	亜細亜地図一時勘定願度	明治25年3月30日	京橋区元数奇屋町 石 版印刷所 泰錦堂	高橋健三	書簡	247× 342		幸便
	6	亜細亜地図之儀御取極相成度	明治25年5月19日	京橋区元数奇屋町 石 版印刷所 泰錦堂	高橋健三	書簡	181× 298		幸便 変色 虫損小
21		大日本教育会書簡・葉書						17	包紙あり 葉書共
	1	2日初等教育部門会開候に付通知	明治21年8月1日	東京神田区一ツ橋通町 大日本教育会	麴町区紀尾井町 高橋健三	葉書	140× 88		
	2	別紙第三号建議に付21日初等教育中等教育 及び学務3部門聯合會議に付出席相成度	明治21年9月14日	東京神田区一ツ橋通町 大日本教育会	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	163× 107		コンニャク版 虫損小
		第三号 初等教育中等教育及び学務の産部門 會議に附す建議	明治21年8月6日	大日本教育會議員 日 下部三之介外4名	大日本教育会長 辻 新次	状	200× 316		印刷物
	3	森子爵の学科教授法問題の件	明治21年9月14日	東京神田区一ツ橋通町 大日本教育会	麴町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	155× 408		虫損小
		大日本教育会雑誌第76号附録 学科教授法 森有礼	明治21年6月1日	大日本教育会事務所		状	216× 272		虫損小 印刷物
	4	参事員會議題差出候に付、18日開候間御出席 相成度	明治22年1月8日	東京神田区一ツ橋通町 大日本教育会(庶務課)	麴町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	156× 406		虫損小
		普通書籍館二付テノ卑見				冊	248× 179		2丁 虫損小「秘」朱 書き
	5	別紙第六号少年書類懸賞募集議案に付通常 教育部門開会通知	明治22年1月25日	東京神田区一ツ橋通町 大日本教育会	麴町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	150× 117		コンニャク版 しみ変 色虫損小
		少年書類懸賞募集の件	明治22年1月	會員 手島精一	大日本教育会長 辻 新次	状	243× 365		コンニャク版 虫損小
	6	御清話に接し度九段坂上富士見軒へ御参集 案内	明治22年2月7日	東京神田区一ツ橋通町 大日本教育会(大日本 教育会長 辻新次)	麴町区紀尾井町 高橋 健三	書簡	182× 395		虫損小

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	7	御清話に接し度九段坂上富士見軒へ御参集案内	明治22年2月18日	東京神田区一ツ橋通町大日本教育会(大日本教育会長 辻新次)	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	172×358		
	8	別紙書籍に関する書御一覽後は郵便を以て返戻被下度	明治22年4月22日	東京神田区一ツ橋通町大日本教育会	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	165×203		
	9	①11日の常置委員会議決回送に付(常置委員集会規約) ②6月の常置委員会に於て議題と相成候もの回送に付	明治22年5月15日 明治22年5月20日	大日本教育会 東京神田区一ツ橋通町大日本教育会		書簡	214×298 213×212		9-②に同封 虫損小 コンニャク版 虫損小 コンニャク版 消印 明治22年5月21日
	10	①常置委員会の決議により調査員による調査提出相成に付回送の件 ②別記協議案日下部・峯両氏より提出に付回送の件	明治22年6月27日 明治22年6月27日	東京神田区一ツ橋通町大日本教育会 東京神田区一ツ橋通町大日本教育会	麹町区紀尾井町 高橋健三 麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	202×444 202×175		虫損小 コンニャク版 消印 明治22年6月29日 虫損小 コンニャク版
	11	教育談話室常集相定に付通知	明治22年11月11日	東京神田区一ツ橋通町大日本教育会(大日本教育会書記)	麹町区紀尾井町 高橋健三	葉書	140×88		コンニャク版
	12	教育談話室常集会日に付御出席相成度	明治22年11月22日	東京神田区一ツ橋通町大日本教育会(大日本教育会書記)	麹町区紀尾井町 高橋健三	葉書	140×89		コンニャク版 しみ
	13	倫敦デイリーテレグラフ記者演説懇親会開催案内	明治22年12月6日	東京神田区一ツ橋通町大日本教育会(大日本教育会臨時委員小林小太郎外3名)	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	198×210		変色しみ カビ 印刷物
	14	議員の名称削除に関し尽力不淺に付謝辞の件	明治22年12月28日	東京神田区一ツ橋通町大日本教育会(大日本教育会長 辻新次)	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	246×167		虫損小 印刷物「丘崎耕」名刺あり
	15	14日談話室本年歳首の常集会相催に付参集被下度	明治23年1月8日	東京神田区一ツ橋通町大日本教育会(大日本教育会談話室委員)	麹町区紀尾井町 高橋健三	葉書	139×88		コンニャク版 しみ
22		大日本精華会書簡						1	
	1	精華会設立の旨趣・精華会概則	明治24年8月10日	茨城県信太郡江戸崎町大日本精華会事務所	麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三	状	249×369		印刷物 消印 東京麹町明治24年8月12日
	2	精華会設立に付先生には名誉会員に御加入被下度	明治24年8月10日	東京法学院友 大久保武郎	高橋先生	書簡	169×230		未使用2銭切手あり
23		朝野新聞書簡						1	
		東京新報廃刊に際し本日より本社新聞を当分無代価にて配達為致候	明治25年7月20日	東京市教橋区銀座朝野新聞社	麹町区元衛町 高橋健三	書簡	178×257		印刷物 幸便 虫損小
		朝野新聞広告		東京市教橋区銀座朝野新聞社	麹町区元衛町 高橋健三	状	182×339		印刷物 虫損小
24		東京医事新誌局書簡						1	
		中外新報社宛医事新報代金送金被下度	明治19年5月10日	東京市教橋区南鍋町東京医事新誌局	府下根岸村 高橋健三	書簡	160×539		下部一部欠損 変色もろけ
25		東京機械製造会社書簡						1	
		株金払込期限経過に付通知	明治21年10月13日	日本橋通り本銀座東京機械製造会社	紀尾井坂官報局官舎 高橋健三	書簡	245×334		消印 明治21年10月14日
26		東京商業学校書簡						3	
	1	本校経費毎々不足相成、本月は残勘定皆済の為繰回の途途絶えに付維持金出金被成下度	明治22年12月23日	日本橋区蛸殻町私立東京商業学校	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	162×804		しみ カビ 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	2	差支有之に付代講師繰合せに付次回には御繰合せ御出席被下度	明治24年8月8日	東京市神田区錦町 私立東京商業学校仮事務	官報局官舎 高橋健三	書簡	173×356		幸便
	3	校名札在来の分返納願に付	明治 年9月2日	東京市神田区錦町 私立東京商業学校事務所(大草泰三)	官報局官舎 高橋健三	書簡	158×347		幸便 糊剥離
27		東京建物株書簡						1	
		松井氏より話のあった芝高輪北町の図面に付芝高輪北町建物位置図・建物間取図の図面に付 図面共(195×536、169×183)	明治30年9月22日	日本橋区呉服町 東京建物株式会社	小田原万年町 高橋健三	書簡	169×523		消印 小田原明治30年9月23日 しみ 下部変色・もろけ 糊剥離 虫損
		東京美術学校書簡	明治30年9月22日	日本橋区呉服町 東京建物株式会社	小田原万年町 高橋健三	状			下部変色・もろけ 糊剥離 カビ 2枚
28	1	文部大臣小集への御出席有無報知に付申進	明治24年3月17日	東京美術学校(庶務掛)	麹町区紀尾井町 高橋官報局長	書簡	182×470		
	2	図案需要者有之候ハ御通知相成度	明治24年12月	上野公園内 東京美術学校交友会(会員黒川真頼外23名)	神田橋内元衛町 高橋健三	書簡	195×430		しみ変色 もろけ カビ 封筒破損大 消印 明治24年12月16日 印
	3	御借読相成候古画備考原本御返納有之度	明治 年3月14日	東京美術学校文庫掛	高橋健三	書簡	185×312		幸便 封筒虫損
29		東京法学院書簡(例会開催案内、協議事項)						2	
	1	本院例会・懇親会開案内	明治28年10月5日	東京市神田区錦町 東京法学院	駿河台紅梅町高橋昌長方 高橋健三	書簡	279×201		幸便 しみ 他の書簡の切手2枚あり 東京法学院用箋
	2	法律学教育上の改良進歩のため法律学校合同に関する協議の件	明治 年7月28日	東京市神田区錦町 東京法学院	麹町区永田町 高橋健三	書簡	179×585		下部虫損
30		東京法学院生徒書簡						1	
		新年宴会相催に付案内	明治24年1月8日	東京法学院英邦3年生 新年宴会幹事	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	181×496		消印 明治24年1月9日 しみ
31		東京法学会書簡						1	
		第壹期第四号報告・領収書	明治13年5月22日	京橋区日吉町 東京法学会幹事	京橋区木挽町 高橋健三	状	183×143		しみ変色 会費領収書 2枚
32		東邦協会書簡						3	
	1	多少の資金協会へ御寄贈希望に付	明治24年10月9日	麹町区富士見町 東邦協会(会計監査渡辺国武・副頭取副島種臣)	糀町神田橋官報局官舎 高橋健三	書簡	204×281		印刷物 幸便
	2	栗原亮著『軍備論』進呈致し度に付落手被下度(稲垣万次郎氏演説特別入場券共)		麹町区富士見町 東邦協会	高橋健三	書簡	180×336		添え状 幸便
	3	記(りょうしゅう)	明治 年7月3日	麹町区富士見町 東邦協会(福本誠)	高橋健三	書簡	167×375		糊剥離 幸便
33		露西亜語学校書簡						1	
		塚本岡次郎氏月謝領収証御回しの件 領収証共	明治 年5月28日	東邦協会附属 露西亜語学校会計	高橋健三	書簡	154×220		領収証日付け5月29日 送り状日付け5月30日
		記(2円、塚本岡次郎月謝)	5月29日	会計	高橋校長(健三)	状	155×191		
34		日本経済会書簡						2	
	1	13日本会委員選挙会・月次会開催の件 日本経済会会員姓名表・委員投票用紙共	明治24年3月8日	本郷区竜岡町 日本経済会	麹町区紀尾井町 高橋健三	書簡	164×184		コンニャク版

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		日本経済会会員姓名表	明治24年2月	日本経済会		状	257× 539		印刷物
		委員投票用紙(第35号)		日本経済会		状	148× 202		印刷物
	2	2月3日月次会開催案内	明治25年1月27日	日本橋区三代町 中外 商業新報商況社内 日 本経済会(幹事)	内閣官舎局官舎 高橋 健三	書簡	179× 217		印刷物 消印 明治25 年1月29日
		日本経済会会員姓名表	明治25年1月	日本経済会		状	223× 424		印刷物
		委員投票用紙(第35号)		日本経済会		状	143× 136		印刷物
35		日本諸新聞切抜通信社書簡							
		(封筒のみ)	明治26年2月11日	京橋区弥左衛門町 日本諸新聞切抜通信社	豊島郡日暮里村 高橋 健三	封筒			
36		濃尾震災慈善書画展覧会書簡						1	
		濃尾震災義捐の為の慈善書画展覧会御招待 申上候	明治24年12月12日	濃尾震災慈善書画展覧 会	内閣官報局長 高橋健 三	書簡	167× 248		
		濃尾震災義捐の為の慈善書画展覧会に賛成 御責臨あらんことを乞う	明治24年12月	濃尾震災慈善書画展覧 会主唱者・賛成者		状	189× 250		
37		船川港湾築港期成同盟会書簡						1	
		12月5日発会式挙行政候間御責臨被成下度	明治30年11月29日	秋田市大町 船川港湾 築港期成同盟会事務所 (同盟会主唱者大日向 作太郎)	東京朝日新聞社 高橋健三	書簡	190× 255		印刷物 小田原に回 送された貼紙あり 消 印小田原明治30年12 月3日
		(発会式次第)				状	163× 81		
38		平安新聞書簡						1	
		第一号発兌に付願意承引願	明治28年6月24日	京都市上京区御幸町 平安新聞社	大阪市 大阪朝日新聞 社 高橋健三	書簡	191× 267		虫損 印刷物
39		欠番							
40		星岡茶寮書簡						1	
		利休居士追悼相修度案内の件	明治25年6月7日	麴町区山王公園内 星岡茶寮	元衛町 高橋健三	書簡	?× 243		印刷物 虫損上部欠 損
41		明辰銀行書簡						1	
		借用之金円本月皆済の筈に候処御遣無之に 付至急御払込被下度	明治21年8月17日	京橋区大鋸町 明辰銀 行	麴町区紀尾井町 高橋健三	書簡	166× 394		消印 明治21年8月18 日
		(明細書)				状	161× 92		
42		文部省書簡						1	
		パジョウ著英国憲法訳稿取調の為一時返戻の 件	明治21年6月2日	文部省編輯局	麴町区上貳番町 高橋健三	書簡	158× 350		
43		六十会書簡						2	
	1	相談会報告 六十会規約	明治25年7月	六十会世話人(昆田文 次郎・中川銃三郎)	麴町区元衛町 高橋健 三	書簡	197× 339		印刷物 消印 明治25 年8月3日
	2	本会経費嵩居に付御寄贈金・会費支払被成下 度		六十会世話人(昆田文 次郎・中川銃三郎)	豊島郡日暮里村字金杉 高橋健三	書簡	181× 749		消印 明治25年12月2 日糊剥離
44		A. Gallois書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
			明治 年 7月24日	Le courrier de la Press A. Gallois	Takahashi	書簡	205×135		
45		グリフキン商会書簡						1	
		注文の印刷機に付約定書捺印の上返送の件	明治21年12月7日	横浜89番 グリフキン商会	東京紀尾井町 高橋健三	書簡	245×328		料金不足印あり
		約定書	1888年12月5日	グリフキン	タカハシ	状	262×208		コンニャク版
46		ジャパンタイムス社書簡						1	
		英字新聞発刊に付	明治30年2月	麹町区内幸町ジャパンタイムス社(山田季治・頭本元貞)	麹町区永田町 高橋健三	書簡	178×284		印刷物 消印 明治30年3月3日
47		Kelly & Co.書簡						1	
			明治17年10月6日	Kelly & Co.	京橋区南紺屋町 Kennzo Takahashi	書簡	250×198		しみ変色
48		Langstaff. Ehrenberg & Pollak書簡						1	
		名刺共	明治23年6月24日	Langstaff. Ehrenberg & Pollak/パリ支店	hotel Scribe高橋健三	書簡	270×214		
49		Marinori書簡						1	
		(礼状)	明治24年4月25日	Marinori	高橋健三	書簡	261×212		虫損 消印 東京明治24年6月13日
50		ELIO Mongiardino書簡						1	
			明治24年5月10日	ELIO Mongiardino	東京官報局Takahashi	書簡	221×278		消印 東京明治24年7月13日
51		United Stars Consulate-General書簡						1	
			明治21年2月6日	Kanagawa,(Yokohama) United Stars Consulate-General	内閣官報局 高橋健三	書簡	267×211		
52		共存同衆幹事葉書							
		明後22日使者差出申候に付	明治14年6月20日	日吉町 共存同衆幹事	木挽町 高橋健三	葉書	143×90	1	

87

3、宛先が高橋家以外

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	備考
1		青木貞三(造)宛 見光社書簡					1	
		官報局長後任の風説に付	明治19年7月2日	京橋区銀座 見光社	浅草区小島町 青木貞三	書簡	178×1290	しみ変色 下部もろけ 糊剥離
2		青木貞三宛 中邨道元書簡					1	
		明朝御出立の前御立寄被下度	2月23日	中邨道元	竹町 青木貞三	書簡	170×830	幸便 糊剥離
3		青木(貞三)宛 仙田謹一郎書簡					1	
		社内の事情、我々党派との勢力を拡張する事も当社と同主義を持つる人物を沢山引込、小	7月14日	仙田謹一郎	青木	書簡	159×4775	封筒欠 前半破損
4		Mrs. W. G. Aston宛 高橋健三書簡					1	
			明治23年7月10日	ロンドン 高橋健三	ベルファスト Mrs. W. G. Aston	書簡	179×225	returned paid letter 封筒2 虫損小
5		上野理一宛 村山龍平書簡					3	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	1	国華社会計主任の人物採用之儀に付	明治27年1月18日	在東京 村山龍平	大阪中之島 朝日新聞社 上野理一	書簡	183×847		書簡内宛名高橋健三・上野理一
	2	高橋君注文の東朝の記事の件に付 23日付高橋宛上野添え状 御不例如何候哉、村山より別紙有之候儘差上候	明治27年1月22日 (明治27年1月)23日	在東京 村山龍平 (上野)理一	大阪中之島 朝日新聞社 上野理一 高橋(健三)	書簡	183×458 180×620		切封 糊剥離
6		上野理一宛 九鬼隆一書簡						1	
		内陳、処々廻転本月15日頃参上に付	明治27年5月3日	九鬼龍一	大坂市今橋 上野理一	書簡	187×570		上書「至急必親展」
7		上野理一宛 天野財書簡						1	
		第2軍の作戦計略は大連湾を衝き(戦況報道)	明治27年10月15日	ヒロシマ 天野 財	大阪市北区中之島 大坂朝日新聞社 上野理一	書簡	225×301		消印 大坂明治27年10月16日 書簡中の宛先は上野理一・高橋健三 用箋7枚
8		上野理一宛 横沢次郎書簡						1	
		国華社より国華回送に付スポールヂンク氏に送呈の件	明治 年5月2日	京橋区瀧山町 東京朝日新聞社 横沢次郎	大阪本社 上野理一	書簡	174×996		上書「親披要用」 幸便か
9		小川定明宛 東良三郎書簡						1	
		懇親会費用不足金7円封入に付	明治 年 22日	大阪市北区中之島 東 良三郎	高橋健三様方 小川定明	書簡	172×786		幸便 上書「金子在中」汚れ しみ 糊剥
10		岡山兼吉宛 高橋健三書簡						1	
		商法延期主唱者中運動費納受者搜索の件	明治 年12月27日	(高橋)健三	岡山(兼吉)	書簡	179×2046		封筒欠 汚れ 糊剥離
11		奥田義人宛 増島六一郎書簡						1	
		(判読不能)	明治 年9月11日	増島六一郎	農商務省 奥田義人	書簡	?×238		下部欠損 もろけ しみ変色 破損大
12		川島甚兵衛宛 九鬼隆一書簡						1	
		官報局次長高橋君織物工場見分に付御周旋見聞相計候様御尽力被下度	明治 年8月16日	九鬼隆一	三条高倉 川島甚兵衛	書簡	280×411		上書「高橋君持参」 幸便
13		桂 四郎宛西郷吉之助書簡(写し)						3	包紙あり
	1	先月下澣三藩出揃戮力同心の根源を堅く致に付	明治4年7月10日	西郷吉之助	桂 四郎	書簡	184×2286		糊剥離
	2	天下の形勢是迄因循の藩却て奮励致しに付	明治4年7月19日	西郷吉之助	桂 四郎	書簡	184×1825		糊剥離 もろけあり
	3	主上の身邊の变革に付				書簡	183×1827		糊剥離
14		樺山資紀宛(井上馨?か)書簡(写し)						1	包紙「樺山伯手紙写
		高橋に相談致候処多時黙思深く嘆息罷在候、夫より進歩党総務委員に面談致候	明治 年12月5日	井上馨か?	樺山伯(資紀)	書簡	180×1163		糊剥離
		追伸本日奉呈の書中				書簡	180×276		糊剥離
15		川瀬周次宛 岡崎壮太郎書簡						1	
		高橋君債務の件に付嚴約の通御履行被下度奉願候	明治25年11月7日	小石川区指ヶ谷町 岡崎壮太郎	麹町区元衛町 高橋健三方 川瀬周次	書簡	171×375		虫損 下部しみ変色
16		川那辺貞太郎宛 仙田重邦書簡						1	
		今日は帰ること能はず、高橋氏方へ御一報致度		仙田重邦	朝日新聞社 川那辺貞太郎	書簡	254×170		幸便
17		川那辺宛書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		家弟同道厚招の赴可申			川那辺	書簡	173× 316		大阪朝日新聞社封筒 上書「川辺奥時参」
18		関西対外硬派大会御臨席先覚諸兄宛書簡						1	
		兵庫県下対外硬派懇親会演説会を姫路にて 相催に付御出張懇望候	明治27年7月5日	姫路市に於て 鹿島秀 麿	関西対外硬派大会御臨 席先覚諸兄	書簡	245× 328		「兵庫県 田寺敬信」 名刺あり 幸便
19		関西対外硬派選挙事務所宛 鈴木重遠書簡							
		本県下代議士候補一件に付別紙人名書御送 付申上候	明治27年8月20日	愛媛県松山市唐人町 鈴木重遠	大坂東区北浜 関西対 外硬派選挙事務所	書簡	175× 653		消印 明治27年8月21 日糊剥離
		愛媛県対外硬派の候補者、同県自由党の候補 者				状	279× 175		
20		関西対外硬派選挙事務所宛 東溪平太郎書簡						1	
		第6区植田重太郎硬派加盟取消一件に付概略 朝日新聞雑報へ御掲載願上候	明治27年8月24日	大阪府志紀郡道明寺村 東溪平太郎	大阪北浜 関西対外硬 派選挙事務所	書簡	181× 945		
21		木原勇三郎宛 広瀬久左衛門書簡						1	
		運動費齟齬の為御委託物を以て危急を凌い だ件に付詫び状	明治23年12月19日	小石川区百扇町 長谷 川方 広瀬久左衛門	芝区太左衛門町 木原勇三郎	書簡	165× 139		しみ 虫損 上書「無 事至急用」
22		陸 実宛 末永純一郎書簡						1	
		平壤における貨幣制度原案に付	明治24年12月2日	朝鮮国京城典凶局官舎 末永純一郎	大日本東京根岸金杉村 陸 実	書簡	182× 2962		消印 東京明治24年 12月10日
23		陸 実宛 神鞭知常書簡						1	
		口田氏より安翁出京の書到来に付	明治25年4月6日	麻・仲 神鞭知常	府下下谷下根岸村 陸 実	書簡	185× 450		書簡宛先 陸君・高橋 君 開封時上部欠損
24		陸 羯南宛 天田愚菴書簡						1	
		上洛刻限承致候に付	(明治25年)4月14日	(天田)愚菴	(陸) 羯南	書簡	183× 508		上書「御返事待」 幸 便
25		陸 実宛 沢村則辰書簡						2	
	1	谷の供をして明朝一番汽車にて西京へ出立仕 候	明治27年4月10日	東京神田雉子町 日本 新聞社 沢村則辰	大坂市北区中ノ島 高 橋氏方 陸 実	書簡	169× 540		
	2	売捌の件に付交詢社に出張罷在候 金10円だ け国華社二宮から請取願候、	(5月2日)	東京市京橋区南鍋町交 詢社内 東京十七新聞 同盟組合事務所 沢村	陸 実	書簡	182× 846		幸便 虫損小 二宮宛 書簡を含む
26		九鬼隆一宛 藤田四郎書簡						1	
		談合の官報局長退任及後任者一件に付	明治 年11月15日	藤田四郎	九鬼顧問官(隆一)	書簡	170× 1044		幸便 封筒上部しみ 糊剥離
27		神鞭・佐々宛 阿部井磐根書簡						1	
		高橋氏当事務所訪れ候に付両君にて申合せ 御談し被下度	明治 12日	阿部井磐根	神鞭・佐々	書簡	182× 697		幸便 糊剥離 しみ
28		国華社宛 加藤曾根右衛門葉書						1	
		先月電信又は郵便を以て申上候処御返事無 為替御振込被下度	明治25年4月15日	越前今立郡岡本村岩本 加藤曾根右衛門	日本橋区両国吉川町 国華社	葉書	140× 90		消印 東京明治25年4 月18日
29		国華社宛 第百十三銀行葉書						1	
		明日期日の約束手形明後16日持参被下度	明治25年5月14日	江戸橋 第百十三銀行	日本橋区両国吉川町 国華社	葉書	140× 90		
30		佐脇宛 陸 実書簡						1	
		浜尾総長には遂に不得面会貴下より御談じ願 はしく存候、木下氏には本日文部省にて面会	3月1日	(陸)実	佐脇	書簡	182× 651		封筒欠 糊剥離
31		沢村則辰宛 加藤曾根右衛門書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		御高書今朝着に付御礼	明治25年5月5日	大口高口町 加藤曾根右衛門	神田雉子町 日本新聞社 沢村則辰	書簡	162× 227		虫損小 しみ
32		杉浦正臣宛 高橋健三書簡						1	
		貴稿拝閲の上鄙見を加え返呈仕候に付	(明治15年)25日	駿河台紅梅河岸 高橋 健三(杉浦正臣)	上二番町 杉浦正臣(高 橋健三)	書簡	162× 389		しみ変色 幸便 上書 「十五年力」封筒虫損 封筒と書簡は差出宛 先が逆
33		高橋 菊宛 東京慈愛病院書簡							
		演芸会開催に付案内状	明治25年6月22日	牛込東五軒町 東京慈愛病院幹事	神田橋内官報局官舎 高橋 菊	書簡	175× 342		糊剥離 消印 明治25 年6月24日
		稟告(慈善演芸会開催に付、番組表)	明治25年6月	東京慈恵病院幹事		状	203× 301		印刷物
34		高橋是清宛 □□龍作書簡						1	
		昨今まで御待申上居候得共		□□龍作	高橋是清	書簡	173× 490		糊剥離 幸便
35		高橋禎二宛 後藤玄旭書簡						1	
		(来る尽七日を期し法要を修しに付通知)	明治44年10月24日	豊後国東国東郡国東町 安国寺 後藤玄旭	東京市京橋区南小原町 高橋禎二	書簡	181× 385		虫損 糊剥離 消印 明治44年10月27日
36		高橋禎二宛 津田常子書簡						1	
		叔母上様五七日御供養の贈物を頂戴し御礼	明治44年 26日	牛込区南榎木町 津田 常子	京橋区南小田原町 高 橋禎二	書簡	178× 680		虫損 糊剥離
37		高橋伴蔵宛 青 八重書簡						1	
		火事見舞	明治25年4月13日	伊勢国奄芸郡上野村 青 八重	東京神田橋内 高橋伴 蔵	書簡	151× 509		
38		高橋昌長宛 勝木理栄門書簡						1	
		倅嘉太郎義介抱に相成に付御礼	明治15年12月12日	越前国足羽郡福井佐久 良中町 勝木理栄門	神田区駿河台東紅梅町 河岸 高橋昌長	書簡	158× 508		虫損 糊剥離 上書 「大急用事」
39		高橋昌長宛 山角乾三書簡						1	
		乳死去に付報知	明治16年1月2日	小川町 山角乾三	神田区駿河台東紅梅町 高橋昌長	書簡	165× 258		虫損 糊剥離
40		鶴原定吉宛 七里恭三郎書簡						1	
		戦況報告	明治27年12月15日	盛京省鳳凰城所属混成 第十旅団司令部 七里 恭三郎	大阪市北区絹笠町 鶴原定吉	書簡	238× 242		上書「戦時郵便」消 印 大阪明治28年1月 3日 鉛筆書き2枚
41		ダブリュー・テニング宛 高橋健三書簡						1	
		1月7日官報外報欄内原報原文問合に付其全 文、下書	明治24年1月15日	高橋健三	カゼット新聞主筆 ダブリュー・テニング	書簡	167× 1913		封筒欠
42		東京法学会幹事宛 草野・木下書簡						1	
		退会届	明治13年10月18日	草野宜隆・木下哲三郎	東京法学会幹事	書簡	163× 315		糊剥離 虫損小
43		長尾景弼宛 笹田黙介書簡						1	
		当県々報官報附録となす一条速に相運被下候 様希望罷在候	明治20年8月5日	埼玉県官邸二番舎 笹田黙介	東京銀座博聞社 長尾景弼	書簡	187× 492		糊剥離 封筒上部欠
44		長尾禎太郎宛 石井梅吉書簡						1	
		今後の仕事の手筈に付御報知被下度	明治26年4月5日	東京市日本橋区両国吉 川町 国華社 石井梅	大坂市北区中の島 高 橋健三方 長尾禎太郎	書簡	164× 532		消印 大坂明治26年4 月6日 封筒しみ
45		中橋宛 高橋健三書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
46		鉄道論に対し再弁す 西邨天内宛 高橋七郎書簡	明治 年6月2日	(高橋)健三	中橋(徳五郎か?)	書簡	165× 3961		一部変色 封筒欠 下書きか
		上阪拜命可致専み居候 野村 菱宛 高浜貞活書簡	明治 年 7日	高橋七郎	西邨天内	書簡	247× 348	1	幸便
47		記(官報印刷場野村秀宛請求書)	明治21年5月4日	製紙分社 高浜貞活	野村 菱	書簡	248× 347		上書「彫刻見本在中」 幸便
		掌中大宝恵 第一集(彫刻見本)				状	102× 165		
48		平岡宛 松井民治郎書簡						1	
		御後室様病氣入院の報に接し 平坂 閔宛 坪井 晋書簡	明治41年12月22日	韓国平壤寿町 松井民治郎	東京市京橋区弥左衛門町 平岡方 高橋同窓	書簡	278× 199		平岡は平岡定太郎
49	1	来17日頃には悉皆御返却相成候事信認仕候 未御回報甚た支候に付 高橋・山田両君へは 兄より宜敷御談判願上候	明治15年12月12日	小石川区小石川諏訪町 坪井 晋	神田区美土代町 平坂 閔	書簡	163× 802		虫損小
	2	福本 誠宛 片貝正晋書簡	明治15年12月	小石川区小石川諏訪町 坪井 晋	神田区美土代町 平坂 閔	書簡	163× 416		封筒汚れ
50		一昨日廻送のもの拝受に付	明治21年3月5日	京橋区鎗屋町 月評社 片貝正晋	英吉利法律学校 福本 誠	書簡	165× 148	1	下部欠損 上部もろけ 幸便
		証 片貝宛御状口通	明治21年3月5日	博聞社内 馬淵太郎	福本(誠)	状	167× 246		中央部欠損大 虫損
51		福本 誠宛棚橋一郎書簡						1	
		御謝礼有難奉存候 福本 誠宛依田百川書簡	明治21年3月12日	芝区田村町 棚橋一郎	牛込区西五軒町 福本 誠	書簡	162× 357		下部欠損 カビ 糊剥離
52		記 金10円前渡料として落手候 福本 誠宛阪谷芳郎書簡	明治21年4月7日	小川町 依田百川	牛込区西五軒町 福本 誠	書簡	144× 352		下部欠損 虫損
		書の儀高橋君よりも依頼有之に付尽力可仕存 居候	明治21年4月6日	駒込西片町 阪谷芳郎	牛込区西五軒町 福本 誠	書簡	169× 499	1	下部欠損 虫損 もろけ
53		藤田隆三郎宛前田書簡						1	
		今朝1時間丈け御光臨被下候へば幸甚 北川 法学新報社宛岸 小三郎書簡	明治 年	前田	朝日新聞社 高橋様方 藤田隆三郎	書簡	162× 445		幸便 糊剥離
54		「ゲハチンゲン」大学教授「イヤリング」の肖像 を載せ度に付	明治25年12月1日	赤坂区霊南坂町 岸 小三郎	神田区錦町 法学新報社編輯主任	書簡	183× 590		虫損 糊剥離 しみ色 移り
		増島(六一郎)宛B.H. チャンブレン書簡						1	
55		高橋宛(シャンブレン書面の通随分ギコツナル 処あれとも貴兄においてやわらかに御加筆被 松方伯宛神鞭知常書簡	明治22年9月18日	B.H.チャンブレン	masujima(増島六一郎)	書簡	181× 237		封筒欠 高橋宛増島 の朱書きの添え書きあ
		外務大臣より申上管の予算及官制改正按の件 に付	明治 年3月10日	神鞭知常	総理大臣閣下(松方正 義)	書簡	189× 1046	1	幸便 糊剥離
56		松野貞一郎宛菊池武夫書簡						1	
		高橋健三宛菊池武夫書簡在中	明治24年5月30日	神田区錦町 東京法学 院 菊池武夫	富士見町 松野貞一郎	封筒			幸便 虫損 しみ変色 もろけ

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		堀江へ2500円払込み、請取証落手	明治24年5月30日	永楽町 菊池武夫	神田橋内官報局 高橋健三	書簡	163× 252		虫損 しみ変色 もろ け書簡は菊池から松 野のもの
59		松野貞一郎宛藤田隆三郎書簡						1	
		負債覚書差出し、大金の支出を伊達家へ依頼 するに付	明治24年7月14日	奈良池ノ町 藤田隆三 郎	麹町区富士見町 松野貞一郎	書簡	167× 1015		虫損 しみ カビ 消印 東京明治24年7月16日
60		松野貞一郎宛坂本武治書簡						1	
		法協協会・田中司法大臣・柴宏氏による断行論 者の動向について通知	明治25年5月19日	東京法学院にて 坂本 武治	富士見町 松野貞一郎	書簡	245× 172		幸便 しみ色移り カビ 東京法学院用箋2枚
61		松野貞一郎宛中橋徳五郎書簡						3	
		別紙の通り申来候に付大学講義室之方取定と 存候、明朝拝姿に付	明治 年4月11日	(中橋)徳五郎	神田橋官報局官舎 松野貞一郎	書簡	167× 157		切手は貼ってあるが消 印なし しみ カビ
		元検査院の建物を学地に借するは坪井技師実 地見聞の上差支有之候旨申出に付承引有之		口宮	中橋	書簡	180× 604		しみ
		事務室近傍の空室は狭隘なるのみならず目下 取崩に着手中到底御用立可申空室無之に付				書簡	177× 656		後欠
62		松野松太郎宛東京法学院卒業生書簡						1	
		来る15日浅草鷗遊館に於て宴会催し候に付故 松野先生御名代として御光臨被成下度	明治 年7月13日	東京法学院卒業生一同	神田区中猿楽町 松野松太郎	書簡	189× 523		
63		武藤宛岸本書簡						1	
		駅運局に於て新員増加する由に付加藤氏周旋 願	明治 年8月14日	武藤	岸本	書簡	167× 784		幸便 封筒しみ色移り
64		村田峰二郎宛陸 実書簡						1	
		小生の友人小見源蔵官報局奉職志願に付高 橋次長に申込成下度	明治 年5月8日	陸 実	紀尾井町官舎 村田峰 二郎	書簡	170× 780		幸便 上書き「小見源 蔵持参」
65		村山龍平宛H.O.Spanlding書簡						1	
		(英文)	明治24年5月2日	横浜 H.O.Spanlding	R.Murayama(村山龍平)	書簡	252× 200		インク焼け
66		村山龍平宛太田小三郎書簡						1	
		御依頼申上度件有之に付	明治27年6月22日	参宮鉄道株式会社 太田小三郎	大坂朝日新聞社 村山 龍平	書簡	246× 335		幸便 封筒虫損
67		村山隆平宛渡辺嘉一書簡						1	
		御依頼申上度事故有之に付	(明治27年)6月22日	(参宮鉄道株式会社総 支配人兼技師長 渡辺	村山龍平	書簡	182× 1124		幸便 封筒虫損
68		元田 肇宛小竹禄之助書簡						1	
		当地三輪霊境事件に付	明治23年9月29日	ハママツ 小竹禄之助	銀座 元田 肇	書簡	269× 211		消印 東京明治23年9 月30日 封筒破損大
69		元田 肇宛三輪霊境書簡・葉書						3	葉書含む
	1	前翰昨夜到着し相談候、小竹氏より示談の運 に付御談示願度	明治23年9月27日	静岡県敷知郡浜松成子 町 三輪霊境	東京銀座 元田 肇	書簡	278× 388		
	2	書中誤解致、小竹氏よりも御詫の御依頼申上 度に付	明治23年9月29日	静岡県敷知郡浜松成子 町 三輪霊境	京橋区銀座 元田 肇	書簡	161× 510		
	3	始審判決及契約書至急送付奉願候	明治24年5月15日	静岡拳田町青木宗道方 三輪霊境	京橋区銀座 元田代言 事務所	葉書	140× 89		
70		藪 広光宛松田彦次郎書簡						1	
		弊県対外硬派の実況報告	明治27年8月22日	備後尾道浜吉支店 松田彦次郎	藪 広光	書簡	182× 3492		消印 大坂明治27年8 月25日 糊剥離
71		福岡文部卿宛山県(有朋)書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		官報へ掲載可致事項の報告は第一迅速を要すに付注意候様御下命有之度	明治16年5月26日	山県参議(有朋)	福岡文部卿(福岡孝弟)	書簡	180×609		幸便 虫損 糊剥離
72		山田卓介宛第四十四国立銀行書簡						1	
		第三銀行への合併の儀大蔵省閣届に付実施報道	明治15年8月31日	第四十四国立銀行	山田卓介	書簡	153×167		封筒宛名は高橋昌長 虫損 印刷物
73		米波貞吉宛大坂朝日新聞社書簡						1	
		小荷物貴家に宛て呈出に付山中別荘高橋健三へ御届取計被下度	5月3日	大坂朝日新聞社売捌係	米波貞吉	書簡	179×510		幸便 封筒上書「小荷物ハ駅止メニ付受取人御遣可下也」

78

4、高橋清子宛書簡

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	備考	
1		饗庭與三郎書簡・葉書		饗庭與三郎	高橋 清			10	
	1	先生の御供で伊豆修善寺辺へ参りますがあなた様はいかがに候や	明治24年1月4日	根岸 饗庭與三郎	麹町区紀尾井町 高橋奥様(清)	書簡	181×379		封筒しみ・カビ 糊剥離書簡宛先 紀尾井
	2	移転のお知らせ	明治24年11月1日	南としま郡大久保村字元西大久保 饗庭與三	神田橋内元衛町 高橋健三様御奥(清)	書簡	242×328		封筒汚れ虫損
	3	帰宅の届けをかね風邪気の様子伺い	明治25年3月14日	大久保村 饗庭與三郎	神田橋内元衛町 高橋様御奥(清)	書簡	181×740		しみ 虫損
	4	今日左の所へ転居、新聞紙上に松野様親父之訃報御座候	明治26年2月3日	京橋区元数奇屋 饗庭與三郎	北豊島郡日暮里村字金杉高橋奥様(清)	書簡	161×430		しみ 虫損 もろけ 糊剥離 書簡宛先 姉上
	5	今16日午後2時50分京都発の汽車にて帰京仕り候	明治28年4月16日	京都西石垣 松華楼 饗庭與三郎	大阪中ノ島 高橋健三様御奥(清)	書簡	177×1788		変色 糊剥離 書簡宛先 姉上様
	6	京都之博覧会に付重・節両人と上坂の件	明治28年3月10日	東京向島寺島村 饗庭與三郎	大阪中之島 高橋健三様御奥(清)	書簡	177×810		糊剥離 封筒しみ・カビ書簡宛先 姉上様
	7	向島宅浸水にて国府津蔦屋別荘に居り候、6日出立の汽車の時間御知らせ被下度	(明治29年)10月5日	国府津蔦屋にて 饗庭	千歳屋にて 高橋奥様(清)	書簡	176×522		しみ 糊剥離 幸便 書簡差出人 重・せつ 千歳屋は興津の旅館
	8	観劇の日取りの件、きまり次第坪内様へ申すつもり	明治 年 月18日	大久保村 饗庭(與三郎)	高橋(清)	書簡	165×477		幸便 虫損 書簡宛先 御清
	9	今晚3時男子出生、母子共健全に付	明治41年6月19日	小梅 饗庭	京橋区木挽町 高橋清子	葉書	141×90		
	10	近火見舞に付	明治41年10月7日	小梅 饗庭	京橋区木挽町 高橋清子	葉書	141×90		
2		秋元興朝書簡						9	包紙あり「秋元公御書状入」
	1	昨日の御礼と銀次郎一件	明治21年10月11日	秋元興朝	麹町区紀尾井町官報局 官舎内 高橋令夫人	書簡	182×990		
	2	銀次郎事	明治 年1月13日	秋元興朝	高橋奥様(清)	書簡	181×227		封筒欠 虫損
	3	銀次郎事	明治 年2月21日	秋元興朝	高橋令閨(清)	書簡	181×246		封筒欠
	4	銀次郎事	明治 年2月23日	秋元興朝	高橋奥様(清)	書簡	181×204		封筒欠
	5	銀次郎事	明治 年4月7日	秋元興朝	高橋令夫人(清)	書簡	166×298		封筒欠 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	6	銀次郎事	明治 年4月10日	秋元興朝	高橋令夫人(清)	書簡	166× 288		封筒欠
	7	訪問御礼 銀次郎事	明治 年4月14日	秋元興朝	高橋令夫人(清)	書簡	181× 650		封筒欠 汚れ 虫損
	8	銀次郎商業学校試験予科2年を無事に通じに付御礼	明治 年7月13日	秋元興朝	高橋令夫人(清)	書簡	161× 633		封筒欠 汚れ
	9	記(午後2時10分前帰宅)	明治 年10月14日	秋元興朝	高橋令夫人(清)	書簡	242× 345		虫損 変色 幸便
3		安中忠如書簡							
	1	戸田家3月分経費銀次郎へ御托し申上候に付御查收被下度	明治 年2月17日	秋元家 安中忠如	高橋奥様(清)	書簡	162× 534	1	封筒上書「金四拾円在中」幸便
	2	金子封入に付御查收可被成下候	明治 年11月7日	秋元内 安中忠如	高橋奥様(清)	書簡	161× 590	1	封筒上書「御請金廿五円在中」幸便 虫損
4		石井梅吉書簡						1	
		留守にて返事延引、本月末は社の経費都合宜敷、委細は拝顔の上申上候	明治25年8月29日	大坂北区堂島中 石井梅吉	麹町区元衛町 官報局官舎 高橋御奥様(清)	書簡	161× 998		消印 東京明治25年8月31日 しみ小 糊剥
5		石井 富書簡						1	
		上京以来多年御世話相成当地一円御厚情の程難有御礼申上候	9月5日	大阪 石井 富	東京 高橋御奥様(清)	書簡	166× 525		幸便 虫損
		帰阪の節の茅屋御尋ね難有存候				書簡	164× 213		追伸か
6		石塚宗通葉書						1	
		御用向にて西洋へ御発足の由に付	明治23年3月5日	下谷区竹町 石塚宗通	麹町区紀尾井町 高橋於清	葉書	140× 90		
7		市川徳口郎葉書						1	
		病氣見舞に付	明治 年12月22日	静岡県庵原郡興津町市川徳口郎	京橋区木挽町 高橋清子	葉書	140× 90		
8		伊東たま書簡							
		御心配有かたく御厚礼申上候		伊東たま	高橋御奥様(清)	書簡	169× 436	1	幸便 切封 糊剥離
9		稲田佐吉書簡			稲田(佐吉)				
	1	一寸御拝借申上候一条の事	明治24年3月5日	神保方にて 稲田	糀町区紀尾井町 官報局官舎 高橋御奥様	書簡	179× 623	1	糊剥離
	2	金拾円落手仕候	明治24年3月9日	稲田佐吉	糀町区紀尾井町 官報局官舎 高橋御奥様	書簡	179× 473	1	封筒虫損
10		猪野房子書簡						1	
		近々の内参上に付(今泉)書簡		牛込矢来町 猪野房子	御奥様(清)	書簡	181× 400		虫損 糊封 しみ 書簡宛先「御姉上様」
11		(新年祝詞)	正月3日	下谷上根(岸) 今(泉)	神田区仲さる(楽町) 高橋御奥様(清)	書簡	?× 735		下部欠損 虫損 変色 破損大
12		内山信民書簡						1	
		御留守御見舞	明治23年4月5日	五条治安才判所第二号官舎 内山信民	麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋清子	書簡	180× 565		上部一部欠損 虫損 しみ カビ 消印 東京明治23年4月8日
13		蛭江暁村書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		御厄介之書籍御移転之際御手数相懸に付一旦引取申度小原沢相統人より申越候間此者へ御渡相願度	(明治24年11月20日)	蛭江暁村	官報局官舎 高橋(清)	書簡	179×403		幸便 糊剥離 書簡宛先「高橋奥様」封筒上書「廿四年力」後筆と思われる
14		大木 隆書簡						1	
		去る18日夜7時過安着候 東京出立の際の御礼	明治19年11月1日	山梨県甲府錦町 大木隆	高橋御奥様(清)	書簡	164×816		消印 東京明治19年11月2日 しみ 糊剥
15		大谷木花子書簡						1	
		此品国元より送り越に付笑納被下度 添え状	明治 年10月20日	神田 大谷木花子	高橋御奥様(清)	書簡	176×606		幸便
16		岡倉覚三書簡						1	
		女子職業学校御詔への大半のハンケツ差出候	明治23年3月14日	美術学校にて 岡倉覚三	紀尾井町 高橋 清	書簡	187×370		しみ 虫損
17		小川書簡						1	
		(解読不能 小川一真の身内の書簡)	明治31年12月30日	京都麩屋町[]沢小川[]	神田区仲猿[楽町] 高橋御奥様(清)	書簡	?×870		下部欠損 虫損 変色もろけ
18		奥田義人書簡						1	
		手紙の趣承知、私分も御あつらへ被下候	明治 年2月2日	奥田義人	松の氏方 高橋奥[](清)	書簡	175×390		幸便 虫損 しみ 封筒下部欠損 官報局
19		おきなや(葉書)						1	
		ひろめのため 新商品案内	明治23年5月	神田南神保町 おきなや		葉書	141×87		印刷物
20		小原沢重雄書簡							
	1	口上(4月2日仏国マルセール港に御安着電報到来)	(明治23年)	小原沢重雄	高橋御奥様(清)	書簡	164×254		糊封 虫損 糊剥離
	2	口上(一同大喜にて賞味に付御礼)		小原沢重雄	高橋御奥様(清)	書簡	164×232		糊封 虫損
21		景山信一書簡						1	
		御留守御見舞	明治23年4月30日	千葉県望陀郡根影村岩井区 景山信一	麹町区紀尾井町高橋先生御内 御奥様(清)	書簡	164×683		糊剥離 幸便
22		勝田包承書簡	明治21・23年					2	
	1	明辰銀行よりの請求の件に付	明治21年2月4日	東京神田区三河町 勝田包承	麹町区紀尾井町 高橋健三様 御内(清)	書簡	162×333		封筒しみ・カビ 糊剥離
	2	公債証書書換願延引仕りに委任状の件	明治23年3月5日	東京神田区三河町 勝田包承	麹町区紀尾井町 高橋健三様 御清	書簡	170×304		
23		河口忠四郎書簡						1	
		新年挨拶	明治22年1月1日	山梨県都留郡[] 河口忠四郎	神田区駿河台東[紅梅河岸] 高橋清子	書簡	?×377		下部欠 しみ変色 虫損 破損大
24		川瀬周次書簡						4	
	1	脚気病転地療養御許被下御礼、道中の模様、入費の概算	明治3年8月18日	上総国岩熊村長野方 川瀬周次	東京麹町紀尾井町 高橋清子	書簡	241×327		罫紙7枚 消印 東京明治23年8月21日 虫
	2	相伺可申之処取込之事有之失礼仕候	明治25年11月2日	下谷中根岸 川瀬周次	麹町区元衛町 高橋清子	書簡	169×538		
	3	明朝相伺申度	明治 年10月24日	外神田山本町 川瀬周次	神田橋内 高橋御奥様(清)	書簡	251×341		幸便 虫損 カビ
	4	新年挨拶	明治32年元旦	台北府前街 川瀬法律事務所(川瀬周次)	東京市神田区中猿楽町 高橋清子	書簡	191×579		下部破損 しみ変色 虫損 破損大
25		川田 栄書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		お清病気快氣に付御礼と挨拶	明治25年9月8日	麴町区飯田町 川田 栄	神田橋内元衛町官舎 高橋御奥様(清)	書簡	167× 946		虫損
26		川那辺貞太郎書簡						9	
	1	悼一に帯御送被下御礼 東京朝日のこと、通信省のこと他	明治30年8月21日	大阪土佐堀ウラ町 (川那辺)貞太郎	相州小田原万年町鈴木氏方 高橋御奥様(清)	書簡	181× 970		変色しみ 折目もろけ 糊剥離
	2	無事帰阪に付、車中でのこと、改革の機運のこと	明治30年8月31日	大阪土佐堀裏町 川那辺貞太郎	相模国小田原万年町鈴木方 高橋御奥様	書簡	240× 285		変色シミ 書簡宛先 先生・奥様 大阪朝日新聞社用箋2枚
	3	先生の熱のこと 昌長様のこと 東京朝日改革のこと 小子の日本入社のこと	(明治31年)4月22日	(川那辺)貞太郎	高橋御奥様(清)	書簡	180× 1042		封筒上書「4月23日朝地震中」 幸便 しみ
	4	先生如何、同窓会のこと、昌長様のこと、私入社の件他	(明治31年)4月30日	東京留守宅 (川那辺)貞太郎	相州小田原字山王 高橋御奥様(清)	書簡	181× 1065		幸便 糊剥離 しみ カビ
	5	原田氏試験落第の件	明治31年7月12日	東京神田雉子町 日本新聞社 (川那辺)貞太郎	相州小田原字山王 高橋御奥様(清)	書簡	176× 600		しみ変色 カビ 日本新聞社用封筒 書簡 宛先 高橋先生・御奥
	6	陸氏の医師三浦氏訪問のこと、丸山氏病気のこと	明治 年7月2日	(川那辺)貞太郎	高橋御奥様(清)	書簡	178× 948		幸便 虫損 汚れ書簡 宛先 高橋先生・御奥
	7	家の義先方より返事無御座候に付	明治 年11月4日	(川那辺)貞太郎	高橋御奥様(清)	書簡	181× 628		幸便 虫損 糊剥離
	8	原田氏より棟一君の件に付別紙の通申来に付 荊妻今にも高橋家へ罷出て奥様へ直接に御協議申上ぐる決意致候	明治 年11月7日 明治 年11月7日	(川那辺)貞太郎	高橋御奥様(清)	書簡 書簡	181× 472 180× 788		幸便
27		川なべ(貞太郎妻)書簡						1	
		御中元小包にて差出の件、貞太郎の例の病気の件	明治39年8月20日	京都岡崎町 川なべ(貞太郎妻)	東京神田仲猿楽町 高橋清子	葉書	142× 90		京都市立記念動物園 絵葉書 スタンプあり
28		川なべ悼一絵葉書						1	
		こども博覧会	明治39年11月20日	京都岡崎 川なべ悼一	神田区仲猿楽町 高橋おば一様(清子)	葉書	141× 90		京都市教育委員会主催こども博覧会絵葉書 スタンプあり
29		北村丑松葉書						1	
		謹賀新年	明治43年1月1日	大阪市北区西堀川町 北村丑松	東京市京橋区木挽町 高橋 清	葉書	142× 90		虫損 よごれ
30		陸 四郎書簡						3	
	1	亡父文正院一週年忌に付法要案内	(明治41年)8月30日	下谷上根岸町 陸 四郎	京橋区木挽町 高橋清子	書簡	194× 526		幸便 しみ 折目もろけ
	2	亡父一週忌逮夜に付	明治41年8月31日	下谷上根岸町 陸 四郎	京橋区木挽町 高橋清子	書簡	182× 392		よごれ
	3	亡父一週忌にあたり御参会礼状	明治41年9月3日	下谷上根岸町 陸 四郎	京橋区木挽町 高橋清子	書簡	193× 528		消印 京橋明治41年9月4日 しみ
31		陸 哲書簡						1	
		じまん味噌差出に付御笑味被下度	明治29年5月17日	東京下谷区上根岸町 陸 哲	東海道興津町干とせやにて 高橋御奥様(清)	書簡	182× 1220		哲(てつ) 消印 興津 明治29年5月18日 糊
32		陸 実書簡							
	1	御地滞在中厄介に相成御礼、諸氏との近況に付	明治29年2月24日	東京下谷区上根岸町 陸 実	摂津国大坂市中ノ島 高橋せい	書簡	181× 1459	1	消印 大阪明治29年2月25日
	2	長女婚礼の節祝儀賜御礼	明治36年2月24日	東京下谷区上根岸町 陸 実	高橋	書簡	194× 525	1	幸便

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
33	3	今夕の御法会風邪の為参列不仕、明朝御墓参の心得に付	明治 年9月7日	陸 実	紅梅河岸町 高橋奥様(清)	書簡	182×374	1	幸便 しみ 汚れ 虫損
		九鬼はつ子書簡						3	
	1	まつは御礼まで	明治25年10月17日	小石川原町 九鬼はつ子	神田橋内元衛町 高橋御奥様(清)	書簡	185×1112		しみ
	2	病氣御見舞	明治25年10月30日	小石川原町 九鬼はつ子	神田橋内元衛町 高橋御夫様(清)	書簡	188×919		しみ 虫損
34	3	来る9日両国浅草川長楼で餽餐呈し度御来車被下度	明治 年10月3日	九鬼(はつ子)	官報局長宅 高橋健三	書簡	186×558		書簡宛先 高はし健三・令夫人 差出人ははつ子だが字は隆一
		慈濟院元策・元実書簡						1	
35		開山仏慈禪師五百五拾年忌修行に付故高橋健三外に献鉢弔祭致度に付	明治41年4月25日	京天竜寺山内 慈濟院元策・元実	京橋区木挽町 高橋清	書簡	189×256		
		小秋元俊策書簡						2	
	1	渡仏に際し留守御見舞	(明治23年)3月17日	長野県木曾福島 小秋元俊策	高橋 清	書簡	162×527		幸便 封筒汚れ
36	2	三八吉義へ御暇相願度	明治25年8月18日	長野県西筑摩郡福島村 小秋元俊策	東京麹町区元衛町 高橋清	書簡	162×538		消印 東京明治25年8月21日 封筒汚れ 虫
		小秋元三八吉書簡						2	
		8日午後6時着、家内一同より宜しく御礼に付三八吉儀8日午後6時帰宅仕候間安慮可被下候	明治25年9月9日	信州木曾福島 小秋元三八吉	麹町区元工町 高橋清子	書簡	163×814		糊剥離 消印東京明治25年9月11日
37		後藤宗旭書簡	9月9日	小秋元隆氏	高橋 清	書簡	156×345		糊剥離
		編輯した先師の逸話を売却した者より原稿料50円を入手、墓前に寄附に付	明治41年6月24日	豊後国東国東郡東町 安国寺 後藤宗旭	東京京橋区木挽町 高橋 清	書簡	179×1015		消印 東京明治41年6月27日 虫損小
38		後藤ふじ書簡						1	
		(いろいろなしなものをいただきました、礼状)		大分県東国東郡国東 後藤ふじ	東京市神田区仲猿楽町 高橋御叔母様(清)	書簡	173×600		
39		佐々木きん書簡						5	
	1	御返事少々御礼申上候	明治23年8月28日	興津町海水楼 佐々木きん	東京麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋	書簡	158×1064		虫損 糊剥離
	2	養生の事宮本様より当人へ申聞を願ひ度、11日にはご相談に上り度に付	明治25年11月9日	蠣殻町杉むら別荘 佐々木きん	神田はし内元衛町 高橋奥様(清)	書簡	173×571		虫損 糊剥離
	3	三笠町で阿部を捜した件、市川の件、うえぼうそこのこと、火事のこと	明治25年11月12日	蠣 杉村別荘 佐々木錦	神田橋官報官舎 高橋奥様(清)	書簡	173×1037		しみ 虫損 カビ 糊剥離
	4	於ゆす荷物此者へ御渡被下度、中屯辰治一条についての上文山之助書簡同封)	明治 年9月18日	佐々木きん	神田はし内元衛町 高橋奥様(清)	書簡	173×369		しみ
40		先頃中は辰治一条に付厚御心配相掛恐縮仕候	9月18日	上山文之助	神田区元衛町 高橋奥様	書簡	167×401		
		鈴木健一郎書簡						1	
41		□□氏の証取調の件、病氣見舞	11月7日	鈴木健一郎	高橋清子	書簡	181×359		しみ カビ
		鈴木ぎん書簡	明治37年					2	
	1	倅の心得違いに対して教訓願上度	明治37年10月21日	相模国箱根塔の沢 環翠楼 鈴木宅(ぎん)	東京市神田区仲猿楽町 高橋清子	書簡	183×1542		封筒汚れ
	秀雄旅行致候に付留守中の事	明治 年10月9日	箱根塔の沢 鈴木(ぎん)	東京市神田区仲猿楽町 高橋御奥様(清)	書簡	176×999			

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
42		鈴木善左衛門書簡						7	
	1	(時候の挨拶)	明治23年4月16日	塔ノ沢 鈴木善左衛門	紀尾井町 高橋	書簡	158× 1000		「旦那様海外御滞在中」とあるので清宛のもの
	2	(旅館滞在に付御礼)	明治24年1月6日	箱根塔ノ沢 鈴木善左衛門	糺町区紀尾井町 高橋健三	書簡	161× 573		消印 東京明治24年1月8日「旦那様滞在中」とあるので清宛のもの
	3	通学する様相成御礼、蒙求は貴地にて買求め有之度	明治24年9月29日	塔之沢温泉村 鈴木善左衛門	糺町区元衛町 高橋	書簡	166× 758		書簡宛先は高橋奥様
	4	宮本先生へ診察に付	明治25年9月7日	塔之沢 鈴木善左衛門	糺町区元衛町 高橋健三	書簡	163× 1040		封筒宛名に奥様と併記
	5	病氣御見舞	明治25年11月6日	塔ノ沢にて 鈴木善左衛門	東京糺町区元衛町 高橋御奥様(清)	書簡	164× 720		
	6	電信にて花子・玉子・英雄呼寄せ事の顛末を聞糺しに付	明治39年8月28日	塔ノ沢 鈴木善左衛門	東京市神田区仲猿楽町 高橋清子	書簡	178× 1583		封筒汚れ
7	御避暑旁御来湯有之度	9月1日	鈴木	高橋	書簡	169× 1550		幸便 上部しみあり	
43		鈴木口口書簡						1	
		暑中御見舞い	明治 年8月9日	鈴木口口	神田橋内 高橋御奥様(清)	書簡	173× 438		虫損 幸便
44		高木義孝書簡						2	
	1	娘はつ不品行の一件に付	明治23年10月6日	深川富岡門前東仲町 高木義孝	麹町区紀尾井町 高橋清	書簡	163× 655		折目もろけ 虫損
	2	病氣の為財政困難に付2ヶ月分立替被下度	明治25年4月28日	深川東仲町 高木義孝	麹町区元衛町 高橋於清	書簡	147× 537		書簡中差出人 ミね 汚れ 虫損
45①		高橋健三書簡①							
	1	昨日山城丸に乗り出帆	明治17年9月2日	神戸栄町 大森方 高橋健三	東京々橋区南紺屋町 高橋健三宅(お清)	書簡	167× 1338	1	消印 東京明治17年9月4日 しみ 汚れ 糊
	2	福住に安着、明日より仕事に着手之筈に付今朝より公務に取掛5時迄従事致候、身体之儀に付御心配被下間敷候	明治18年3月12日	湯本福住方 高橋健三	東京麹町区上に番町 高橋健三宅(お清)	書簡	162× 880	1	消印 東京明治18年3月14日 糊剥離 汚れ ③別物か
			明治18年3月13日	(高橋)健三	(高橋)お清	書簡	162× 1512	1	糊墓売り
		再度の書簡今朝到着、差込御療養被下度、藤本の件、封書到着の分一束に封書留にて御伺被下度、藤田氏病氣の件、天王寺方仏参の事	(明治18年)3月17日	(高橋)健三	(高橋)お清	書簡	156× 2085	1	糊剥離
	3	昨朝オクサス号へ乗込神戸へ着に付、当地にて畠山外10名の正友送別会催候由、藤田・岡倉・宮本諸氏御礼被出下度	明治23年2月24日	神戸西村方 高橋健三	東京麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋清	書簡	168× 1418	1	消印 東京明治23年2月26日 しみ色移り 虫損 糊剥離
	4	①(封筒のみ 箱三つ添)	明治 年2月5日	香港 高橋健三	東京麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三宅	封筒	119× 95		
		②(封筒のみ)	明治23年2月27日	上海ニテ 高橋健三	東京麹町区紀尾井町 高橋健三宅清	封筒	156× 90		消印 東京明治23年3月6日
		③(封筒のみ)	明治23年2月28日	清国上海租界日本ホテル 高橋健三	東京麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三宅	封筒	151× 90		消印 TOKIO1980.3.6
		④(封筒のみ)	明治 年3月3日	香港ニテ 高橋健三	東京麹町区紀尾井町 高橋健三宅清	封筒	151× 95		
⑤(封筒のみ)		明治23年3月6日	西貢より 高橋健三	東京麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三宅	封筒	174× 116		消印 東京明治23年4月7日	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		⑥(封筒のみ)	明治23年3月11日		東京麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三宅	封筒	120×92		消印 東京明治23年3月26日 シンガポール
		⑦(封筒のみ)	明治23年3月15日	ナタル号船中投函 高橋健三	東京麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三宅	封筒	174×117		消印 東京明治23年4月9日 コロンボ
		⑧(封筒のみ)	明治 年3月22日	仏船ナタル号ニ於テ高橋健三	東京麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三留守宅清	封筒	147×93		
		⑨(封筒のみ)	明治23年3月26日	蘇西港仏船ナタル号ニテ高橋健三	東京麹町区紀尾井町内閣官報局官舎 高橋健三宅清	封筒	174×117		消印 東京明治23年5月2日
		⑩(封筒のみ)	明治23年3月9日	清国広東日本領事館投函 高橋健三	東京麹町区紀尾井町高橋健三宅清	封筒	174×117		封筒上書「4月9日」消印東京明治23年3月13日
		⑪(封筒のみ)	明治 年4月5日	高橋健三	高橋於清	封筒	112×145		
		⑫(封筒のみ)	明治23年6月	在仏巴里 高橋健三	東京麹町区紀尾井町内閣官報局官舎 高橋清	封筒	138×108		消印 東京明治23年7月25日
		⑬(封筒のみ)	明治 年9月2日	新嘉坡 (高橋健三)	東京麹町区紀尾井町官報局官舎 高橋健三宅	封筒	94×120		
5		まつは安堵にて着のよし、平坂の老人死亡の件	明治24年8月6日	東京元衛町 高橋健三	奈良県奈良町池の町藤田隆三郎方 高橋清子	書簡	180×1230	1	糊剥離 しみ 虫損 消印 奈良明治24年8月7日
6		京都発電信受取、興津行のこと、藤田の一件午後4時過安着、旅舎相定めに付畠山らと投宿、当地の用事済ませ奈良に参候藤田より書	明治24年8月24日	東京神田橋内元衛町高橋健三(三)	京都繩手三条下ル 小川てい方 高橋清	書簡	165×2140	1	消印 京都明治24年8月25日 糊剥離
7		当地藤田氏方着、神戸着10日からの出来事に付、奥田氏の別荘行き、畠山で藤田と午餐を饗される	明治25年8月10日	神戸ヨリ 高橋健三	東京神田橋内元衛町高橋健三宅清	書簡	165×944	1	消印東京明治25年8月12日
8		14日から奈良見物、19日から大阪・神戸、23・24日には帰京	明治25年8月14日	奈良県奈良市中筋藤田隆三郎方 高橋健三	東京麹町区元衛町 高橋健三宅(清)	書簡	167×4059	1	虫損小 一部もろけ 糊剥離 消印 東京明治25年8月15日
9		昨日奈良発、午後6時40分大阪表へ着、1時発の汽車に間合、朝8時名古屋、明日東京着は	明治25年8月20日	神戸 高橋健三	東京麹町区元衛町 高橋健三宅(清)	書簡	166×2384	1	下部虫損一部欠 折目もろけ 消印東京明治25年8月21日
10		昨日奈良発、午後6時40分大阪表へ着、1時発の汽車に間合、朝8時名古屋、明日東京着は	明治25年8月24日	名ゴヤ富沢町	東京麹町区元衛町 高橋健三宅(清)	書簡	166×1177	1	消印 東京明治25年8月25日 封筒しみ・虫
11		昨夕5時当地安着、車中外国人5名と都合7名相成車内狭く大困難致候、昨夜は上野・松本・藤田と談話に相暮候	明治25年12月23日	大阪市中の島花や 高橋健三	東京北豊島郡日暮里村字金杉村 高橋健三宅(清)	書簡	170×909	1	上部変色ヶ所あり 消印東京明治25年12月24日 虫損 糊剥離
12		当地用向片付不申候、山本六三郎画帖のこと、国華社への立替金のこと預り金子のこと	明治25年12月27日	大阪市中の島花や 高橋健三	東京北豊島郡日暮里村字金杉村 高橋健三宅高橋清	書簡	170×2443	1	糊剥離 シミ 虫損 消印 東京明治25年12月28日
13		朝日新聞社構内家宅に引移に付、追々繁忙にあるべく、永富の儀、陸の病気ほか、来月中旬	明治25年12月31日	大阪中の島 朝日新聞社構内 高橋健三	東京北豊島郡日暮里村字金杉村 高橋健三宅	書簡	171×1600	1	糊剥離 消印 東京明治26年1月2日
14		新年挨拶、藤田着京の時刻の件、夜家具は昨日相届に付、石井よりの書面、今日より始て出社のはずに候	明治26年1月2日	大阪中の島 高橋健三	東京北豊島郡日暮里村字金杉村 高橋健三留守宅清	書簡	172×1331	1	糊剥離
15		昨夜1時着阪、暑さ故蚊多くして寝兼候、松本幹一氏東邦協会会費立替支払の件	明治26年7月16日	大阪中の島 高橋健三	東京神田仲猿楽町 高橋健三宅清	書簡	172×852	1	糊剥離、大坂の消印は7月16日
		用事の廉々左に申入、国華社始末、小児養育の事ほか	(明治26年)7月17日	(高橋)健三	(高橋)お清	書簡	173×1845	1	17日の書簡は別便か 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	16	小原沢の相談人謙吉より別紙の通申来に付川田氏へ御相談被成候、有馬避暑の件	明治26年7月24日	大阪中の島 高橋健三	東京神田仲猿楽町 高橋健三宅清	書簡	181× 890	1	しみ 虫損
	17	当地の暑氣日増に加、有馬行きのこと、左の品を出発の際御持参被下度	明治26年7月26日	大阪中の島 高橋健三	東京神田仲猿楽町 高橋健三宅清	書簡	181× 2070	1	消印 東京明治26年7月28日 しみ
	18	小原沢謙吉の件、陸・奥田両氏の負債始末に付、国華社他借金処分のことほか	明治26年7月29日	大阪中の島 高橋健三	東京神田仲猿楽町 高橋健三宅清	書簡	181× 3159	1	
	19	40円丈送付、歯痛及ハグキ腫の為発熱、有馬行き、小原沢謙吉の端書の件、石井同行不致のことほか	明治26年8月3日	大阪中の島 高橋健三	東京神田仲猿楽町 高橋健三宅清	書簡	182× 2730	1	消印 東京明治28年8月4日 糊剥離
	20	小包にて和亭揮毫の白扇15本差立に付、有馬行き	明治26年8月4日	大阪中のシマ 高橋健三	東京神田仲猿楽町 高橋健三宅清	書簡	181× 1118	1	消印 東京明治26年8月5日
	21	有馬温泉にて	明治26年8月9日	有馬兵衛別荘にて	大阪中の島 高橋健三 留守宅(清)	書簡	169× 1748	1	糊剥離 消印 大坂明治26年8月10日
	22	少々ヒマを得候に付、東京までの旅程と着後の交流・消息	明治26年12月11日	東京内山下町 帝国ホテル 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	180× 2549	1	消印 大坂明治26年12月12日 しみ
	23	10日の書面受取、昨夕一書差出、寺と埋葬地付届事、新聞原稿入の書面のことほか	明治26年12月12日	東京帝国ホテル 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	183× 906	1	消印 大坂明治26年12月13日
	24	実印は出発の際持参不致候、着次第捺印可被成	明治26年12月22日	東京神田雉子町 日本新聞社ニテ 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	164× 730	1	消印 大坂明治26年12月23日 虫損
	25	上野氏明早朝御地着、実印の事で種々手数懸りに付ほか	明治26年12月24日	東京飯田町 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	162× 1015	1	糊剥離 消印 大坂明治26年12月25日
	26	9時安着、歯痛を發し医師手当受ける)	明治27年4月3日	東京表 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	163× 930	1	糊剥離 虫損
		藤田氏・上野氏のこと、陸・二宮氏方へ宿泊	(明治27年)4月3日	(高橋)健三	(高橋)お清	書簡	161× 499	1	糊剥離
	27	今日夕方当地着、山中の別荘に泊候、金は支局へ御届被下度	明治27年5月2日	奈良 高橋健三	大阪市北区中の島 高橋健三宅(清)	書簡	182× 537	1	消印 大坂明治27年5月3日 封筒変しみ・虫
	28	8日当地安着、20日頃迄には大勢定まり引上候、陸氏方一番心安く宿泊候	明治27年5月16日	東京飯田町 高橋健三	大阪市中之島 高橋健三宅(清)	書簡	178× 1035	1	しみ カビ 虫損
	29	当地の用向き大抵済帰発の筈が風邪にて宮本氏方にて厄介に成、例月の手当のこと、松野	明治27年5月27日	東京神田雉子町宮本氏方高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	164× 1400	1	糊剥離 消印 大坂明治27年5月28日 封筒
	30	別紙はソックリ上野君へ御渡の事、岡山の病死のこと、自分事感冒後の無理で発熱宮本氏方で療養、一二件大切の問題ありに付	明治27年6月1日	東京神田雉子町宮本氏方高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	171× 1955	1	虫損 下部一部欠損 糊剥離 消印 大坂明治27年6月3日
	31	書面受取、駿河台へ世話方相届候、当方暑氣加はり、現金の準備に大迷惑、為替にて金100円差立候	明治27年7月5日	大阪中の島 高橋健三	東京神田南甲賀町 仙田重邦方 高橋清	書簡	178× 1374	1	消印 東京明治27年7月7日 糊剥離 封筒よごれ 書留
		イツデモ宜シキヤウ東朝へ送申候	明治27年7月6日	(川那邊)貞太郎		書簡	181× 221	1	封筒入 糊剥離
	32	高橋方跡片付済、瀧方に世話被成罷候趣あまり無理せぬ様、自分事壮健、繁忙	明治27年7月11日	大阪中の島 高橋健三	東京神田駿河台東紅梅町 瀧和亭方 高橋清	書簡	177× 1556	1	消印 東京明治27年7月12日 糊剥離 封筒
	33	封筒のみ	(明治27年7月)	大阪中の島 高橋健三	東京神田南甲賀町 仙田重邦方 高橋清	封筒			45②-39の封筒か?
	34	秋冷には一層注意大切に候、大井憲太郎の為塚行き、皆々の近況、来月上京の事、仙田の事、宮本の弟の事、高橋系図の件	明治27年8月27日	大阪中の島 高橋健三	東京下谷上根岸町 陸実方 高橋清	書簡	180× 2215	1	消印 東京明治27年8月28日 糊剥離

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	35	明日屋の汽車にて出発の積り、川ナベ・鉄眼病気の件、負債一件のことほか	明治27年11月8日	東京下谷上根岸町 陸実方 高橋健三	大阪中の島 高橋健三方高橋清	書簡	182×888	1	消印 大坂明治27年11月9日 上部一部欠損 変色 もろけ 糊
	36	小川への証書の件、両三日にて帰阪の筈	(明治27年)12月22日	東京下谷区上根岸町 陸氏方 高橋清	大阪市中の島 高橋健三宅(清)	書簡	182×577	1	幸便 虫損小
45②		高橋健三書簡②							
	1	一昨日午後2時40分の汽車で出発、新橋着5時、水明館入、小川の事ほか	明治28年1月5日	東京木挽町 水明館 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	180×2126	1	下部一部しみ 糊剥離 封筒虫損
	2	8日付書面披見、小川留守宅へ参る、同窓会員・官報局員来訪あり、佐々木のこと、本多よりの来書の件、日々の社説切抜貼付の事	明治28年1月10日	東京木挽町 水明館 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	180×1589 179×694	1	消印 大阪明治28年1月11日 糊剥離 本多以下は「ツヅキ」とあり2枚に及ぶ
	3	寒気如何、小川の事、人物消息	明治28年1月17日	東京木挽町 水明館 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	166×3321	1	糊剥離 消印 大阪明治28年1月19日
	4	小包便にて海苔3箱差出候(1月22日)	明治28年1月22日	東京木挽町 水明館 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	179×538	1	
		買入したツヅラ文6冊中3冊社便にて届被成度				書簡	179×492	1	糊剥離
	5	今居令弟死去に付、姉上の病状、18日の地震、小川の事ほか、鉄眼牛乳やめる様言はぬ様勸申度	明治28年1月22日	東京木挽町 水明館 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	179×460	1	消印 大坂明治28年1月24日 折り目に欠損 糊剥離 しみ色移り
	6	今居得彦病死の件、地震の事、小川の事、朝日の近傍に転住する積り	(明治28年)1月24日	東京 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	179×1306	1	糊剥離 封筒上書「山内君二托」幸便
	7	今居氏香奠の事、本多の事、同窓会に参加、明日仙田広島出張、奥田・陸・藤田と例の30円払方に付相談	明治28年1月27日	東京木挽町 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	179×1118	1	糊剥離 消印 大阪明治28年1月29日 しみ
	8	上野氏より50円借入、一先甲賀町方へ引移、小川の件、自分儀出発前の咳嗽平癒せず、ほ	(明治28年)1月29日	東京木挽町 水明館 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	167×2065	1	糊剥離 封筒上書「石井氏持参」幸便
	9	小川よりの為替の事、小川への礼の事、渋谷死去、明日甲賀町へ引移、松の妹の事、ツヅラブミ届く	明治28年2月1日	東京木挽町 水明館 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	167×1651	1	糊剥離 消印 大阪明治28年2月2日
	10	甲賀町の様子、戸田の本所邸所地震にて破損、其地大風・雨の由、信玄糧袋入用に、付ほ	(明治28年)2月4日	東京神田南甲賀町 高橋健三	高橋健三宅(清)	書簡	179×1996	1	折り目一部欠損 幸便 封筒破損大 糊剥離
	11	二階普請出来を楽しみ居、甲賀町宅の様子、岡倉妻君・本多・川ナベ・藤田妻君・叔母上・村	明治28年2月6日	東京神田(南甲賀町) 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	179×2760	1	折り目中損による欠損大 糊剥離
	12	染物・櫛・笄小包にて差立に付、戸田の書面の事、仙田昨日頃着阪、リウマチ漸快何寄	明治28年2月8日	東京神田南甲賀町 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	179×639	1	下部一部欠損
	13	当地気候の事、昨夜九鬼に面会、小川金策の咄、岩腰・佐々木のこと、古道具屋で父上の書いた手本3本買候	明治28年2月13日	東京神田南甲賀町 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	176×2400	1	封筒消印東京明治28年2月11日 糊剥離
	14	当地の気候、屯山の事、信玄袋のこと、合川・鉄眼のこと、山喜妻君父死去ほか	明治28年2月20日	東京々橋区弓町 板原方高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	193×2070	1	封筒上書「田崎書状在中」消印 大坂明治28年2月21日 封筒欠
		年賀挨拶	明治28年1月16日	田崎綱三郎	高橋先生(健三)	書簡	231×321	1	罫紙 虫損
	15	山田妻君父死去の件、当地寒気強、歯痛治療、村山帰阪、信玄袋んこと、当地での生活、浅草海苔土産	明治28年2月22日	東京々橋区弓町 板原方高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	174×3273	1	消印 大坂明治28年2月24日 虫損 変色 封筒破損大

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
16		(一)二階のフシンハ如何運候也、叔母上被参病院支払の件、歯医の治療受、諸人消息	明治28年2月23日	東京々橋区弓町 板原方高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	174×1038	1	消印 大坂明治28年2月24日
		小児合写の写真のこと				書簡	174×280	1	
17		(二)歯の治療、諸人消息、一作夜陸に泊り藤田の新宅を見、お雪の写真の件	明治28年2月27日	東京々橋区弓町 板原方高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	182×1136	1	消印 大坂明治28年2月28日 しみ 糊剥離
18		(三)甲賀町今日限り引払に付、原田小児大病、歯の治療本式埋歯	明治28年2月28日	東京々橋区弓町 板原方高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	161×1157	1	消印 大坂明治28年3月2日 糊剥離 封筒
19		本日社便ひてつづらふみ4・5・6巻到着	(明治28年)2月28日	高橋健三	高橋留守宅(清)	書簡	179×299	1	幸便
20		(四)天気不順、野菜類届不申、元吉老母死去、石井叔父昨日頃退院、京阪両住居の事、	明治28年3月2日	東京々橋区弓町 板原方高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	181×3264	1	消印 大坂明治28年3月4日 しみ 糊剥離
21		(五)皆で歌舞伎見物、原田小児漸快、野菜受取、やすの退院の件	明治28年3月5日	東京々橋区弓町 イタハラ方 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	181×2160	1	消印 大坂明治28年3月7日 糊剥離
22		(六)歯の治療、土産物注文品承知、戸田転宅の事、小川の電話、お雪の写真届く	明治28年3月7日	東京々橋区弓町 板原方高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	175×2000	1	消印 大坂明治28年3月9日
23		亡ゆき写真の件 和歌添え	明治28年3月8日	東京々橋区弓町 板原方高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	182×510	1	消印 大坂明治28年3月13日 別紙和歌あり
		(七)歯治療、小川妻の弟今日来訪の由、着阪の上は広島又は馬関へ直接出張	明治28年3月12日			書簡	176×1696	1	
24		両国談判休みに付、上野氏広島を発候、当地風景	明治28年3月22日	赤馬関阿弥陀寺 町笠福方〔 〕	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	166×2061	1	折り目中損による欠損 大 糊剥離 封筒しみ
25		広島に安着、談判手間取3.4日此地逗留、日本の福本・正岡も10日頃乗船戦地へ出立の由、青木返書の事、一日も早く帰宅致度	明治28年4月8日	広島市立町熊孝方 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	182×1142	1	変色・シミ 消印 大坂明治28年4月10日 封筒汚れ大
26		午後より奈良行き、9月7日頃伊勢参宮、松方に面会し8.9日頃に其地へ着到、平岡・川ナベ・	明治28年8月31日	大阪中のシマ 高橋健三	駿河興津町 千歳屋方高橋清	書簡	181×952	1	消印 興津明治28年9月1日 封筒虫損 糊
27		帰りの車中、柘植千嘉衛氏危篤後死去、高木叔父真症コレラで逝去、藤田胃腸病	明治28年9月12日	トウケフ神田スルガ台紅梅河岸 高橋健三	東海道興津町 千歳屋にて 高橋清	書簡	163×2080	1	消印 興津明治28年9月14日 糊剥離
28		柘植の葬式・跡片付、戸田忠顕殿世話の事、松の未亡人へ興津行を勧候、藤田のこと、夜は陸へ立帰る	明治28年9月19日	東京神田スルガ台紅梅川岸 高橋健三	東海道興津町 千歳屋にて 高橋清	書簡	181×2743	1	折り目に虫損 料金不足印 消印 興津明治28年9月20日
29		封筒のみ		東京神田スルガ台紅梅川岸 高橋健三	東海道興津町 千歳屋にて 高橋清	封筒	202×77		消印 興津明治28年9月27日 虫損 しみ
		上槇町に転居待合営業に付	明治28年9月23日	藤村 清	高橋健三・御奥様	書簡	181×703	1	幸便 封筒あり 虫損
		御機嫌伺い	明治28年9月26日	高橋 常子	東海道興津町千歳家にて高橋叔母上	書簡	181×379	1	幸便 虫損
		深川叔父上不幸に際し御礼、昌長全快の事、無沙汰見舞	明治28年9月26日	(高橋)りう	御奥様(清)	書簡	179×833	1	高橋常子封筒に同封 虫損 糊剥離
30		帰着後借楽園の会に出席、発熱の為叔子の診察を受、大阪の電報封入、書面今朝受取	明治28年10月3日	東京神田スルガ台紅梅川岸 高橋健三	東海道興津町 千歳屋にて 高橋清	書簡	183×759	1	糊剥離 消印 興津明治28年10月4日 しみ
31		浜尾氏老母死去、天気すぐれず今暫く滞在成され度、明治見物、為替のこと	明治28年10月10日	東京カンダスルガ台紅梅川岸 高橋健三	東海道興津町 千歳屋高橋清	書簡	184×1635	1	虫損 しみ 糊剥離 消印 興津明治28年10月11日
32		所々出水の為手紙大延引、淀川増水との事、当地の降雨、26日根岸岡ので同窓会、上野氏一件、陸・藤田へ厄介相成	明治29年7月24日	東京神田駿河台紅梅川岸 高橋健三	大阪中の島 高橋健三宅(清)	書簡	173×1575	1	消印 大阪明治29年7月26日 しみ

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
	33	全国到处水害、為替受取、昨日同窓会出席17名、秋田へ出発は来月1日頃、支度のこと、上野君より来書	明治29年7月27日	東京神田駿河台紅梅川岸 高橋健三	大阪中の島 高橋健三 留守宅(清)	書簡	170× 1170	1	消印 大阪明治29年7月29日 封筒しみ 虫損
	34	一昨々日より発熱、奈良行以来呼吸器に病所再発気味、吉田の診断を受、藤田・石井、陸の病気快方に向う、写真(日吉町の田中写真師撮影)のこと、ひな大阪へ引取の事、明日奥田を借楽園支那料理へ招く	明治 年1月10日	(高橋)健三	(高橋)清	書簡	171× 1346	1	封筒欠 糊剥離
	35	本所の件都合よく纏り、奥田・藤田のこと、林老人揮毫のこと、国華社の件、鈴木の友達・原田晋の子息・仙田のこと	明治 年2月15日	(高橋)健三	(高橋)清	書簡	176× 1783	1	封筒欠 折目虫損 糊剥離
	36	官報の件、電話据置・荷物未着・金子不足・所得税届出額の儀、奥田へ頼置洋書・九鬼老人より注文の大島紬・農商務省内監査官手当・蒔絵の経箱の件	明治 年3月4日	(高橋)健三	(高橋)清	書簡	180× 1876	1	封筒欠 糊剥離 折目虫損
	37	婚姻の日取り29日に相定、明日出発29日着の日取、此程よりシブリ腹に付散薬を用、国華社の方村山と談合、陸帰京	明治 年3月14日	(高橋)健三	(高橋)清	書簡	171× 341	1	封筒欠 折目虫損 糊剥離
	38	姉上看護に従事御苦勞、大阪朝日官行停止の一件、宮本・岡田・陸・今居のことほか	明治(27)年7月14日	(高橋)健三	(高橋)清	書簡	172× 804	1	虫損 しみ 封筒上書なし 破損大
	39	藤田氏奈良より来、合川氏の主治医の件、万歳扇20本誂	明治(27)年8月2日	(高橋)健三	(高橋)清	書簡	183× 2603	1	封筒欠 糊剥離明治27年か 4-45-①-33封筒か?
	40	三井銀行電信為替にて送金、松野糸子縁談の事、宮本叔氏肖像の件、陸・藤田・仙田のこと、新聞事業のこと、青木より別紙端書到来	明治 年7月20日	(高橋)健三	(高橋)清	書簡	181× 883	1	封筒欠 折目欠損 しみ もろけ 虫損
	41	三井銀行電信為替にて送金、松野糸子縁談の事、宮本叔氏肖像の件、陸・藤田・仙田のこと、新聞事業のこと、青木より別紙端書到来	明治(27)年8月2日	(高橋)健三	(高橋)清	書簡	181× 1169 181× 2215	1	封筒欠 しみ 虫損 糊剥離 朝鮮事件・姉上看病から明治27年か?2枚にわたる(仙
	42	去月28日より有馬へ逃出1日帰阪、糸子婚礼無事済、饗庭の事、東京出発の為の入用金送金、藤田の子・宮本弟のこと、石川清太郎病死坪内逍遙の事	明治(27)年8月5日	(高橋)健三	(高橋)清	書簡	177× 3280	1	封筒欠 虫損 しみ 糊剥離 41からの続きのため明治27年
	43	病氣全快の由医師に御礼被為成、目下家計困難の折柄注意被成、藤田氏転職の儀	明治 年8月14日	(高橋)健三	(高橋)清	書簡	180× 2826	1	封筒欠 糊剥離 しみ
	44	藤田氏本日移転、去月来一日も欠かさず社説掲載腸胃は油断成兼、陸氏より手紙参る、糸子縁組の日取、お雪のこと、東京通信局改革	明治(27)年8月17日	(高橋)健三	(高橋)清	書簡	180× 2811	1	封筒欠 朝鮮事件から明治27年か?
	45	3日着京、湯沢と横堀の間で地震に遭遇、地震の様子ほか	明治(29)年9月6日	(高橋)健三	(高橋)清	書簡	172× 3040	1	封筒欠 虫損 変色 もろけ 糊剥離 裏移り 陸羽大地震と伊藤免官から明治29年
	46	坪内氏の弁当サンドウキッチを精養軒へ誂置被成度	明治 年 月19日	(高橋)健三	高橋宅(清)	書簡	176× 413	1	幸便 虫損
46		高橋常子・直子書簡、葉書		高橋常子・直子	高橋清子			4	
	1	(家族の写真)	明治44年8月12日	大連越後町 高橋直子	東京市京橋区南小田原町高橋清子	葉書	140× 90		
	2	書取ゴランクダサレ度	明治 年9月5日	高橋常子	神田橋 御伯母上(清)	書簡	172× 215		虫損 幸便

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		(書取 書写)				状	247× 172		虫損
	3	(御菓子への礼状 直子)	明治 年9月27日	高橋直子・同 常	叔母上(清)	書簡	173× 515		幸便
		(御菓子への礼状 常)	明治 年9月27日		伯母上(清)	書簡	172× 430		
47		高橋昌長書簡						2	
	1	先年陸氏に進上の書に付	明治42年12月15日	小石川林町 高橋昌長	京橋区木挽町 高橋清子	葉書	140× 91		左側しみ カビ 左下部欠損
	2	陸氏屋敷に掛る額の横の細長き物に付御話被下度	明治42年12月29日	小石川林町 高橋昌長	京橋区木挽町 高橋清子	葉書	141× 90		左側しみ カビ 左下部欠損
48		瀧 和亭書簡		瀧 和亭	高橋清子			4	
	1	半金丈も45日間に入金費下度	明治19年7月28日	駿河台東紅梅町 瀧 和亭	根岸金杉村 高橋健三 内高橋於清	書簡	162× 638		封筒しみ・虫損
	2	兼て申上候屏風の件に付	(明治31年)10月18日	小磯切通シ 瀧 和亭	山王原邸 高橋清子	書簡	181× 911		糊剥離 幸便 封筒しみ
	3	新潟銀行への融資申込手續の件	明治 年 3月16日	瀧 和亭	高橋御内(清)	書簡	167× 802		幸便 糊剥離
	4	昨日の一条銀行は断り申来りに付	明治 年 3月17日	瀧 和亭	高橋御内(清)	書簡	180× 579		虫損 しみ 糊剥離 幸便
49		瀧(和亭夫人)書簡						3	
	1	隣家の義に付和亭より御咄申上度事有之に付御立寄被下度	明治23年4月2日	神田駿河台東紅梅河岸 瀧 内(和亭夫人)	麹町区紀尾井町官報局 高橋健三様御内(清)	書簡	168× 497		糊剥離 糊封
	2	新年挨拶、無勘差支に付	明治24年1月1日	神田駿河台東紅梅河岸 瀧 内(和亭夫人)	麹町区紀尾井町官報局 高橋健三様	書簡	166× 1085		書簡宛名 高橋於清 下部欠損 しみ カビ 糊封
	3	大八木さんからの謝義の件、下女は一人で間に合うに付	明治 年5月30日	神田駿河台東紅梅河岸 瀧 内(和亭夫人)	麹町区紀尾井町官報局 高橋健三様御内(清)	書簡	167× 935		糊封
50		瀧 精一絵葉書						1	
		万里長城 本日北京出発)	明治43年10月25日	(瀧)精一	京橋区南小原町 高橋清子	葉書	140× 89		消印 横浜明治43年 11月1日
51		武田春二書簡						1	
		礼状、この品進呈に付添状	明治 年11月21日	武田春二	高橋令閨(清)	書簡	251× 345		幸便
52		辰井梅吉書簡						1	
		病氣御見舞い、新宅も近々御成効の上御移転の由	明治30年11月21日	大阪北区堂島裏 辰井梅吉	相模国小田原万年町 鈴木方 高橋御奥様	書簡	181× 905		色移り
53		坪内雄蔵・せき書簡						1	
		口上 御無沙汰見舞い、手づくりのおかき持参に付、追伸	明治 年 月24日	大久保 坪内雄蔵・せき	高橋御台所(清)	書簡	185× 566		幸便 しみ 虫損小 糊剥離
54		鶴岡英文書簡						1	
		万朝報の詐欺・横領の記事に付事実無之事を示す一書を呈し候	明治40年7月24日	南葛飾郡亀戸町大字瓦町 鶴岡英文	東京市京橋区築地 高橋清子	冊	243× 171		謄写版印刷 しみ 冊 ではあるが清子宛一 書 4丁
55		戸田忠綱書簡							
	1	此間御咄し的一条(羽織の義)に付	明治22年11月6日	駿河台北甲賀町 戸田忠綱	麹町区紀尾井町 高橋健三様御奥(清)	書簡	164× 1198	1	しみ 虫損小

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
56	2	秋元光子殿御祝に付呈上の件 戸田(忠義)書簡	明治25年12月2日	本所区相生町 戸田忠綱	北豊島郡日暮里村字金杉村 高橋お清	書簡	183× 689	1	
	1	深川方返辞御報被下拝承、談判何日にて宜敷奉伺候	明治24年9月7日	駿河台北甲賀町 戸田忠義	麹町区紀尾井町 高橋令夫人(清)	書簡	173× 440	1	虫損 汚れ
	2	8日本所区相生町へ移転に付	明治25年11月6日	東京神田区駿河台北甲賀町 戸田奥	麹町区元衛町神田橋内 高橋健三殿令夫人(清)	書簡	183× 145	1	
	3	本月经費返付被下度	明治 年8月31日	戸田	高橋御夫人(清)	書簡	163× 246	1	幸便 糊剥離
	4	ふとん地・あわせ相願度 (長尾)楨太郎書簡	明治 年 月 日	戸田	高橋御清	書簡	145× 170	1	糊封
57								1	
58		村山口蔵曇雪台一両日中に席有之に付 中川銃三郎書簡	明治 年 5月11日	(長尾)楨太郎	高橋奥方	書簡	165× 384		封筒欠 糊剥離
								1	
59		保険の件で中富に面談六ヶ敷に付後刻御伺申上候 中田謙富書簡状	明治 年 6月29日	岡山事務所 中川銃三郎	高橋健三	書簡	181× 554		書簡の宛先は高橋令閨(清) 封筒日付6月28日幸便 色移り 糊
								1	
60		滞在中御懇情を蒙り礼状、粗品への添 中野 峯書簡	明治 年8月15日	弘前 中田謙富	高橋奥様(清)	書簡	158× 548		幸便 虫損
								1	
61		17日当所にて医院開業式挙行に付挨拶状 花井卓蔵書簡	明治25年11月14日	岩代国阿沼郡坂下町 中野 峯	麹町区神田橋内元衛町 高橋 清	書簡	163× 753		消印 東京明治25年11月15日 虫損
								1	
62		二六新報婦人記者竹内まさ子紹介状 畠山貞子書簡	明治 年11月3日	花井卓蔵	高橋清子	書簡	185× 1098		幸便 しみ 糊剥離
								1	
63		神戸での近況話題 原[]書簡	明治25年9月23日	神戸市坂本村司法省官舎 畠山貞子	東京神田区元衛町 高橋御奥様(清)	書簡	125× 205		欠損部分あり 鉛筆書き 消印東京明治25年9月24日 3枚
								1	
64		新年挨拶	明治 年1月元日	大阪中の島 原[]	神田仲猿楽町 高橋御奥様(清)	書簡	170× 665		下部欠損大 しみ 虫損糊剥離
		深田鶴松書簡						3	
	1	小生病気快方、家に先生・奥様の御真影を掲げ寿を為し候に付 謹て高橋先生御奥様之令徳寿愷を賀す	明治25年8月25日	深田鶴松	高橋御奥様(清)	書簡 状	166× 320 156× 206		幸便
	2	漸々快方に傾き本年中にも全快に付	明治25年9月24日	福岡県遠賀郡矢矧村 深田鶴松	東京麹町区元衛町第一号官舎 高橋御奥様	書簡	147× 662		消印 東京明治25年9月27日
65	3	謹言 当地での近況 平岡定太郎書簡	明治25年10月25日	福岡県遠賀郡矢矧村 深田鶴松	東京麹町区元衛町官舎 高橋御奥様(清)	書簡	147× 799		消印 東京明治25年10月28日 2枚 封筒
								2	
65	1	御厄介に相成御礼	明治23年5月7日	京橋弥左衛門町 平岡定太郎	麹町区紀尾井町高橋健三様令夫人(清)	書簡	242× 330		消印 明治23年5月8日
	2	病氣御見舞い、表記の処へ転住に付	明治31年4月8日	麹町区飯田町 平岡定太郎	相模小田原山王村 高橋健三様御奥様(清)	書簡	180× 854		封筒しみ 虫損 カビ

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
66		平岡ひさ書簡						2	
	1	病氣御見舞	明治 年9月12日	北豊島郡日暮里村元金杉村 平岡ひさ	神田橋内元衛町 高橋御奥様(清)	書簡	165×1121		下部破れ しみ もろけ 糊剥離
	2	御箱一つ御預り申上に付、病氣大切に遊され候様	明治 年9月30日	平岡ひさ	高橋御奥様(清)	書簡	165×622		下部虫損小 幸便
67		平岡萬次郎書簡						1	
		細川と相談之上何分之儀御報申上候	明治 年9月15日	平岡萬次郎	高橋御奥様(清)	書簡	168×365		幸便
68		平野和三郎書簡						1	
		渡欧留守宅御見舞	明治23年4月5日	大阪堂島中 平野和三郎	東京麴町区紀尾井町 高橋健三様奥様(清)	書簡	162×971		消印 東京明治23年4月8日 もろけ
69		福本よし書簡						1	
		金円借用願度に付	明治 年7月10日	小石川大和町 福本よし	高橋御奥様(清)	書簡	202×400		幸便
70		藤田□□書簡						1	
		礼状	明治31年12月13日	名古屋市 藤田□□	神田区仲猿楽町 高橋御奥様(清)	書簡	170×505		下部欠損 しみ カビ 書簡宛名 高橋御叔
71		藤田類子書簡						8	
	1	旦那様昨夜神戸より御越被下に付、結構な品頂き御礼	明治25年8月15日	奈良町 藤田類子	東京神田橋内もとへ町 高橋御奥様(清)	書簡	184×1525		虫損小 カビ 消印 東京明治25年8月16日
	2	旦那様御事、隆三郎胃病の事ほか	明治5年8月19日	奈良町中筋 藤田類子	東京神田橋内元衛町 高橋御奥様(清)	書簡	183×1468		消印 東京明治25年8月20日 下部しみ 虫
	3	旦那様御事、大阪迄御帰りに付	明治25年8月23日	奈良町中筋 藤田類子	東京神田橋内元衛町 高橋御奥様(清)	書簡	183×831		消印 奈良明治25年8月24日 東京明治25年8月25日 しみ カビ
	4	旦那様登留虫の御礼に預り御礼	明治25年9月1日	奈良町中筋 藤田類子	東京神田橋内元衛町 高橋御奥様(清)	書簡	175×583		消印 東京明治25年9月3日
	5	隆三郎の身に付色々御心配戴き御礼	明治25年10月14日	奈良町中筋 藤田類子	東京神田橋内元衛町 高橋御奥様(清)	書簡	175×634		虫損 糊剥離 しみ 消印 東京明治25年10月15日
	6	隆三郎転任の義心配戴き本人丸で別人に相成のこと、17日高橋同窓会のこと、畠山様御身	明治25年10月20日	奈良町中筋 藤田類子	東京麴町区元衛町 高橋御奥様(清)	書簡	172×1230		消印 東京明治25年10月21日 虫損小
	7	旦那様一時大病のようたいとのこと御見舞	明治25年10月31日	奈良町中筋 藤田類子	東京麴町区元衛町 高橋御奥様(清)	書簡	177×625		消印 東京明治25年11月1日 しみ
	隆三郎からの電報で旦那様当分大阪へ逗留を聞いたのしみ居候に付	明治25年12月23日	奈良町中筋 藤田類子	東京北豊島郡元根岸日暮里村字金杉 高橋御奥様(清)	書簡	173×1026		消印 東京明治25年12月24日 折目もろけ	
72		藤田隆三郎書簡						1	
		明17日木挽町歌舞伎座へ御同伴願度正午頃中村屋へ御光来被下度	明治 年 月16日	東京市神田区錦町 東京法学院 藤田隆三	麴町区紀尾井町内閣官報局長宅 高橋御奥様	書簡	168×637		書簡差出人 藤田隆三郎・岡倉覚三 筆跡
73		前川孫六書簡						1	
		今晚岡野子来訪に付御承諾被下度	明治 年5月2日	前川孫六	高橋御奥様(清)	書簡	168×471		幸便
74		松本幹一葉書						1	
		昨日退院致候に付	明治41年8月31日	高輪泉岳寺前浜側 松本幹一	京橋区木挽町 高橋清	葉書	140×90		
75		三崎健蔵書簡						1	

番号	枝番	資料名	年代	差出人	受取人	形態	数量	丁数	備考
		新居只吉、河野頭へ奉職志願に付周旋願の件	明治 年10月29日	香川県高松市古新町 三崎健蔵	東京麹町区紀尾井町高 橋健三様方 高橋 清	書簡	268× 392		幸便「実弟新居只吉 二付ス」新居只吉名刺 2枚 虫損 罫紙
76		宮本 楽書簡						2	
	1	一昨日の御礼、婦人衛生会入会の御礼	明治 年 月9日	宮本 楽	高橋御奥様(清)	書簡	182× 749		幸便 しみ小
	2	代診生帰宅後の咄の件、仲留守中に付帰宅次第委しく申上候に付	明治 年 月20日	宮本 楽	高橋御奥様(清)	書簡	176× 879		幸便 しみ小
77		森 三雄書簡						1	
		21日22日両日外出に付御承引被下度	明治 年4月22日	岡山事務所 鈴木代 森 三雄	高橋御令聞(清)	書簡	166× 326		封筒欠
78		安田 直書簡						1	
		先生及奥様の御写真拝領仕度 (横井) 鎌太郎書簡	明治24年4月18日	札幌北一条東 紫藤方 安田 直	東京靴町区紀尾井町 高橋 清	書簡	163× 1047		転居通知状添附 消 印 東京明治24年4月
79		入院御報の件	6月18日	(横井) 鎌太郎	奥様(清)	書簡	246× 338		封筒欠 水穂会用箋2 枚
80		若林高孝書簡						1	
		香港へ御支局のこと、21～23日上京に付、例 の件に付	明治23年9月15日	三河国岡崎六供 水越 よね方 若林高孝	東京麹町区紀尾井町 高橋健三方 高橋 清	書簡	167× 693		虫損 封筒カビ汚れ
81		渡部秀松書簡						2	
	1	今日御話有之候75円の件は御預り相成り候俸 給の内より御渡し被下度	明治26年2月16日	東京法学院 渡部秀松	松野様方 高橋御奥様 (清)	書簡	250× 350	1	幸便 東京法学院用 紙・用箋
		看護婦給料及車代 計金1円80銭	(明治26年)2月13日	日本赤十字社病院会計	松野貞一郎	状			日本赤十字病院用箋 247×348
		証(金1円80銭)	明治26年2月15日	日本赤十字社病院	松野貞一郎	状			247×175
		記(預証)	明治26年2月16日	渡部秀松	横田 鎌太郎	状			東京法学院用箋 248 ×169
	2	電話譲渡料之儀に付調印之上此者へ御渡被 下度	明治 年2月20日	東京市神田区錦町東京 法学院 渡部秀松	高橋奥様(清)	書簡	229× 312	1	幸便 法学新報原稿 用紙
82		高橋清宛葉書						40	
		(明治32年賀状)	明治32年1月		高橋 清	葉書			高橋同窓会宛を含む
83		梅津勇之進書簡						1	
		新年挨拶	明治32年1月5日	岡山市東中山下 梅津 勇之進	東京神田区仲猿楽町 高橋清子	書簡	181× 686		下部欠損 虫損 しみ もろけ 破損大 消印 岡山明治32年1月5日
84			明治32年1月1日	大坂西[]上ノ町	神田駿河台東紅梅 高橋御奥様(清)	書簡	180 × ?		下部欠損 虫損 変色 もろけ 破損大 開封 不可
85		はま書状						1	
		一筆申・御機嫌伺い	3月30日	はま	お清	書簡	164× 427		糊封 虫損